

大和郡山市建設工事仕様書

1 工 事 名	治道認定こども園耐震改修工事
2 工 事 場 所	大和郡山市横田町地内
3 工 事 期 間	着工の日から令和6年12月6日まで
4 工 事 概 要	耐震改修工事 一式
5 事業担当課	事業担当課：保育支援課 業務担当課：入札検査課(施設整備室)
6 契 約 日	落札の日の通知を受けた日を含み5日以内（市役所の業務の休みの日を除く。）
7 契 約 保 証	請負金額の10%以上とし、契約締結までに手続きを完了すること。現金による場合は契約を締結する際に納付すること。ただし、設計金額が5,000万円未満で大和郡山市契約規則第22条第3号に該当する場合は免除する。
8 支 払 事 項	前 払 金 請負金額が300万円以上の場合は請求が可能である。 ただし、前払金として請負金額の40%、中間前払金として請負金額の20%を限度とする。 部分出来高払 なし 完 了 払 金 工事完成検査合格後、請求のあった日から40日以内に支払うものとする。
9 質 問 事 項	質問書提出日時 令和6年5月28日午前9時から正午まで 質問方法 指定の質問書【ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→入札関係書類（工事）からダウンロードできます。】により事業担当課へ持参すること。 提出先 保育支援課 質問回答日 令和6年5月30日午後1時から開札前日まで 質問回答場所 ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→ 建設工事・建設工事等に係る業務委託等入札のお知らせ（質問・回答を掲載しました） にて閲覧できます。 そ の 他 質問がない場合は、質問書の提出は必要ありません。また、質問・回答がない場合は、ホームページへの掲載はありません。

特記仕様書（建築編）

第1条 治道認定こども園耐震改修工事の施工にあたっては、設計図書及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各仕様書〔最新版〕（ホームページ「官庁営繕の技術基準」参照）によるものとする。

第2条 各仕様書に対する特記及び追加事項は、この特記仕様書によるものとする。

第3条 請負者は工事の施工に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図るものとする。

第1章 総 則

1. 設計図書の照査

本工事の施工にあたっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、照査の事実を施工計画書、または工事打合せ簿等より報告すること。

2. 工事の着手

本工事については、契約後速やかに着手すること。

3. 総合施工計画書の提出

総合施工計画書については、設計図書の内容及び現場条件を反映させ、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に監督職員に提出しなければならない。

4. 施工体制について（建設業法・入札契約適正化法）

公共工事を受注した建設業者が下請契約を締結するときは、その金額にかかわらず、施工体制台帳を作成し、その写しを発注者に提出しなければならない。

また、施工体系図を作成し、工事関係者の見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲げるとともにその写しを発注者に提出しなければならない。

尚、工事の進行によって下請業者の変更があった場合は、すみやかに施工体系図等を変更し、その写しを発注者に提出しなければならない。

5. 建設副産物

(1) 本工事の施工により発生する建設副産物の受入場所（施設）については、別紙のとおりとする。

(2) 本工事の積算上の条件明示は下記のとおりであるが、受入場所（施設）を指定するものではない。

なお、設計変更については請負者の責によるものでないやむを得ない理由による場合を対象とし、監督職員と協議し変更するものとする。

請負者の責によるものでないやむを得ない理由とは、以下の①～⑤である。

① 受入施設の受入可能量の超過、施設の故障等、受入側の事情により受入が不可能となった場合。

② 受入場所（施設）までの運搬経路に支障が生じ運搬が不可能となった場合、もしくは迂回経路の運搬距離が著しく延びる場合。

- ③ 発生した建設副産物の形状等が、受入条件と一致することが困難になった場合。
- ④ 受入施設の不適正な行為を行政機関等が確認した場合。
- ⑤ 受入施設が廃棄物処理法に基づく許可の失効、もしくは行政処分を受けた場合。

なお、請負者の都合による受入場所（施設）の変更は、監督職員と協議の上、公的な受入施設、奈良県県土マネジメント部が産業廃棄物処理業者及び建設発生土受入業者として登録している県内の民間受入施設並びに各関係法令を遵守した奈良県内外の受入施設とし、設計金額の変更は減額となる場合のみを対象とする。

○積算上の条件明示（不要なものは枠ごと削除すること）

建設副産物	受入場所（施設）	片道 運搬距離	受入期間 及び受入時間	その他 受入条件
コンクリート塊	(有)日出産業	3.6km	8:00～17:00 夜間・休日不可 休止（日曜・指定日）	中間 (破碎)
ガラスくず	(有)大志	16.0km	8:00～17:00 夜間・休日不可 休止（日曜）	中間
廃プラスチック	同上	同上	同上	同上
繊維くず	同上	同上	同上	同上
陶器くず	(株)中和営繕	22.0km	8:00～15:30 夜間・休日不可 休止（土曜・日曜・祝日）	中間
蛍光管	野村興産(株) ヤマト環境センター	29.0km	9:00～16:00 夜間・休日不可 休止（土曜・日曜・祝日）	中間 (破碎)
ボード類(石綿含有)	日本資源(株)	44.0km	9:00～16:00 夜間・休日不可 休止（土曜・日曜・祝日）	最終 (安定)

- (3) 建設工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等（3）再資源化等をする施設の名称及び所在地」については、契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、積算上の条件明示と別の方法であった場合でも、上記（2）①～⑤によらない場合は設計変更の対象としない。
- (4) 産業廃棄物の搬出にあたっては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）等により、適正に処理されていることを確認するとともに監督職員又は検査職員に提示しなければならない。また、産業廃棄物受入施設が発行する受入時の計量伝票の写しを監督職員に提出するとともに、監督職員又は検査職員より請求があった場合には直ちに原本を提示すること。

(5) 建設発生土及び産業廃棄物の処分について、工事請負契約締結後にあつては再生資源利用〔促進〕（計画・実施）書を、工事竣工後は再生資源利用〔促進〕（計画・実施）書を所定の様式に基づいて作成し、提出するものとする。

また、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」により対象工事の請負者は、当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した旨を、発注者に書面にて報告すること。

(6) 工事中の残土・殻捨場は、民間の指定処分地（別紙建設発生土処理業者一覧・産業廃棄物処理業者一覧 内での指定）であるが、運搬距離並びに経路については、事前に監督職員と協議し運搬計画を作成し施工計画書に含め提出しなければならない。

(7) 本工事の施工により産業廃棄物税の対象となる発生材を処分する場合は、搬出時に産業廃棄物税相当額を**最終処分場業者**に支払うこと。

(8) 再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書の提出様式については、奈良県技術管理課ホームページ又は国土交通省ホームページからダウンロードし使用すること。なお、建設副産物情報交換システム（COBRIS）を利用した場合も、再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を紙媒体で提出すること。また、請負者は、法令等に基づき、再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

6. 事故報告について

請負業者は、工事施工中に工事事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、市指定の事故報告書を作成し、提出しなければならない。

7. 交通安全管理

(1) 交通誘導警備員の配置について

① 交通誘導警備員は「警備業法（昭和47年7月5日法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置すること。

② 交通誘導警備員については、下表のとおりとする。工事の実工程等による交通誘導警備員の増減は、設計変更の対象とはしないものとする。ただし、発注者と所轄警察署との協議結果により、交通誘導警備員編成が変わる場合は、設計変更の対象とする。

③ 工事内容に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員	編 成	昼夜別	交代要員の有無	備 考
図示	1名/日	交通誘導警備員B	昼間	無	延べ60名

交通誘導警備員B：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員以外の交通の誘導に従事するもの

(2) 「ダンプトラック等による過積載等の防止について」（入札検査課カウンターにて閲覧及び大和郡山市ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→基準関連）を参照。

8. 官公庁等への手続き等

(1) 本工事は、有資格者等による石綿事前調査を実施し、石綿事前調査結果報告システムにより申請を行うこと。

また、工事打合せ簿等にて監督職員へ申請（登録）完了の報告を行い、監督職員又は検査職員より請求があった場合には登録内容を提示しなければならない。

9. 施工時間及び施工時間の変更

施工時間は、午前9時から午後5時とするが、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

10. 各種保険及び退職金制度について

(1) 請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

なお、建設業退職金共済制度に該当する場合は同組合に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内に、発注者に提出しなければならない。

また、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」（シール）を現場に掲示し、この制度に対する下請の事業主と労働者の意識の向上を図ること。

第2章 材 料

1. 資材等の県産品利用促進

請負者は、地場産業の活性化を図るため、建設資材・物品等調達については奈良県産品の使用をより一層努めること。

奈良県産品とは次の①から②に示すものとする。

- ① 県内の工場等（本店が県内にあり、工場が県外にある場合も含む）で製造・加工された資材・製品
- ② 奈良県リサイクル認定製品

2. 材料に関する指示事項

(1) 再生材の使用について

イ. 本工事の施工において使用する再生材（再生CR、再生砂、再生粒度調整砕石、再生アスファルト）については、工事目的物に要求される品質等を考慮したうえで、工事施工箇所から20kmの範囲内で、奈良県内に再資源化施設がある場合は、県内の再資源化施設で製造された再生材を使用すること。

ただし、当該工事の工期、施工条件等により、必要とする量が確保できない場合は、監督職員と協議すること。

ロ. 上記イ.に記載しない再生材の使用にあたっては、奈良県産品の使用をより一層努めること。

ハ. 再生材の使用にあたっては、「再生材の使用に関する取り扱いについて」（入札検査課カウンターにて閲覧及び大和郡山市ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→基準関連）を参照。

ニ、再生材の使用に当たっては、使用前に、監督職員に再資源化施設が発行する試験成績書を提出すること。また、不純物の混入が無いこと等、現場にて搬入時にその品質確認を行うこと。

現場に搬入された再生材が、品質等その使用が不相当と監督職員から指示された場合には、これを取り替えるとともに、新たに搬入する材料については、再検査（または確認）を受けること。

(2) レディーミクストコンクリートについては、「レディーミクストコンクリートの調達について」および「適正なコンクリート工事実施に関わる請負業者の遵守事項」（入札検査課カウンターにて閲覧及び大和郡山市ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→基準関連）を参照。

第3章 補足事項

1. 現場代理人等について

「建設工事及び建設工事に伴う委託業務（植栽維持管理業務含）に係る現場代理人等について」（入札検査課カウンターにて閲覧及び大和郡山市ホームページ→しごと・産業→入札・契約→建設工事・コンサルタント業務等→基準関連）を参照。

2. 下請人の市内建設業者の優先選定

請負者は、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を大和郡山市内に本店を有するものの中から選定するよう努めること。

3. コリنز(CORINS) への登録

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各仕様書【最新版】のとおり。

第5章 その他

1. 工事前電力施設に関する指示事項

2. 工事用地等の使用

3. 一般事項

(1) 住民対策

イ、公共事業とはいえ通行者や沿道の住民に、迷惑をかけながら施工（営利活動）をしているという意識を請負人は、代表者以下、作業員に至るまで十分に徹底すること。

ロ、地元との意志の疎通をはかり、苦情、トラブル等の解消に努め問題が起これば、請負人が責任を持って対処すること。

ハ、第三者に理解できるよう予告、工事、交通規制等の看板・標識を設置すること。

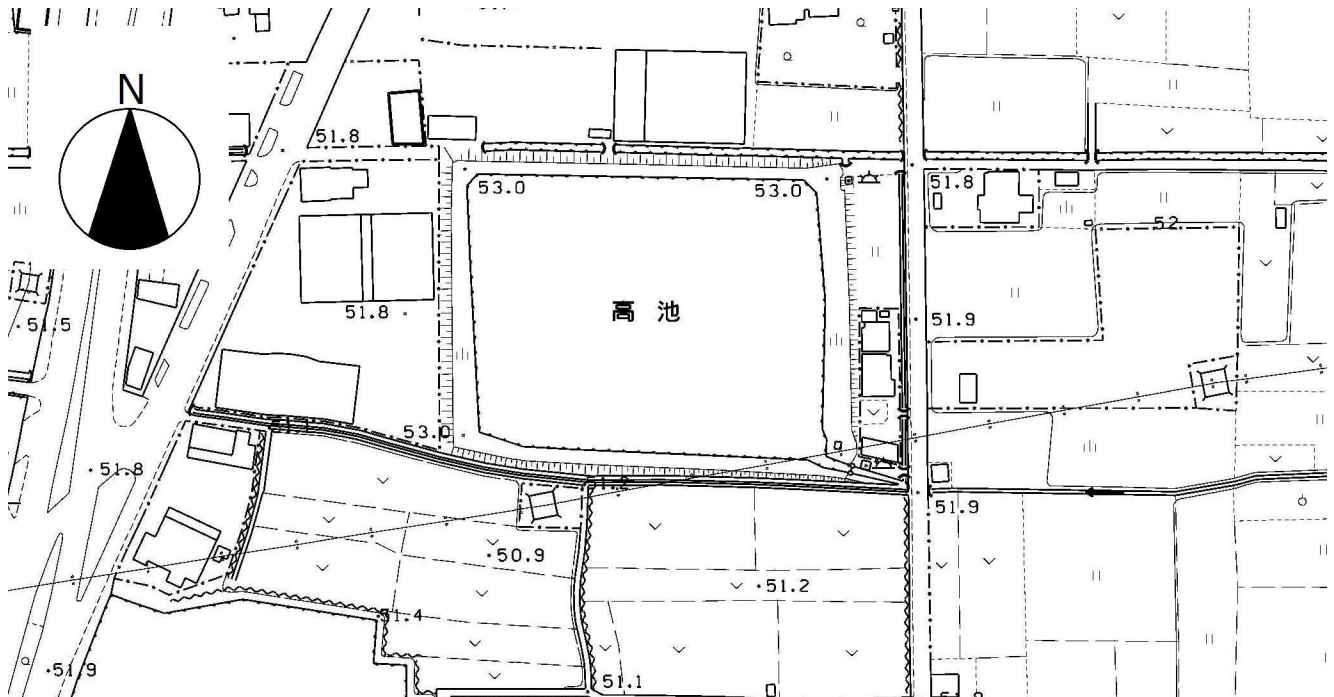
ニ、現場代理人・主任技術者は、ネーム入り制服・ヘルメット・腕章等作業員と区別できるものを着用し、工事内容を十分理解して住民からの質問には、的確に説明すること。

ホ、作業の内容・時期・時間等は、監督職員と打ち合わせどおりとし、変更のある場合は、監督員との了解だけでなく地元とも協議をすること。

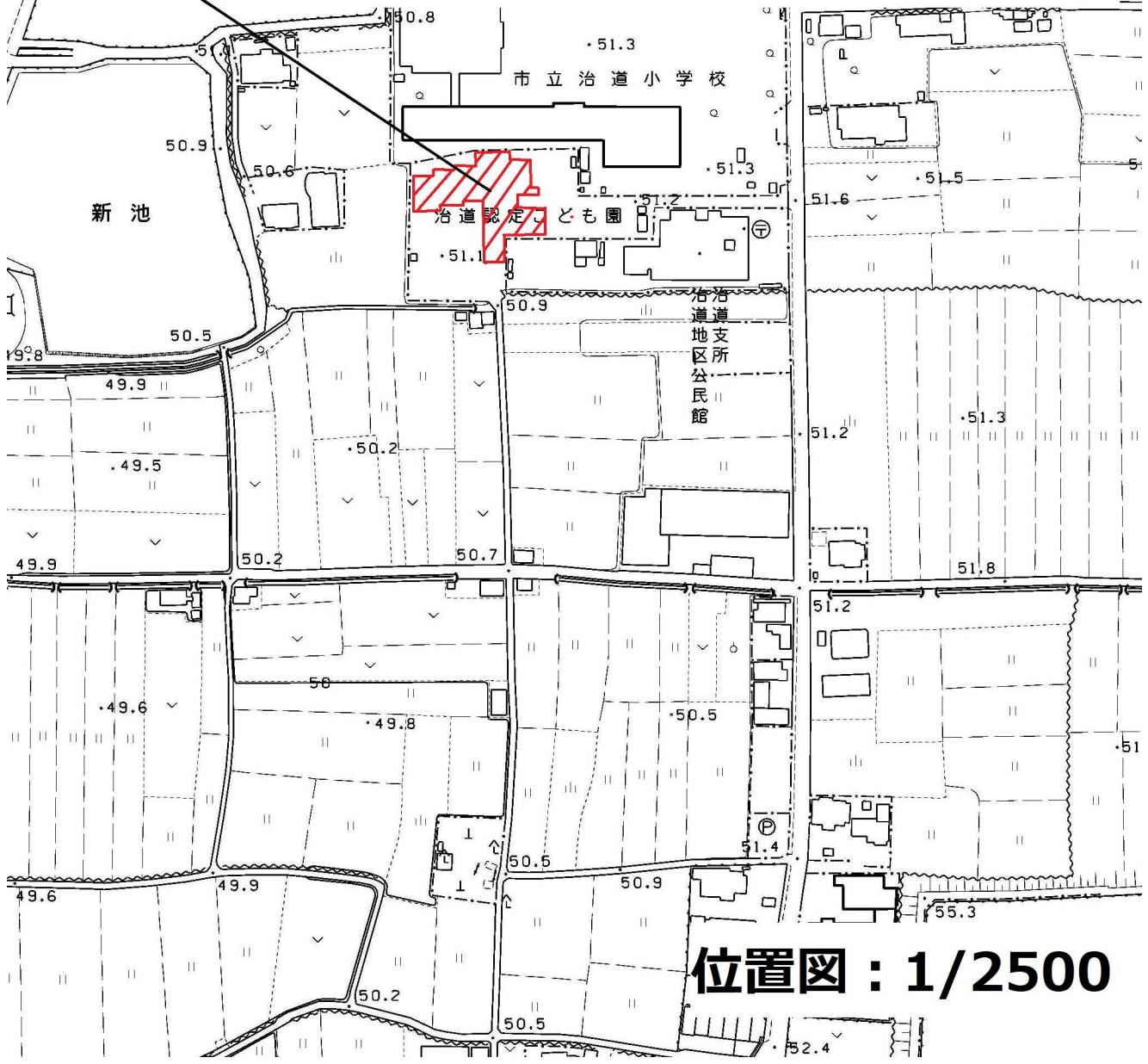
- ハ. 第三者に理解できるよう予告、工事、交通規制等の看板・標識を設置すること。
 - ニ. 現場代理人・主任技術者は、ネーム入り制服・ヘルメット・腕章等作業員と区別できるものを着用し、工事内容を十分理解して住民からの質問には、的確に説明すること。
 - ホ. 作業の内容・時期・時間等は、監督職員と打ち合わせどおりとし、変更のある場合は、監督員との了解だけでなく地元とも協議をすること。
 - ヘ. トラブルや苦情には誠実に対応し、明らかに因果関係のない場合を除き迅速に対処すること。
 - ト. 工事区間内や運搬経路の路面は、良好に保つために巡回し、転倒・泥はね・ほこり等の苦情のないようにすること。特に雨天時は注意すること。
-
- チ. 道路横断管・家庭排水管等の露出があった場合は、注意して施工すること。またその排水管に損傷を与えた場合は、部分的な補修ではなく全面的に入れ替えること。
 - リ. 舗装復旧については、路面工作物とのなじみに留意し、縦横断勾配を確保して水のたまらないように平滑に仕上げること。
 - ヌ. 個人の水道・電気・土地等の無断使用は絶対しないこと。
 - ル. 交通誘導員についても前述の主旨をわきまえ、通行者を優しく丁寧に誘導・指示させること。
 - ヲ. 苦情・事故・要望・対処等の事実は、監督職員にその都度詳細に報告書にして提出し協議すること。
- (2) 工事による地元営業店の支障、地元行事、し尿、ゴミ収集、緊急時の対策は十分検討し考慮しておかねばならない。

4. その他留意事項

- ・本現場はこども園の敷地内であり、また小学校と隣接する敷地での改修となるため、こども園、小学校と十分協議の上施工すること。
- ・園の運営について、工事期間中は場所を移して運営を行うが、こども園より送迎バスの運行を行うため、園児の送迎時間、小学校の登下校時間に細心の注意を払い、こども園、小学校と協議の上施工すること。また、搬入出時間については、事前に通知し、交通誘導員を配置して行うこと。
- ・児童、職員、保護者等の第三者の通行が多いため、工事区画や安全通路の明示、工事車両の通行経路など施工計画書を提出し、こども園、小学校と十分協議の上施工すること。また、落下物防止や現場周辺の整理整頓を徹底すること。
- ・園内の残置備品等については、こども園と十分協議の上、空き部屋等にて保管を行い、工事終了後、原状回復を行うこと。
- ・工事で生じた破損は補修または交換を行い、請負者の負担で現状復旧を行うこと。
(工事場所以外を含む。)



南 **工事場所：(治道認定こども園耐震改修工事)**



位置図：1/2500

令和5年11月1日以降 産業廃棄物処理業者一覧

番号	会社名等	処分場所在地	区分(種類)	取扱いの許可を受けた品目(○を付したものの)																								
				工作物除去に伴って生じた不要物					木くず							建設汚泥				その他								
				アスファルト塊・コンクリート塊					木系廃材				剪定・伐採木							プラ	ゴム	金属	ガラス	繊維クズ	陶磁器クズ	石膏ボード		
				Asクズ	As塊	Co有筋	Co無筋	Co二型	角材・ 板材	柱材	合板・ パネヤ	化粧板・ ハチケル ボード	(枝葉)	(幹)	(根)	(固化物)	(脱水ケー キ)	(軟弱土)	(泥水)									
60	(株)みやこ建材	大和郡山市九条町29-3の一部他2筆	中間							○	○	○	○	○	○					○	○			○				
61	栄和建設(株)	葛城市中戸39番地	中間											○	○	○												
62	日章金属興業有限公司	葛城市兵家171-1,171-7,152-7,152-12,166-3,1566	中間																		○		○					
63	積水化成成品工業(株)	天理市森本町670番地1外32筆	中間																									
64	株NANBU	大和郡山市長安寺町276-2	中間																		○	○	○	○	○			
		産業廃棄物の発生現場での処理に限る(車輛搭載型 溶融施設・移動式溶融機)	中間																									
65	株米澤開発	奈良市柴屋町66番地1の一部、67番地5の一部	中間																		○		○		○			
66	株式会社井戸本	御所市大字室221番地の一部他	中間																		○		○	○				
67	株ヒカリワールド	五條市住川町1309番地	中間																		○	○						
68	(株)奈良リサイクル	御所市大字池之内528番1	中間																		○							
70	株式会社ディ・シー	葛城市新村123番地1、127番地1	中間		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○
71	関西化学工業(株)	北葛城郡上牧町中筋出作158番6	中間																		○							
72	関西メタルワーク(株)	生駒市小平尾町1490-1外3筆	中間																			○	○					
74	仲商店(株)	事務所所在地(移動式)	中間																		○							
75	株式会社トロフピリエ	大和郡山市小泉町2512番1	中間																									
76	(有)ヨシモトゴム商会	御所市東松本243他	中間																		○	○						
78	(株)ナカミチ建機サービス	三重県南牟婁郡紀宝町神内1243-3・5	中間		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆					☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
81	(有)丸昇石材	三重県尾鷲市小脇町宇水谷1-1	中間		☆	☆	☆	☆	☆																			
84	木下建設(株)	和歌山県新宮市南檜杖大字大谷247・字筆ヶ峪 599番地他	中間		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆						☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
86	(有)南クレーン	和歌山県新宮市南檜杖字奥平野241-1	中間		☆	☆	☆	☆	☆												☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
87	(株)共栄建設工業	和歌山県田辺市龍神村甲斐ノ川1134-1	中間		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆					☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
94	株章南	御所市大字元町137番地の21	中間							○	○	○	○	○	○						○			○	○	○	○	
98	(株)中家建設	吉野郡下市町原谷261-1	中間											○	○	○												
99	奈良マテリアル(株)	御所市大字城山台90-20	中間																	○	○	○			○			
100	(株)大和化銀	宇陀市室生向洲2249-137	中間																									
101	(株)JUNコーポレーション	橿原市東竹田町169	中間							○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○			
102	(株)丸山土木	御所市大字小林258-5	中間		○	○	○	○	○												○	○	○	○				
103	日本資環(株)	五條市西吉野町夜中391-2	中間		○	○	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
104	野村興産(株)	宇陀市菟田野大澤55	中間																					○				
105	福源商事(株)	五條市出屋敷町186番地56の一部他	中間																									
106	一林産株式会社	奈良市蘭生町445番地	中間										○	○	○													
107	川口建設(株)	和歌山県田辺市龍神村小家字釜崎972-39、40	中間							☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆												
108	(株)伊賀林業	三重県伊賀市大内514番地の1	中間							☆	☆	☆	☆	☆	☆													
109	サクラモト	奈良県御所市大字三室610番地の1	中間																		○	○		○	○	○	○	

令和5年11月1日以降 産業廃棄物処理業者一覧

番号	会社名等	処分場所在地	区分(種類)	取扱いの許可を受けた品目(○を付したものの)																					
				工作物除去に伴って生じた不要物					木くず						建設汚泥				その他						
				アスファルト塊・コンクリート塊					木系廃材			剪定・伐採木			建設汚泥				プラ	ゴム	金属	ガラス	繊維クズ	陶磁器クズ	石膏ボード
				Asクズ	As塊	Co有筋	Co無筋	Co二製	角材・ 板材	柱材	合板・ パーティ ボード	化粧板・ ハチケル ボード	(枝葉)	(幹)	(根)	(固化物)	(脱水ケー キ)	(軟弱土)							

最終処分場(88~96)																								
88	(株)南都興産	御所市重阪329番地他 (夜間は昼間受入価格の20%増 ・休日は昼間受入価格の50%増)	最終(管理)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	(株)正光	御所市戸毛1082-1外3筆	最終(安定)																	○	○	○	○	○
91	奈良県合同砕石(株)	吉野町津風呂183-1,184番地	最終(安定)	○	○	○	○	○												○	○	○	○	
92	(株)丸山土木	御所市大字小林561外18筆	最終(安定)	○	○	○	○	○												○	○	○	○	
93	(有)馬本賢商店	平群町大字福貴711番1外6筆	最終(安定)	○	○	○	○	○																
96	日本資環(株)	五條市西吉野町夜中391番地の2	最終(安定)	○	○	○	○	○												○	○	○	○	○

・Asクズ:アスファルト切削くず As塊:アスファルト掘削塊 Co有筋:コンクリート塊(有筋) Co無筋:コンクリート塊(無筋) Co二製:コンクリート二次製品(有筋)(As塊・Co塊・Co二製は30cm角以下を標準とした受入価格。30cm角以上となる場合は、別途見積もりを徴収すること。)

木くず:建設発生木材(角材)、剪定・伐採木(枝葉、幹、根) プラ:廃プラスチック類(発泡スチロール、廃合成建材等) ゴム:天然のゴムくず 金属:鉄くず、トタンくず等

・受入価格は発生した副産物の状態により、価格が変動する場合がありますので事前に確認すること。

・単価表で○印の付いている箇所は、取扱許可品目をさせていただきます。

・三重県、和歌山県内の処分場(単価表で☆印の付いている箇所)の単価については、奈良県技術管理課に問い合わせること。

*上記の処理業者は令和5年8月末現在、奈良県又は奈良市(一部三重県、和歌山県の許可業者を含む。)の産業廃棄物処分量の許可を受けた業者(「工作物の除去に伴って生じた不要物」、又は「木くず」、又は「汚泥」を取り扱う業者で、上表のいずれかの品目を取り扱っている業者)です。

治道認定こども園耐震改修工事

意匠図		
図面番号	図面	縮尺
A-01	建築工事特記仕様書-1	-
A-02	建築工事特記仕様書-2	-
A-03	建築工事特記仕様書-3	-
A-04	建築工事特記仕様書-4	-
A-05	建築工事特記仕様書-5	-
A-06	建築工事特記仕様書-6	-
A-07	建築工事特記仕様書-7	-
A-08	仕上表-1	-
A-09	仕上表-2	-
A-10	仕上表-3	-
A-11	付近見取図	1:5000
A-12	配置図	1:400
A-13	[撤去] 002-1・2棟 平面図	1:150
A-14	[撤去] 002-1・2棟 天井伏図	1:150
A-15	[撤去] 002-1・2棟 屋根伏図	1:150
A-16	[撤去] 002-1・2棟 立面図 (1)	1:150
A-17	[撤去] 002-1・2棟 立面図 (2)	1:150
A-18	[撤去] 002-1・2棟 断面図	1:150
A-19	[撤去] 003棟 平面図	1:150
A-20	[撤去] 003棟 天井伏図	1:150
A-21	[撤去] 003棟 屋根伏図	1:150
A-22	[撤去] 003棟 立面図 (1)	1:150
A-23	[撤去] 003棟 立面図 (2)	1:150
A-24	[改修] 002-1・2棟 平面図	1:150
A-25	[撤去・改修] 002-1・2棟 便所(2歳児)	1:50
A-26	[撤去・改修] 002-1・2棟 便所(3歳児)	1:50
A-27	[撤去・改修] 002-1・2棟 便所(4・5歳児)	1:50
A-28	[改修] 002-1・2棟 天井伏図	1:150
A-29	[改修] 002-1・2棟 屋根伏図	1:150
A-30	[改修] 002-1・2棟 立面図 (1)	1:150
A-31	[改修] 002-1・2棟 立面図 (2)	1:150

意匠図		
図面番号	図面	縮尺
A-32	[改修] 002-1・2棟 断面図	1:150
A-33	[改修] 002-1・2棟 展開図 (1)	1:100
A-34	[改修] 002-1・2棟 展開図 (2)	1:100
A-35	[改修] 002-1・2棟 平面詳細図 (1)	1:50
A-36	[改修] 002-1・2棟 平面詳細図 (2)	1:50
A-37	[改修] 002-1・2棟 展開詳細図 (1)	1:50
A-38	[改修] 002-1・2棟 展開詳細図 (2)	1:50
A-39	[改修] 002-1・2棟 展開詳細図 (3)	1:50
A-40	[改修] 002-1・2棟 展開詳細図 (4)	1:50
A-41	[改修] 003棟 平面図	1:150
A-42	[改修] 003棟 屋根伏図	1:150
A-43	[改修] 003棟 天井伏図	1:150
A-44	[改修] 003棟 立面図 (1)	1:150
A-45	[改修] 003棟 立面図 (2)	1:150
A-46	[改修] 003棟 断面図	1:150
A-47	[改修] 003棟 展開図	1:100
A-48	[改修] 003棟 平面詳細図 (1)	1:50
A-49	[改修] 003棟 平面詳細図 (2)	1:50
A-50	[改修] 003棟 展開詳細図 (1)	1:50
A-51	[改修] 003棟 展開詳細図 (2)	1:50
A-52	[撤去・改修] 共通 建具リスト	1:300
A-53	[撤去・改修] 共通 建具表 (1)	1:50
A-54	[撤去・改修] 共通 建具表 (2)	1:50
A-55	[改修] 共通 詳細図 (外装サイディング)	1:50・5
A-56	[改修] 共通 仮設計画図 (配置図)	1:400
A-57	[改修] 共通 外構・玄関庇増設図	1:50
A-58	[改修] 共通 外構詳細図	1:30
A-59	[改修] 共通 家具詳細図 (1)	1:150・4
A-60	[改修] 共通 家具詳細図 (2)	1:40
A-61	[撤去・改修] 003棟 便所(職員) 平面詳細図	1:50

構造図		
図面番号	図面	縮尺
S-01	002棟 既存建物耐震改修工事仕様書 (1)	-
S-02	002棟 基礎伏図	1:150
S-03	002棟 小屋組R1伏図	1:150
S-04	002棟 小屋組R2伏図	1:150
S-05	002棟 軸組図 (1)	1:150
S-06	002棟 軸組図 (2)	1:150
S-07	002棟 軸組図 (3)	1:150
S-08	002棟 軸組図 (4) ・ 仕口柱脚詳細図	1:150・1:30
S-09	002棟 補強部材取付け要領詳細図 (1)	1:10
S-10	002棟 補強部材取付け要領詳細図 (2)	1:10
S-11	002棟 補強部材取付け要領詳細図 (3)	1:10
S-21	003棟 基礎伏図	1:150
S-22	003棟 小屋伏図	1:150
S-23	003棟 軸組図 (1)	1:150
S-24	003棟 軸組図 (2)	1:150
S-25	003棟 軸組図 (3) ・ 仕口柱脚詳細図	1:150・1:30
S-26	003棟 ブレース補強図 (1)	1:10
S-27	003棟 ブレース補強図 (2)	1:10

設備図		
図面番号	図面	縮尺
E-01	電気設備特記仕様書-1	-
E-02	電気設備特記仕様書-2	-
E-03	[撤去・改修] 電灯設備 全体配置図	1:400
E-04	電気設備 既設分電盤単線結線図	-
E-05	[撤去・改修] 電気設備 照明器具姿図	-
E-06	[撤去・改修] 電灯設備 002-1・2棟平面図	1:100
E-07	[撤去・改修] 差込設備 002-1・2棟平面図	1:100
E-08	[撤去・改修] 弱電設備 002-1・2棟平面図	1:100
E-09	[撤去・改修] 自火報設備 002-1・2棟平面図	1:100
E-10	[撤去・改修] 電灯設備 003棟平面図	1:100
E-11	[撤去・改修] 差込設備 003棟平面図	1:100
E-12	[撤去・改修] 弱電設備 003棟平面図	1:100
E-13	[撤去・改修] 自火報設備 003棟平面図	1:100
E-14	[撤去・改修] 差込設備 003棟便所平面詳細図	1:50
M01	機械設備特記仕様書-1	-
M02	機械設備特記仕様書-2	-
M03	機械設備特記仕様書-3	-
M04	機械設備特記仕様書-4	-
M05	機械設備 配置図	-
M06	[撤去・改修] 機械設備 衛生器具リスト	1:400
M07	[撤去・改修] 空調設備 機器リスト	-
M08	[撤去・改修] 機械設備 002-1・2棟平面図	1:100
M09	[撤去・改修] 機械設備 002-1・2棟便所平面詳細図-1	1:50
M10	[撤去・改修] 機械設備 002-1・2棟便所平面詳細図-2	1:50
M11	[撤去・改修] 機械設備 002-1・2棟便所平面詳細図-3	1:50
M12	[撤去・改修] 機械設備 003棟平面図	1:100
M13	[撤去・改修] 機械設備 003棟便所平面詳細図	1:50

----- ----- -----	株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-00
				図面名称 表紙・図面目次	縮尺 - A3	

<p style="text-align: center;">特記仕様書</p> <p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事場所： 奈良県大和郡山市横田町地内</p> <p>2. 敷地面積： 4,217.58 m²</p> <p>3. 工事種目： 建築工事……………1式 電気設備工事……………1式 機械設備工事……………1式 外構工事……………1式</p> <p>II. 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事「共通仕様書（最新版）」（以下「共仕」という。）による。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は、◎印のついたものを適用する。 ◎印のつかない場合は、*印のついたものを適用する。 ◎印と◎印のついた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、共仕1章～2章の当該項目、当該図面又は当該表を示す。 また、[]内表示番号は、共仕別図 各部配筋の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>⑥ 建築材料等</p> <p>*下記に掲げる材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」に記載されたもの（ただし、評価の有効期限内のものに限る）を使用する。この場合、評価書の写しをもって、共仕1. 4. 1 (b)による品質及び性能を有することの証明となる資料に代える。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(材料品目) 床型枠用デッキプレート（フラットデッキ）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（プレミックス形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部押出成形セメント板、金属複合板）陶磁器質タイル（陶器質タイル、せつ器質タイル、磁器質タイル、再生材利用タイル）、透水・保水性歩行用ブロック及び床タイル、既製調合モルタル（タイル工用用）、ルーフトレン、吸水調整材（モルタル用）、アルミニウム製建具（70-200-8-35、70-240-8-35、100-280-2-50）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（丸ノコ、本締めり付きモロカ、シツク 箱錠 [シツク 箱錠、レバノンド]、シツク 本締めり錠）、クローザ一類（ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置、（大型回転自動ドアに適用）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス（フロート板ガラス、型板ガラス、網入り板ガラス及び線入り板ガラス、合わせガラス、強化ガラス、熱線吸収ガラス、複層ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス）、ガラスブロック（中空）防水剤、ビニル床シート（床シート）、ビニル床タイル（床タイル）、現場発泡断熱材（特定フロンによるものを除く）、フリアークセスフロア（3000N、5000N）、移動間仕切（スライディングドア）、可動間仕切、トイレブース、煙突用成形ラインニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、インターロッキングブロック、人工屋上緑化用システム、トップライト エポキシ樹脂（バテ状エポキシ樹脂、可とうエポキシ樹脂、エポキシ樹脂モルタル）、タイル部分張替え用接着剤（ポリウレタン樹脂系） 変成シリコン樹脂系、エポキシ樹脂系、シリコン樹脂系、変成シリコン・エポキシ樹脂系） ポリマーセメントモルタル、既製調合目地材、錆鉄製ふた（マンホールふた・弁掛ふた）</p> <p>*本工事に使用する材料のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものを使用する。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>*建物内部（天井裏、床下を含む）に使用する下記に掲げる各材料等は、それぞれに定められた基準等に適合するものを選択する。</p> <p>① (合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材) 次の1及び2を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。</p> <p>② (ユリア樹脂板) 次の1及び2を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。</p> <p>③ (壁紙) 次の1及び2を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。</p> <p>④ (接着剤) 次の1、2及び3を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。 3. トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。 なお、可塑剤を使用している接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。</p> <p>⑤ (保温材、緩衝材、断熱材) 次の1及び2を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。</p> <p>⑥ (塗料) 次の1、2及び3を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。 3. トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。</p> <p>⑦ (仕上塗材) 次の1及び2を満足するものとする。 1. ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合していること。 2. アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散がきわめて少ないものであること。</p> <p>⑧ (家具、書架、実験台、その他什器等) ①、④、⑥に掲げる材料等を使用している場合は、それぞれの基準等に合致した材料等を使用しているものとする。</p>
---	--	---

<p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>* 一般仕様として、下記の共通仕様書を適用する。 ◎建築工事共通仕様書 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎建築工事監理指針 (上下巻) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎建築工事標準詳細図 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎建築構造設計基準及び同解説 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎工事写真の撮り方 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・土木部建築工事監督及び検査必携 奈良県土木部 ・建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県土木部 ◎機械設備工事共通仕様書 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎機械設備工事監理指針 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎電気設備工事共通仕様書 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎電気設備工事監理指針 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎鉄筋コンクリート構造配筋要領 [最新版] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>② 工事実績情報の登録 *適用する (1.1.4)</p> <p>③ 発生材の処理 ・引渡を要するもの (1.1.13) ◎特別管理産業廃棄物 ・現場において再利用を図るもの ◎再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ◎再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)を提出する。 (建設副産物対策近畿地方連絡協議会) ◎産業廃棄物の処理 関係法令に従い構外搬出適切処理とし、搬出書類等提出する。 ・産業廃棄物管理表 (マニフェスト)を提出する。</p> <p>④ 電気保安技術者 *適用する (1.3.3) (1.5.2)</p> <p>⑤ 技能士</p> <table border="1"> <tr> <th>技能検定の職種</th> <th>作業の種類</th> </tr> <tr> <td>鉄筋工事 (・鉄筋施工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事 (・左官 ・型 枠 施工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事 (・とび)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>ブロック・ALC[®] 補工事・PC[®]・PCC[®]・ALC[®] 補工事 (・ブロック建築 ・ALC[®] 補施工 ・PCC[®]・ALC[®] 補施工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>防水工事 (・防水施工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>石工事 (・石材施工)</td> <td>・全て ・</td> </tr> <tr> <td>タイル工事 (・タイル張り)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>木工事 (・建築大工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事 (◎建築板金 ・スレート施工 ・かわらぶき)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>金属工事 (・内装仕上げ施工 (鋼製下地))</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>左官工事 (・左官)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>建具工事 (・サッシ施工 ・ガラス施工)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>塗装工事 (・塗装)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>内装工事 (・内装仕上げ施工 (床、天井仕上げ等) ・表装)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> <tr> <td>植栽工事 (・造園)</td> <td>◎全て ・</td> </tr> </table>	技能検定の職種	作業の種類	鉄筋工事 (・鉄筋施工)	◎全て ・	コンクリート工事 (・左官 ・型 枠 施工)	◎全て ・	鉄骨工事 (・とび)	◎全て ・	ブロック・ALC [®] 補工事・PC [®] ・PCC [®] ・ALC [®] 補工事 (・ブロック建築 ・ALC [®] 補施工 ・PCC [®] ・ALC [®] 補施工)	◎全て ・	防水工事 (・防水施工)	◎全て ・	石工事 (・石材施工)	・全て ・	タイル工事 (・タイル張り)	◎全て ・	木工事 (・建築大工)	◎全て ・	屋根及びとい工事 (◎建築板金 ・スレート施工 ・かわらぶき)	◎全て ・	金属工事 (・内装仕上げ施工 (鋼製下地))	◎全て ・	左官工事 (・左官)	◎全て ・	建具工事 (・サッシ施工 ・ガラス施工)	◎全て ・	塗装工事 (・塗装)	◎全て ・	内装工事 (・内装仕上げ施工 (床、天井仕上げ等) ・表装)	◎全て ・	植栽工事 (・造園)	◎全て ・	<p>⑦ 特殊な材料の工法</p> <p>⑧ 完成図書等</p> <p>⑨ 工事写真 ・完成写真</p> <p>⑩ 設備工事との取合い</p> <p>⑪ 設計 G L</p> <p>⑫ 風圧力に対する性能値</p> <p>13 多雪区域</p> <p>14 概成工期</p> <p>⑬ 施工条件</p> <p>16 見本施工の実施</p> <p>17 中間技術検査の実施</p> <p>⑭ 設計図書の優先順位</p> <p>18 見本施工の実施</p> <p>17 中間技術検査の実施</p> <p>⑮ 設計図書の優先順位</p> <p>19 官公署その他への届出手続等</p> <p>⑯ 疑義に対する協議等</p> <p>⑰ 総合施工計画書</p> <p>⑱ 環境保全等</p>	<p>⑲ 交通安全管理</p> <p>⑳ 材料試験</p> <p>25 テレビ受信状況の障害調査</p> <p>26 六面クロム溶出試験等</p> <p>㉑ VOC試験での濃度測定</p> <p>㉒ 監督職員事務所</p> <p>㉓ 総会議室</p> <p>㉔ 監督職員事務所の備品</p> <p>4 工事用水</p> <p>5 工事用電力</p> <p>⑳ 養生・足場</p> <p>㉕ 埋戻し及び盛土</p> <p>㉖ 建設発生土の処理</p> <p>3 山留めの存置</p>	<p>* 工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民などの安全に留意する。また、工事着工前に警察、その他関係機関、地元自治会、監督職員などと十分打ち合わせの上、安全管理を行う。なお、交通整理員については、現場説明時の現場説明事項による。</p> <p>(1.4.4)</p> <p>* 材料の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成の上、監督職員に提出し、原則として監督職員の立会を受けて行う。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 * 行う (現場説明時の現場説明事項による)</p> <p>* 六面クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験) 本工事は「六面クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工種についての六面クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果 (計量証明書)を提出する。 なお、試験方法は、セメント及びセメント系固着剤を使用した改良土等の六面クロム溶出試験要領による。 六面クロム溶出試験対象工種名及び検体数 工 工 法 : 配合設計段階 検体、施工後段階 検体 工 工 法 : 配合設計段階 検体、施工後段階 検体 タンクリーチング試験対象工種名及び検体数 工 工 法 : 検体 工 工 法 : 検体</p> <p>*測定する (測定方法等については、平成24年4月5日 国営警第4号「官公営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」を準用する。)</p> <p>(2.3.1)</p> <p>* 設ける 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 ・移動オフィス (2.4x7.2)</p> <p>* 設ける 規模 m²程度</p> <p>* 特に指定する設備、備品は下記による。 (2.3.1) 備品の種類 <table border="1"> <tr> <td>機、いす</td> <td>書棚</td> <td>応接セット</td> <td>会議用机、いす</td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>台</td> <td>組</td> <td>組</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td>人用</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>備品の種類</td> <td>黒板</td> <td>衣類ロッカー</td> <td>掃除機</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>備品の種類</td> <td>流し台</td> <td>湯沸かし器</td> <td>掛け時計</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>備品の種類</td> <td>加入電話機</td> <td>冷暖房機器</td> <td>パソコン</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>備品の種類</td> <td>保護帽</td> <td>安全帯</td> <td>ゴム長靴</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>足</td> </tr> <tr> <td>備品の種類</td> <td>懐中電灯</td> <td>消火器</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> </table> </p>	機、いす	書棚	応接セット	会議用机、いす	組	台	組	組	数 量	個	人用	個	備品の種類	黒板	衣類ロッカー	掃除機	数 量	個	台	台	備品の種類	流し台	湯沸かし器	掛け時計	数 量	台	台	個	備品の種類	加入電話機	冷暖房機器	パソコン	数 量	台	台	台	備品の種類	保護帽	安全帯	ゴム長靴	数 量	個	個	足	備品の種類	懐中電灯	消火器	・	数 量	個	個	個
	技能検定の職種	作業の種類																																																																																					
鉄筋工事 (・鉄筋施工)	◎全て ・																																																																																						
コンクリート工事 (・左官 ・型 枠 施工)	◎全て ・																																																																																						
鉄骨工事 (・とび)	◎全て ・																																																																																						
ブロック・ALC [®] 補工事・PC [®] ・PCC [®] ・ALC [®] 補工事 (・ブロック建築 ・ALC [®] 補施工 ・PCC [®] ・ALC [®] 補施工)	◎全て ・																																																																																						
防水工事 (・防水施工)	◎全て ・																																																																																						
石工事 (・石材施工)	・全て ・																																																																																						
タイル工事 (・タイル張り)	◎全て ・																																																																																						
木工事 (・建築大工)	◎全て ・																																																																																						
屋根及びとい工事 (◎建築板金 ・スレート施工 ・かわらぶき)	◎全て ・																																																																																						
金属工事 (・内装仕上げ施工 (鋼製下地))	◎全て ・																																																																																						
左官工事 (・左官)	◎全て ・																																																																																						
建具工事 (・サッシ施工 ・ガラス施工)	◎全て ・																																																																																						
塗装工事 (・塗装)	◎全て ・																																																																																						
内装工事 (・内装仕上げ施工 (床、天井仕上げ等) ・表装)	◎全て ・																																																																																						
植栽工事 (・造園)	◎全て ・																																																																																						
機、いす	書棚	応接セット	会議用机、いす																																																																																				
組	台	組	組																																																																																				
数 量	個	人用	個																																																																																				
備品の種類	黒板	衣類ロッカー	掃除機																																																																																				
数 量	個	台	台																																																																																				
備品の種類	流し台	湯沸かし器	掛け時計																																																																																				
数 量	台	台	個																																																																																				
備品の種類	加入電話機	冷暖房機器	パソコン																																																																																				
数 量	台	台	台																																																																																				
備品の種類	保護帽	安全帯	ゴム長靴																																																																																				
数 量	個	個	足																																																																																				
備品の種類	懐中電灯	消火器	・																																																																																				
数 量	個	個	個																																																																																				

株式会社都市・計画・設計研究所	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-01
一級建築士 第277813号 渡邊寿之			図面名称 特記仕様書- 1	縮尺 - A3	

<p>④ 防水層の地下</p> <p>⑤ アスファルト防水</p>	<p>1 防水層の地下</p> <p>2 アスファルト防水</p>	<p>(9.2.4)(9.3.4)(9.4.4)(9.5.4)</p> <p>防水層の種類 (9.2.3)(表9.2.3~9.2.8)</p> <p>工法 種類 施工箇所</p> <p>・平場 ・床コンクリート直均し ・均しモルタル塗り ・</p> <p>・立上り ・コンクリート打放し仕上げ (仕上げの種類 ・A種 ・B種 ・C種) ・均しモルタル塗り ・</p> <p>防水層の種類 (9.2.3)(表9.2.3~9.2.8)</p> <p>工法 種類 施工箇所</p> <p>・屋根保護防水密着工法 ・A-1 ・A-2 ・屋根保護防水密着断熱工法 ・A1-1 ・A1-2 ・屋根保護防水絶縁工法 ・B-1 ・B-2 ・屋根保護防水絶縁断熱工法 ・B1-1 ・B1-2 ・屋根露出防水絶縁工法 ・D-1 ・D-2 ・屋内防水密着防水 ・E-1 ・E-2</p> <p>アスファルトの種類 *3種 ・4種 (9.2.2) 押さえ金物の材質、形状及び寸法 (mm) (9.2.2) *アルミニウム製、L-30×15×2.0程度 屋根保護防水断熱工法の断熱材 (9.2.2) *JIS A 9511の押出ポリスチレンフォーム3種bのスキン層付き (特定F20を含まないもの)</p> <p>厚さ (mm) ・25 絶縁用シートに使用する材料 (9.2.2) *ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上(屋根保護防水工法の場合) フラットヤーンクロス(70g/m²程度)(屋根保護防水断熱工法の場合)</p> <p>屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 (9.2.3) ・設ける</p> <p>種類 材質 設置装置</p> <p>・平面部脱気型 ・ポリエチレン樹脂 () 個 / () m² ・A B S樹脂 ・ステンレス ・錆鉄 ・</p> <p>・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・鋼 ・</p> <p>屋内防水密着工法の保護層 (9.2.3) ・設ける(種類)</p> <p>各屋根保護防水工法の防水層立上り部の端部の処理方法 (9.2.4) ・共仕9.2.4(d)(3)(ii)による ・押さえ金物で押える</p> <p>保護層等の施工 (9.2.5) 平場の保護コンクリートの厚さ *共仕9.2.5(d)(2)による 立上り部の保護の方法 (9.2.2)(9.2.5)(表9.2.5~8) ・れんが押え(れんがの種類 *JIS R 1250の2種) ・モルタル押え(屋内等) ・乾式保護材(押出成形板) ・コンクリート押え 屋上排水溝 ・設けない ・設ける (9.2.5)</p> <p>防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)</p> <p>種類 種類 厚さ (mm) 施工箇所</p> <p>・AS-1 下層用 *非露出複層防水用R種 *2.5以上 上層用 *露出複層防水用R種 *3.0以上 ・AS-2 *露出単層防水用R種 *4.0以上</p> <p>防水層の種類 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)</p> <p>種別 厚さ (mm) 仕上塗料(露出の場合) 施工箇所</p> <p>・S-F1 *1.2 ・カラー ・シルバー ・S-F2 *2.0 ・カラー ・シルバー ・S-F3 *2.0 ・S-M1 *1.5 ・カラー ・シルバー ・S-M2 *1.5</p> <p>絶縁用シートの材質 (9.4.2) *発泡ポリエチレンシート PCコンクリート部材下地の目地処理 (9.4.4) ・図示 (図面番号) PCコンクリート部材下地の増張り (9.4.4) ・図示 (図面番号)</p>	<p>⑦ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(6.9.3)</p> <p>*合板せき板を用いる場合</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>せき板</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(1)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・合板せき板を用いない場合 せき板の種類 コンクリートの仕上げり面の補修 *共仕6.2.5(b)(1)(ii)による</p> <p>外部に面するコンクリートの打放し仕上げ (仕上げ塗材、吹付け又は塗装材の仕上げを行う場合を含む)の打増し厚さ (mm) (6.9.2) *20</p> <p>⑩ せき板の材料 (6.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>せき板の規模</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>○共仕6.9.3(b)(1)</td> <td>*12</td> <td>*無 ・有</td> </tr> <tr> <td>・共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>*12</td> <td>*無 ・有</td> </tr> </table> <p>・断熱材を兼用した型枠材 (6.9.3) *使用する 適用箇所 ()</p> <p>・MCR工法用シート (6.9.3) *使用する 適用箇所 ()</p> <p>・円形型枠 ・寸法 ・適用箇所</p> <p>・メッシュ型枠</p> <table border="1"> <tr> <th>メッシュ材質</th> <th>機用パイプ材質</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305</td> <td>・地中梁側面 ・フーチング側面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>板厚0.5mm 直径25mm以上</td> <td>・見掛けで仕上げのない部分は除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>めつき80kg/m² 厚さ1.2mm以上</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>*組立て機用パイプの立て込み間隔は300mm以下とする。 *組立てパイプは製造所の施工要領書に従う。 *機用パイプの存置期間は共仕6.9.5により、型枠用メッシュは取り外さない。 *スリーブ(配管用等) (6.9.3)(表6.9.1) *共仕6.9.3(i)(1),(2)(i)(ii)(iii)(iv)及び共仕6.9.1による。 ・床型枠用鋼製デッキプレート (6.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○打放し仕上げ上にはプラスチック製コーンを使用する。</p>	種類	せき板	施工箇所	・A種	*共仕6.9.3(b)(1)	・	○B種	*共仕6.9.3(b)(2)	・	・C種	*共仕6.9.3(b)(2)	・	せき板の規模	厚さ (mm)	塗装	○共仕6.9.3(b)(1)	*12	*無 ・有	・共仕6.9.3(b)(2)	*12	*無 ・有	メッシュ材質	機用パイプ材質	適用箇所	*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305	・地中梁側面 ・フーチング側面		板厚0.5mm 直径25mm以上	・見掛けで仕上げのない部分は除く		めつき80kg/m ² 厚さ1.2mm以上	・		使用箇所	厚さ (mm)	備考				<p>⑦ 接合材料</p> <p>⑧ ターンバックル</p> <p>9 デッキプレート (7.2.7)</p> <p>10 レール (7.2.8)(表7.2.5)</p> <p>⑪ 工作図 (7.3.2)</p> <p>⑫ 鉄骨の製作精度 (7.3.3)</p> <p>13 仮組 (7.3.10)</p> <p>14 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2)</p> <p>⑮ 材料準備 (7.6.4)</p> <p>⑯ 溶接施工 (7.6.7)</p> <p>⑰ 溶接部の試験 (7.6.11)(7.6.12)(表7.6.2~7.6.4)</p> <p>18 デッキプレートの溶接 (7.7.8)</p> <p>⑲ 錆止め塗料 (7.8.3)(表18.3.1)</p> <p>20 耐火被覆 (7.9.2)</p> <p>⑳ 建方精度 (7.10.2)</p>	<p>⑳ 軽量鋼構造 (7.11.2)</p> <p>24 溶融亜鉛めっき (7.12.3)(表14.2.2)</p> <p>⑳ 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)</p> <p>2 コンクリート'ロウ'帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)</p> <p>3 ALCパネル (8.4.2)</p> <p>4 押出成形セメント板 (8.5.2)</p> <p>⑳ セメント系サイディング (7.9.6)</p>	<p>① 鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>③ 鋼材 (7.2.1)(表7.2.1)</p> <p>④ 高力ボルト (7.2.2)</p> <p>⑤ 普通ボルト (7.2.3)</p> <p>⑥ アンカーボルト (7.2.4)</p>	<p>① 検査</p> <p>② 作図</p> <p>③ 工事名</p> <p>④ 図面名称</p>	<p>株式会社都市・計画・設計研究所</p> <p>一級建築士 第277813号 渡邊寿之</p>	<p>治道認定こども園耐震改修工事</p> <p>特記仕様書-3</p>	<p>設計年月日</p> <p>2024.2</p> <p>縮尺</p> <p>- A3</p>	<p>図面番号</p> <p>A-03</p>
				種類	せき板	施工箇所																																												
・A種	*共仕6.9.3(b)(1)	・																																																
○B種	*共仕6.9.3(b)(2)	・																																																
・C種	*共仕6.9.3(b)(2)	・																																																
せき板の規模	厚さ (mm)	塗装																																																
○共仕6.9.3(b)(1)	*12	*無 ・有																																																
・共仕6.9.3(b)(2)	*12	*無 ・有																																																
メッシュ材質	機用パイプ材質	適用箇所																																																
*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305	・地中梁側面 ・フーチング側面																																																	
板厚0.5mm 直径25mm以上	・見掛けで仕上げのない部分は除く																																																	
めつき80kg/m ² 厚さ1.2mm以上	・																																																	
使用箇所	厚さ (mm)	備考																																																
<p>① 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(6.9.3)</p> <p>*合板せき板を用いる場合</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>せき板</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(1)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>*共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・合板せき板を用いない場合 せき板の種類 コンクリートの仕上げり面の補修 *共仕6.2.5(b)(1)(ii)による</p> <p>外部に面するコンクリートの打放し仕上げ (仕上げ塗材、吹付け又は塗装材の仕上げを行う場合を含む)の打増し厚さ (mm) (6.9.2) *20</p> <p>⑩ せき板の材料 (6.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>せき板の規模</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>○共仕6.9.3(b)(1)</td> <td>*12</td> <td>*無 ・有</td> </tr> <tr> <td>・共仕6.9.3(b)(2)</td> <td>*12</td> <td>*無 ・有</td> </tr> </table> <p>・断熱材を兼用した型枠材 (6.9.3) *使用する 適用箇所 ()</p> <p>・MCR工法用シート (6.9.3) *使用する 適用箇所 ()</p> <p>・円形型枠 ・寸法 ・適用箇所</p> <p>・メッシュ型枠</p> <table border="1"> <tr> <th>メッシュ材質</th> <th>機用パイプ材質</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305</td> <td>・地中梁側面 ・フーチング側面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>板厚0.5mm 直径25mm以上</td> <td>・見掛けで仕上げのない部分は除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>めつき80kg/m² 厚さ1.2mm以上</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>*組立て機用パイプの立て込み間隔は300mm以下とする。 *組立てパイプは製造所の施工要領書に従う。 *機用パイプの存置期間は共仕6.9.5により、型枠用メッシュは取り外さない。 *スリーブ(配管用等) (6.9.3)(表6.9.1) *共仕6.9.3(i)(1),(2)(i)(ii)(iii)(iv)及び共仕6.9.1による。 ・床型枠用鋼製デッキプレート (6.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○打放し仕上げ上にはプラスチック製コーンを使用する。</p>	種類	せき板	施工箇所	・A種	*共仕6.9.3(b)(1)	・	○B種	*共仕6.9.3(b)(2)	・	・C種	*共仕6.9.3(b)(2)	・	せき板の規模	厚さ (mm)	塗装	○共仕6.9.3(b)(1)	*12	*無 ・有	・共仕6.9.3(b)(2)	*12	*無 ・有	メッシュ材質	機用パイプ材質	適用箇所	*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305	・地中梁側面 ・フーチング側面		板厚0.5mm 直径25mm以上	・見掛けで仕上げのない部分は除く		めつき80kg/m ² 厚さ1.2mm以上	・		使用箇所	厚さ (mm)	備考														
種類	せき板	施工箇所																																																
・A種	*共仕6.9.3(b)(1)	・																																																
○B種	*共仕6.9.3(b)(2)	・																																																
・C種	*共仕6.9.3(b)(2)	・																																																
せき板の規模	厚さ (mm)	塗装																																																
○共仕6.9.3(b)(1)	*12	*無 ・有																																																
・共仕6.9.3(b)(2)	*12	*無 ・有																																																
メッシュ材質	機用パイプ材質	適用箇所																																																
*鋼板 JIS G 3302 *JIS G 8305	・地中梁側面 ・フーチング側面																																																	
板厚0.5mm 直径25mm以上	・見掛けで仕上げのない部分は除く																																																	
めつき80kg/m ² 厚さ1.2mm以上	・																																																	
使用箇所	厚さ (mm)	備考																																																

Table with multiple columns for construction specifications. Columns include item number, material type, specifications, and other details. It covers items 5 through 10 in the first section and 1 through 6 in the second section. Includes various material lists and technical requirements.

16 ガラス	13 軽量シャッター 開閉機能による種類 (16.11.2) (表16.11.1) * 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 耐風圧性能 ・ JIS A 4704による区分 (・ 50 ・ 65 ○ ・ 80) (16.11.2) スラット (16.11.3) (16.11.4) 材質 * 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 形状 ・ インターロック型 ・ オーバーラッピング型	14 オーバーヘッドドア (16.12.2) (16.12.3) セクション材料による区別開閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材質 * スチールタイプ * バランス式 * スタンダード形 * 溶融亜鉛メッキ鋼板 * アルミニウムタイプ * チェーン式 * ローヘッド形 * ステンレス鋼板 * ファイバーグラス強化電動式 * ハイリフト形 * パーチャカル形	17 ガラスブロック積み ガラスブロック (16.13.5) 表面形状 呼び強度 (mm) 厚さ (mm) ・ 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 ・ 95 ・ 125 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 80 ・ 95 カ骨 (16.13.5) 材質 寸法 (mm) 形状 * ステンレス鋼 (SUS304) * 径5.5 * はしご形状複筋及び単筋 壁用金属枠及び補強材 (16.13.5) ・ 図示 (図面番号) ・ 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 (16.13.5) ・ 図示 (図面番号) ・ シーリング材 (16.13.5) (9.6.1) * 被着体に応じたものとし、共仕表 9. 6. 1 を標準とする。 目地 (16.13.5) 目地幅 目地色 平積み * 8mm以上、15mm以下 * 白 曲面積み * 共仕 16.13.5 (b) (2) (i) (ii)による * 白 伸縮調整目地 (16.13.5) 位置 * 共仕 16. 1 3. 5 (b) (2) (ii)による カ骨の補強方法 * ガラスブロック製造所の仕様による (16.13.5) マスターキー (16.7.4) * 製作する ○ 在来マスターに合わせる * 鍵は、3本1組とし、室名札を付け、一括して鍵箱に収納して引き渡す。鍵箱は、鍵の個数に相応した鋼製既製品とする。	4 シーリング材 種類 (17.2.2) (17.3.2) (表9.6.1) ・ 被着体に応じたものとし、共仕表 9. 6. 1 を標準とする。 種類 (記号) 施工箇所 5 ガラス取付材料 シーリング材 (17.2.2) (17.3.2) (表9.6.1) 種類 ・ 被着体に応じたものとし、共仕表 9. 6. 1 を標準とする。 種類 (記号) 施工箇所 構造用ガスケット (17.2.2) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.6) 形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号) ・ ガラスの取付方法 (17.2.2) (17.3.2) ・ 図示 (図面番号) ・ 6 断熱材 (17.2.2) (17.3.2) 工法 種類 難燃性 厚さ (mm) 適用箇所 ・ 現場発泡工法 ・ 硬質ウレタンフォーム ・ 2級 ・ 3級 上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする	12 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) 13 対候性塗料塗り (DP) 19 窓 18 階 17 窓 16 窓 15 窓 14 窓 13 窓 12 窓 11 窓 10 窓 9 窓 8 窓 7 窓 6 窓 5 窓 4 窓 3 窓 2 窓 1 窓	12 ウレタン樹脂ワニス塗りの種類 (18.16.2) (表18.16.1) ・ A種 * B種 対候性塗料塗り (鉄鋼面) の種類 (18.7.2) (表18.7.1-4) * 表18.7.11による。 種類 (記号) 厚さ (mm) 色研 工法 * 発泡層のないもの * NC * 2.5 * 無地 ○ 突付け ・ ・ ・ 2.0 * マーブル ・ 熱溶接 種類 厚さ (mm) ・ ホモジニアスピニル床タイル * 2.0 ・ コンポジションピニル床タイル (半硬質) ・ 3.0 ・ コンポジションピニル床タイル (軟質) 種類 性能 厚さ (mm) ・ 帯電防止床シート * 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下 ・ 帯電防止床タイル 視覚障害者用タイル (19.2.2) 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) ・ 塩化ビニル系 * 300×300 ○ レンジコンクリート系 種類 厚さ (mm) ・ 材質 高さ (mm) 厚さ (mm) * 軟質 ・ 硬質 * 60 ○ 75 ○ 100 * 1.5 ・ 2.0 種類 厚さ (mm) ・ ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 織じゅうたん (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1) 種類 バイル形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 ・ カットバイル * 人体帯電圧3KV以下 ・ B種 ・ ループバイル ・ ・ C種 ・ カット、ループ併用 品質の程度は参考品番である タフテッドカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2) バイル形状 バイル長さ (mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル * 人体帯電圧3KV以下 * 全面接着工法 ・ マルチレベルバイル * グリッター工法 ・ レベルバイル ・ カット、ループ併用 品質の程度は参考品番である グリッター工法に使用する下地敷き材 (19.3.3) 品質 呼び厚さ (mm) * JIS L 3204の第2種2号 * 8 見切り、押え金物 (19.3.3) 見切り (材質 > 種類 > 形状 > 押え金物 (材質 > 種類 > 形状 > ニードルパンチカーペット (19.3.3) 厚さ (mm) 帯電性 ・ * 人体帯電圧3KV以下 タイルカーペット (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 品質の程度 * 1種 ・ カットバイル * 500×500 * 6.5 ・ 2種 * ループバイル 品質の程度は参考品番である 敷き方 (19.3.4) 平場 * 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ・ 市松模様 ・ 模様流し 9 弾性ウレタン塗床 (19.4.3) (表19.4.3) 仕上げの種類 * 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ 10 エポキシ樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4-7) 仕上げの種類 * 模様流し展べ仕上げ ・ 厚幕流し展べ仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ 仕上げの種類 * 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ メーカー名: ABC商会 フェロコンハードS 同等品 11 無機質塗床材
	15 ガラス フロート板ガラス 厚さ (mm) ○ 3 ○ 5 (16.13.2) 型板ガラス 品質 ○ 型板ガラス (16.13.2) 厚さ (mm) ○ 4 網入り板ガラス及び線入り板ガラス (16.13.2) 品種 ○ ひし網入り型板ガラス ・ 角網入り型板ガラス ・ ひし網入り磨き板ガラス ・ 角網入り磨き板ガラス ・ 線入り型板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス 厚さ (mm) ○ 6.8 合わせガラス (16.13.2) 形状 特性による種類 材料板ガラスの種類、厚さ 合計厚 (mm) ・ 平面 ・ I類 ・ II-2類 <ガラス種類 (厚さ)+ガラス種類 (厚さ)+…> ・ II-1類 ・ III類 ・ 曲面 ・ I類 <ガラス種類 (厚さ)+ガラス種類 (厚さ)+…> 強化ガラス (16.13.2) 形状 特性による種類 材料板ガラスの種類による磨損板ガラス ・ 平面 ・ I類 ・ フロート強化ガラス ・ フロートガラス ・ III類 ・ 磨き板ガラス ・ 熱線吸収フロートガラス ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 型板強化ガラス ・ 型板ガラス ・ 熱線反射強化ガラス ・ 熱線強化ガラス ・ 曲面 ・ I類 ・ フロート強化ガラス ・ フロートガラス ・ 磨き板ガラス ・ 熱線吸収フロートガラス ・ 熱線吸収磨き板ガラス 熱線吸収板ガラス (16.13.2) 材料板ガラスの種類 厚さ (mm) 色調 ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ ブルー ・ グレー ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ ブロズ ・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ グレー ・ ブロズ ・ 熱線吸収線入り磨き板ガラス * 6.8 ・ 1種 ・ 2種 ・ 熱線吸収網入り型板ガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ ブロズ 複層ガラス (16.13.2) 断熱性・日射熱遮へい性による種類 材料板ガラスの種類・厚さ (mm) 厚さ (mm) ・ 断熱複層ガラス ・ 1類 <ガラス種類 (厚さ)+ガラス種類 (厚さ)+…> ・ 2類 ・ 3類 ・ 日射熱遮へい複層ガラス ・ 4類 <ガラス種類 (厚さ)+ガラス種類 (厚さ)+…> ・ 5類 熱線反射板ガラス (16.13.2) (16.3.4) 材料板ガラスの種類 日射熱遮へい性による区分 反射皮膚の使い方 色調 映像調整 厚さ (mm) ・ フロートガラス ・ ブルー ・ グレー ・ 行う ・ 磨き板ガラス ・ 1類 ・ 内面 ・ グレー ・ 行う ・ 熱線吸収フロートガラス ・ 2類 ・ 外面 ・ ブロズ ・ 行わない ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 3類 ・ シン ・ 平面強化ガラス 倍強度ガラス (16.13.2) 材料板ガラスの種類 厚さ (mm) 色調 ・ フロート板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 熱線吸収板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロズ 建具の種類 種類 アルミニウム製 ・ ガスケット ※ グレーンが特形 (特見込み70mmの引違い、片引き障子の場合) ○ シーリング材 (SR-1) ・ シリコン系9030G 鋼製 ・ シーリング材 (SR-1) ステンレス製 ・ シーリング材 (SR-1) ただし、防火用のガラス留め材は、防火用が定められ又は認定を受けた条件による。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3) (表16.13.1) * 共仕表 16. 1 3. 1 による (強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合を除く。)	18 階 17 窓 16 窓 15 窓 14 窓 13 窓 12 窓 11 窓 10 窓 9 窓 8 窓 7 窓 6 窓 5 窓 4 窓 3 窓 2 窓 1 窓	1 材料 (18.1.3) * 屋内の壁、天井の仕上げ材は、防火材料とする。 ・ 次の場所を除き、防火材料とする。 2 素地ごしらえ (18.2.2) (表18.2.1) 木部 不透明塗料塗りの場合 * A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ・ A種 * B種 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 * C種 (18.2.3) (表18.2.2) モルタル、プラスター面 ・ A種 * B種 (18.2.5) (表18.2.4) コンクリート、ALCパネル面 ・ A種 * B種 (18.2.6) (表18.2.5) (2液性リリキエポキシ樹脂、アクリリコン樹脂エポキシ樹脂、常温乾燥形ふっ素樹脂エポキシ樹脂以外の場合) 石こうボード、その他ボード面 (18.2.7) (表18.2.7) 石こうボードの目地処理が継目処理工法の場合 * A種 ・ B種 上記以外 ・ A種 * B種 錆止め塗料の種類 (多形模様塗料塗りの場合を除く) (18.3.2) (表18.3.1) 鉄鋼面 屋外 * A種 ・ B種 屋内 ・ A種 * B種 亜鉛めっき鋼面 (18.3.2) (表18.3.2) 錆止め塗料の種類がC種の場合 ・ A種 * B種 上記以外 * A種 ・ B種 錆止め塗料塗りの種類 (多形模様塗料塗りの場合を除く) (18.3.3) (表18.3.3) 鉄鋼面 (18.3.3) (表18.3.3) 見掛け部分 * A種 ・ B種 見隠れ部分 ・ A種 * B種 亜鉛めっき鋼面 (18.3.3) (表18.3.4) 鋼製の建具 * A種 ・ B種 ・ C種 上記以外 ・ A種 ・ B種 * C種 4 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) (18.4.2) 塗料の種類 (18.4.2) * 1種 ・ 2種 鉄鋼面の合成樹脂調合ペイント塗りの種類 (18.4.4) (表18.4.2) ・ A種 * B種 5 クリヤラッカー塗り (CL) (18.5.2) (表18.5.1) クリヤラッカー塗りの種類 (18.5.2) (表18.5.1) ・ A種 * B種 6 フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) (18.6.2) (表18.6.1) 木部フタル酸樹脂エナメル塗りの種類 (18.6.2) (表18.6.1) ・ A種 * B種 鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面フタル酸樹脂エナメル塗りの種類 (18.6.3) (表18.6.2) ・ A種 * B種 7 塩化ビニル樹脂エナメル塗り (VE) (18.7.2) (表18.7.1) 塩化ビニル樹脂エナメル塗りの種類 (18.7.2) (表18.7.1) ・ A種 * B種 8 アクリル樹脂エナメル塗り (AE) (18.8.2) (表18.8.1) アクリル樹脂エナメル塗りの種類 (18.8.2) (表18.8.1) ・ A種 * B種 9 つや有合成樹脂エポキシ樹脂塗りの種類 (18.12.2) (表18.12.1) つや有合成樹脂エポキシ樹脂塗りの種類 (18.12.2) (表18.12.1) ・ A種 * B種 10 合成樹脂エポキシ樹脂塗りの種類 (18.13.2) (表18.13.1) 合成樹脂エポキシ樹脂塗りの種類 (18.13.2) (表18.13.1) ・ A種 * B種 11 合成樹脂エポキシ樹脂模様塗りの種類 (18.15.2) (表18.15.1) (表18.15.2) 合成樹脂エポキシ樹脂模様塗りの種類 (18.15.2) (表18.15.1) (表18.15.2) 下地の種類 種類 コンクリート、モルタル、プラスター、石こうボード等 ・ A種 * B種 鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面 ・ A種 * B種			

19 その他	11 フローリング張り	<p>単層フローリング (19.5.2) (19.5.4~7) (表19.5.1) (表19.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ(mm)</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法(積層張り)</td> <td>※なら</td> <td>15</td> <td>幅 75 縦長さ 500以上</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>※なら</td> <td>12以上</td> <td>幅 75 縦長さ 300以上</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>12以上</td> <td>幅 75 縦長さ 300以上</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・モザイクパーケット1等</td> <td>・接着工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>複層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ, 大きさ(mm)</th> <th>種類</th> <th>防湿処理</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>※天然木化粧</td> <td>・釘留め工法(積層張り)</td> <td>※なら</td> <td rowspan="2">幅厚 ・8以上 幅幅 ・75以上 縦長さ 800以上</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> <td>○塗装品 ・無塗装品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>○かば</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材 カバⅧ(3.0) UVセラミック塗装品 参考: (株)北海道パーケット「リージェントキャンパス 15×75×909」又は同等品以上</p> <p>複層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 行う(施工場所) ※ウレタン樹脂ワックス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ○行わない</p> <p>種類 (19.6.2) (表19.6.1) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(・KT-I ・KT-II ・KT-III)</p> <p>(19.7.2) (表19.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>区分、規格</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○セッコウボード(GB-R)</td> <td></td> <td></td> <td>12.5 9.5</td> </tr> <tr> <td>○シーキングセッコウボード(GB-S)</td> <td></td> <td></td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>・強化セッコウボード(GB-F)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セッコウラスボード(GB-L)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○化粧セッコウボード(GB-D)</td> <td></td> <td></td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>吸音材</td> <td>・ロックウール吸音材(RW-F)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ロックウール吸音材(RW-B)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ロックウール吸音材(RW-BC)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グラスウール吸音材(GW-F)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グラスウール吸音材(GW-B)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・吸音用フェルトボード(GB-I)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・吸音木毛セメント板(WCBC)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・吸音用穴あきセッコウボード(GB-P)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・吸音用穴あきセッコウボード(GB-Q)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材</td> <td>○0.8けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td></td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○1.0けい酸カルシウム板(1.0FK)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・難燃木毛セメント板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・断熱木毛セメント板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・難燃合板</td> <td>*共仕19.7.2(3)(1)による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td>・天然木化粧合板</td> <td></td> <td>化粧単板 *0.3未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○構造用 1類合板</td> <td></td> <td>・12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>板 *4.2</td> </tr> </table> <p>*壁又は天井に使用するものは、防火材料とする。(19.7.2) 遮音シール材 適用する(19.7.2) 下地 ・軽量鉄骨下地 ・木造下地(19.7.3) 合板類の張り付け(19.7.3) (表19.7.3) 種類 ・A種 *B種 せっこうボードの目地処理(19.7.3) (表19.7.4) ・目透し工法 ・突付け工法 ・突付け目地工法 ○ 継目処理工法</p> <p>(19.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質の程度</th> <th>防火性能の等級</th> </tr> <tr> <td>職員室・便所</td> <td></td> <td>・1級 ○2級</td> </tr> <tr> <td>保育室</td> <td>掲示板加シ(参考品番:サンフォームベック)</td> <td>・1級 ○2級</td> </tr> </table> <p>品質の程度は、参考商品名である。</p> <p>素地ごしらえ(19.8.3) (表18.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>・A種 *B種</td> <td>(19.8.3) (表18.2.4)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・A種 *B種</td> <td>(19.8.3) (表18.2.5)</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>・A種 *B種</td> <td>(19.8.3) (表18.2.7)</td> </tr> </table>	種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装	間伐材等の適用	・フローリングボード1等	・釘留め工法(積層張り)	※なら	15	幅 75 縦長さ 500以上	・塗装品 ・無塗装品	・		・釘留め工法(直張り)	※なら	12以上	幅 75 縦長さ 300以上	・	・		・接着工法	※なら	12以上	幅 75 縦長さ 300以上	・	・	・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・	・モザイクパーケット1等	・接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・	種類	工法	樹種	厚さ, 大きさ(mm)	種類	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用	※天然木化粧	・釘留め工法(積層張り)	※なら	幅厚 ・8以上 幅幅 ・75以上 縦長さ 800以上	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・	○塗装品 ・無塗装品		・釘留め工法(直張り)	○かば							・接着工法	※なら						名称	種類	区分、規格	厚さ(mm)	○セッコウボード(GB-R)			12.5 9.5	○シーキングセッコウボード(GB-S)			12.5	・強化セッコウボード(GB-F)				・セッコウラスボード(GB-L)				○化粧セッコウボード(GB-D)			9.5	吸音材	・ロックウール吸音材(RW-F)				・ロックウール吸音材(RW-B)				・ロックウール吸音材(RW-BC)				・グラスウール吸音材(GW-F)				・グラスウール吸音材(GW-B)				・ロックウール化粧吸音板(DR)				・吸音用フェルトボード(GB-I)				・吸音木毛セメント板(WCBC)				・吸音用穴あきセッコウボード(GB-P)				・吸音用穴あきセッコウボード(GB-Q)			断熱材	○0.8けい酸カルシウム板(0.8FK)		5.0		○1.0けい酸カルシウム板(1.0FK)				・難燃木毛セメント板				・断熱木毛セメント板				・難燃合板	*共仕19.7.2(3)(1)による		合板	・天然木化粧合板		化粧単板 *0.3未満		○構造用 1類合板		・12		・特殊加工化粧合板		板 *4.2	施工箇所	品質の程度	防火性能の等級	職員室・便所		・1級 ○2級	保育室	掲示板加シ(参考品番:サンフォームベック)	・1級 ○2級	モルタル、プラスター面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.4)	コンクリート面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.5)	せっこうボード面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.7)	12 量置き	13 石こうボード、その他ボード及び合板張り	14 壁紙張り
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																									
・フローリングボード1等	・釘留め工法(積層張り)	※なら	15	幅 75 縦長さ 500以上	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																																																																																																																																											
	・釘留め工法(直張り)	※なら	12以上	幅 75 縦長さ 300以上	・	・																																																																																																																																																																																											
	・接着工法	※なら	12以上	幅 75 縦長さ 300以上	・	・																																																																																																																																																																																											
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																																																																																																																																											
・モザイクパーケット1等	・接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・																																																																																																																																																																																											
種類	工法	樹種	厚さ, 大きさ(mm)	種類	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																										
※天然木化粧	・釘留め工法(積層張り)	※なら	幅厚 ・8以上 幅幅 ・75以上 縦長さ 800以上	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・	○塗装品 ・無塗装品																																																																																																																																																																																										
	・釘留め工法(直張り)	○かば																																																																																																																																																																																															
	・接着工法	※なら																																																																																																																																																																																															
名称	種類	区分、規格	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																														
○セッコウボード(GB-R)			12.5 9.5																																																																																																																																																																																														
○シーキングセッコウボード(GB-S)			12.5																																																																																																																																																																																														
・強化セッコウボード(GB-F)																																																																																																																																																																																																	
・セッコウラスボード(GB-L)																																																																																																																																																																																																	
○化粧セッコウボード(GB-D)			9.5																																																																																																																																																																																														
吸音材	・ロックウール吸音材(RW-F)																																																																																																																																																																																																
	・ロックウール吸音材(RW-B)																																																																																																																																																																																																
	・ロックウール吸音材(RW-BC)																																																																																																																																																																																																
	・グラスウール吸音材(GW-F)																																																																																																																																																																																																
	・グラスウール吸音材(GW-B)																																																																																																																																																																																																
	・ロックウール化粧吸音板(DR)																																																																																																																																																																																																
	・吸音用フェルトボード(GB-I)																																																																																																																																																																																																
	・吸音木毛セメント板(WCBC)																																																																																																																																																																																																
	・吸音用穴あきセッコウボード(GB-P)																																																																																																																																																																																																
	・吸音用穴あきセッコウボード(GB-Q)																																																																																																																																																																																																
断熱材	○0.8けい酸カルシウム板(0.8FK)		5.0																																																																																																																																																																																														
	○1.0けい酸カルシウム板(1.0FK)																																																																																																																																																																																																
	・難燃木毛セメント板																																																																																																																																																																																																
	・断熱木毛セメント板																																																																																																																																																																																																
	・難燃合板	*共仕19.7.2(3)(1)による																																																																																																																																																																																															
合板	・天然木化粧合板		化粧単板 *0.3未満																																																																																																																																																																																														
	○構造用 1類合板		・12																																																																																																																																																																																														
	・特殊加工化粧合板		板 *4.2																																																																																																																																																																																														
施工箇所	品質の程度	防火性能の等級																																																																																																																																																																																															
職員室・便所		・1級 ○2級																																																																																																																																																																																															
保育室	掲示板加シ(参考品番:サンフォームベック)	・1級 ○2級																																																																																																																																																																																															
モルタル、プラスター面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.4)																																																																																																																																																																																															
コンクリート面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.5)																																																																																																																																																																																															
せっこうボード面	・A種 *B種	(19.8.3) (表18.2.7)																																																																																																																																																																																															
20 ロビー	15 断熱材	16 移動間仕切	17 トイレブース	18 階段滑止め	19 表示	20 鏡	21 点検口																																																																																																																																																																																										
22 既製家具	23 カウンター	24 ステンレス流し台	25 コンロ台	26 吊り戸棚	27 ミニキッチン	28 くつふきマット	29 幼児用ロッカー																																																																																																																																																																																										
30 旗竿	31 旗竿受金物	32 車止めさく	33 パーティション	21 排水管	22 側塊、排水樹等	マンホールふた	グレーチング																																																																																																																																																																																										
9 煙突ライニング	10 ブラインド	11 ロールスクリーン	12 カーテン	13 カーテンレール	14 カーテンボックス	15 アコーディオンドア	16 プレキャストコンクリート																																																																																																																																																																																										
17 間知石及びコンクリート	18 敷地境界石標	19 天井見切縁	20 鋼製書架及び棚	21 点検口	22 地業の材料	23 コンクリート	24 埋め戻し用材料																																																																																																																																																																																										

●建物概要

工事名称	大和郡山市 治道認定こども園耐震改修工事		
建築場所	大和郡山市横田町254 番地		
用途地域等	市街化調整区域（防火地域等の指定なし）		
当該敷地建蔽率容積率制限	建蔽率 60%、容積率 200%		
建物用途	認定こども園【幼保連携型】		
階数構造	鉄骨造平屋建て		
高さ	4.7m		
法定面積		建築面積	延床面積
	既設建物	996.51 m ²	953.90 m ²
増築、改築、用途変更等の経過	S48.9.20	第553号 新築	
	S52.1.6	第540号 増築	
	H22.10.12	第0027号 増築	
	H23.2.21	第0011号 計画変更	
確認済証	有無	有	
	交付番号	H23.2.21 第H22確更建築奈良県建 00011 号	
	交付者	建築主事	
検査済証	有無	有	
	交付番号	H23.2.24 第H22確更建築奈良県建 00038 号	
	交付者	建築主事	
耐火・準耐火建築物	不要：その他（平屋・延床：3,000m ² 以下）		
内装制限	必要（施行令128条4その他：用途に供する部分200m ² 以上対象）		
排煙区画	必要（延床：500m ² 以下、100m ² 以下で適用判断あり）		
界壁、間仕切壁及び隔壁	児童福祉施設（法114条区画不要）		
非常用照明	不要（平屋は不要）		
工事範囲	建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事、外構工事		
別途工事	什器備品		

●外部仕上表

		上段：現況／下段：計画 ※改修範囲は図示による	
002-1棟	屋根（002-1,002-2建物）	長尺カラー鉄板瓦葺28#（真木なし）木毛板 t 20mm下地	メーカー調査 ：A号瓦葺葺@418mm
002-2棟	屋根（002-1,002-2廊下）	／防水屋根カバー工法（ハイタフシート+断熱ボード50mm+下地ボード35mm+下地鉄板0.8mm 同等品以上） 折版 S-60貼り 22# 表面カラー焼付（フレーム面戸、一部有孔面戸、水止メ面戸三晃式 水切り28#一式カラー焼付）鉄部OPヌリ ／防水屋根カバー工法（ハイタフシート+断熱ボード50mm 同等品以上）	メーカー調査 ：重ね折版 H173mmW300mm
003棟	屋根（003建物・廊下）	折版ウラ ネオパールスキン t 4mm吹付（責任施工） ／防水屋根カバー工法（ハイタフシート+断熱ボード50mm 同等品以上）	メーカー調査 ：重ね折版 H173mmW300mm
002棟	屋根（渡廊下）	ポリカーボネート貼 ／塗装鋼製折板（50mm）	
002-1棟	庇（鼻）	モルタル刷毛引アクリルシリコン吹付（Kラス Kスタッド t 450下地）目地切 ／高圧洗浄、劣化部補修の上、複層仕上塗材E（アクリルシリコン）吹付 フレキシブルシート（一部有孔フレキシブルシート有り） t 4mm ソコメ貼 VPヌリ 一部モルタル刷毛引 アクリルシリコン吹付（Kラス Kスタッド t 450下地） ／ケイカル板t=10底目貼 AEP塗装	
	庇（ウラ）		
002棟	外壁	モルタル刷毛引、アクリルシリコン吹付 目地切（Kラス Kスタッド t 450下地）一部換気（50Φ 18ヶ所）パイプ有り 一部面取り 巾木：防水モルタルコテ押工 ／外壁改修部分：セメント系サイディング張 t 16の上、複層仕上塗材E（アクリルシリコン）吹付 透湿防水シート下地 水切り：ガルバリウム鋼板 （参考）ニチハ モエンVシリーズ、t16mm ／既設部分（全面）：高圧洗浄、劣化部補修の上 複層仕上塗材E（アクリルシリコン）吹付 ／巾木：高圧洗浄、劣化部補修の上 巾木専用塗料塗り（アクリルシリコン樹脂）	
003棟			
002棟	鉄骨柱・梁（開放廊下）	SOP塗装	
003棟		／下地調整の上DP塗り	
	屋根折板裏面（廊下）	ペフ貼り t-4.0 ネオパールスキン t 4mm吹付 ／ケレンの上、結露防止塗装（水系アクリル ケツロナイン 同等品）	
	縦樋	VPΦ75、掴み金物 ／カラーVPΦ75、SUS掴み金物	
	軒樋	折版用軒樋U120*120 ／現況撤去、軒先面戸、塩ビ製軒樋	
	ポーチ・廊下	土間コンクリート t =120 防水モルタルコテ押え ／高圧洗浄	

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-08
			図面名称 仕上表-1	縮尺 - A3	

●内部仕上表

※改修範囲は図示による

棟	室名	区域分類	改修対象			居室	床	FL	巾木	H	壁	CH	下地	天井	回縁	
			床	壁	天井											
						上段：現況/下段：計画	上段：現況/下段：計画					上段：現況/下段：計画				
002-1棟 S49年築	保育室 (3~5)	3・4・5才児	●	●	●	居室	ブナFB ポリウレタン樹脂塗装 /フローリング撤去後、下地調整の上、 複層フローリング t12直貼	±0	ラワン	VP	100	有孔シナベニヤ t6mm、シナベニヤ t6mm VP、クロス貼 (ラワンベニヤ t5.5mm下地)	2700 ~3500		化粧PB t9mm貼	-
	物入 (3~5)		●	●	-	防水モルタルコテ押工 目地切 /現状のまま	±0	ラワン	VP	100	シナベニヤ t6mm ソコメ貼 VP	2700 ~3500	LGS	/化粧PB貼 t9.5、天井裏 GWt50敷き	-	
	便所 (3~5)	●	●	●	-	磁器19Φ モザイクタイル貼 /サニタリウム貼 t2.0、モルタル 下地	-50	-	-	-	磁器19Φモザイクタイル貼 (Kラス 防水モ ルタル下地)	2350		フレキシブルシート t4mm ソコメ貼VP		
	テラス (3~5)	●	●	●	-	防水モルタルコテ押工 目地切 /サニタリウム貼 t2.0、モルタル下地	-50	防水モルタルコテ押工	VP	100	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 (Kラス Kスタッド t450)	-		フレキシブルシート t4mm ソコメ貼VP		
	遊戯室	●	●	●	居室	ブナFB ポリウレタン樹脂塗装 /フローリング撤去後、下地調整の上、 複層フローリング t12直貼	±0	ラワン	VP	100	シナベニヤ t6mmVP	3200~3750		化粧PB t9mm貼 /PB9.5の上ロックウール化 粧吸音板 t12貼、天井裏 GWt50敷き		
	倉庫	●	●	-	防水モルタルコテ押工 /現状のまま	±0	ラワン	VP	100	シナベニヤ t6mm ソコメ貼り /ケイカル板 t5 (LGS下地)	2500 2500	LGS	化粧PB t9mm貼 /化粧PB貼 t9.5			
002-2棟 S52年築	保育室(2)	2才児	●	●	●	居室	ブナFB ポリウレタン樹脂塗装 /フローリング撤去後、下地調整の上、 複層フローリング t12直貼	±0	ラワン	VP	100	有孔シナベニヤ t6mm、シナベニヤ t6mm VP、クロス貼 (ラワンベニヤ t5.5mm下地)	2700 ~3500		化粧PB t9mm貼	-
	便所(2)		●	●	●	-	磁器19Φ モザイクタイル貼 /サニタリウム貼 t2.0、モルタル 下地	-50	-	-	-	磁器19Φモザイクタイル貼 (Kラス 防水モ ルタル下地)	2350		フレキシブルシート t4mm ソコメ貼VP	-
	物入(2)	●	●	-	防水モルタルコテ押工 目地切 /現状のまま	±0	ラワン	VP	100	シナベニヤ t6mm ソコメ貼 VP /ケイカル板 t5 (LGS下地)	2300 2300		化粧PB t9mm貼 /ケイカル板t10底目貼 AEP塗装			
	テラス(2)	●	●	●	-	防水モルタルコテ押工 目地切 /サニタリウム貼 t2.0、モルタル下地	-50	防水モルタルコテ押工	VP	100	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 (Kラス Kスタッド t450)	-		フレキシブルシート t4mm ソコメ貼VP		

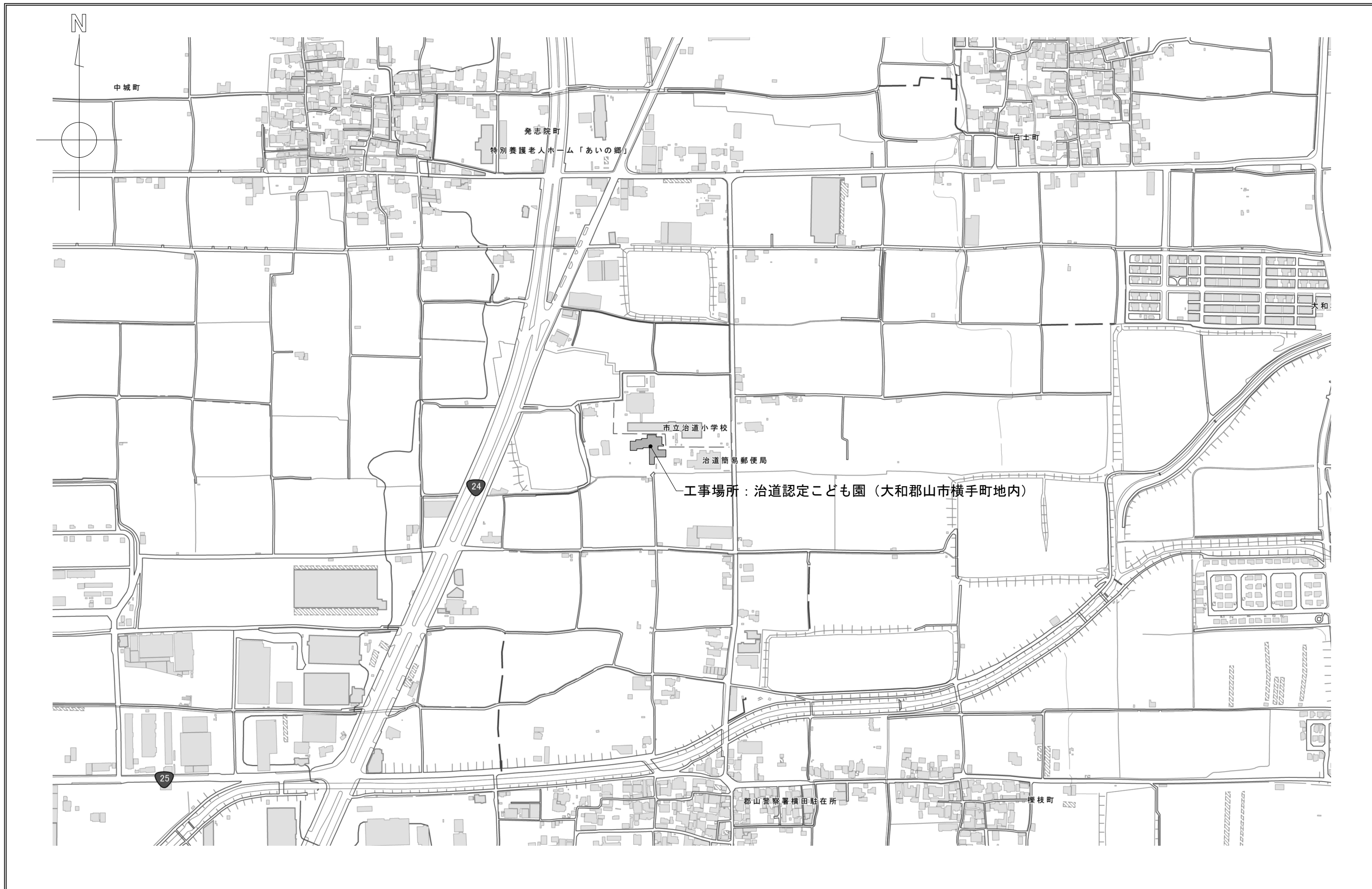
株式会社都市・計画・設計研究所		検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
一級建築士 第277813号 渡邊寿之				治道認定こども園耐震改修工事	2024.2	
				図面名称	縮尺	A-09
				仕上表-2	- A3	

●内部仕上表

※改修範囲は図示による

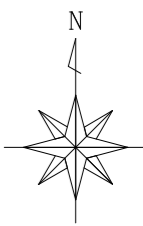
棟	室名	区域分類	改修対象		居室	床	FL	巾木	H	壁	CH	下地	天井	回縁
			床	壁 天井										
					上段：現況／下段：計画			上段：現況／下段：計画			上段：現況／下段：計画			
003棟 S49年築	職員室		● ●		居室	ブナFB ポリウレタン樹脂3回ヌリ ／下地調整の上、複層フローリングt12直貼	±0	ラワン VP	100	VPヌリ（シナベニヤt6mm ソコメ貼下地） ／PB t12.5 AEP塗装	2500		化粧PB t9mm貼 ／現況のまま	
	倉庫	(職員室横)	●	-		アートフロアEP型（防水モルタル コテ押工下地） ／現況のまま	±0	ラワン VP	75	シナベニヤt6mm ソコメ貼 VP ／PB t12.5 AEP塗装	2500		化粧PB t9mm貼 ／現況のまま	
	職員便所	(職員室横)	● ● ●	-		ポリコンモザイクタイル貼り ／サニタリウム貼t2.0、モルタル 下地	-100			100半磁器タイル貼（Kラス 防水モルタル 下地） ／耐水PB t12.5の上ケイカル板t=5	2400		フレキシブルシート t4mm ソコメ貼VP ／ケイカル板t10底目貼 AEP塗装	
003棟 H23改修	応接室	応接室	● ●		居室	ブナFB ポリウレタン樹脂3回ヌリ ／下地調整の上、複層フローリングt12直貼	±0	ラワン VP	100	VPヌリ（シナベニヤt6mm ソコメ貼下地） ／PB t12.5 AEP塗装	2500		化粧PB t9mm貼 ／現況のまま	
	便所	(休憩室横)	●			長尺塩ビシート貼t-2.5 ／現況のまま	±0	ビニル巾木	75	合板12 ビニルクロス貼り ／合板12 ビニルクロス貼り	2400		化粧石膏ボード貼t9.5 ／現況のまま	
	保育室①	現：1才児	● ●		居室	複合フローリング張t-12 ／フローリング撤去後、下地調整の上、 複層フローリングt12直貼	±0	ビニール製巾 木 ／ビニル巾木	75	合板12 ビニルクロス貼り ／合板12 掲示板クロス貼り	2400	銅製	化粧石膏ボード貼t9.5 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	調理室		●		居室	モルタル下地、無機質系塗床仕上 ／モルタル下地、無機質系塗床仕上	±0	ビニル巾木	75	腰：100角陶器質タイル張り、耐水石膏ボ ード下地t12.5 壁：耐水PB t12.5 AEP塗装 ／腰：100角陶器質タイル張り、耐水石膏 ボード下地t12.5 ／壁：耐水PB t12.5 AEP塗装	2500	銅製	化粧石膏ボード貼t9.5 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	食品庫		●		居室	モルタル下地、無機質系塗床仕上 ／モルタル下地、無機質系塗床仕上	±0	ビニル巾木		PB t12.5 AEP塗装 ／PB t12.5 AEP塗装	2500	銅製	ケイカル板t5底目貼 AEP塗 装 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	検収室		●		居室	モルタル下地、無機質系塗床仕上 ／モルタル下地、無機質系塗床仕上	±0	ビニル巾木		PB t12.5 AEP塗装 ／PB t12.5 AEP塗装	2500	銅製	ケイカル板t5底目貼 AEP塗 装 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	更衣・休憩室		●	-		合板t12の上スタイロ畳 ／現状のまま	±0	畳寄せ		PB t12.5の上ビニルクロス貼（LGS下地） ／PB t12.5の上ビニルクロス貼（LGS下地）	2300	銅製	ケイカル板t5底目貼 AEP塗 装 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	便所		●	-		合板t12の上CFシートt1.8 ／現状のまま	±0	ビニル巾木		PB t12.5の上ビニルクロス貼（LGS下地） ／PB t12.5の上ビニルクロス貼（LGS下地）	2300	銅製	ケイカル板t5底目貼 AEP塗 装 ／現況のまま	塩ビ製コ型
	押入		●	-	ラワン合板t5.5 ／現状のまま	±0	雑巾摺		ラワン合板t5.5 ／ラワン合板t5.5	2300	木製	ラワン合板t4.0 ／現状のまま	木製ヒモ打 ち	

株式会社都市・計画・設計研究所		検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
一級建築士 第277813号 渡邊寿之				治道認定こども園耐震改修工事	2024.2	
				図面名称	縮尺	A-10
				仕上表-3	- A3	

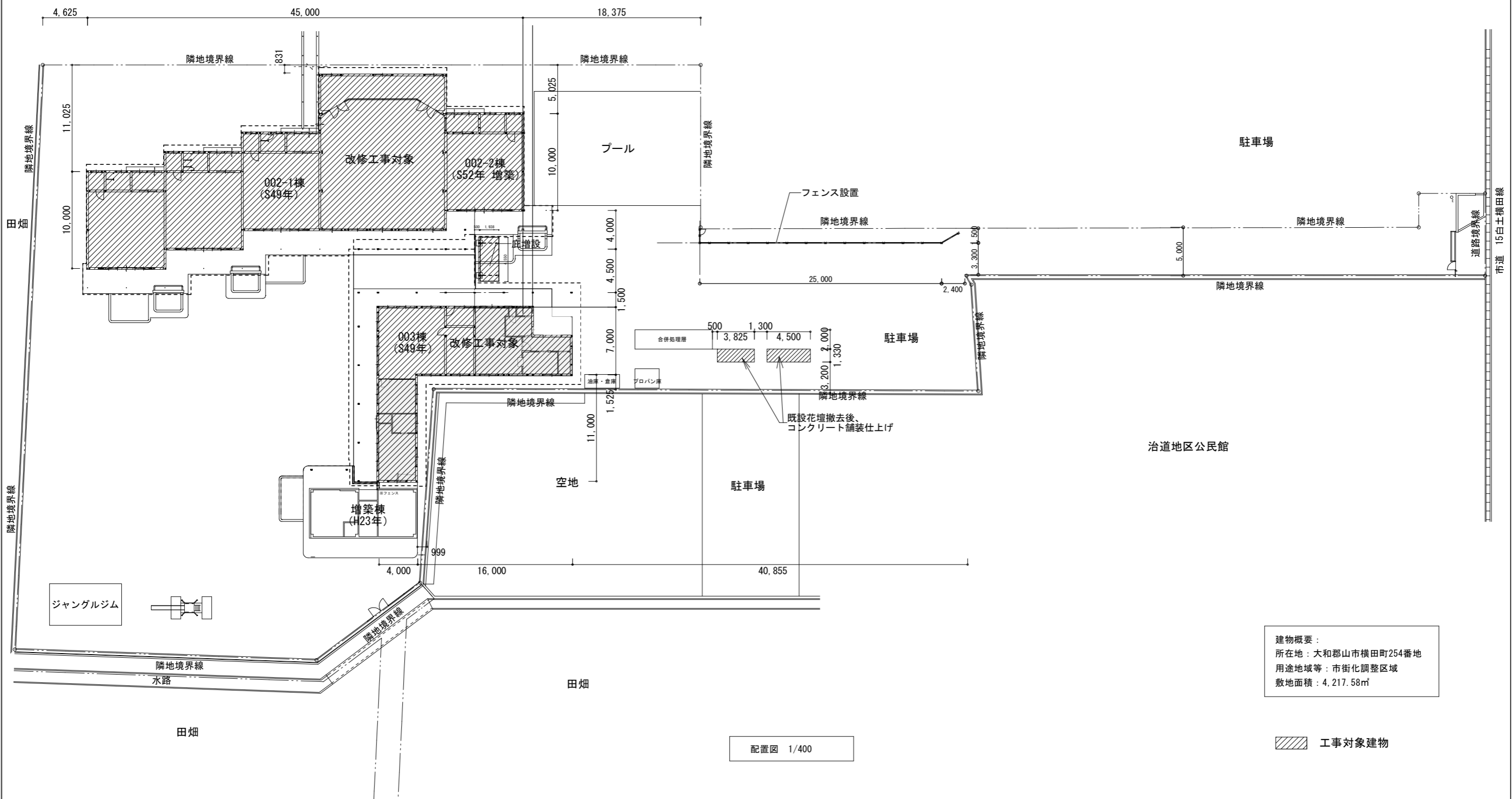


工事場所：治道認定こども園（大和郡山市横手町地内）

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-11
			図面名称 付近見取図	縮尺 1 : 5000 A3	



治道小学校

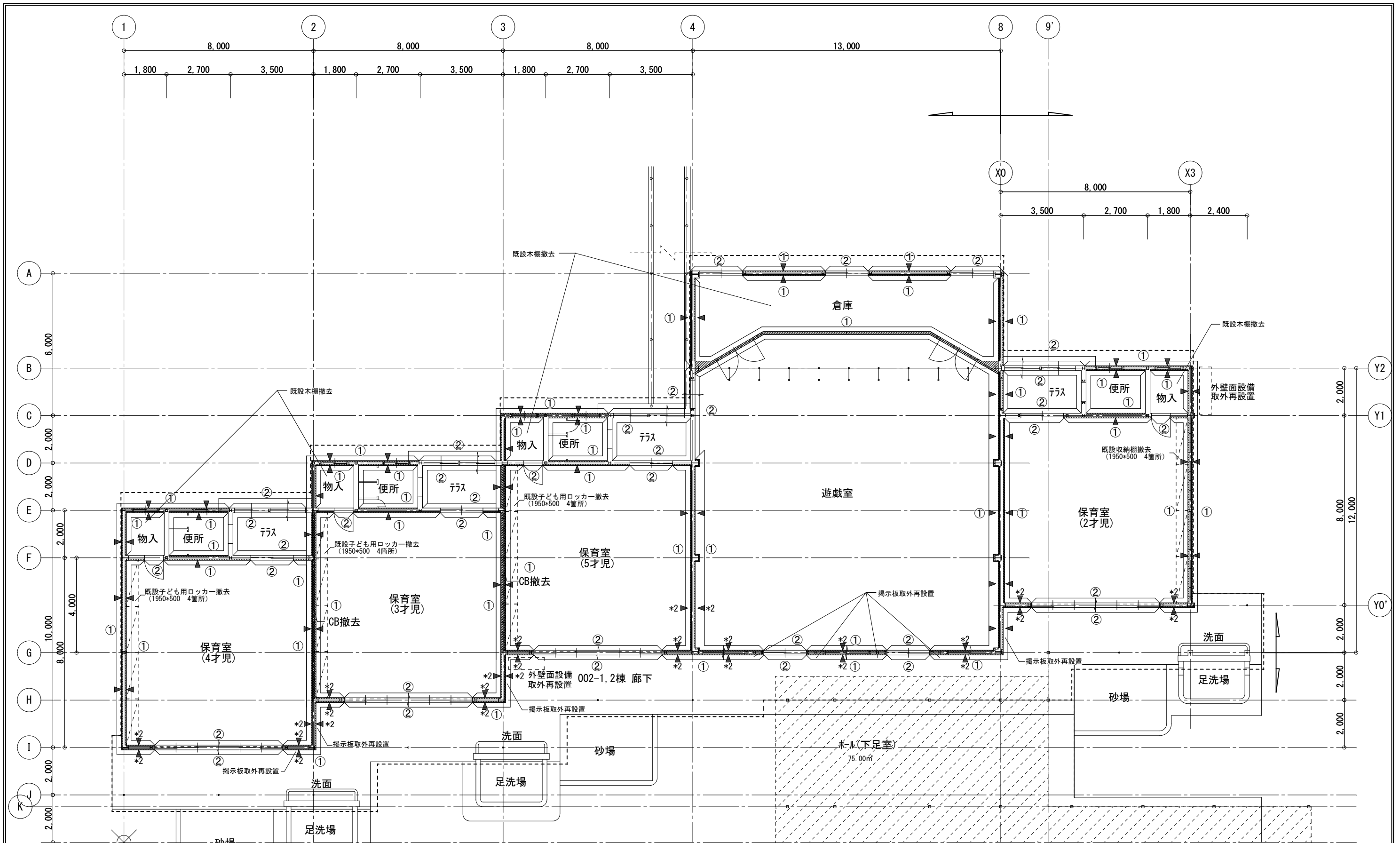


建物概要：
 所在地：大和郡山市横田町254番地
 用途地域等：市街化調整区域
 敷地面積：4,217.58㎡

工事対象建物

配置図 1/400

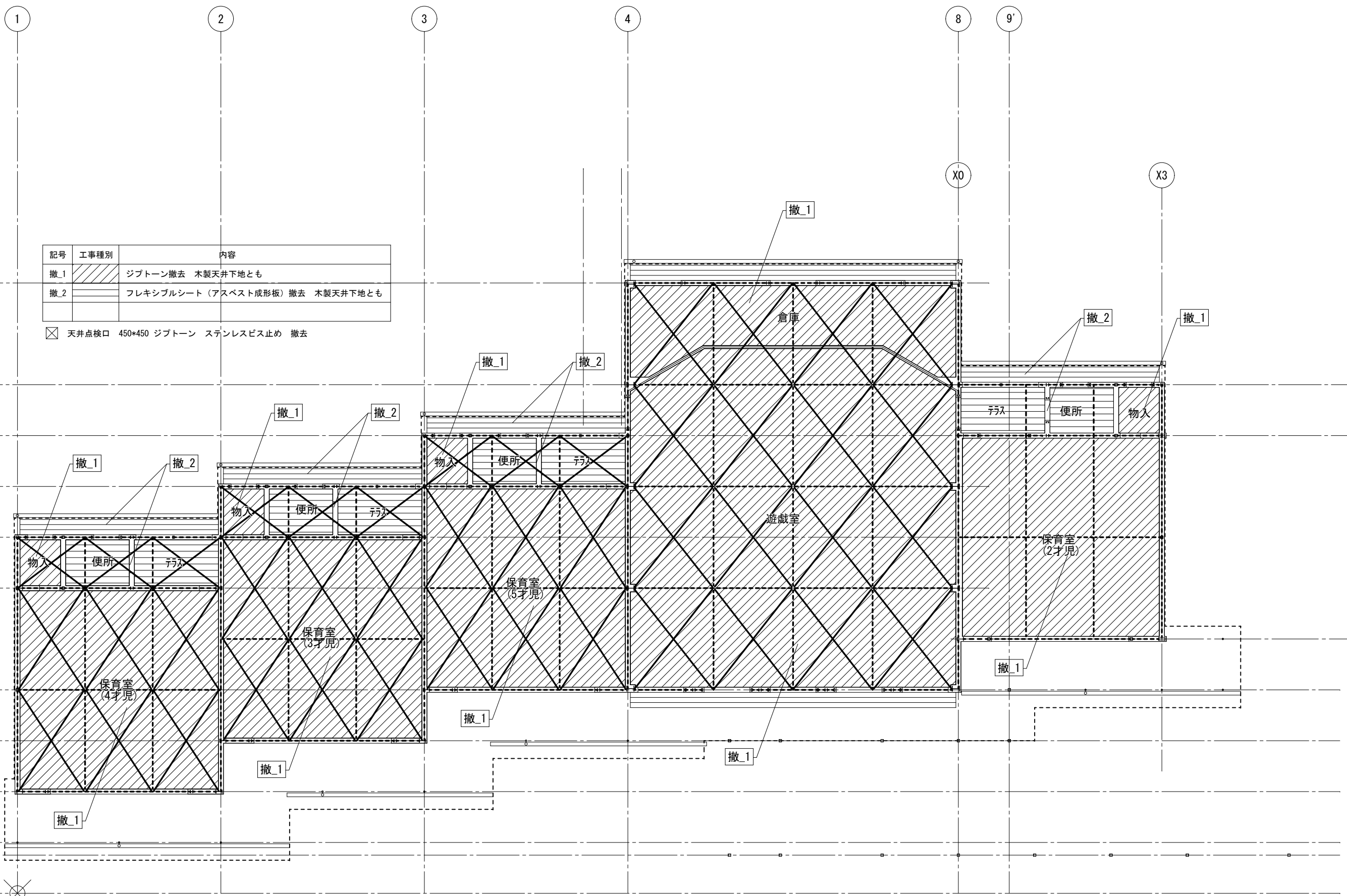
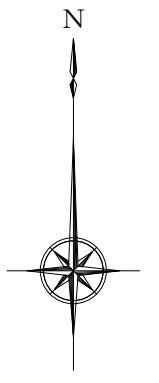
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-12
			図面名称 配置図	縮尺 1:400 A3	



- ▼ 工事解体面
- ▼ 2段工事解体面
- ① 壁下地・仕上撤去
- ② 仕上撤去

002棟工事範囲対象外を示す

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-13
	[撤去] 002-1,2棟 平面図			縮尺 1:150 A3	

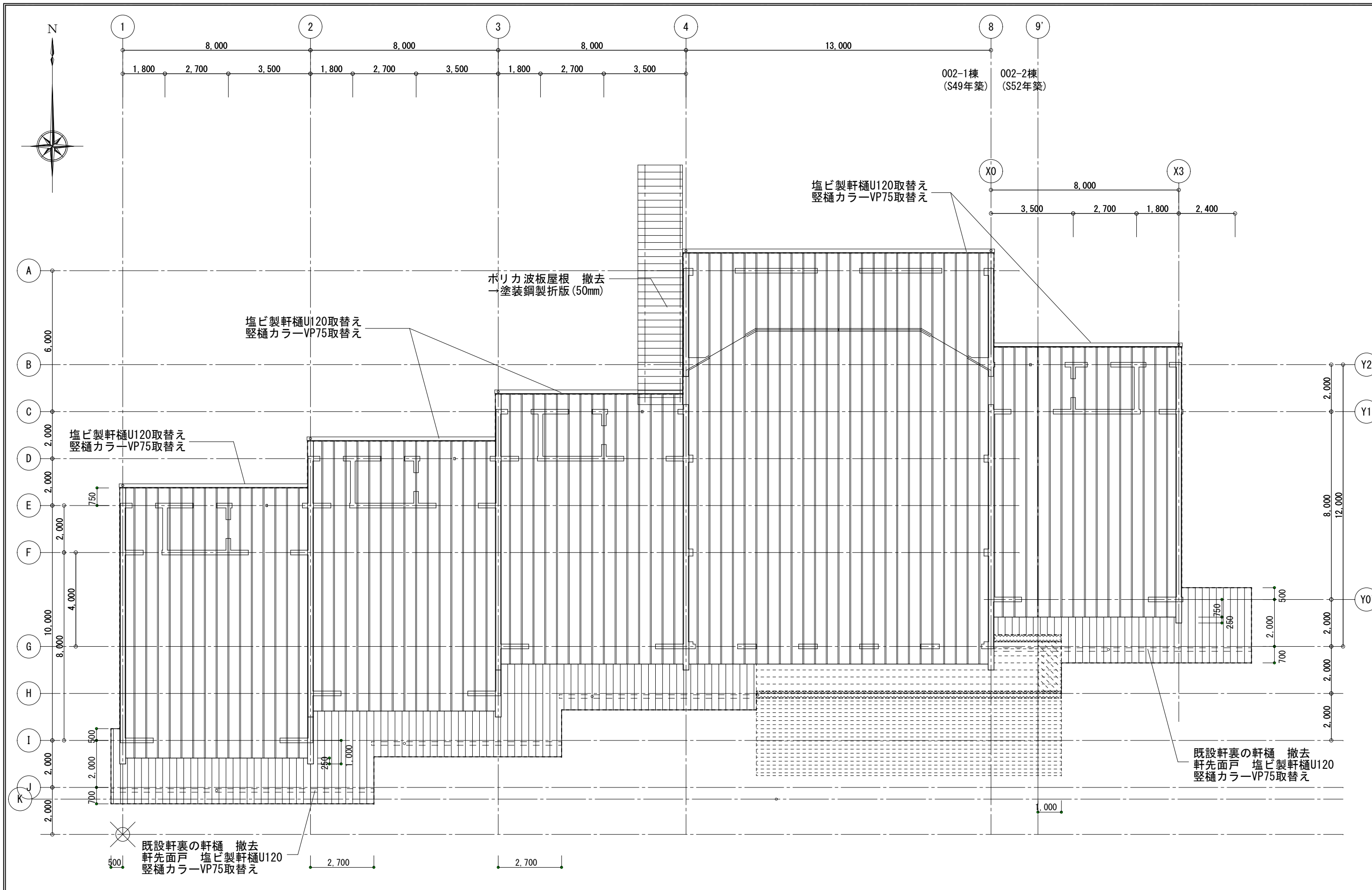


記号	工事種別	内容
撤_1		ジブトーン撤去 木製天井下地とも
撤_2		フレキシブルシート (アスベスト成形板) 撤去 木製天井下地とも

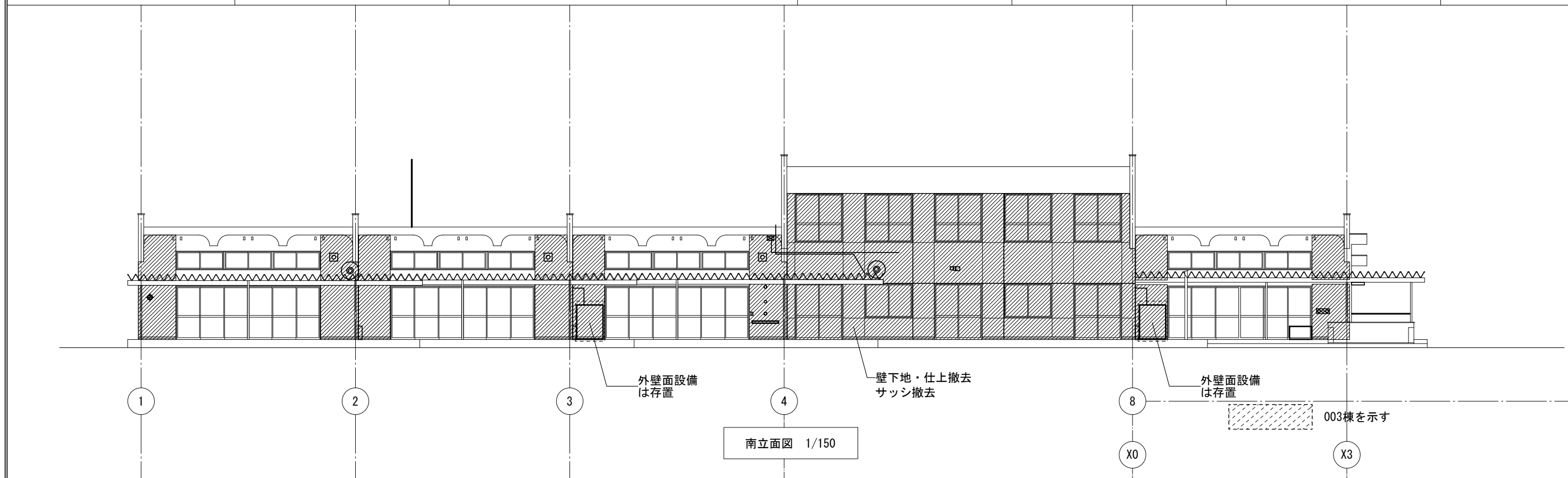
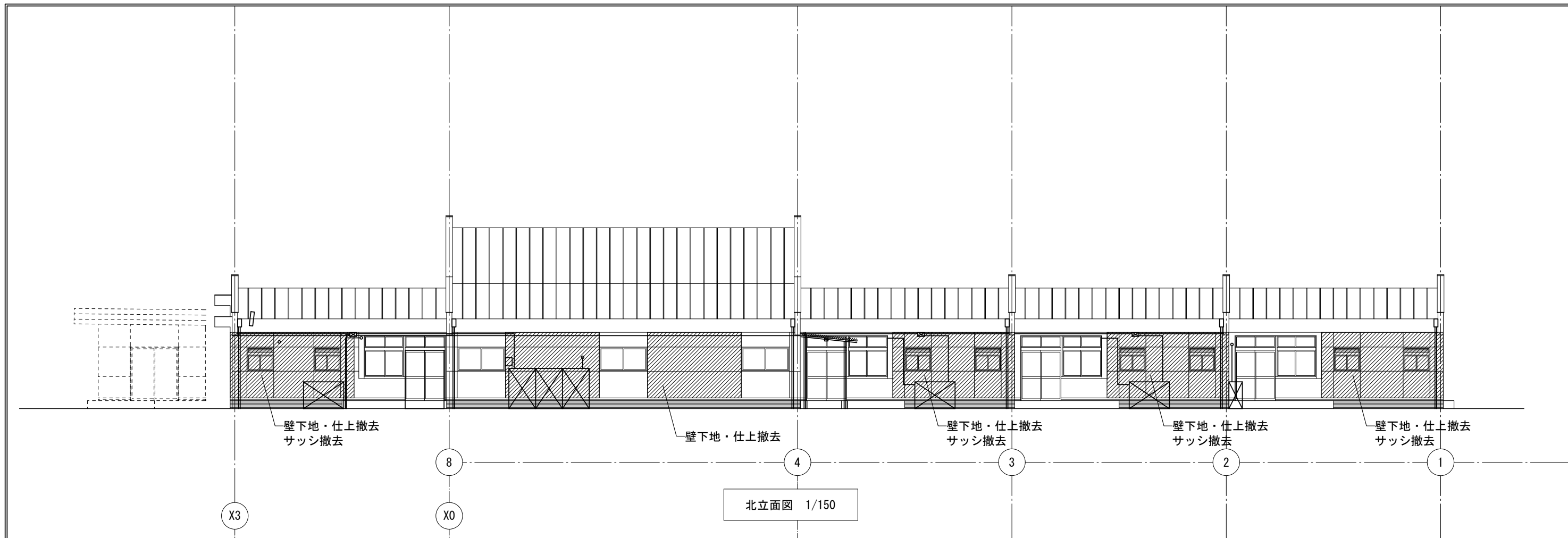
天井点検口 450*450 ジブトーン ステンレスビス止め 撤去

—— 天井耐震補強ブレース設置位置
 - - - - 梁の位置

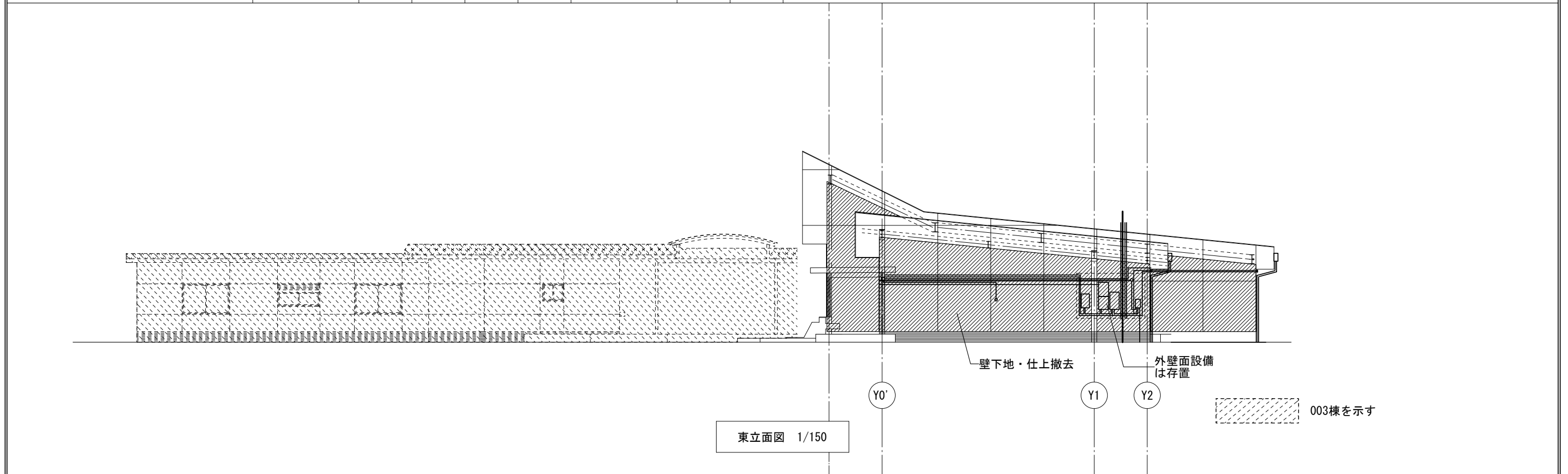
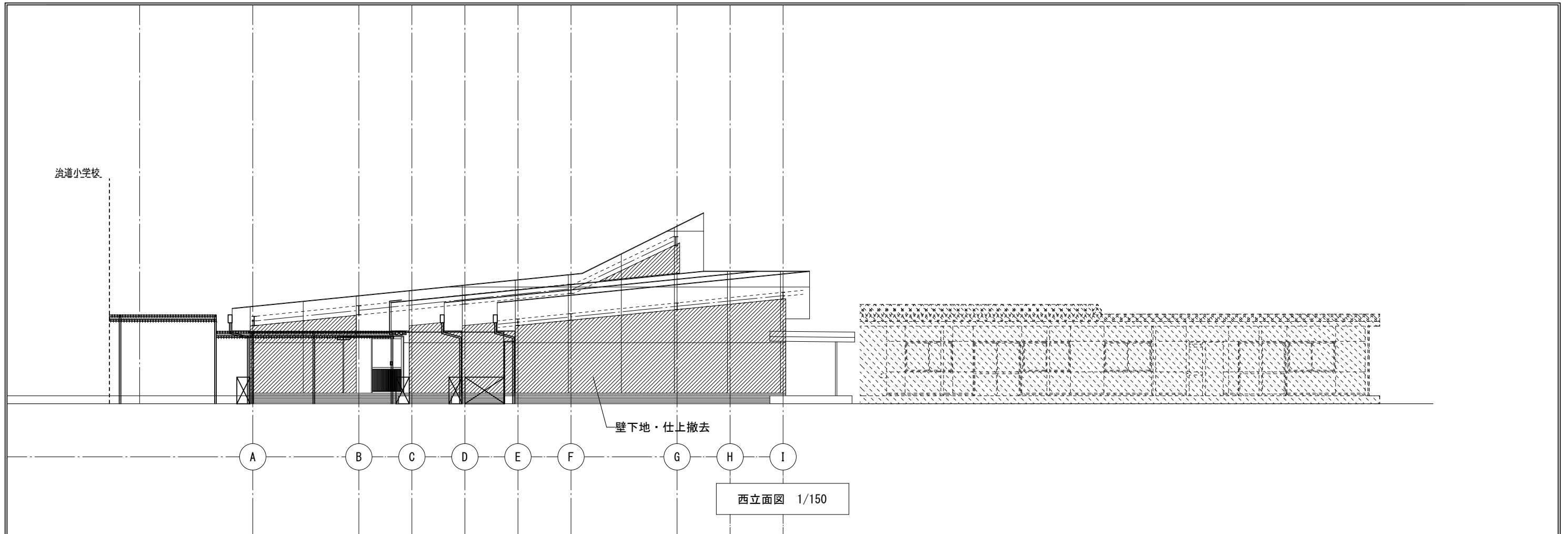
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-14
	図面名称 [撤去] 002-1・2棟 天井伏図			縮尺 1 : 150 A3	



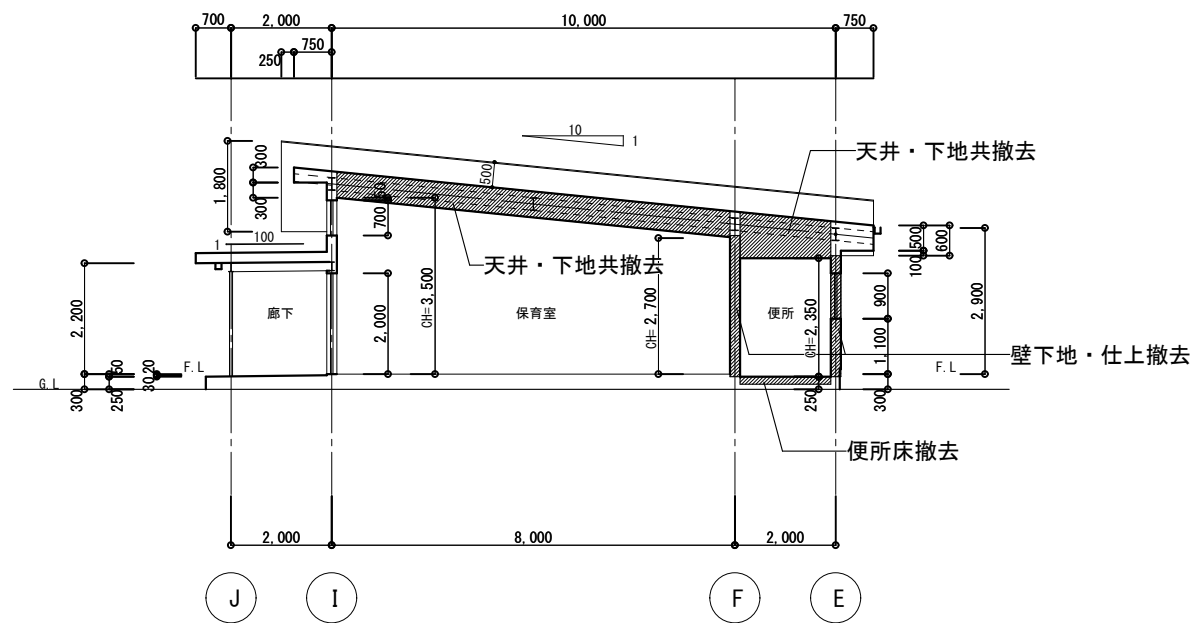
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-15
	図面名称 [撤去] 002-1・2棟 屋根伏図			縮尺 1 : 150 A3	



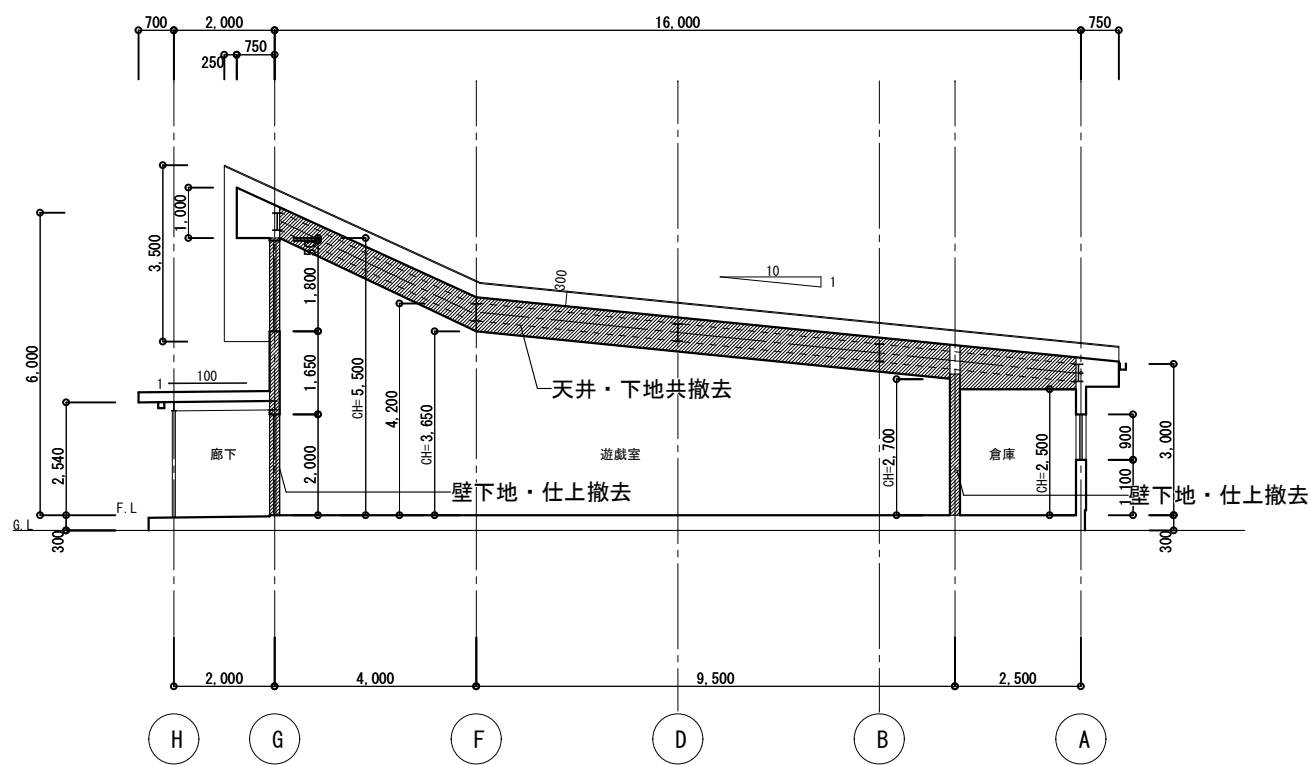
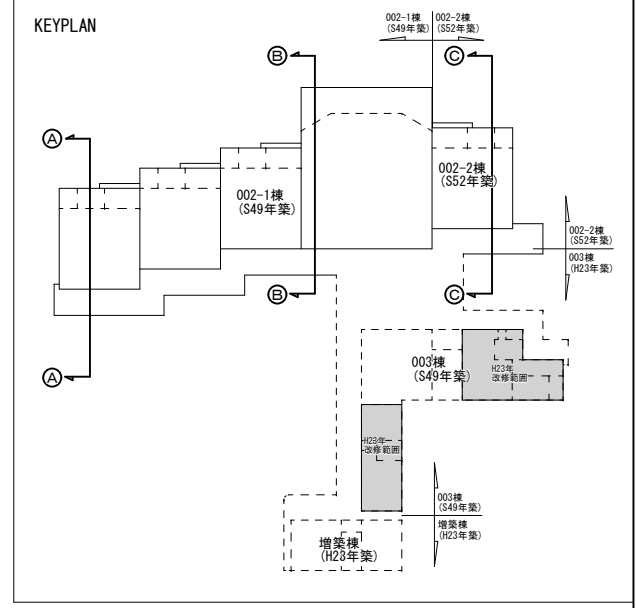
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-16
	図面名称 [撤去] 002-1・2棟 立面図 (1)			縮尺 1 : 150 A3	



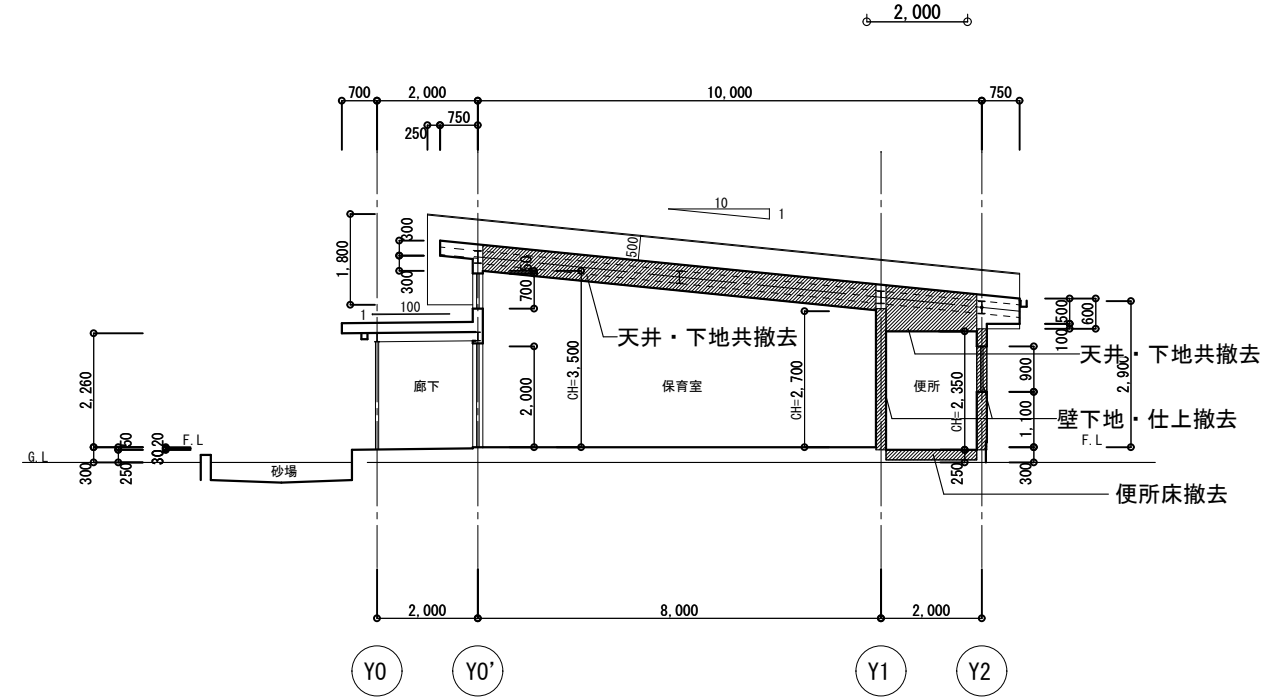
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-17
	図面名称 [撤去] 002-1・2棟 立面図 (2)			縮尺 1 : 150 A3	



A-A 断面図 1/150

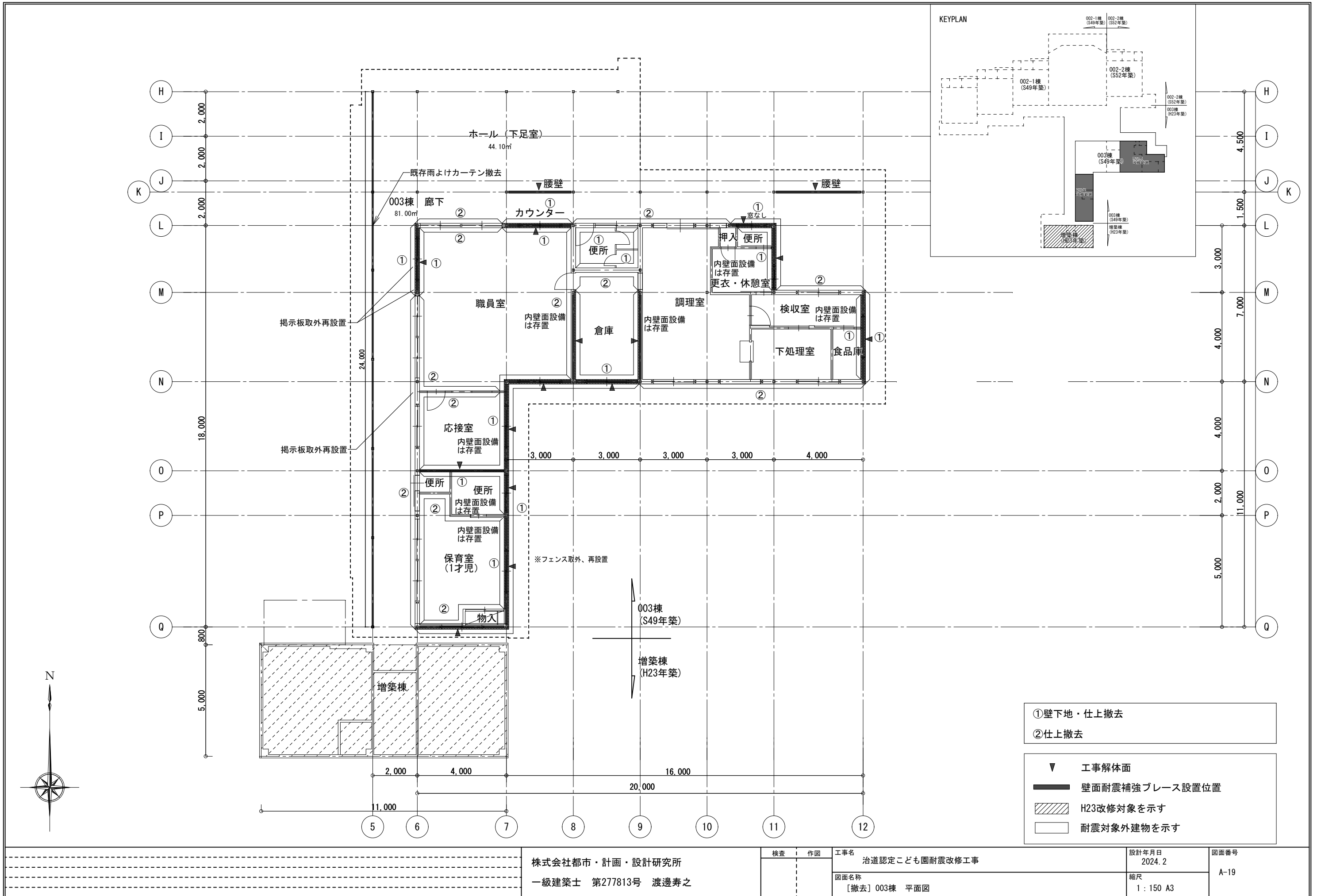


B-B 断面図 1/150



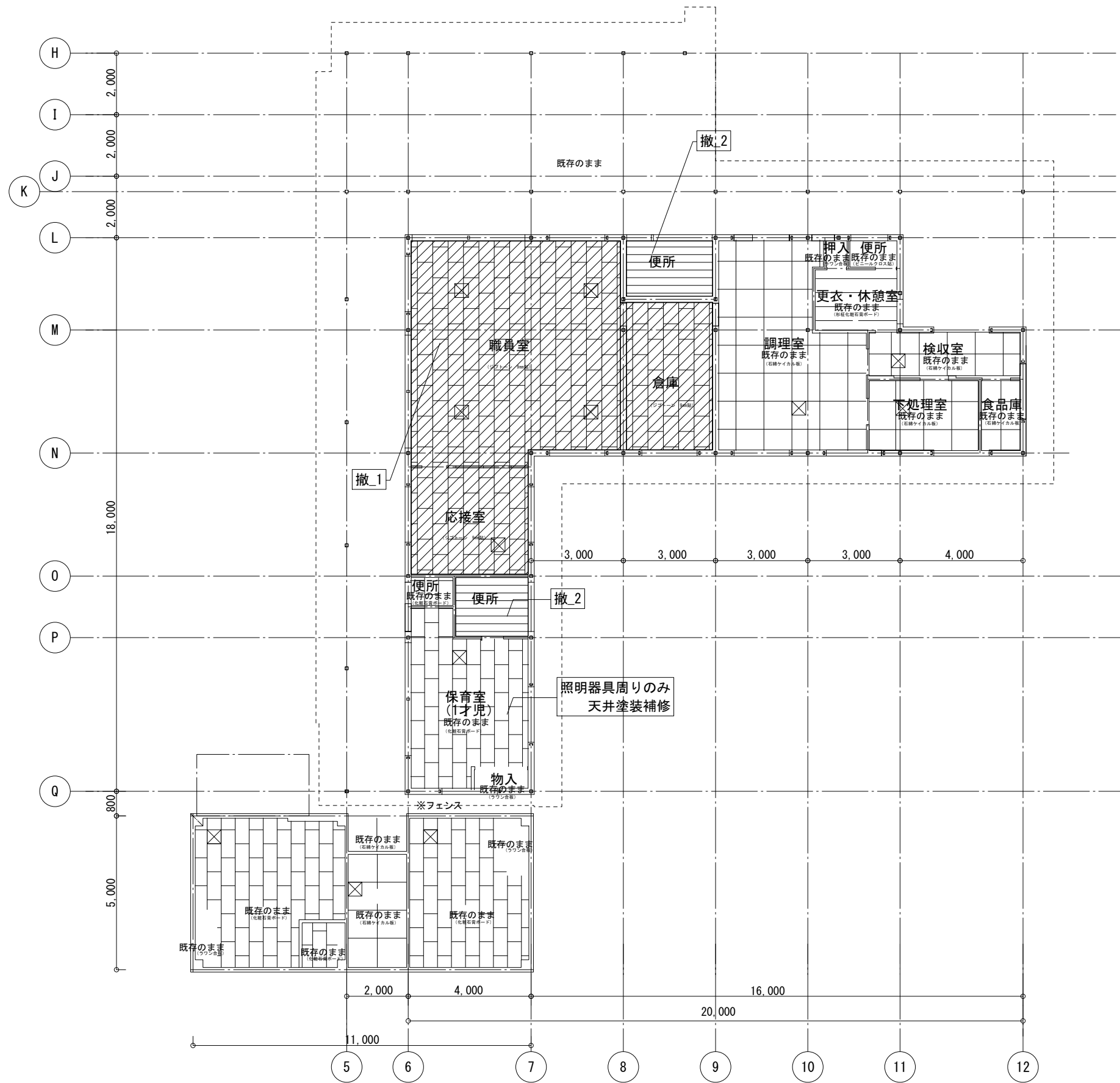
C-C 断面図 1/150

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-18
			図面名称 [撤去] 002-1・2棟 断面図	縮尺 1 : 150 A3	

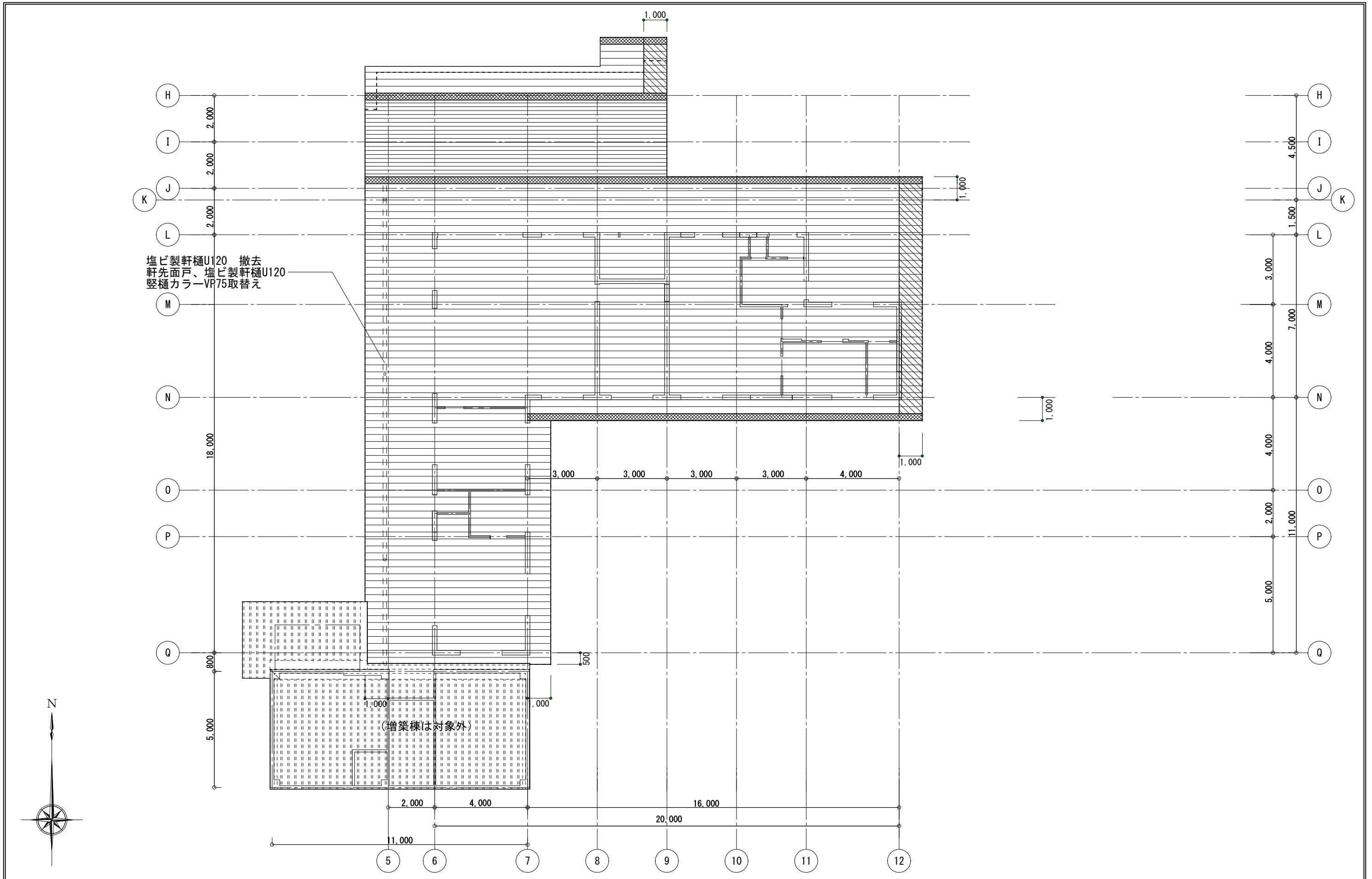


- ① 壁下地・仕上撤去
- ② 仕上撤去
- ▼ 工事解体面
- 壁面耐震補強プレース設置位置
- ▨ H23改修対象を示す
- 耐震対象外建物を示す

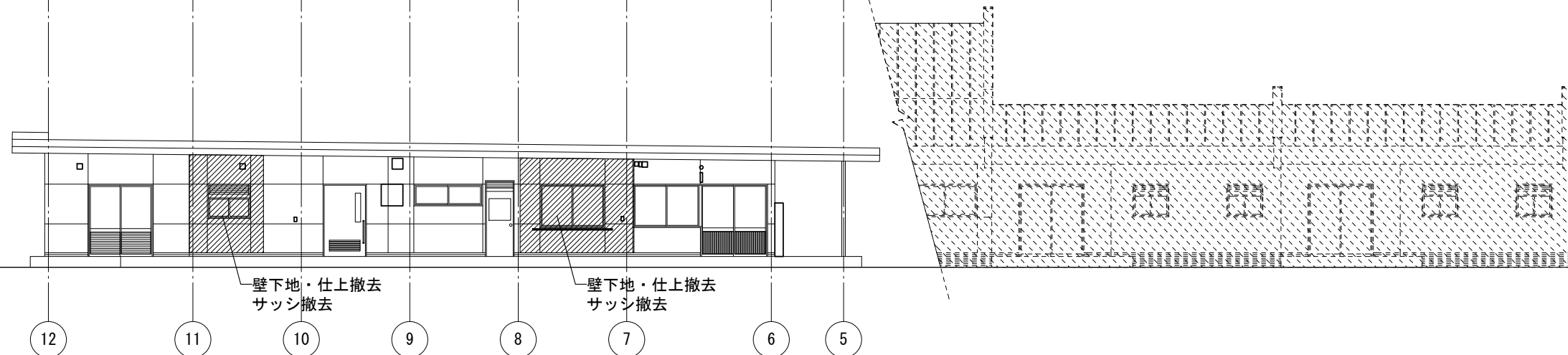
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-19
			図面名称 [撤去] 003棟 平面図	縮尺 1 : 150 A3	



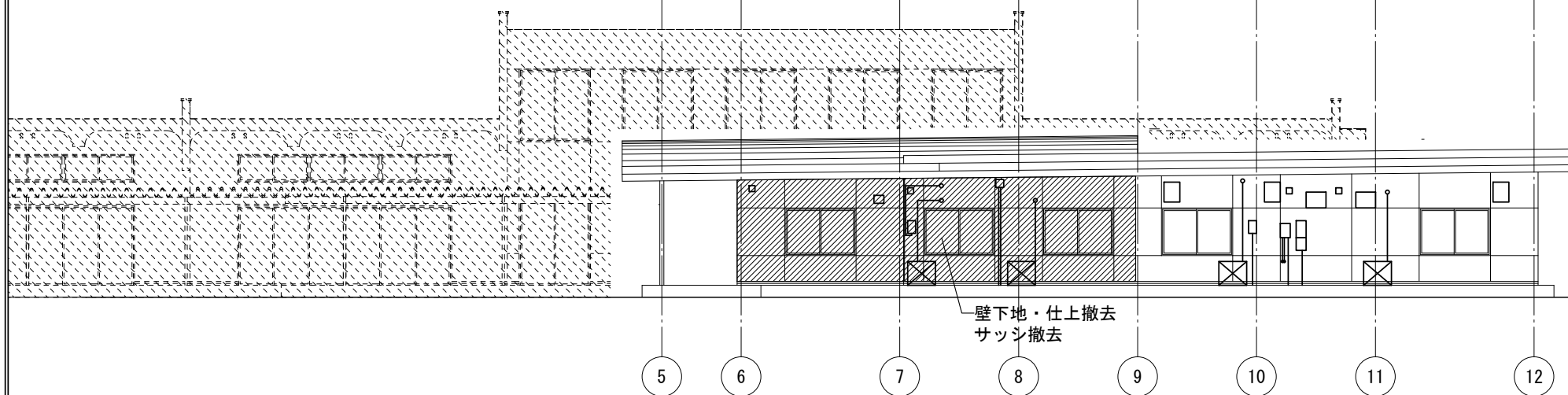
記号	工事種別	内容
撤_1		ジブトーン撤去 木製天井下地とも
撤_2		フレキシブルシート (アスベスト成形板) 撤去 木製天井下地とも




株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-21
	図面名称 [撤去] 003棟 屋根伏図			縮尺 1 : 150 A3	



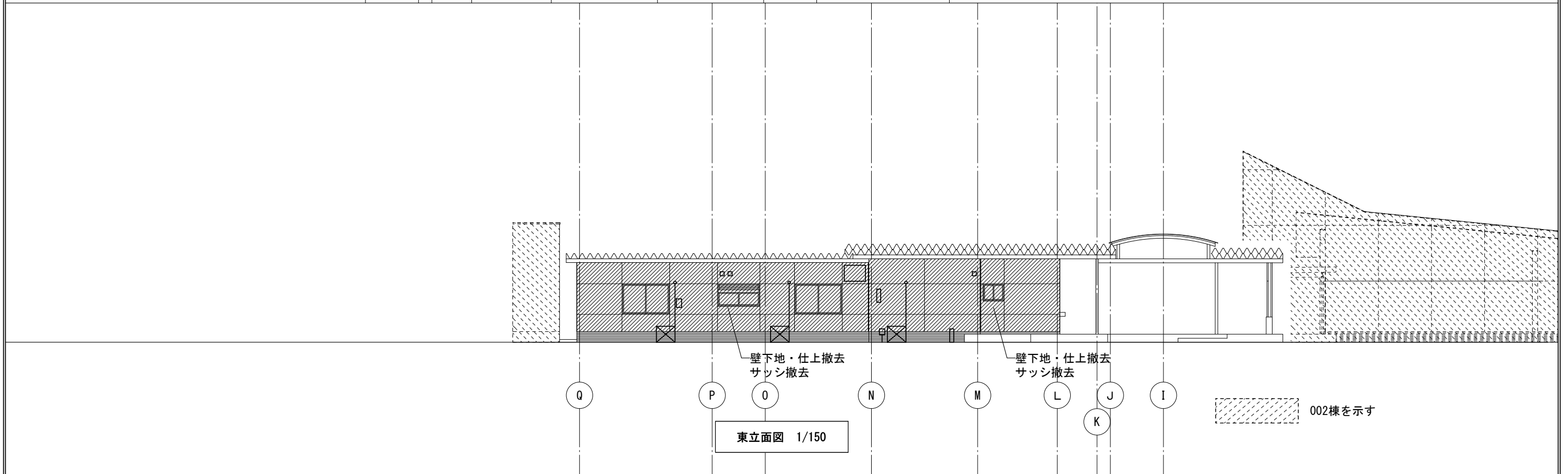
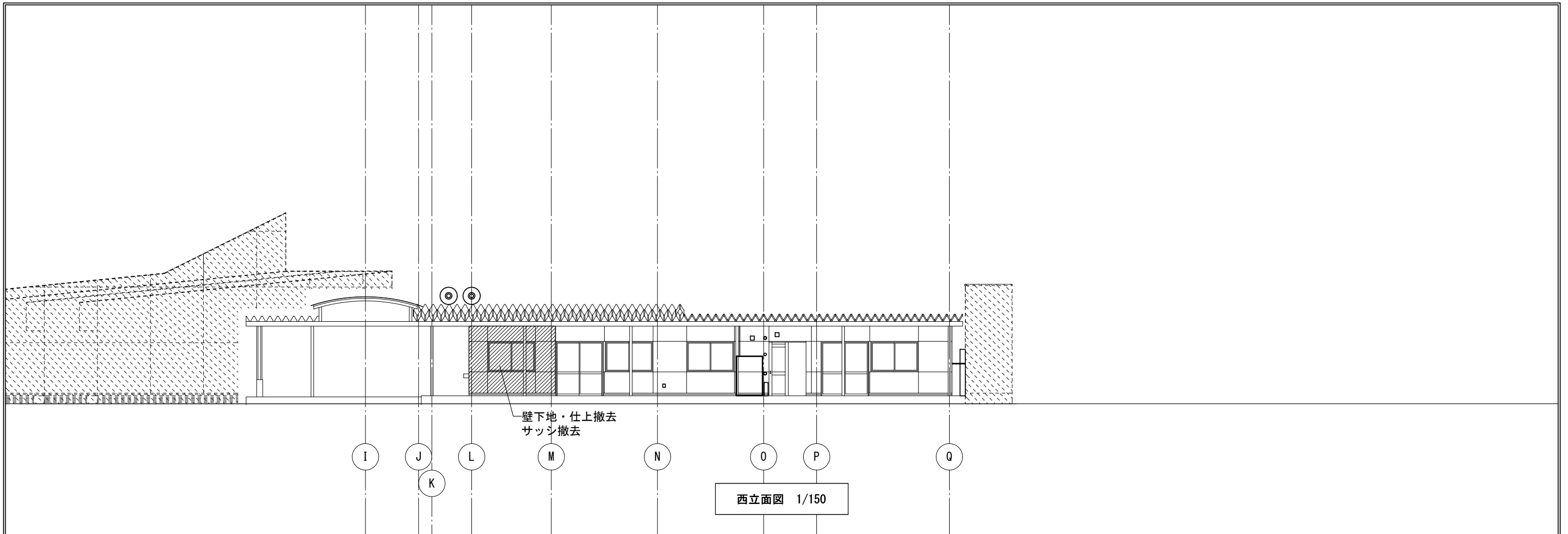
北立面図 1/150



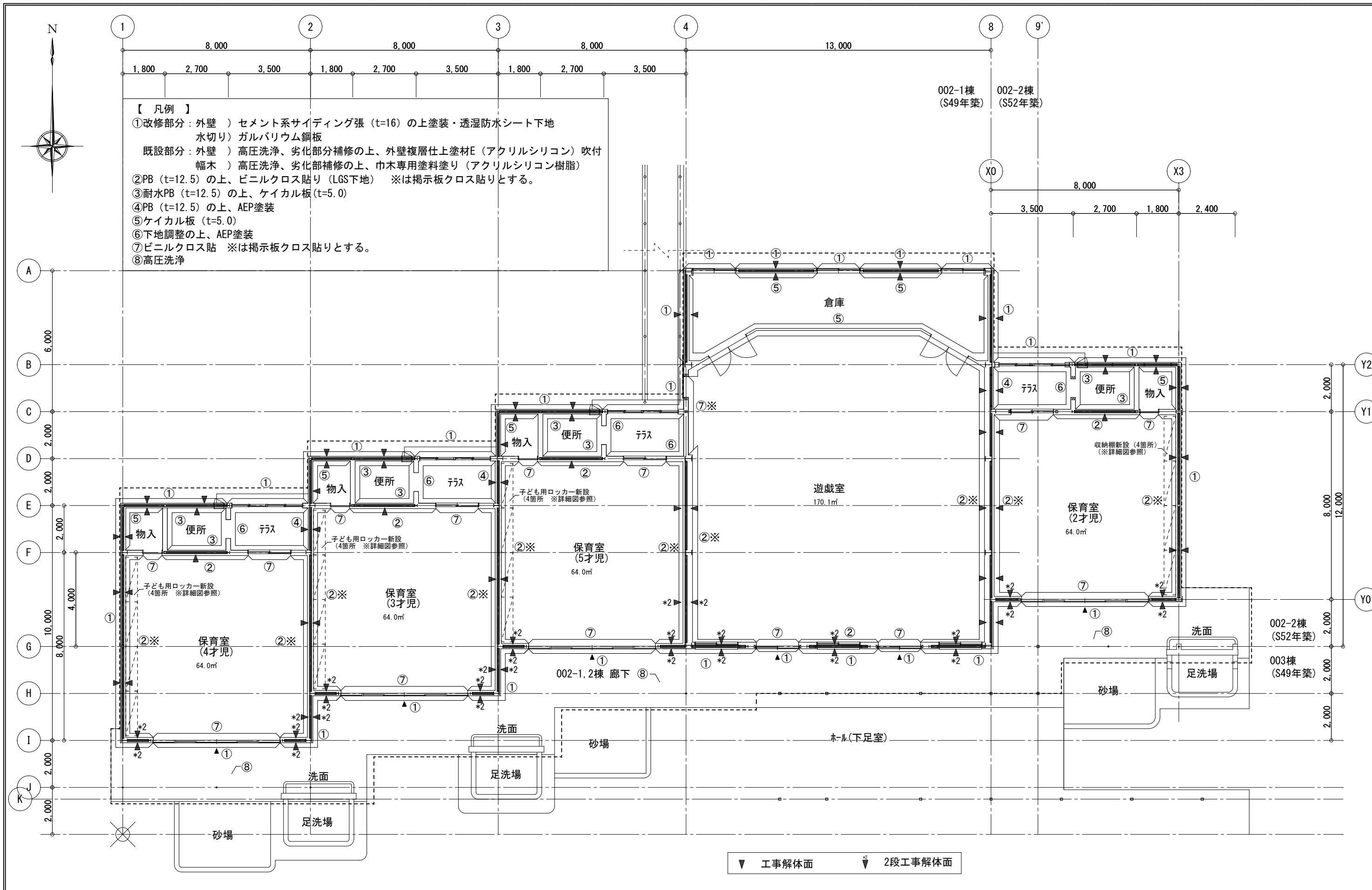
南立面図 1/150

 002棟を示す

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-22
	図面名称 [撤去] 003棟 立面図 (1)			縮尺 1 : 150 A3	

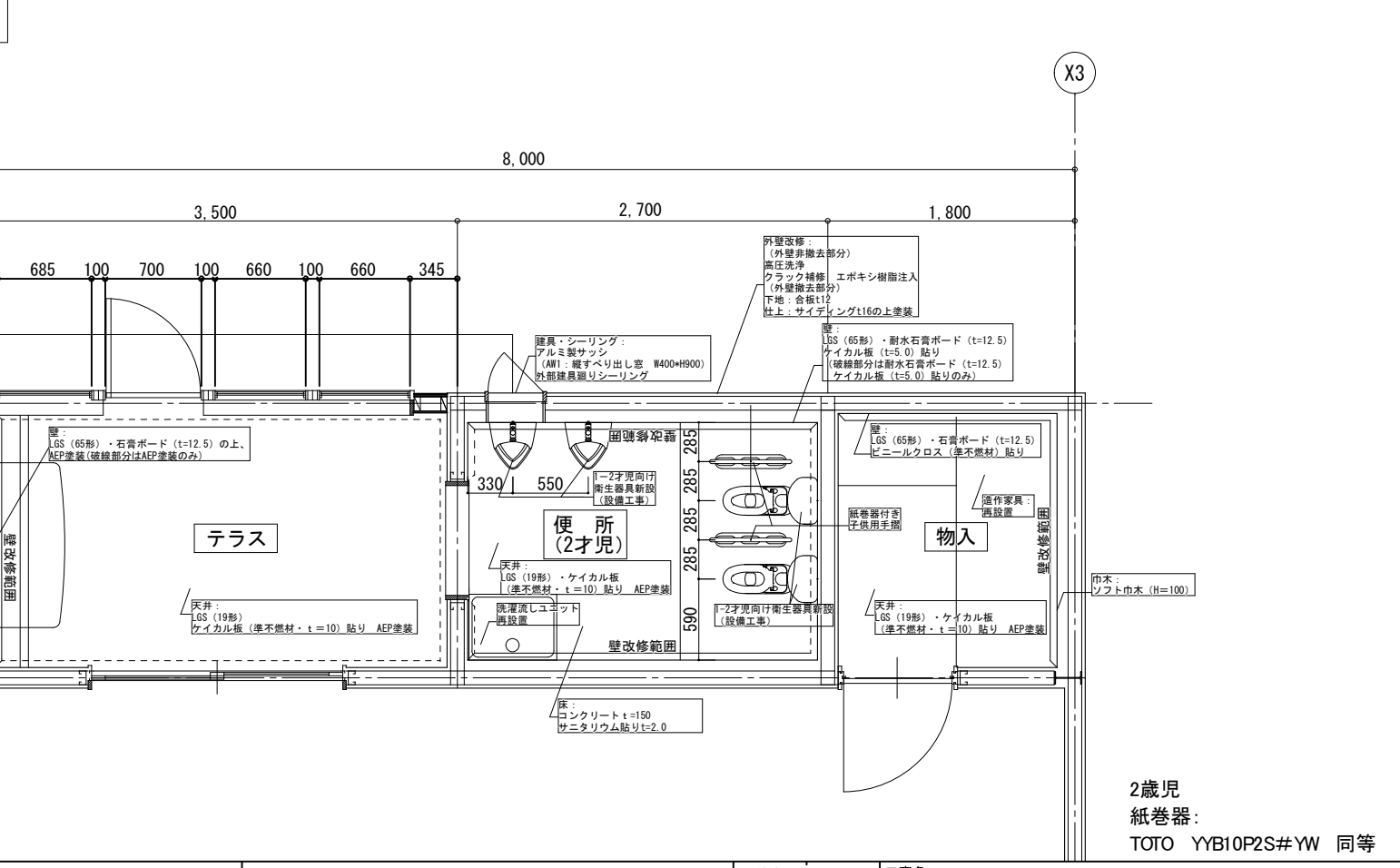
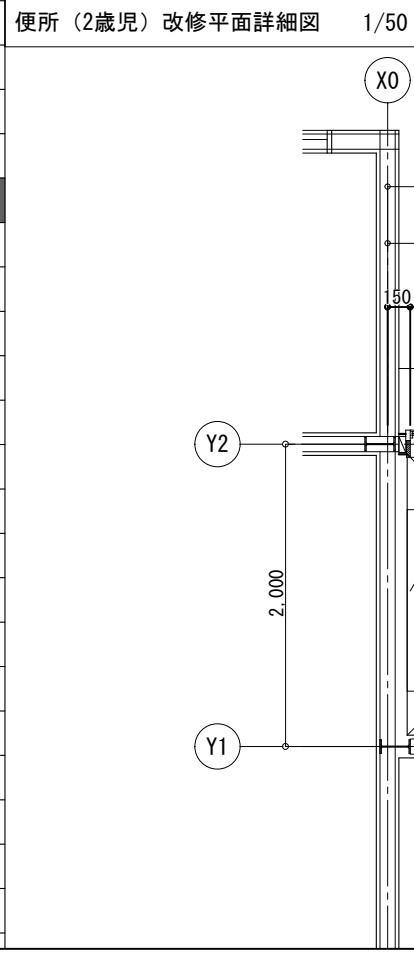
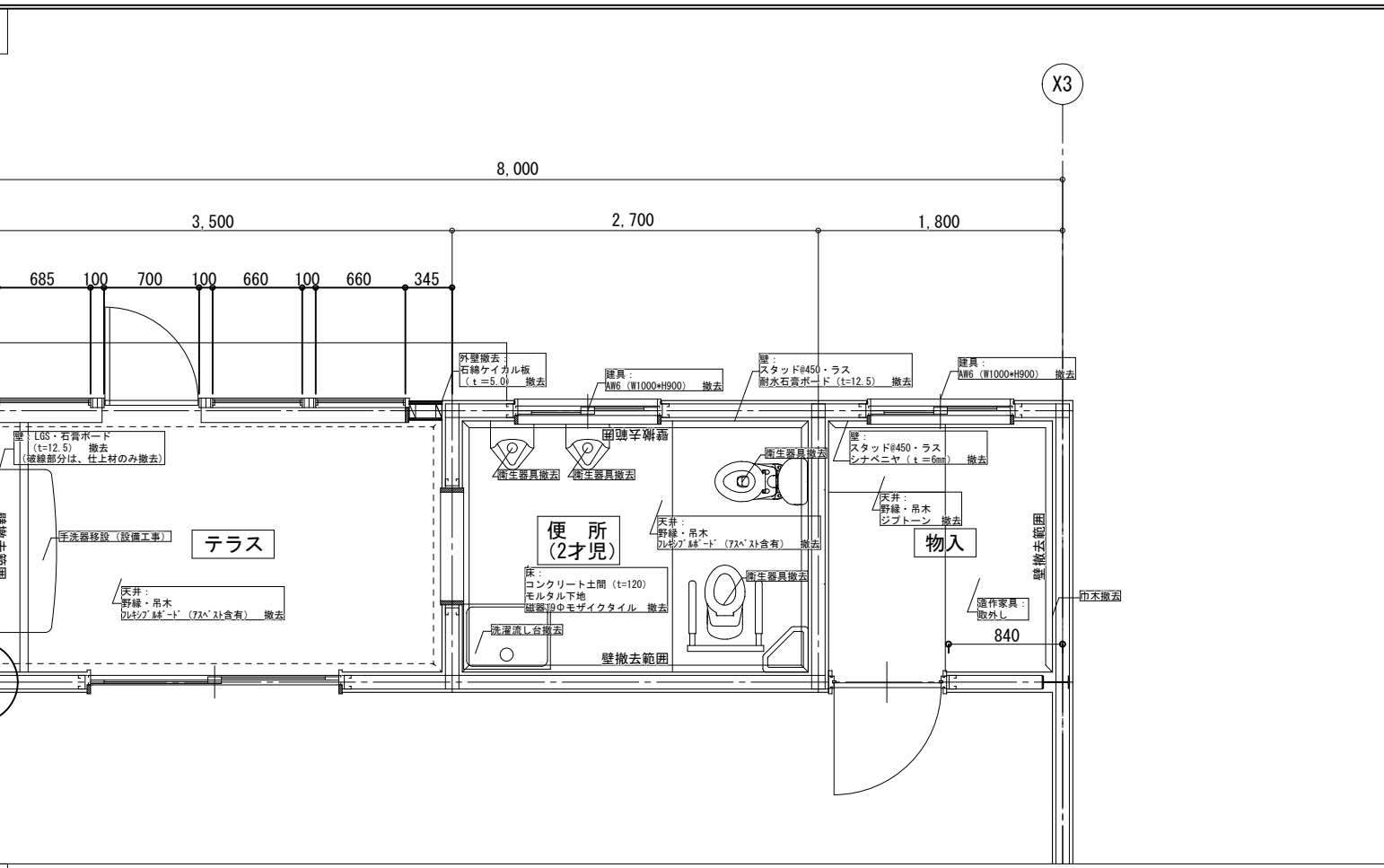
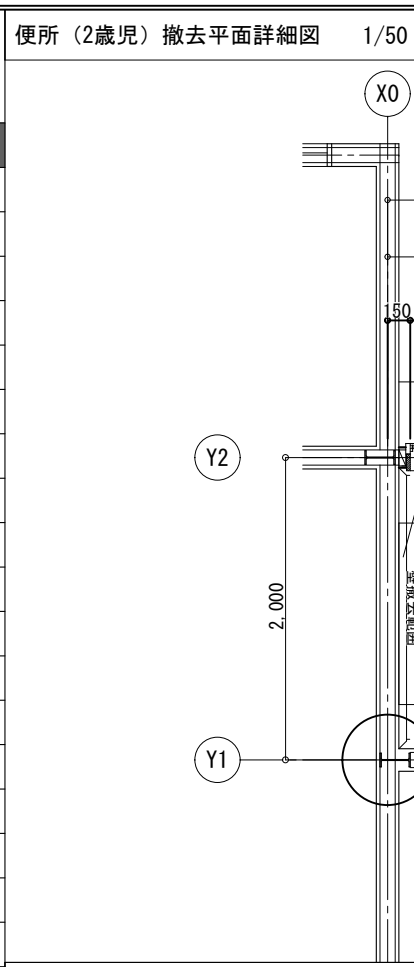


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-23
	図面名称 [撤去] 003棟 立面図 (2)			縮尺 1 : 150 A3	



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定子ども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-24
			図面名称 [改修] 002-1・2棟 平面図	縮尺 1:150 A3	

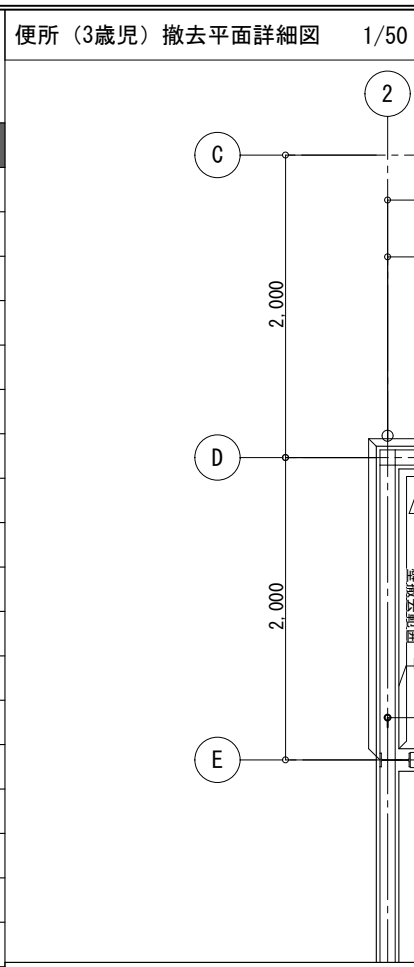
改修内容	
【 便所 (2歳児) 】	
・床 :	
既存 :	コンクリート (t=120) ・モルタル下地
	磁器19Φモザイクタイル 撤去
改修 :	コンクリート (t=150) の上、 サニタリウム貼t=2.0 新設
・壁 :	
既存 :	スタッド@450・ラス
	耐水石膏ボード (t=12.5) 撤去
改修 :	LGS (65形) ・耐水石膏ボード (t=12.5) の上、ケイカル板 (t=5.0) 新設
・天井 :	
既存 :	野淵・吊金物
	フキジブ 床'ト' (7ス'スト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材・t=10) 貼り AEP塗装 新設
・衛生器具 :	
既存 :	大便器 (2) ・小便器 (2)
	洗濯流し台 撤去



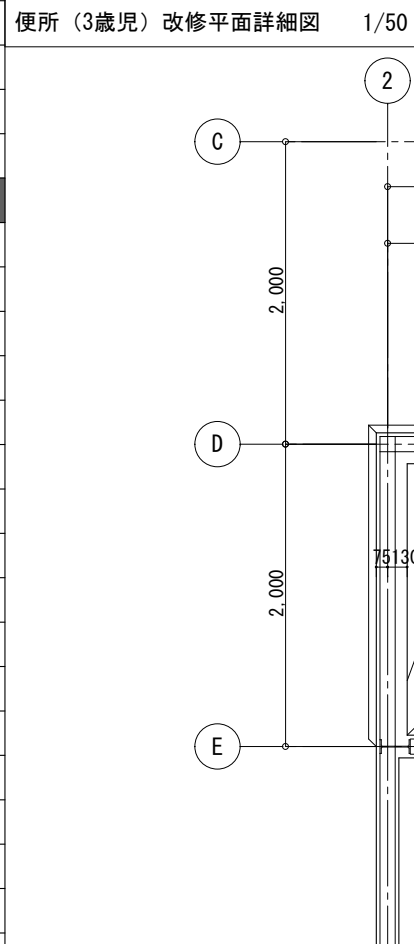
改修内容	
【 テラス 】	
・壁 :	
既存 :	LGS ・石膏ボード (t=12.5) 撤去
改修 :	LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上、EP塗装 新設
・天井 :	
既存 :	野淵・吊金物
	フキジブ 床'ト' (7ス'スト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材・t=10) 貼り AEP塗装 新設

・床 :	
既存 :	スタッド@450・ラス
	シナベニヤ (t=6.0) 撤去
改修 :	LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上 ビニルクロス 新設
・天井 :	
既存 :	野淵・吊金物
	フキジブ 床'ト' (7ス'スト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材・t=10) 貼り AEP塗装 新設
・巾木 :	
既存 :	木製巾木 (ラワン) 撤去
改修 :	ソフト巾木 (w=100) 新設
・造作家具 :	
既存 :	取外し 改修 : 再設置

改修内容	
【 便所 (3歳児) 】	
・床 :	
既存 :	コンクリート (t=120) ・モルタル下地
	磁器19Φモザイクタイル 撤去
改修 :	コンクリート (t=150) の上、 サニタリウム貼t=2.0 新設
・壁 :	
既存 :	スタッド@450 ・ラス
	耐水石膏ボード (t=12.5) 撤去
改修 :	LGS (65形) ・耐水石膏ボード (t=12.5) の上、ケイカル板 (t=5.0) 新設
・天井 :	
既存 :	野淵 ・吊金物
	ルキップルボート (7スベスト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設
・衛生器具 :	
既存 :	大便器 (2) ・小便器 (2)
	洗濯流し台 ・パーティション 撤去
改修 :	大便器 (2) ・小便器 (2) 手すり (2) ・紙巻器 (2) 洗濯流し台再設置 ・パーティション 新設

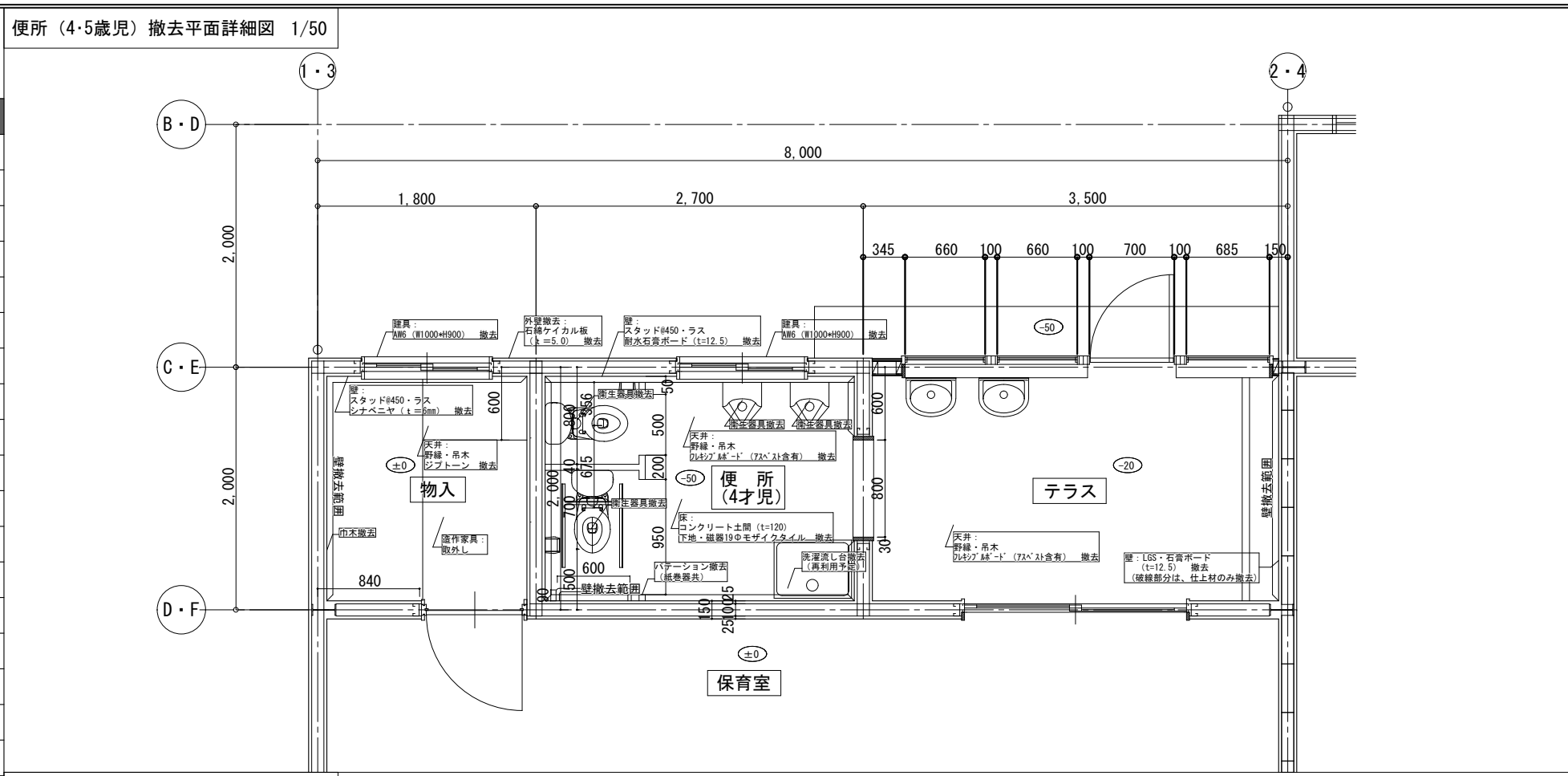


・天井 :	
既存 :	野淵 ・吊金物
	ルキップルボート (7スベスト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設
・巾木 :	
既存 :	木製巾木 (ラワン) 撤去
改修 :	ソフト巾木 (w=100) 新設
・造作家具 :	
既存 :	取外し 改修 : 再設置



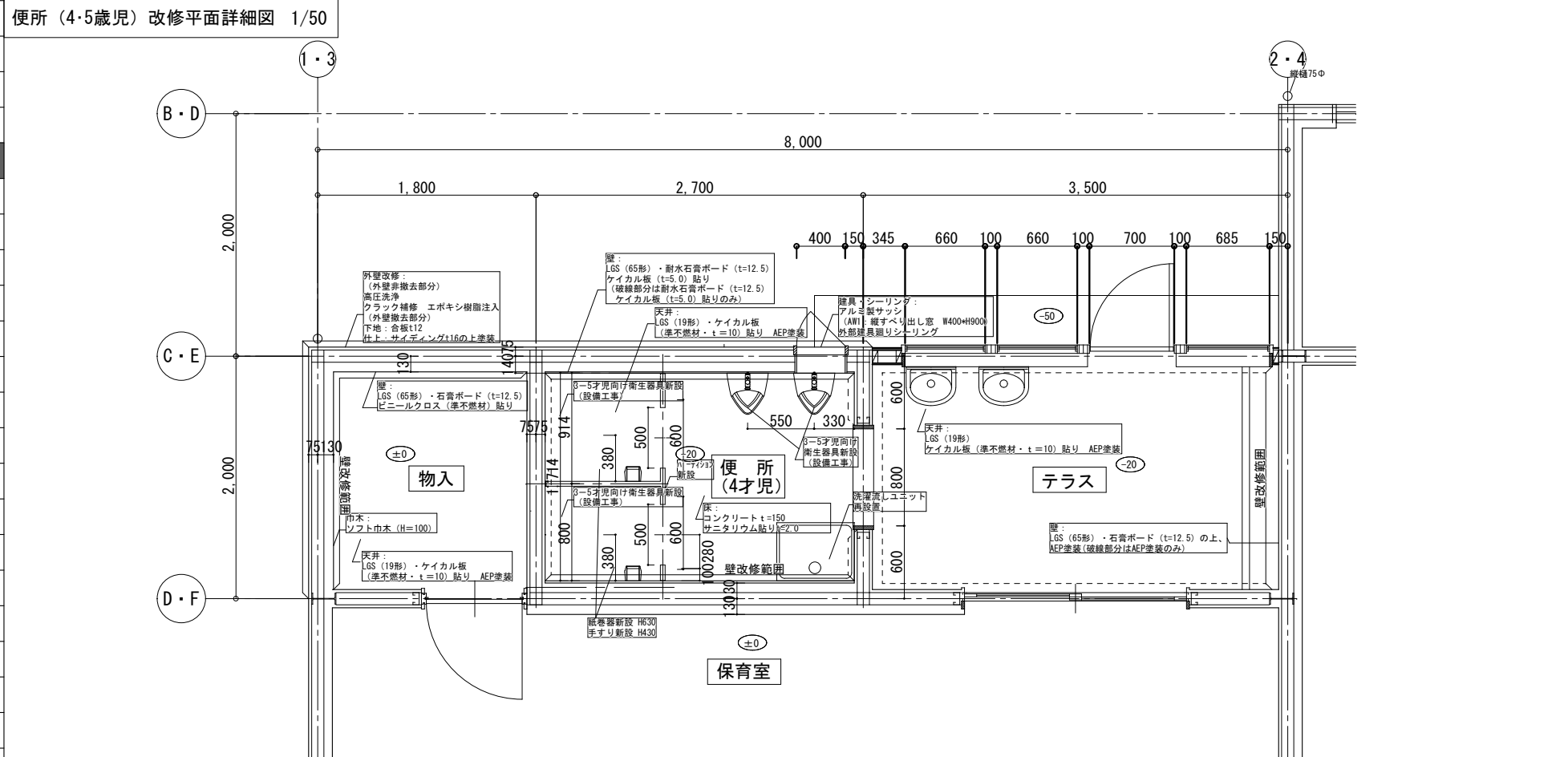
改修内容	
【 テラス 】	
・壁 :	
既存 :	LGS ・石膏ボード (t=12.5) 撤去
改修 :	LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上、EP塗装 新設
・天井 :	
既存 :	野淵 ・吊金物
	ルキップルボート (7スベスト含有) 撤去
改修 :	LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設

改修内容	
【 便所 (4・5歳児) 】	
・床 :	既存 : コンクリート (t=120) ・モルタル下地 磁器19φモザイクタイル 撤去 改修 : コンクリート (t=150) の上、 サニタリウム貼t=2.0 新設
・壁 :	既存 : スタッド@450 ・ラス 耐水石膏ボード (t=12.5) 撤去 改修 : LGS (65形) ・耐水石膏ボード (t=12.5) の上、ケイカル板 (t=5.0) 新設
・天井 :	既存 : 野淵 ・吊金物 ルキップルード (7スベト含有) 撤去 改修 : LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設
・衛生器具 :	既存 : 大便器 (2) ・小便器 (2) 洗濯流し台 ・パーティション 撤去 改修 : 大便器 (2) ・小便器 (2) 手すり (2) ・紙巻器 (2) 洗濯流し台再設置 ・パーティション 新設

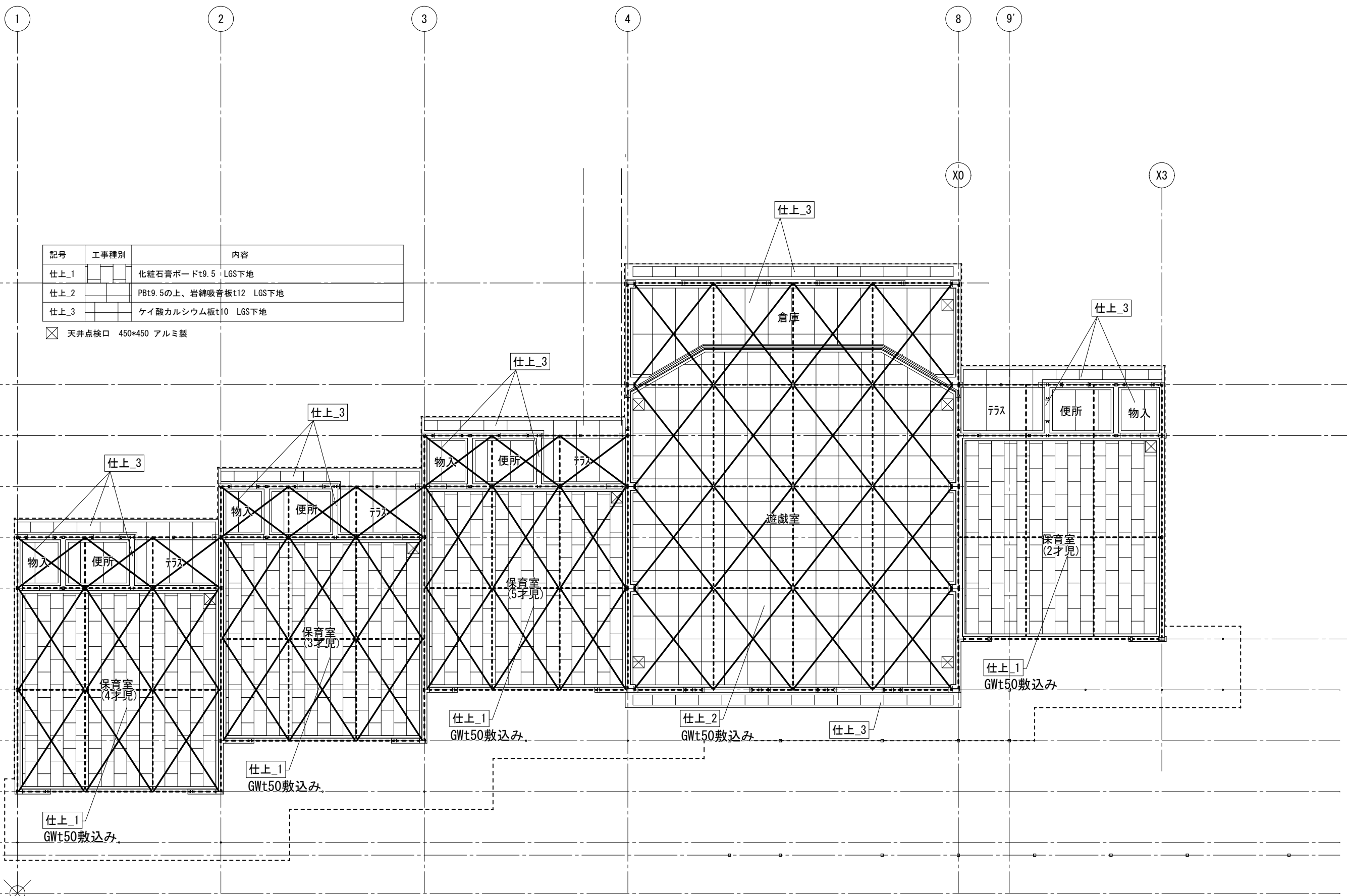
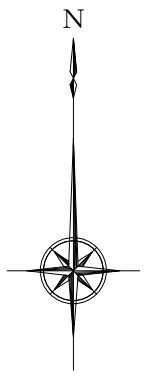


改修内容	
【 テラス 】	
・壁 :	既存 : LGS ・石膏ボード (t=12.5) 撤去 改修 : LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上、EP塗装 新設
・天井 :	既存 : 野淵 ・吊金物 ルキップルード (7スベト含有) 撤去 改修 : LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設

【 物入 】	
・床 :	既存 : スタッド@450 ・ラス シナベニヤ (t=6.0) 撤去 改修 : LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上 ビニルクロス 新設
・天井 :	既存 : 野淵 ・吊金物 ルキップルード (7スベト含有) 撤去 改修 : LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設
・巾木 :	既存 : 木製巾木 (ラワン) 撤去 改修 : ソフト巾木 (w=100) 新設
・造作家具 :	既存 : 取外し 改修 : 再設置



【 物入 】	
・床 :	既存 : スタッド@450 ・ラス シナベニヤ (t=6.0) 撤去 改修 : LGS (65形) ・石膏ボード (t=12.5) の上 ビニルクロス 新設
・天井 :	既存 : 野淵 ・吊金物 ルキップルード (7スベト含有) 撤去 改修 : LGS (19形) の上、ケイカル板 (準不燃材 ・ t=10) 貼り AEP塗装 新設
・巾木 :	既存 : 木製巾木 (ラワン) 撤去 改修 : ソフト巾木 (w=100) 新設
・造作家具 :	既存 : 取外し 改修 : 再設置

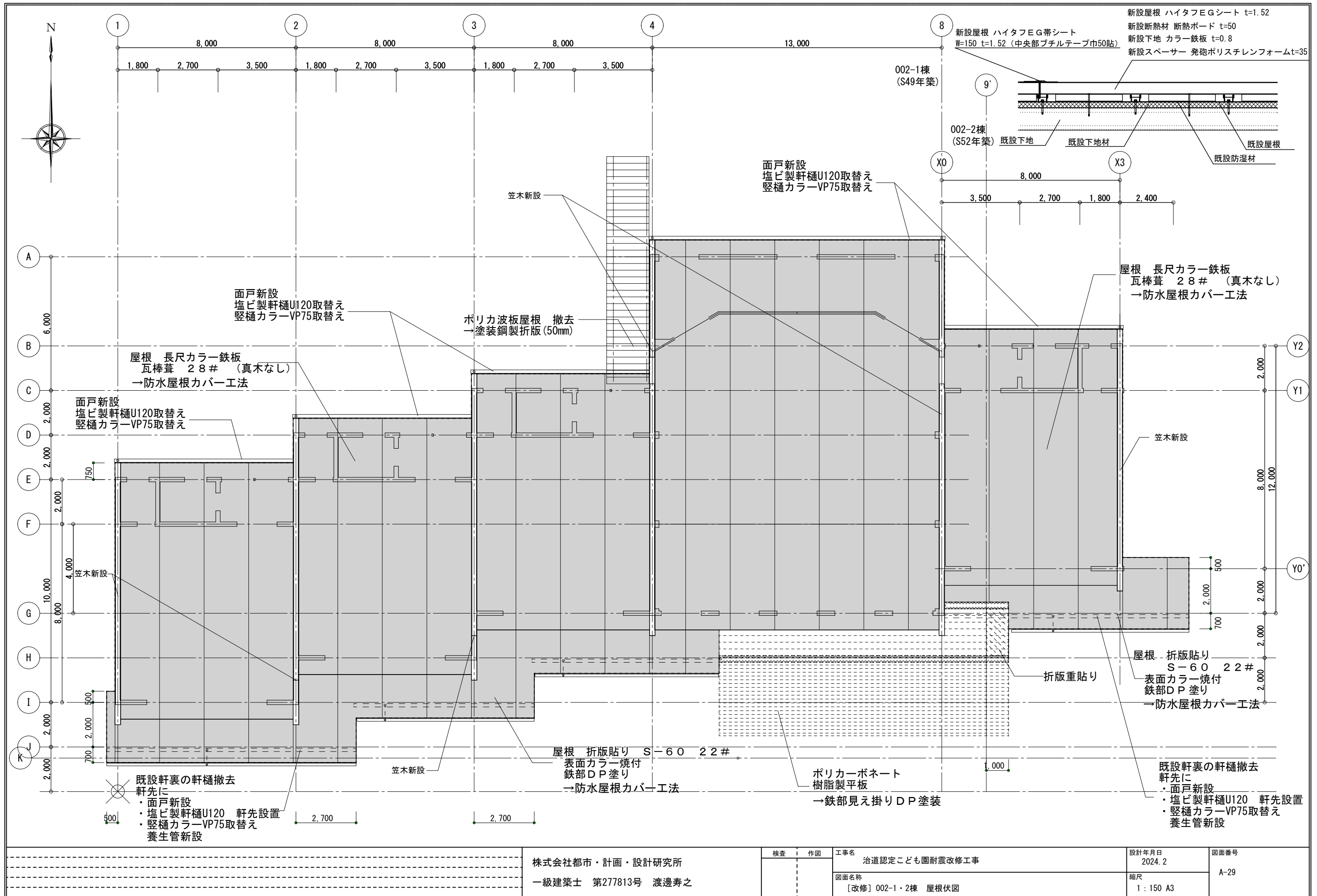


記号	工事種別	内容
仕上_1		化粧石膏ボードt9.5 LGS下地
仕上_2		PBt9.5の上、岩綿吸音板t12 LGS下地
仕上_3		ケイ酸カルシウム板t10 LGS下地

☒ 天井点検口 450*450 アルミ製

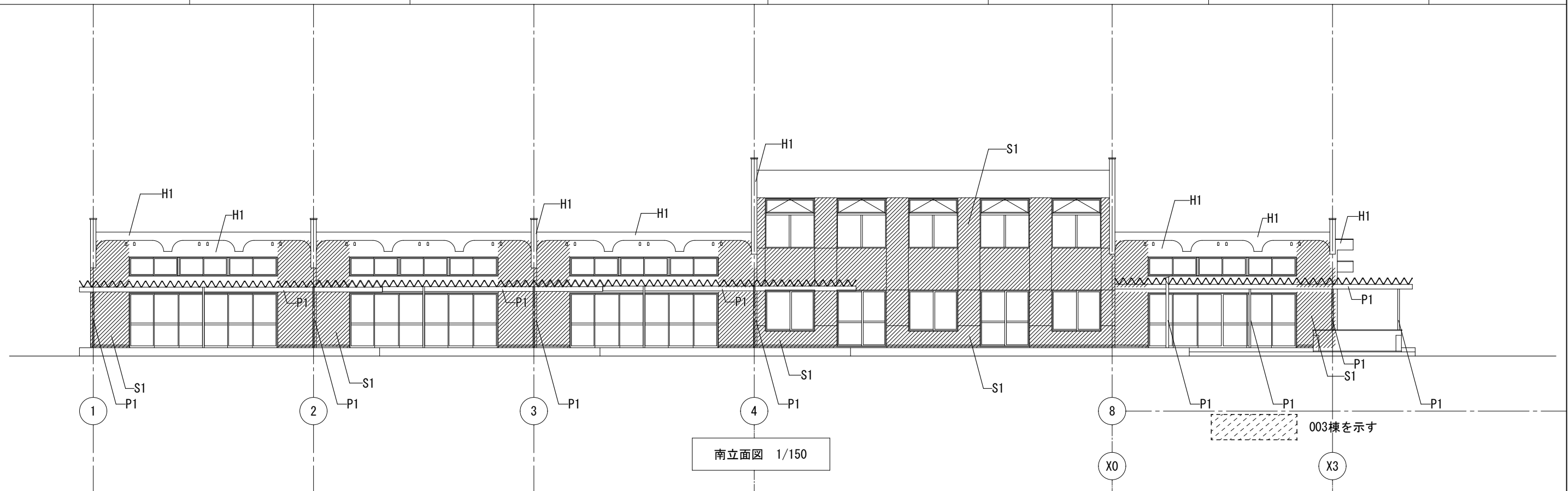
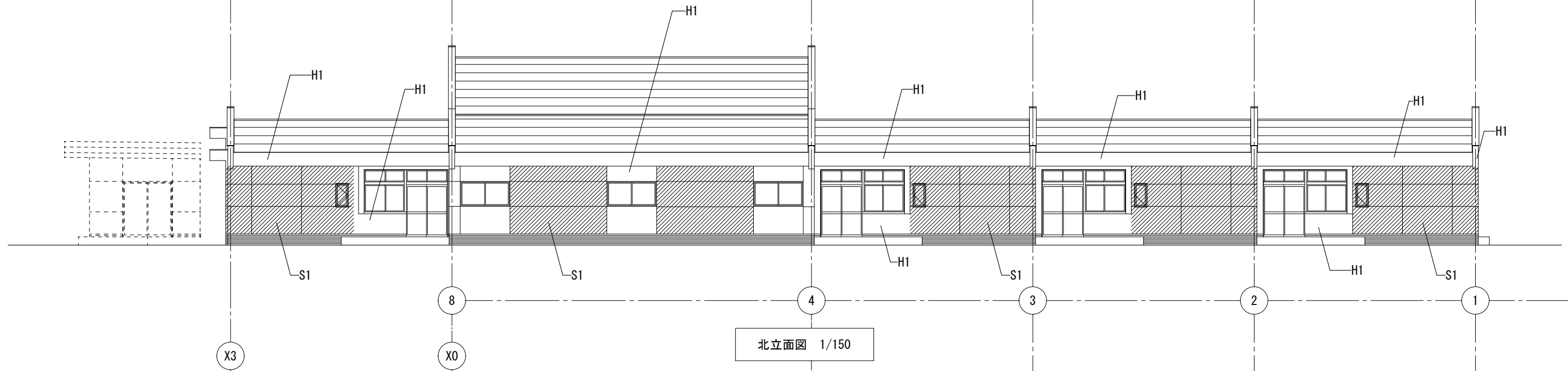
—— 天井耐震補強ブレース設置位置
----- 梁の位置

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-28
			図面名称 [改修] 002-1・2棟 天井伏図	縮尺 1:150 A3	



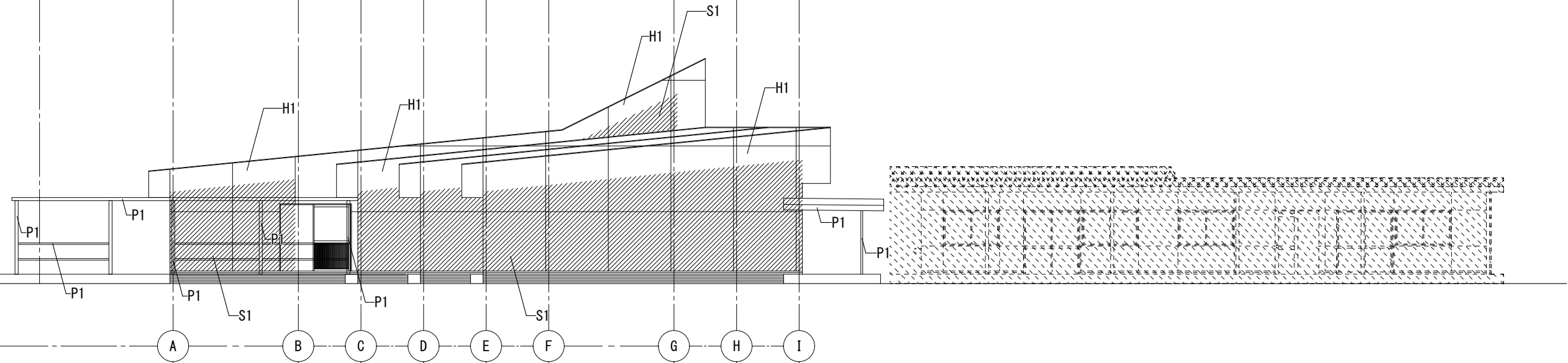
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-29
			図面名称 [改修] 002-1・2棟 屋根伏図	縮尺 1:150 A3	

S 1	外壁：セメント系サイディング張t16の上、塗装
H 1	外壁：（既存モルタル面）下地調整の上、複層仕上塗材E吹付
P 1	鉄部：下地調整の上、DP塗り（1級）

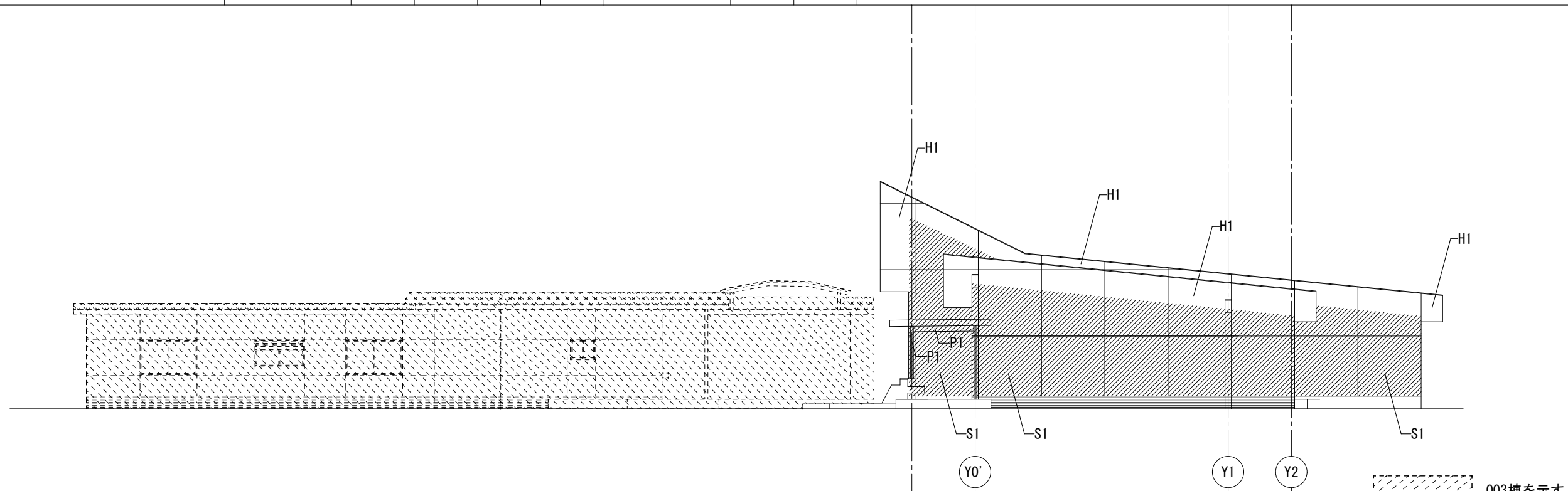


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査 	作図 	工事名 治道認定こども園耐震改修工事 図面名称 [改修] 002-1・2棟 立面図 (1)	設計年月日 2024. 2 縮尺 1 : 150 A3	図面番号 A-30
--	------------	------------	--	--	------------------

S 1	外壁：セメント系サイディング張t16の上、塗装
H 1	外壁：（既存モルタル面）下地調整の上、複層仕上塗材E吹付
P 1	鉄部：下地調整の上、DP塗り（1級）



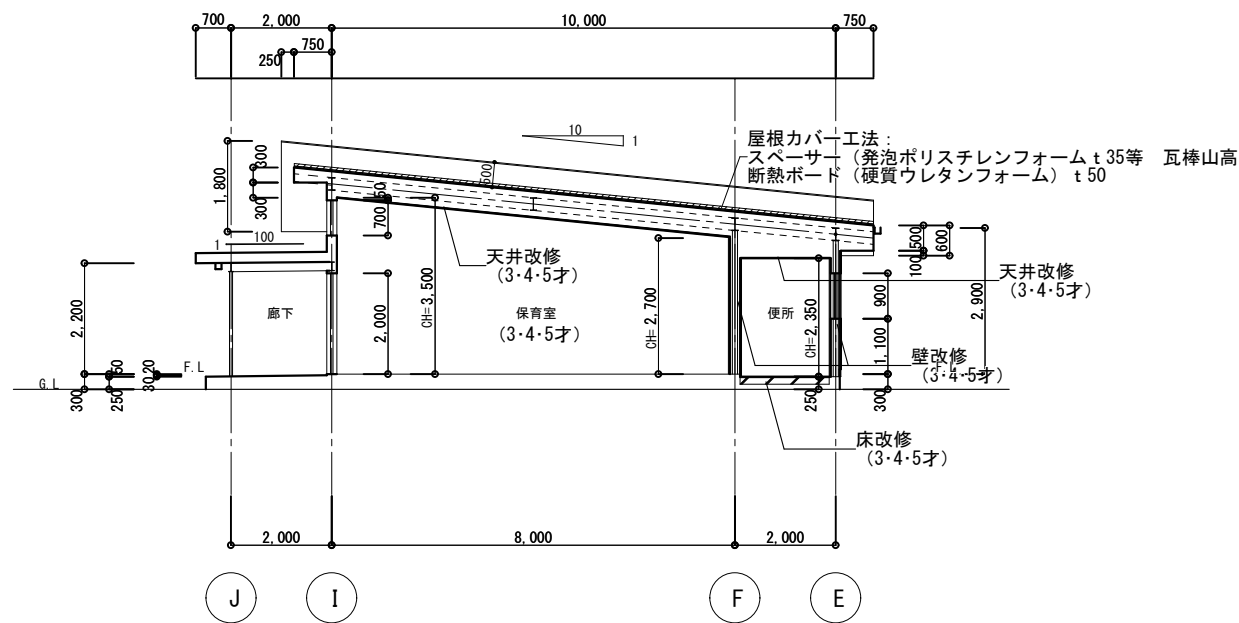
西立面図 1/150



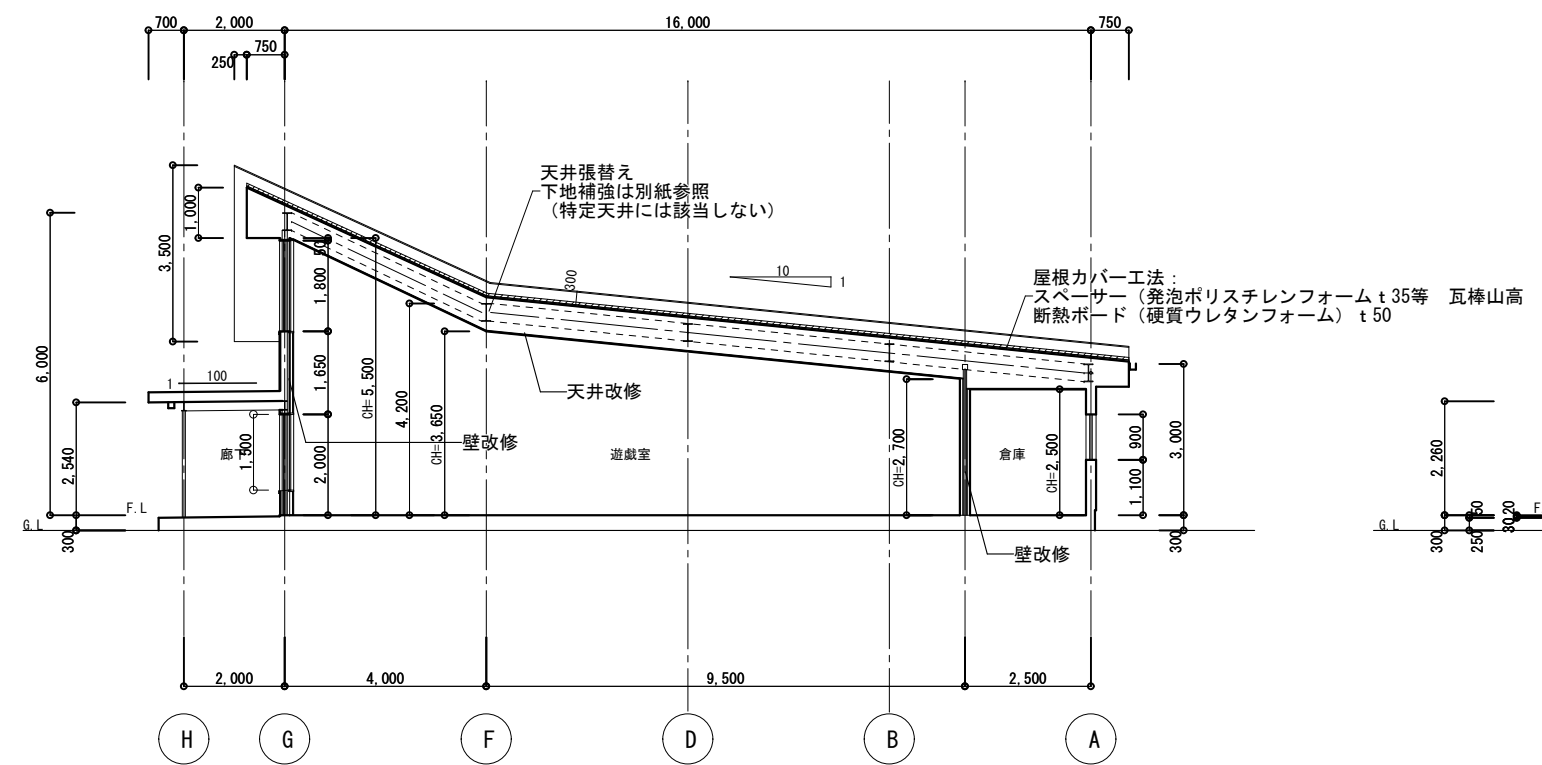
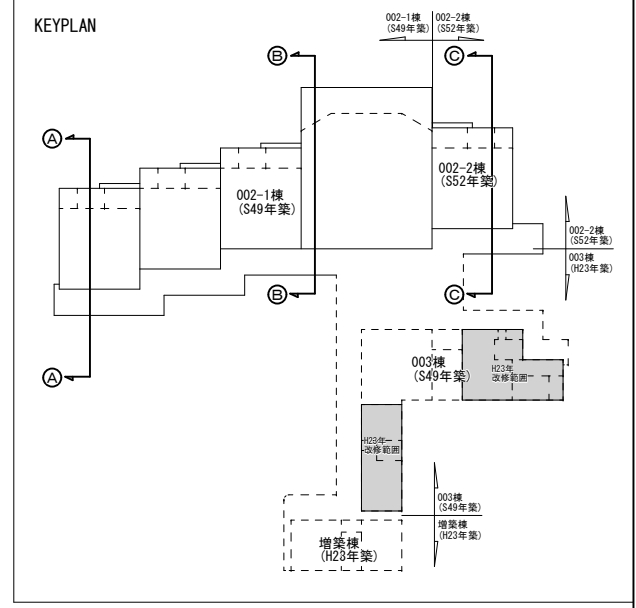
東立面図 1/150

003棟を示す

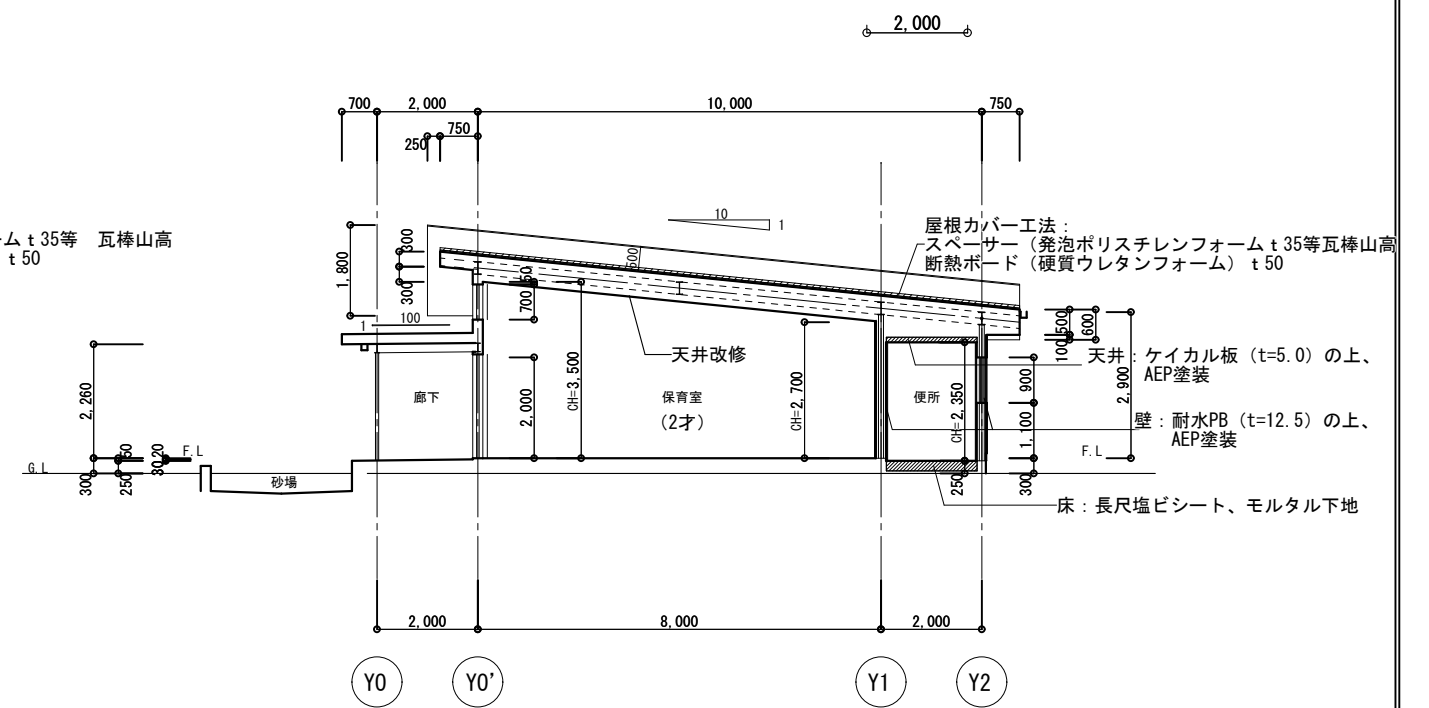
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-31
			図面名称 [改修] 002-1・2棟 立面図 (2)	縮尺 1 : 150 A3	



A-A 断面図 1/150

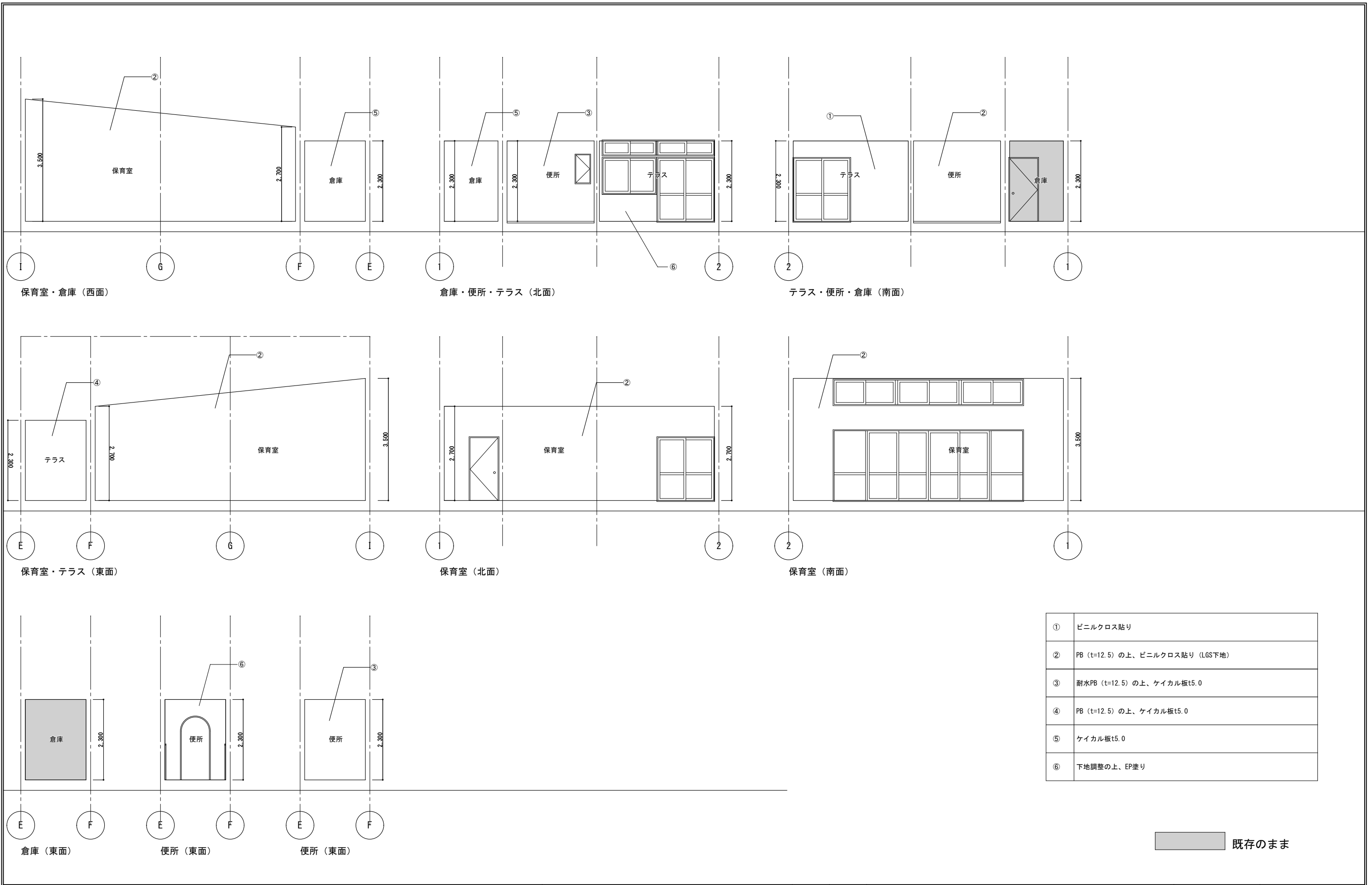


B-B 断面図 1/150



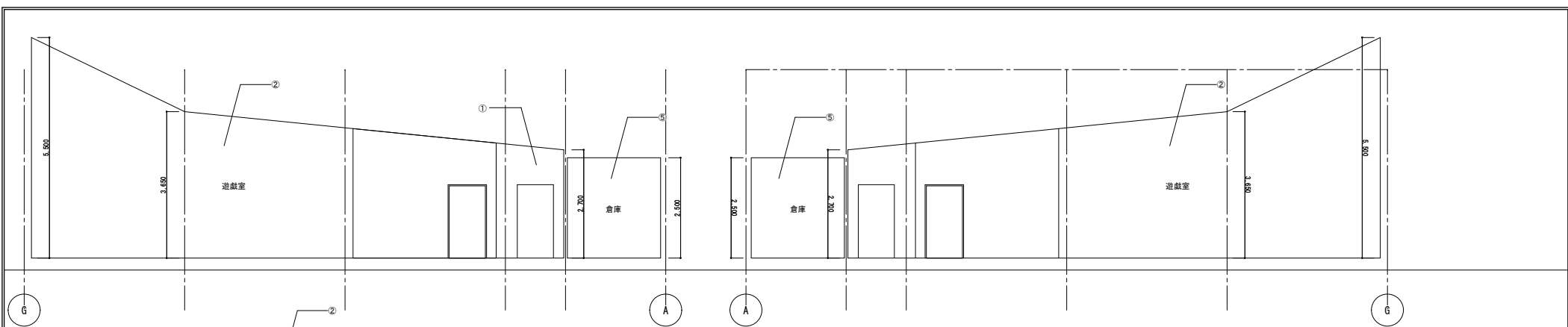
C-C 断面図 1/150

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-32
			図面名称 [改修] 002-1・2棟 断面図	縮尺 1:150 A3	



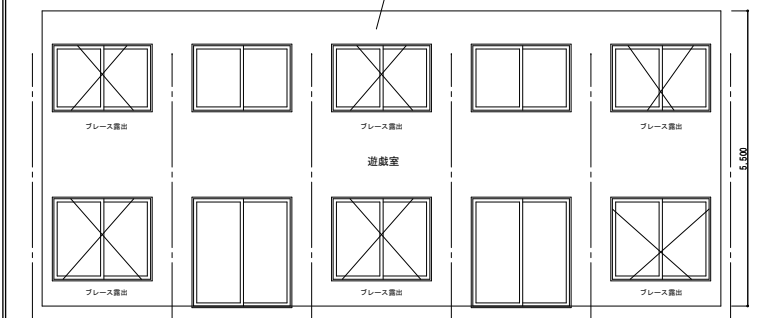
①	ビニルクロス貼り
②	PB (t=12.5) の上、ビニルクロス貼り (LGS下地)
③	耐水PB (t=12.5) の上、ケイカル板t5.0
④	PB (t=12.5) の上、ケイカル板t5.0
⑤	ケイカル板t5.0
⑥	下地調整の上、EP塗り

■ 既存のまま



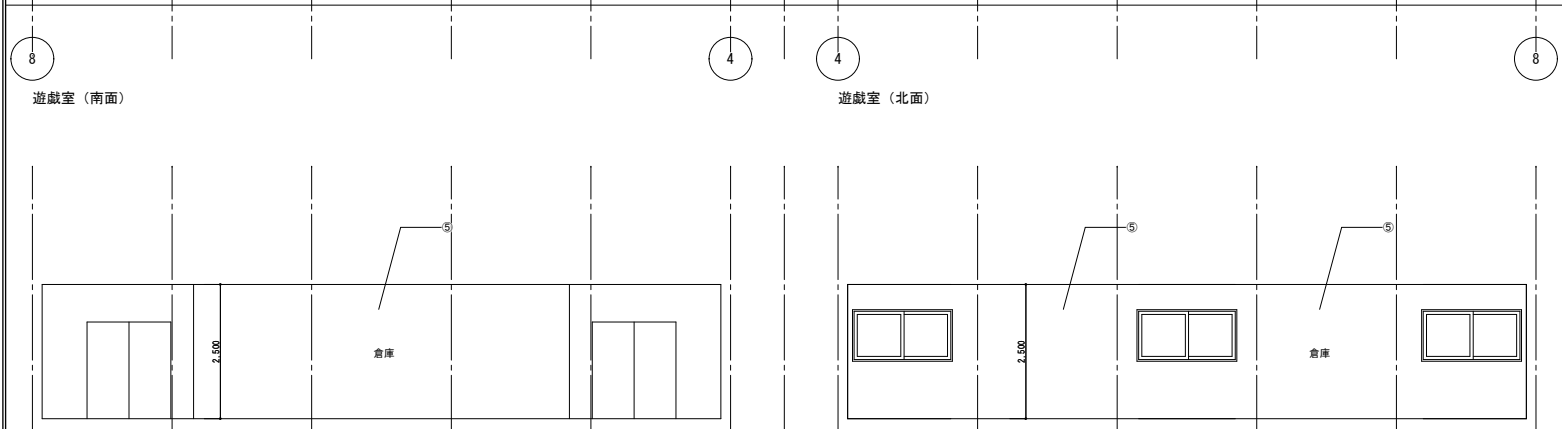
遊戯室・倉庫（西面）

遊戯室・倉庫（東面）



遊戯室（南面）

遊戯室（北面）

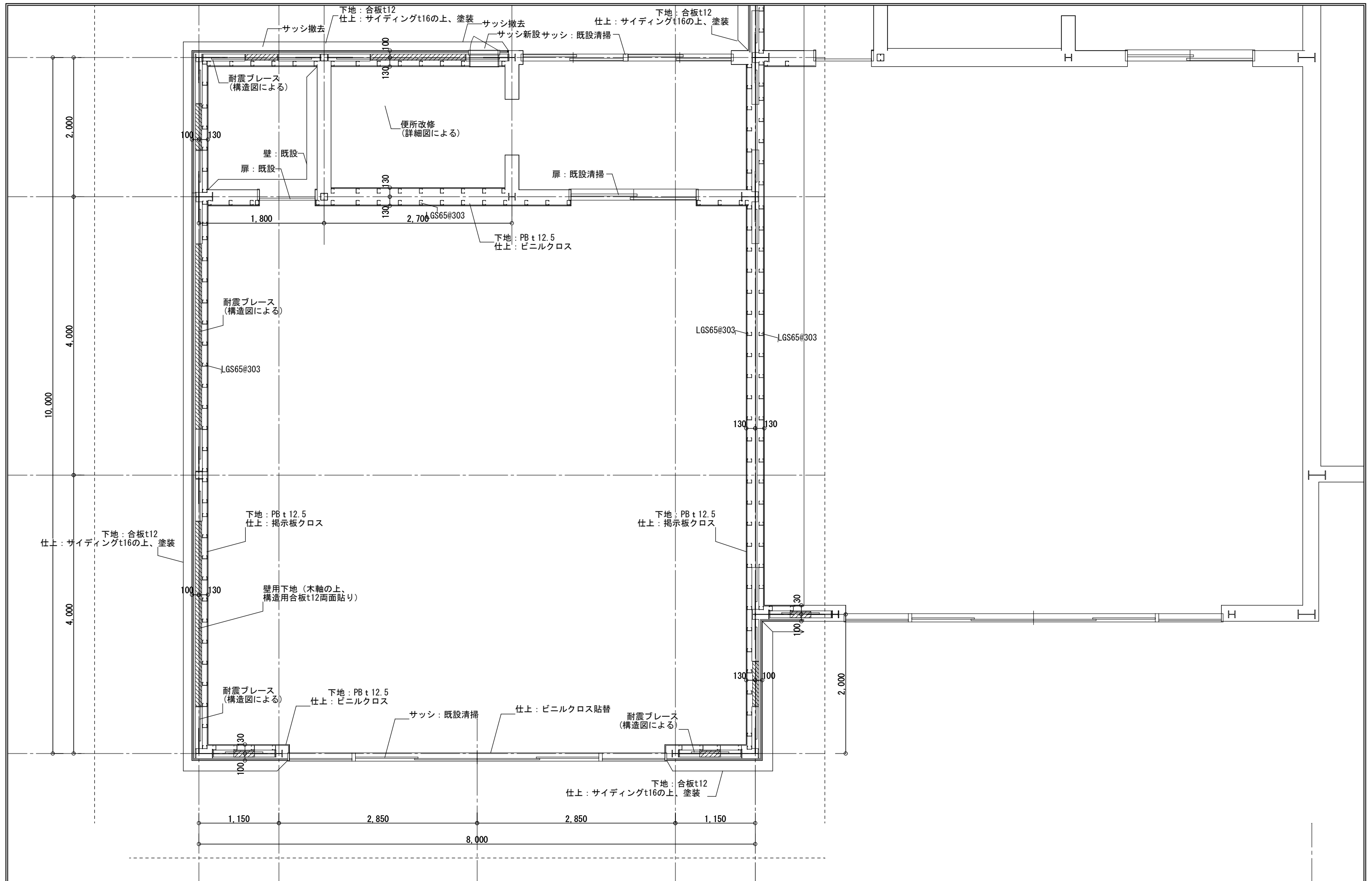


遊戯室倉庫（南面）

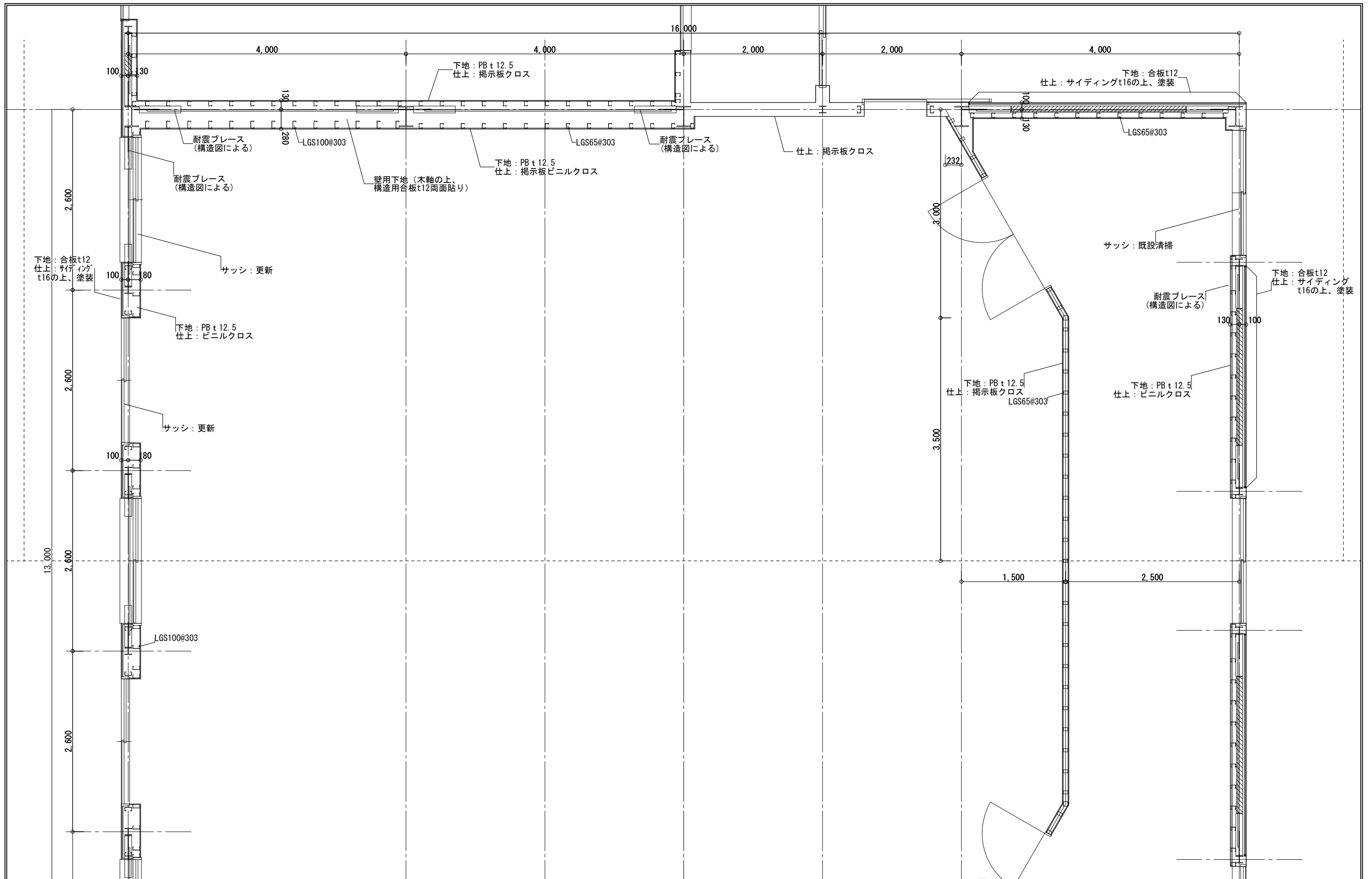
遊戯室倉庫（北面）

①	ビニルクロス貼り
②	PB (t=12.5) の上、ビニルクロス貼り (LGS下地)
③	耐水PB (t=12.5) の上、ケイカル板t5.0
④	PB (t=12.5) の上、ケイカル板t5.0
⑤	ケイカル板t5.0
⑥	下地調整の上、EP塗り

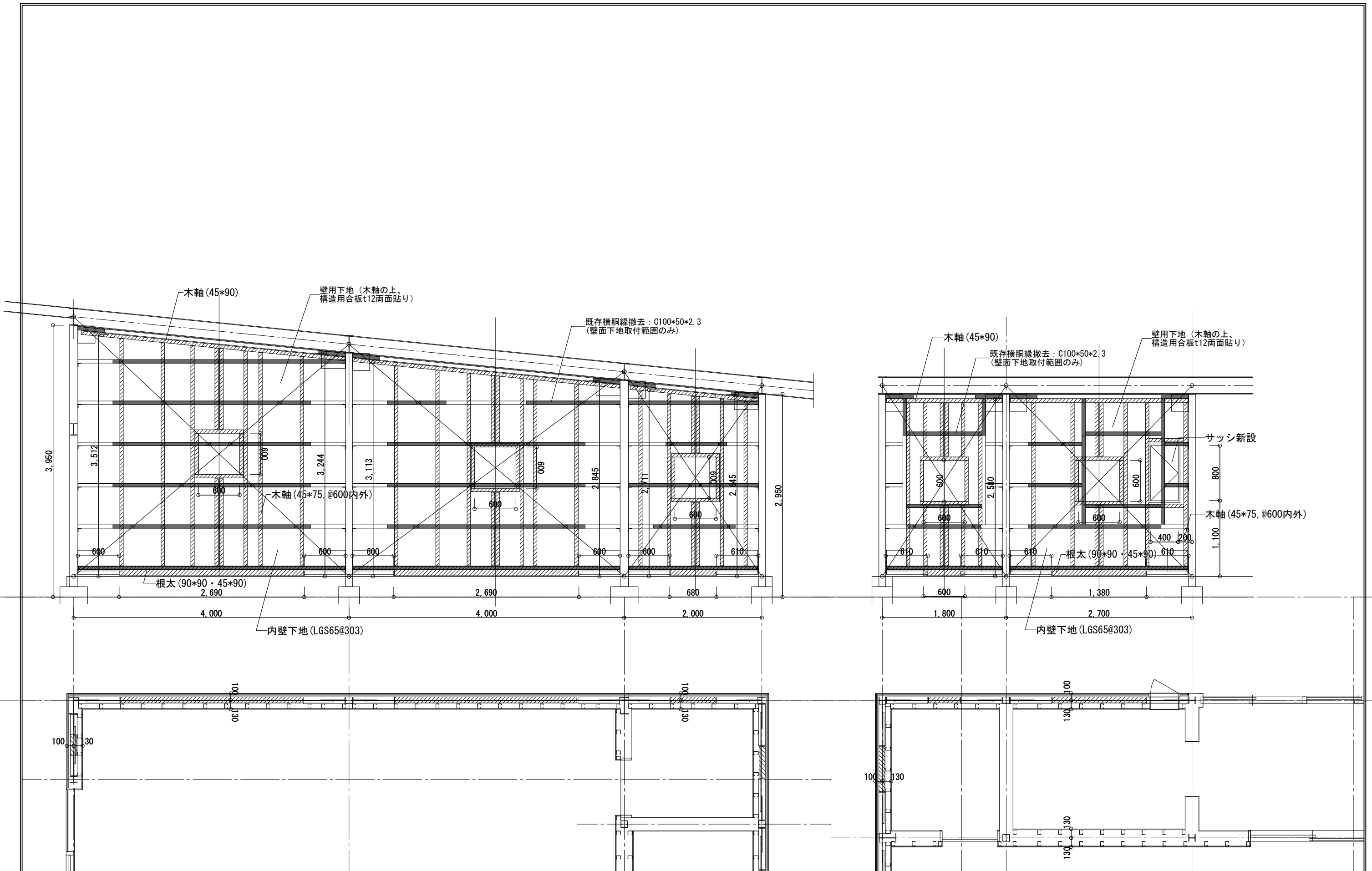
■ 既存のまま



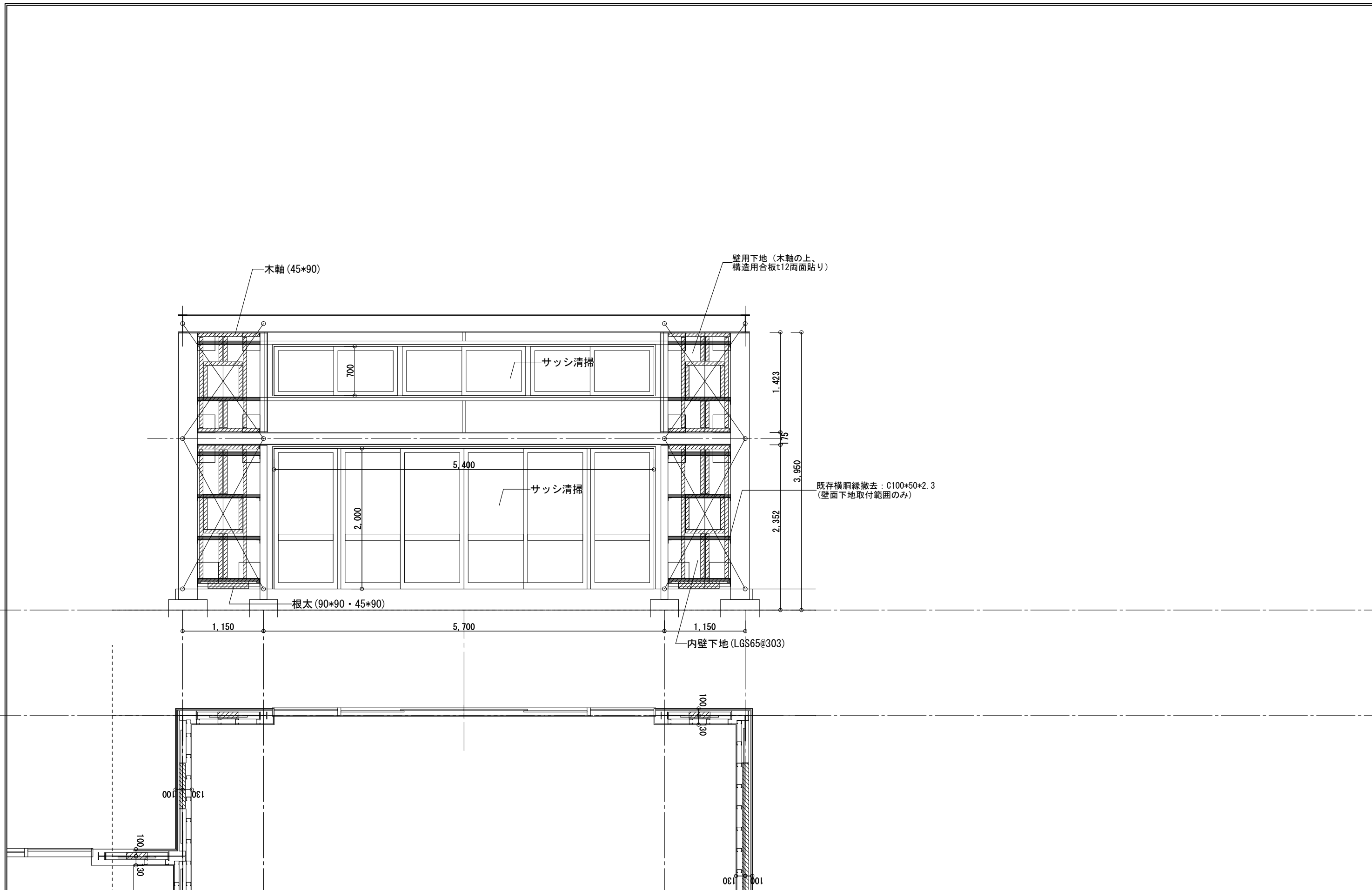
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-35
	図面名称 [改修]002-1・2棟 平面詳細図 (1)			縮尺 1 : 50 A3	



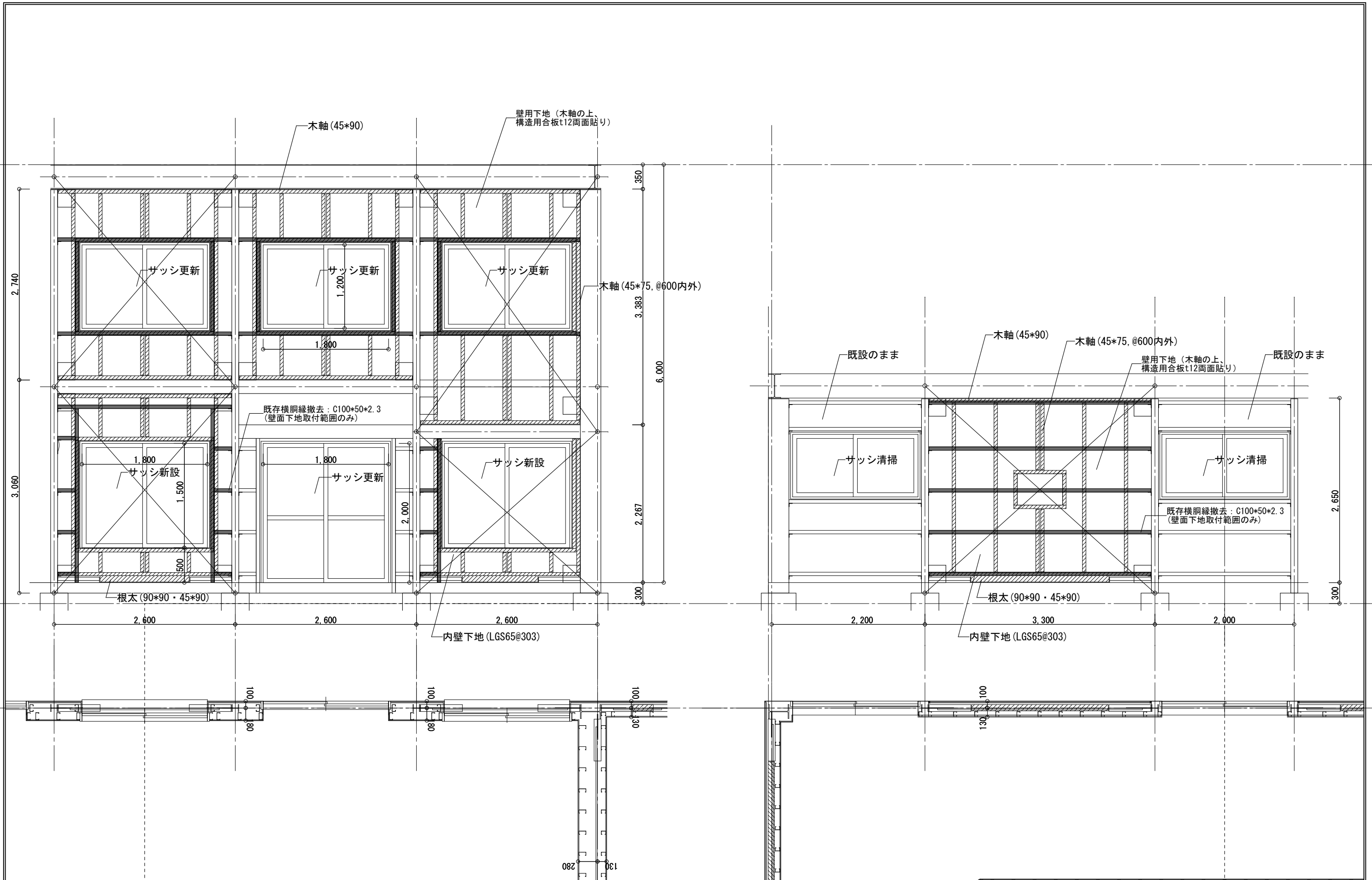
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査 作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-36
	図面名称 [改修]002-1・2棟 平面詳細図(2)		縮尺 1:50 A3	



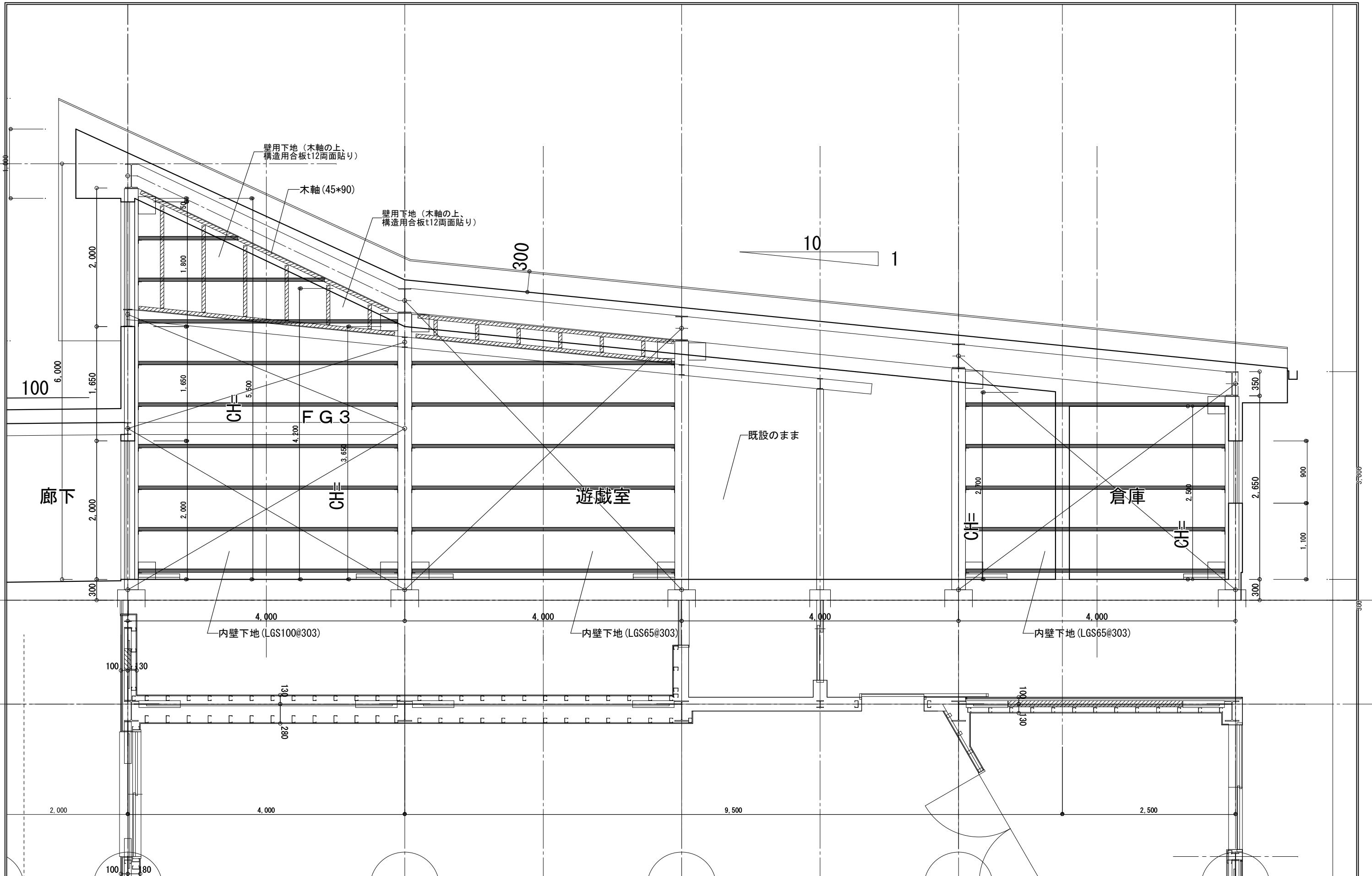
	株式会社都市・計画・設計研究所	検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
	一級建築士 第277813号 渡邊寿之			治道認定こども園耐震改修工事	2024. 2	A-37
				図面名称 [改修]002-1・2棟 展開詳細図 (1)	縮尺 1 : 50 A3	



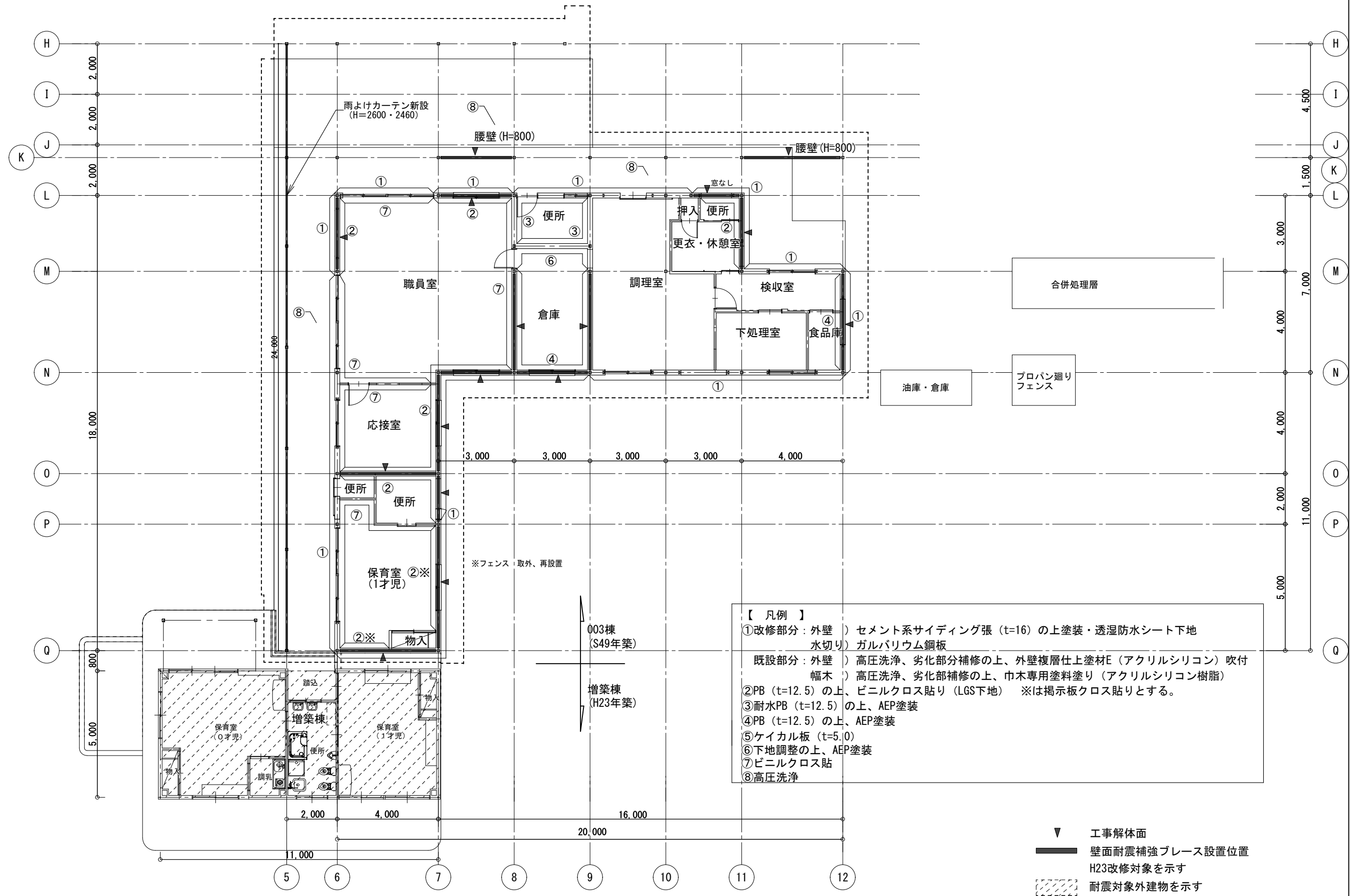
	株式会社都市・計画・設計研究所	検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
	一級建築士 第277813号 渡邊寿之			治道認定こども園耐震改修工事	2024. 2	A-38
				図面名称	縮尺	
				[改修]002-1・2棟 展開詳細図 (2)	1 : 50 A3	



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-39
	図面名称 [改修]002-1・2棟 展開詳細図 (3)			縮尺 1 : 50 A3	



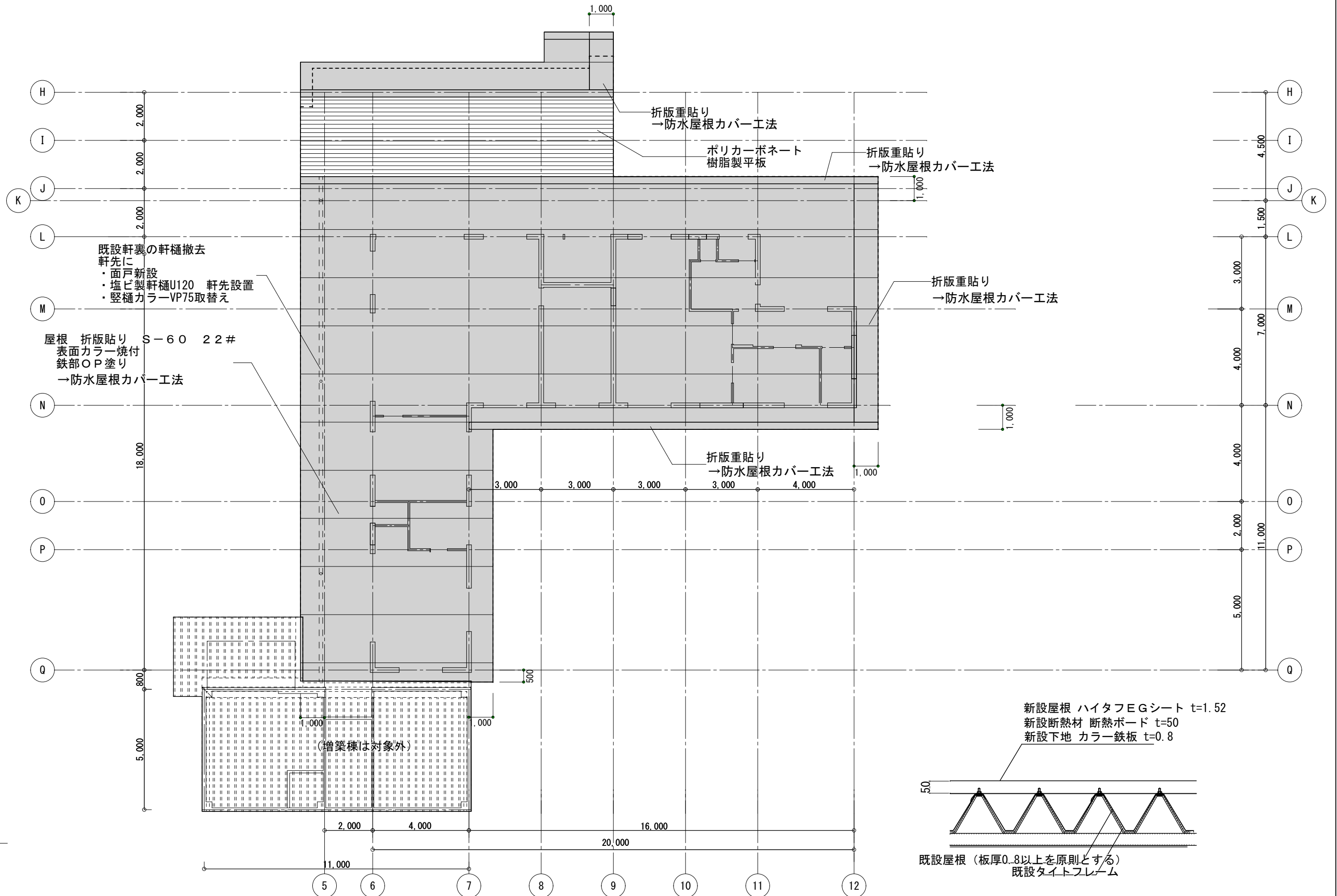
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	A-00	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-40
				図面名称 [改修]002-1・2棟 展開詳細図 (4)	縮尺 1 : 50 A3	



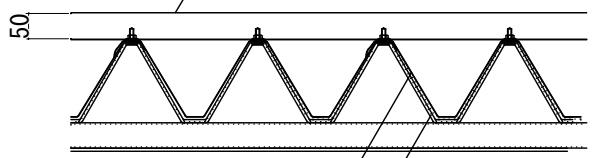
- 【 凡例 】
- ①改修部分：外壁 ① セメント系サイディング張 (t=16) の上塗装・透湿防水シート下地
水切り) ガルバリウム鋼板
 - 既設部分：外壁 ② 高圧洗浄、劣化部分補修の上、外壁複層仕上塗材E (アクリルシリコン) 吹付
幅木 ③ 高圧洗浄、劣化部補修の上、巾木専用塗料塗り (アクリルシリコン樹脂)
 - ②PB (t=12.5) の上、ビニルクロス貼り (LGS下地) ※は掲示板クロス貼りとする。
 - ③耐水PB (t=12.5) の上、AEP塗装
 - ④PB (t=12.5) の上、AEP塗装
 - ⑤ケイカル板 (t=5.0)
 - ⑥下地調整の上、AEP塗装
 - ⑦ビニルクロス貼
 - ⑧高圧洗浄

- ▼ 工事解体面
- 壁面耐震補強ブレース設置位置
- H23改修対象を示す
- ▨ 耐震対象外建物を示す

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-41
			図面名称 [改修] 003棟 平面図	縮尺 1 : 150 A3	



新設屋根 ハイタフEGシート t=1.52
 新設断熱材 断熱ボード t=50
 新設下地 カラー鉄板 t=0.8

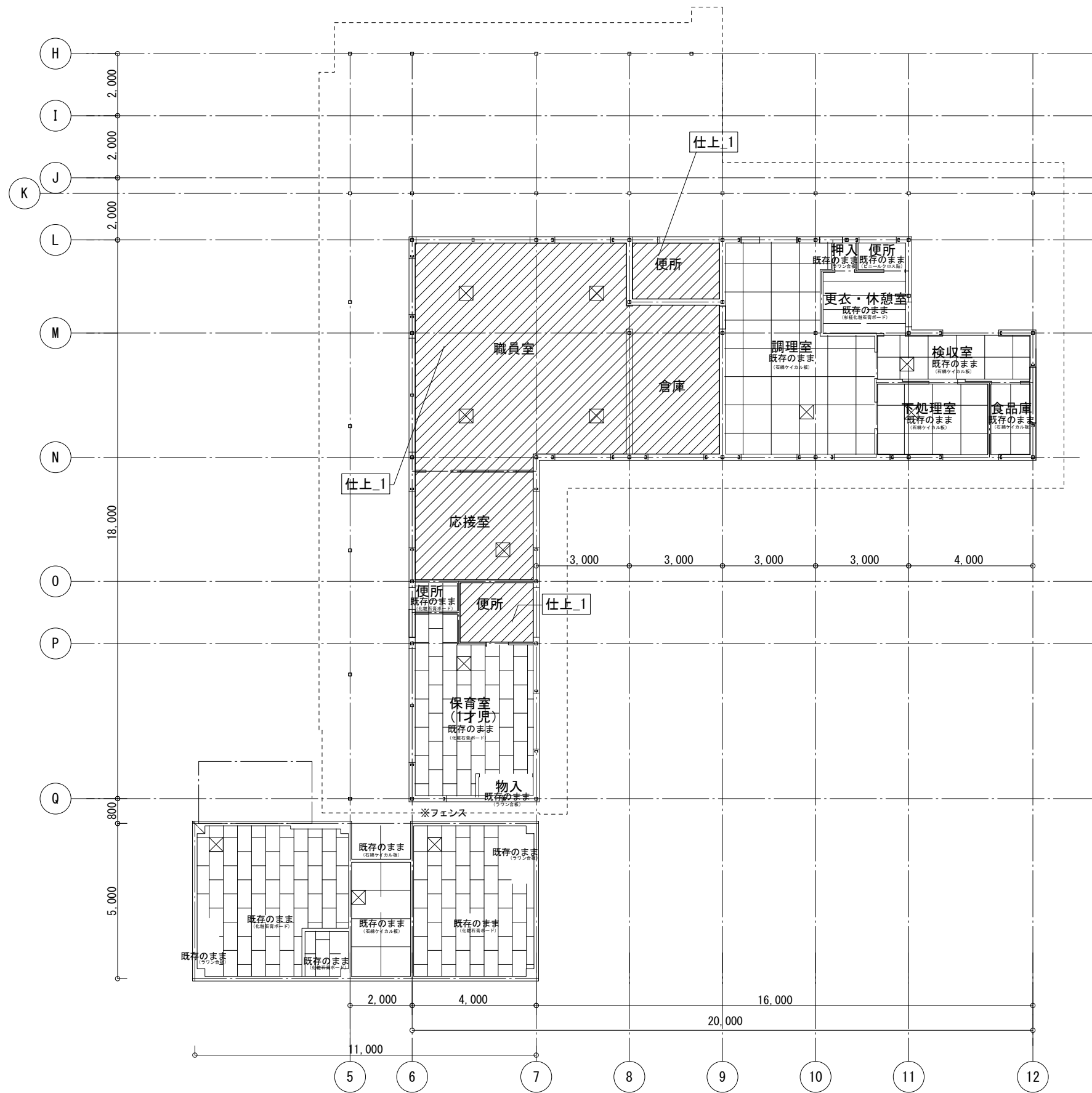


既設屋根 (板厚0.8以上を原則とする)
既設タイトフレーム

株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

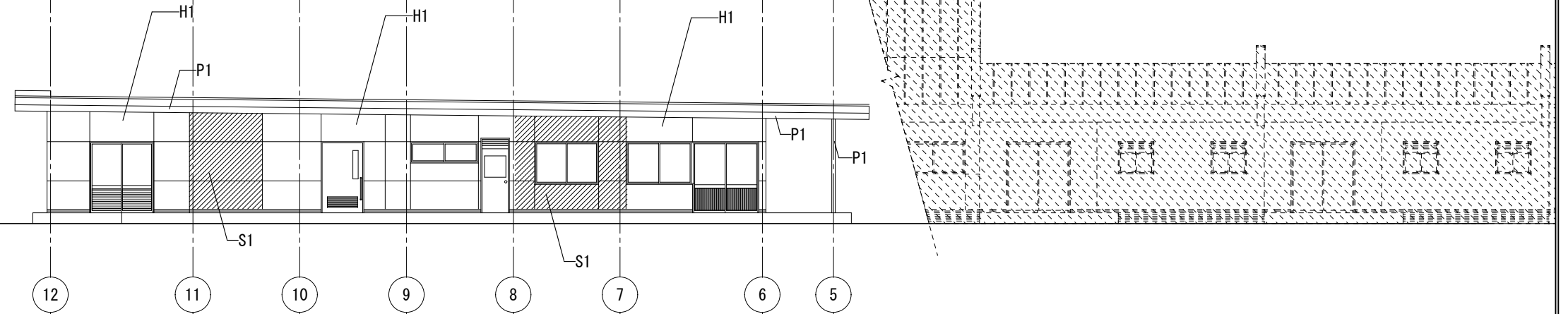
検査	作図	工事名
		治道認定こども園耐震改修工事
		図面名称
		[改修] 003棟 屋根伏図

設計年月日	図面番号
2024. 2	A-42
縮尺	
1 : 150 A3	

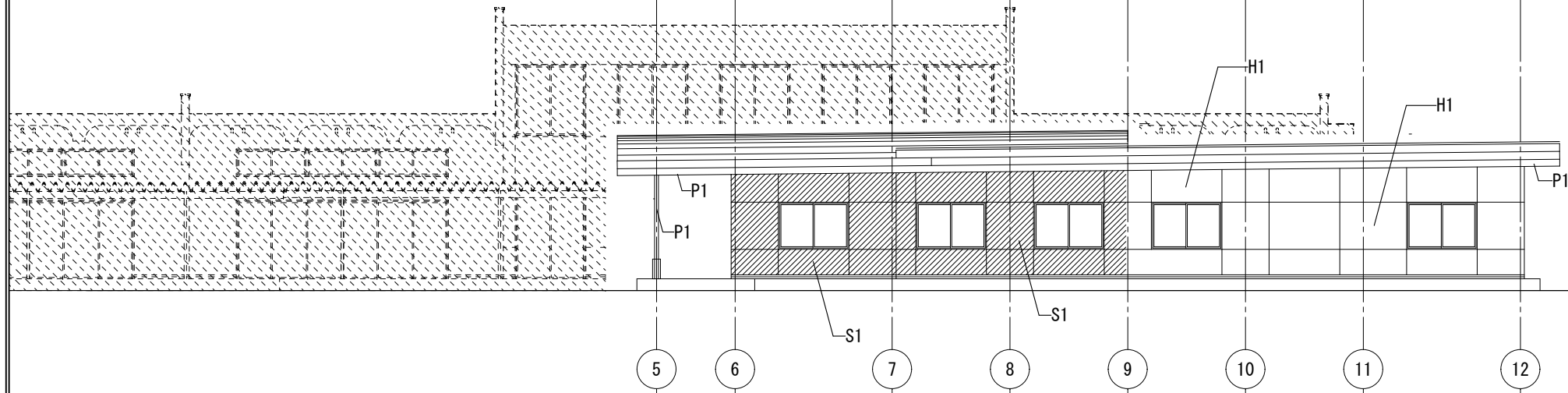


記号	工事種別	内容
仕上_1		化粧石膏ボードt9.5 LGS下地
仕上_2		PBt9.5の上、岩綿吸音板t12 LGS下地

S 1	外壁：セメント系サイディング張t16の上、塗装
H 1	外壁：（既存モルタル面）下地調整の上、複層仕上塗材E吹付
P 1	鉄部：下地調整の上、DP塗り（1級）



北立面図 1/150

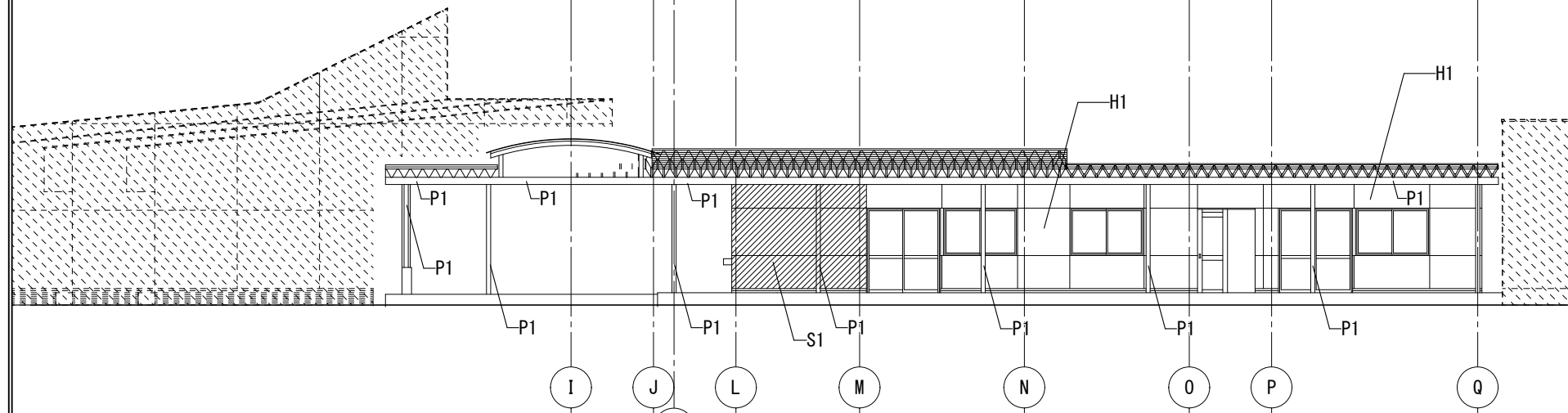


南立面図 1/150

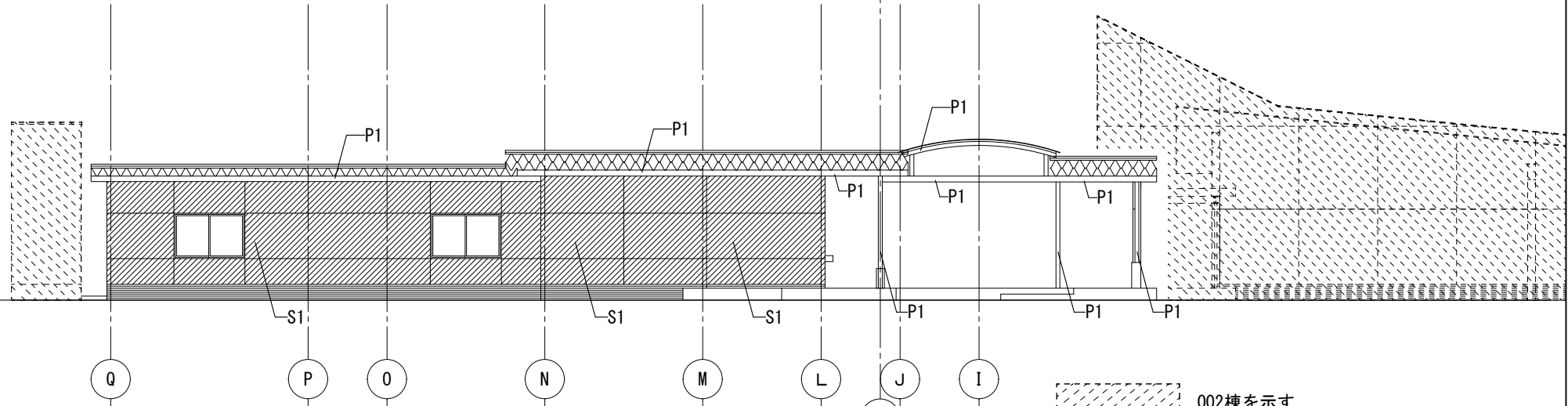
 002棟を示す

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-44
			図面名称 [改修] 003棟 立面図 (1)	縮尺 1 : 150 A3	

S 1	外壁：セメント系サイディング張t16の上、塗装
H 1	外壁：（既存モルタル面）下地調整の上、複層仕上塗材E吹付
P 1	鉄部：下地調整の上、DP塗り（1級）

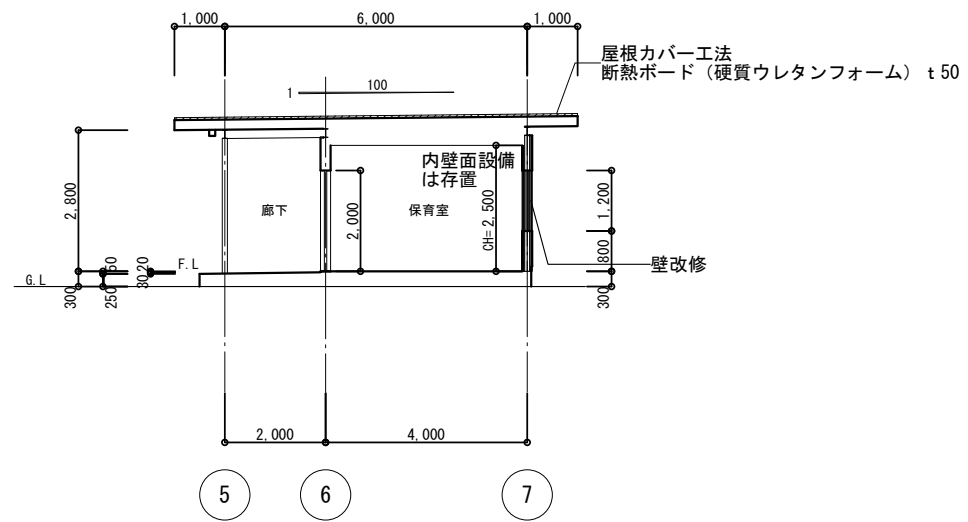


西立面図 1/150

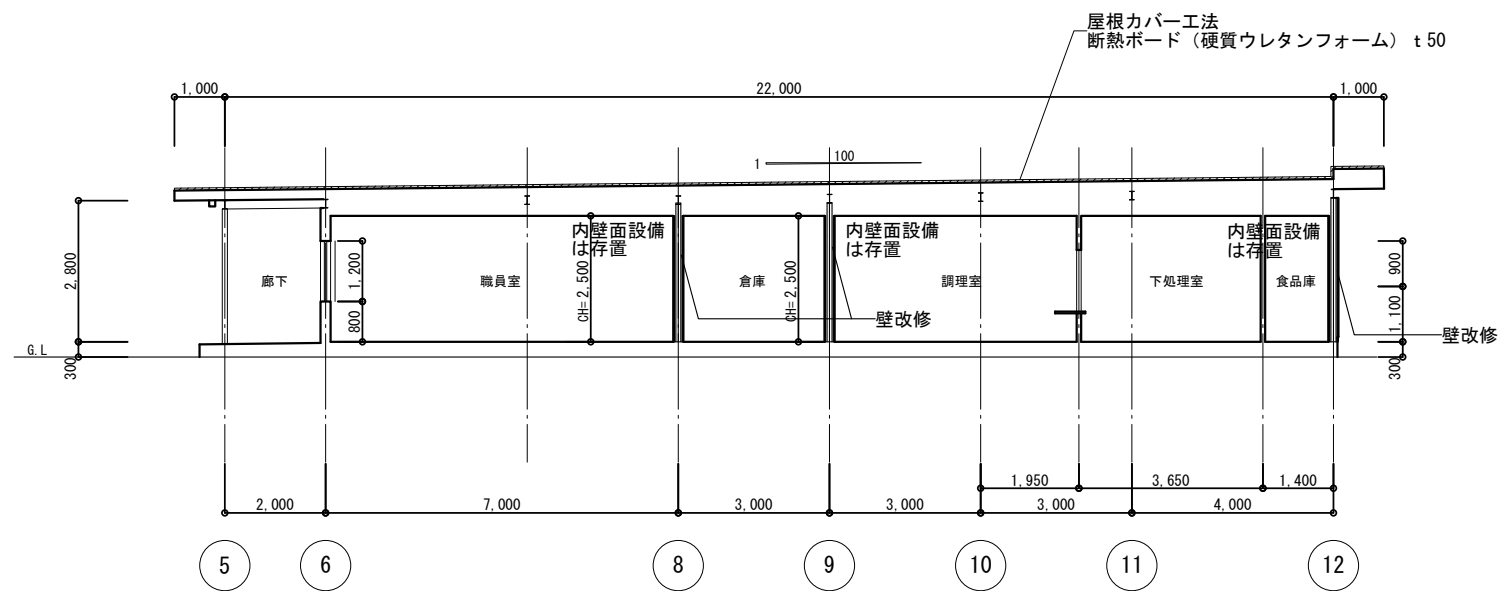


東立面図 1/150

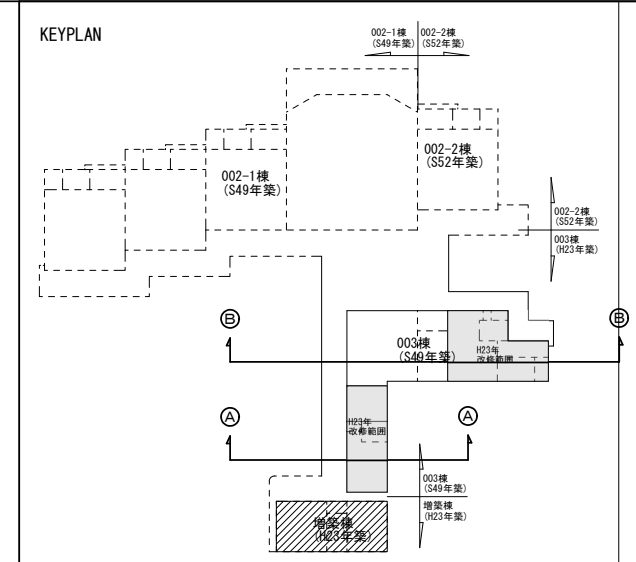
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-45
			図面名称 [改修] 003棟 立面図 (2)	縮尺 1 : 150 A3	



A-A 断面図 1/150

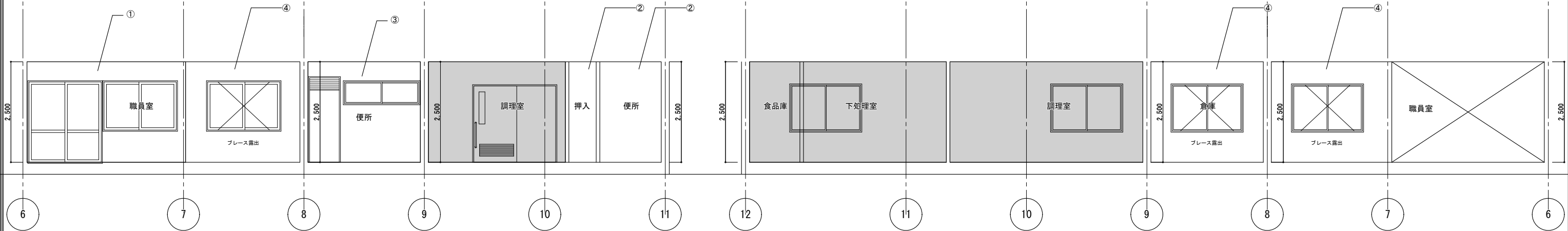


B-B 断面図 1/150



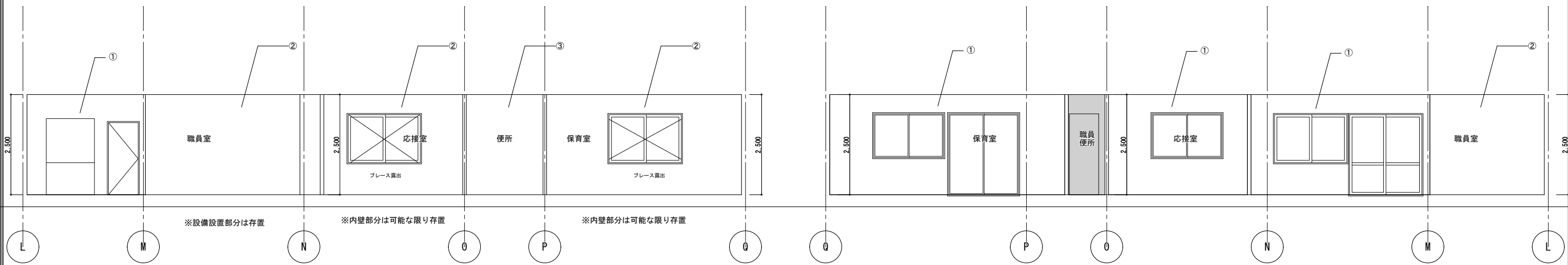
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-46
			図面名称 [改修] 003棟 断面図	縮尺 1 : 150 A3	

①	ビニルクロス貼り	②	PB (t=12.5) の上、ビニルクロス貼り (LGS下地)	③	耐水PB (t=12.5) の上、ケイカル板 (t=5.0)
④	PB (t=12.5) の上、AEP塗装	⑤	ケイカル板 (t=5.0)	⑥	下地調整の上、AEP塗り



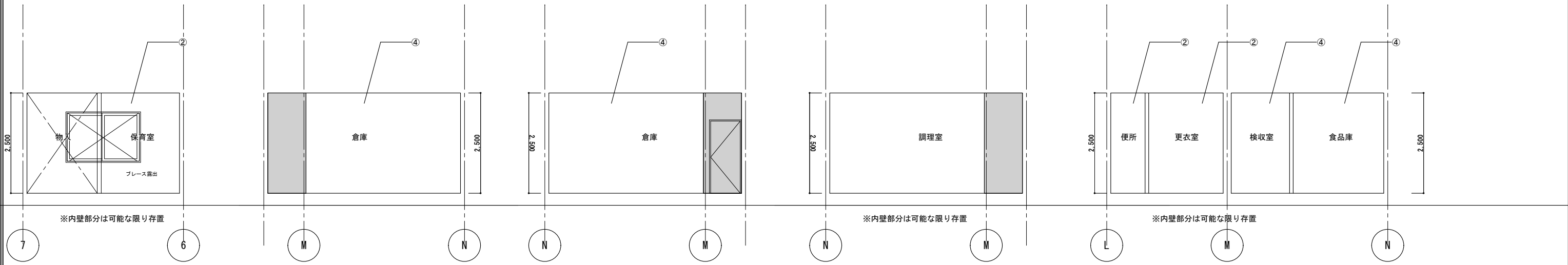
職員室・便所・調理室・押入・便所 (北面)

食品庫・下処理室・調理室・倉庫・職員室 (南面)



職員室・応接室・便所・保育室 (東面)

保育室・職員便所・応接室・職員室 (西面)



保育室 (南面)

倉庫 (東面)

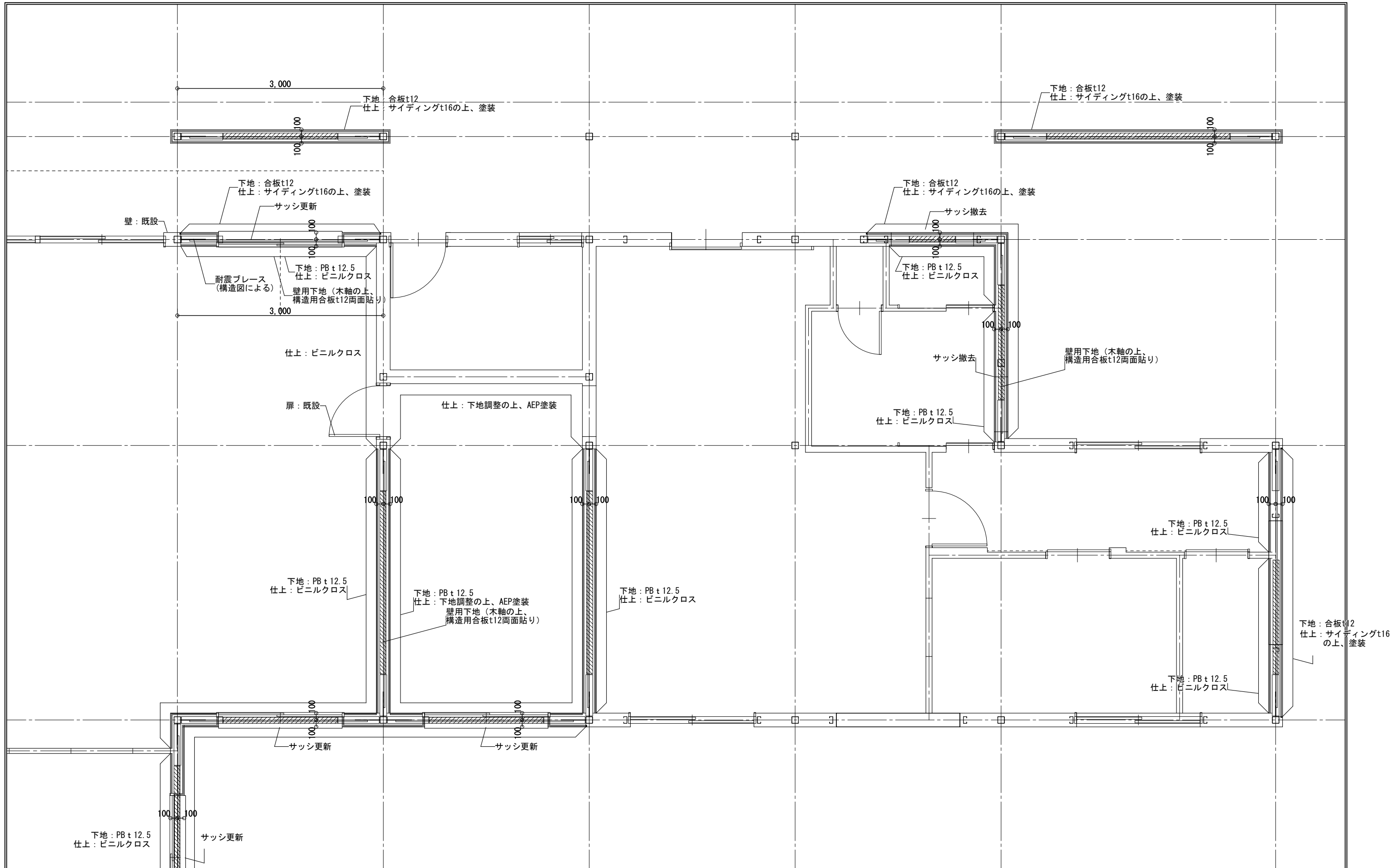
倉庫 (西面)

調理室 (西面)

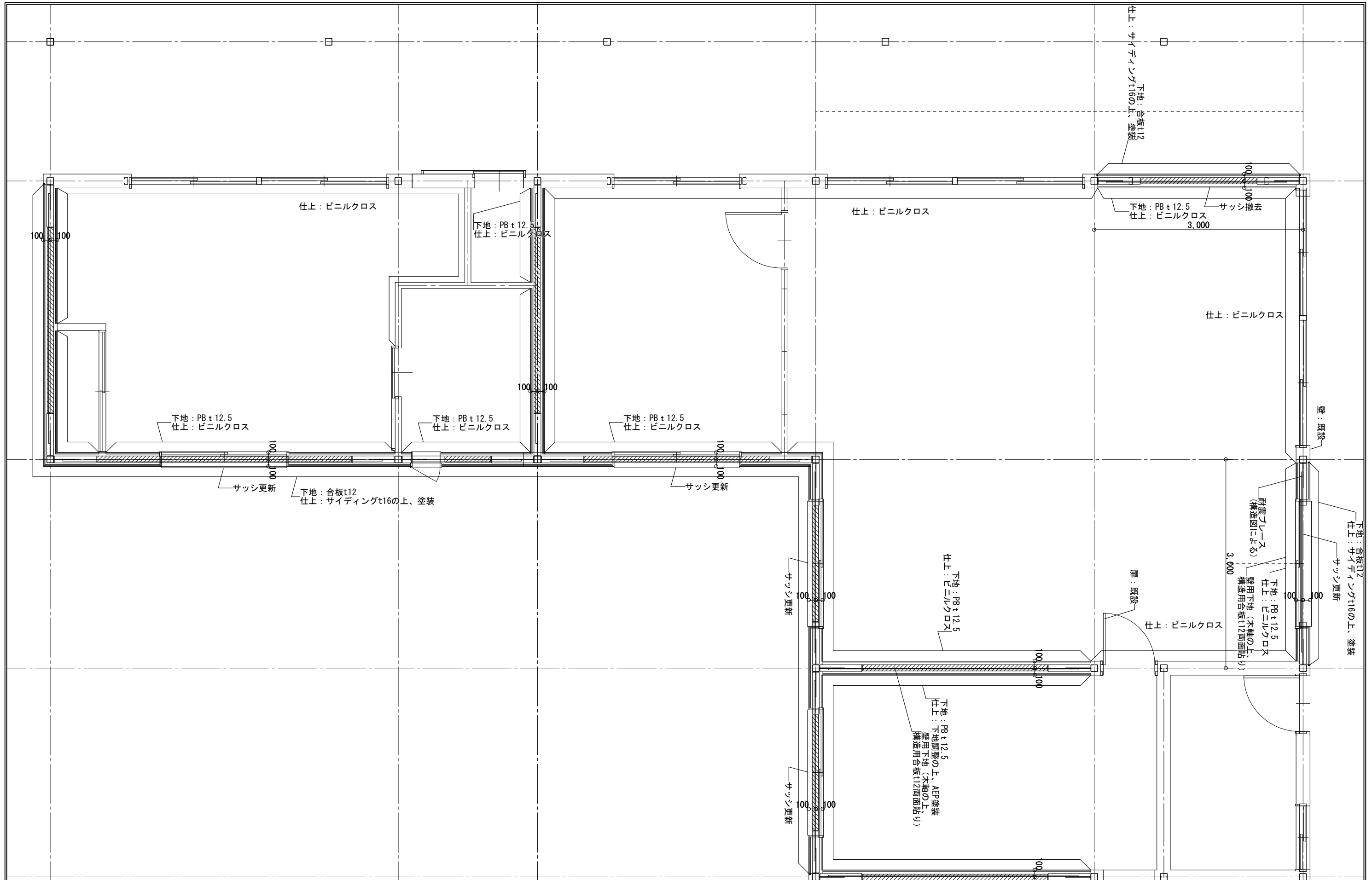
便所・更衣室・検収室・食品庫 (東面)

既存のまま

<p>株式会社都市・計画・設計研究所</p> <p>一級建築士 第277813号 渡邊寿之</p>	<p>検査</p>	<p>作図</p>	<p>工事名</p> <p>治道認定こども園耐震改修工事</p>	<p>設計年月日</p> <p>2024.2</p>	<p>図面番号</p> <p>A-47</p>
	<p>図面名称</p> <p>003棟 展開図 (改修)</p>			<p>縮尺</p> <p>1:100 A3</p>	



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-48
	図面名称 [改修]003棟 平面詳細図 (1)			縮尺 1 : 50 A3	

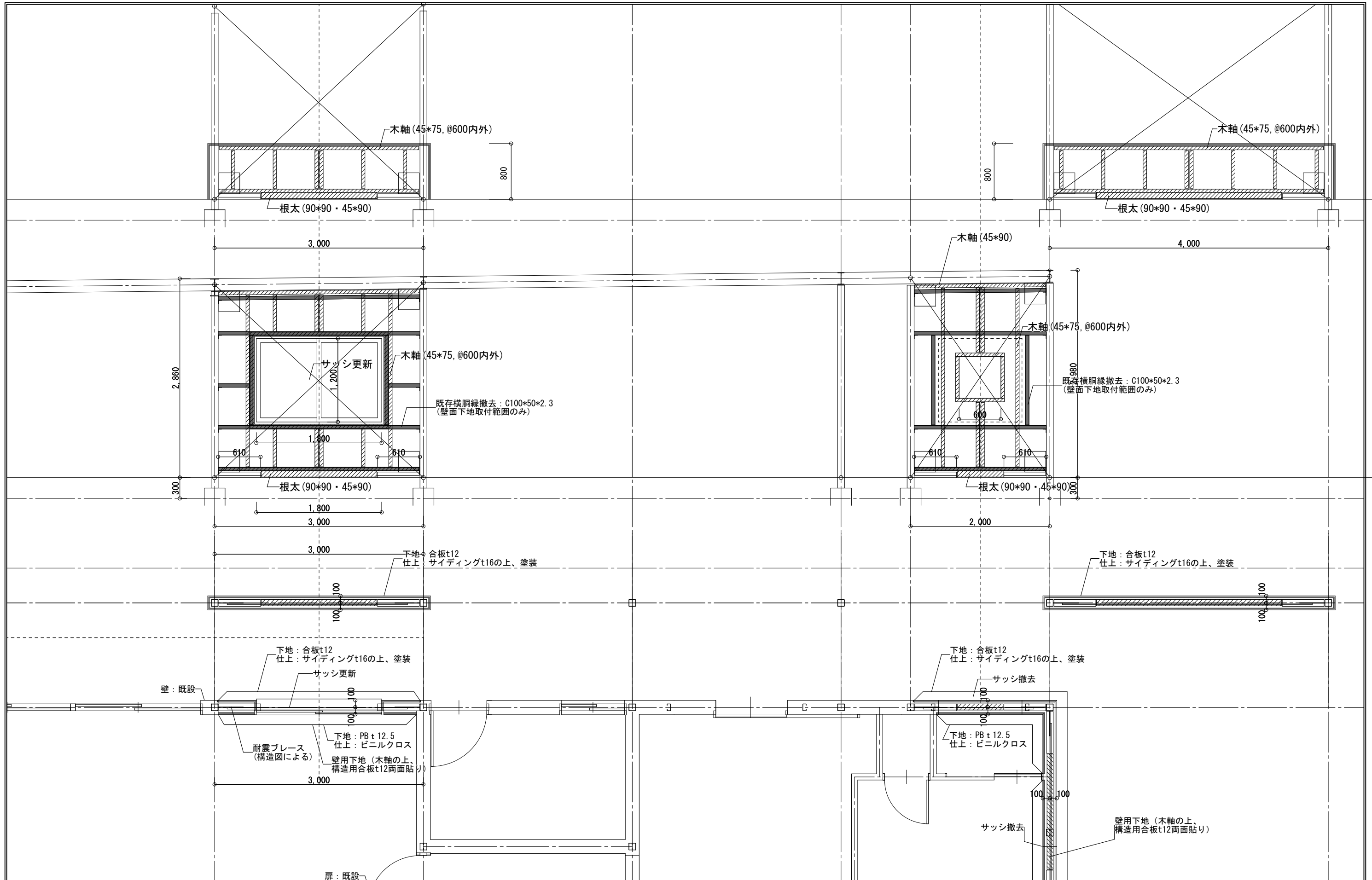


株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査	作図	工事名
		治道認定こども園耐震改修工事
図面名称		縮尺
[改修]003棟 平面詳細図(2)		1:50 A3

設計年月日
2024.2

図面番号
A-49

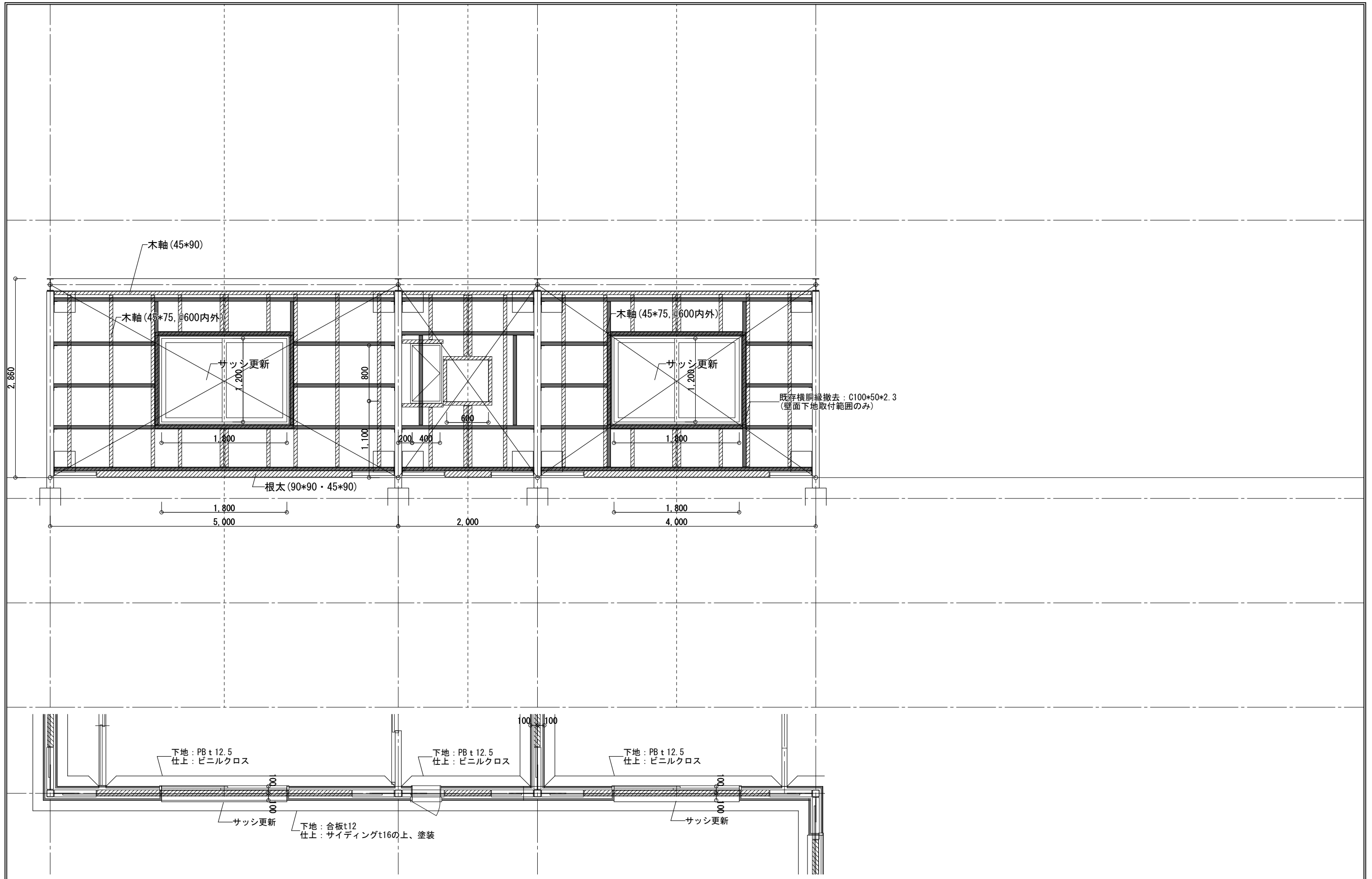


株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

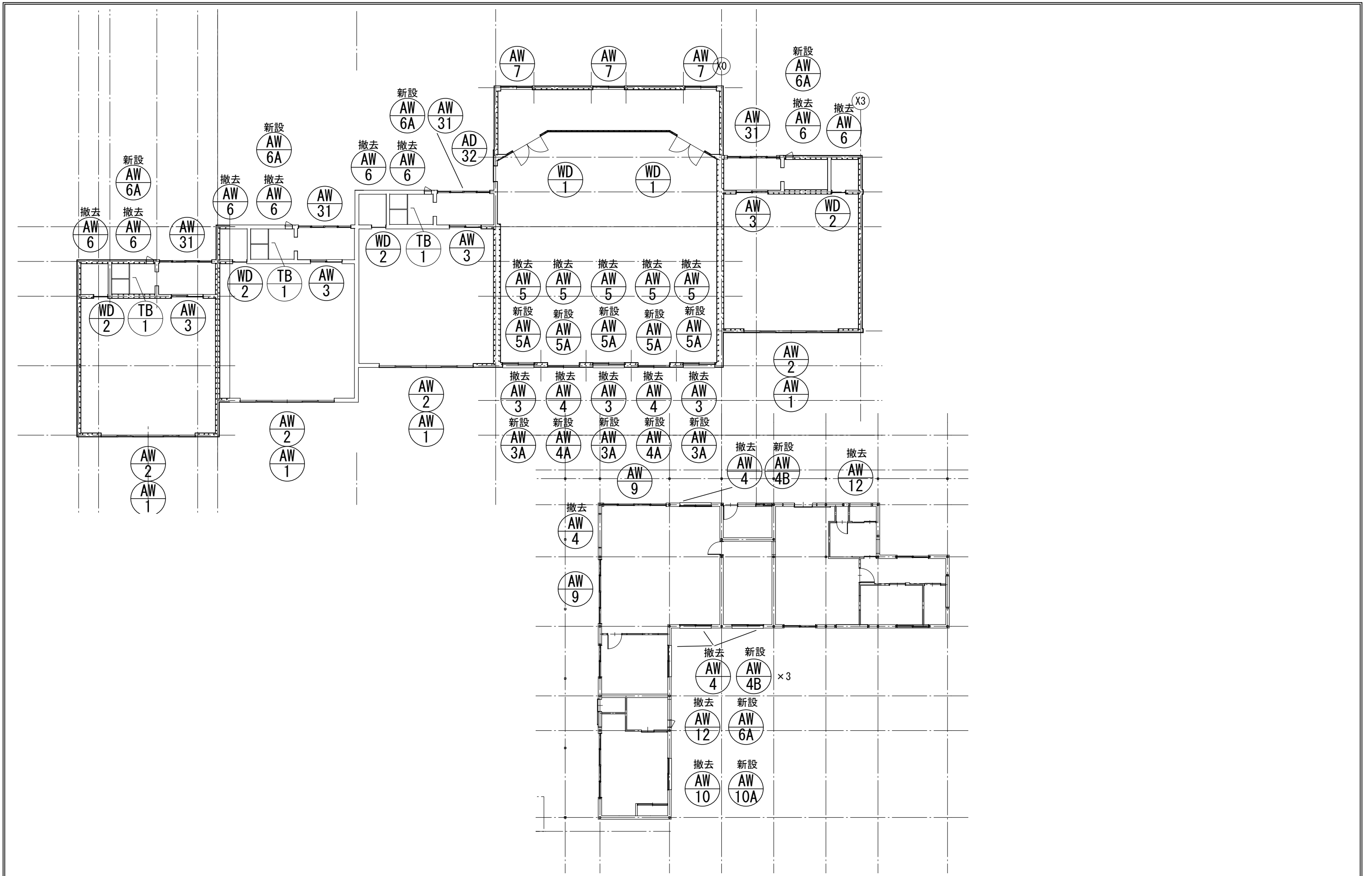
検査 作図
工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 [改修]003棟 展開詳細図 (1)

設計年月日 2024. 2
縮尺 1: 50 A3

図面番号 A-50

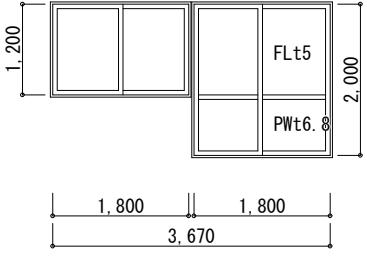
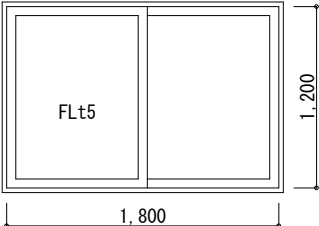
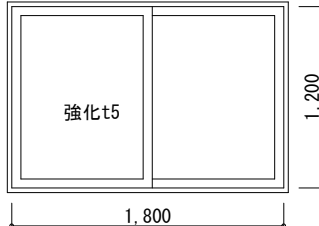
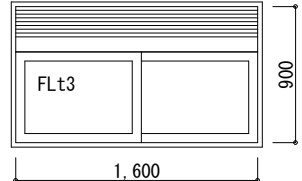
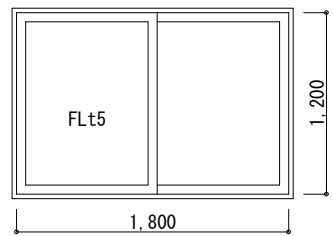
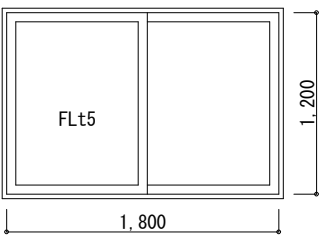
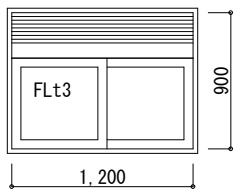
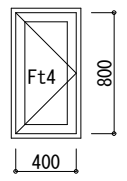
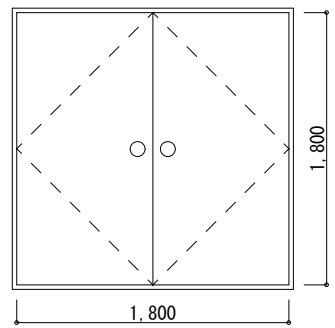
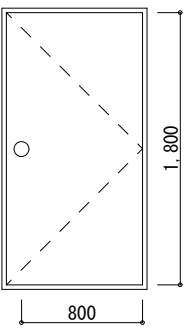


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-51
			図面名称 [改修]003棟 展開詳細図(2)	縮尺 1:50 A3	



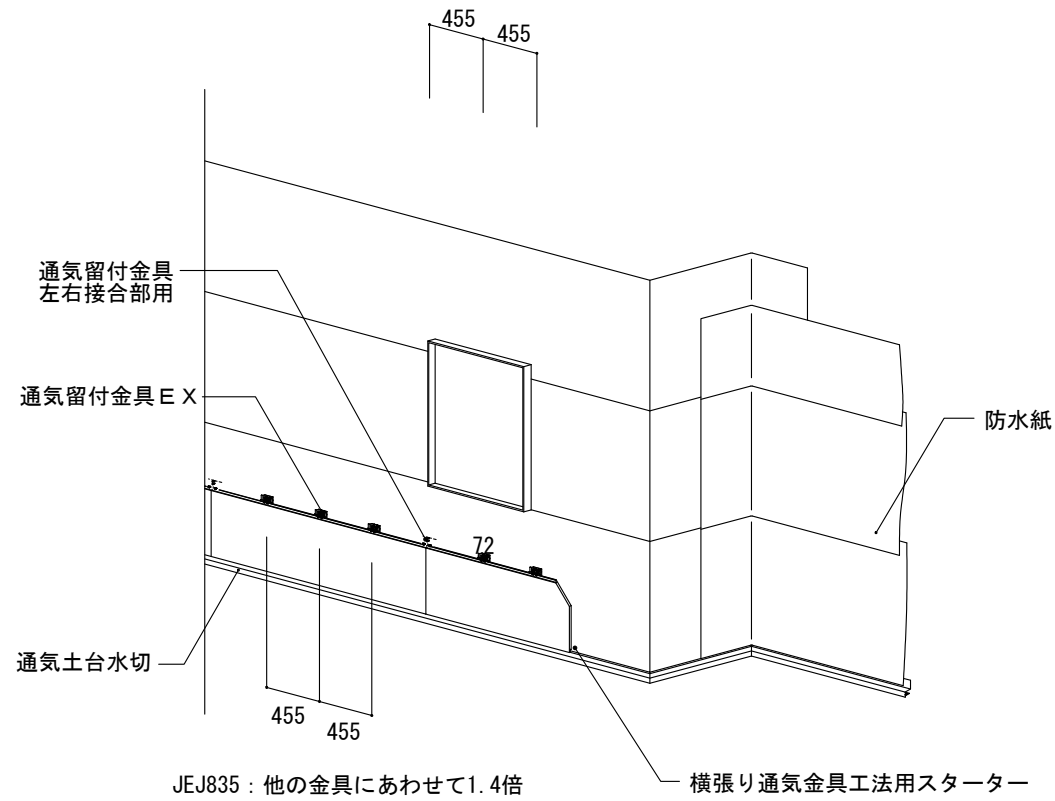
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-52
	図面名称 [撤去・改修]共通 建具リスト			縮尺 1 : 200 A3	

記号・型式	AW2 アルミ製 (3連 引違窓) 既存	AW3 アルミ製 (引違窓) 既存	AW3 アルミ製 (引違窓) 撤去	AW3 アルミ製 (引違窓) 新規	AW4 アルミ製 (引違窓) 撤去
姿 図	AW1 アルミ製 (4枚引込+両袖FIX) 002棟 ※清掃・建具調整	AW3 アルミ製 (引違窓) 002棟 ※清掃・建具調整	同左	AW3 アルミ製 (引違窓) 002棟 	AW4 アルミ製 (引違窓) 002棟
位置・数量	保育室 (2,3,4,5) 4か所	保育室 (2,3,4,5) 4か所	遊戯室 3か所	遊戯室 3か所	遊戯室 2か所
仕上・見込	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込AW1: 120、AW2: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	同左	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70
硝子	AW1: FLt5+PWt6.8 AW2: FLt3	FLt5+PWt6.8	同左	強化t5、飛散防止フィルム	FLt5
金物	取手、シリンダー錠、戸当り	取手、シリンダー錠、戸当り	同左	取手、ロック付クレセント	取手、クレセント
備考				網戸	
記号・型式	AW4A アルミ製 (引違窓) 新規	AW5 アルミ製 (引違窓) 撤去	AW5A アルミ製 (引違窓) 新規	AW6 アルミ製 (引違窓、ガラリ付) 撤去	AW6A アルミ製 (外開き) 新規
姿 図	AW4A アルミ製 (引違窓) 002棟 	AW5 アルミ製 (引違窓) 002棟 	AW5A アルミ製 (引違窓) 002棟 	AW6 アルミ製 (引違窓、ガラリ付) 002棟 	AW6A アルミ製 (外開き) 002棟
位置・数量	遊戯室 2か所	遊戯室 5か所	遊戯室 5か所	物入・便所 8か所	便所 4か所
仕上・見込	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70
硝子	強化t5、飛散防止フィルム	FLt5	強化t5、飛散防止フィルム	物入PWt6.8、便所FLt3	強化t5、飛散防止フィルム
金物	取手、ロック付クレセント、錠	取手、クレセント	取手、ロック付クレセント	取手、クレセント	取手、ロック付クレセント、丁番
備考	網戸		網戸		網戸
記号・型式	AW7 アルミ製 (引違窓) 既存	AW8 アルミ製 (2連・2段引違窓) 既存	AW8A アルミ製 (外付引戸) 既存	IB1 幼児用トイレブース 新設	IB2 職員用トイレブース 新設
姿 図	AW7 アルミ製 (引違窓) 002棟 ※清掃・建具調整	AW8 アルミ製 (2連・2段引違窓) 002棟 ※清掃・建具調整	AW8A アルミ製 (外付引戸) 002棟 ※清掃・建具調整	IB1 幼児用トイレブース 002棟 	IB2 職員用トイレブース 003棟
位置・数量	遊戯室倉庫 3か所	保育室 テラス 4か所	遊戯室 廊下 1か所	保育室 (3,4,5) 3か所	職員用 1か所
仕上・見込	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込: 70	メラミン樹脂化粧板 パネル厚: 40	メラミン樹脂化粧板 パネル厚: 40
硝子	PWt6.8	FLt3, t5, PWt6.8	FLt5		
金物	取手、クレセント	取手、クレセント	取手、クレセント	取手、丁番、ロック	取手、丁番、表示付きスライドロック
備考					ステンレス製巾木 アルミ製エッジ (アルマイト) グレビティエンジ
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之			検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事 図面名称 [撤去・改修]共通 建具表 (1)
					設計年月日 2024.2 縮尺 1:50 A3 図面番号 A-53

記号・型式	AW9 アルミ製 (2連 引違窓) 既存	AW10 アルミ製 (引違窓) 撤去	AW10A アルミ製 (引違窓) 新規	AW11 アルミ製 (引違窓、ガラリ付) 撤去
姿 図	003棟 	003棟 	003棟 	003棟 
位置・数量	職員室 2か所	保育室(1) 1か所	保育室(1) 1か所	便所 1か所
仕上・見込	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70
硝子	FLt5, Pwt6.8	FLt5	強化t5、飛散防止フィルム	FLt3
金物	取手、クレント	取手、クレント	取手、クレント	取手、クレント
備考	※清掃・建具調整			
記号・型式	AW4 アルミ製 (引違窓) 撤去	AW10B アルミ製 (引違窓) 新規	AW12 アルミ製 (引違窓、ガラリ付) 撤去	AW6A アルミ製 (外開き) 新規
姿 図	003棟 	003棟 	003棟 	003棟 
位置・数量	職員室・応接室・倉庫 5か所	職員室・応接室・倉庫 4か所	便所 1か所	便所 1か所
仕上・見込	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70	アルミ色 (扉・枠共) 枠見込 : 70
硝子	FLt5	強化t5、飛散防止フィルム	FLt3	強化t5、飛散防止フィルム
金物	取手、クレント	取手、ロック付クレセント	取手、クレント	取手、ロック付クレセント、丁番
備考		網戸		網戸
記号・型式	WD1 木製 (両開き扉) 既存	WD2 木製 (片開き扉) 既存		
姿 図	002棟 	002棟 		
位置・数量	遊戯室 2か所	保育室 (2~5歳児) 4か所		
仕上・見込	木部下地調整の上、EP塗装 枠見込 : 33	木部下地調整の上、EP塗装 枠見込 : 33		
硝子				
金物	円筒錠・丁番	円筒錠・丁番		
備考				
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之			検査 作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事 図面名称 [撤去・改修]共通 建具表 (2)
			設計年月日 2024.2	図面番号 A-54
			縮尺 1 : 50 A3	

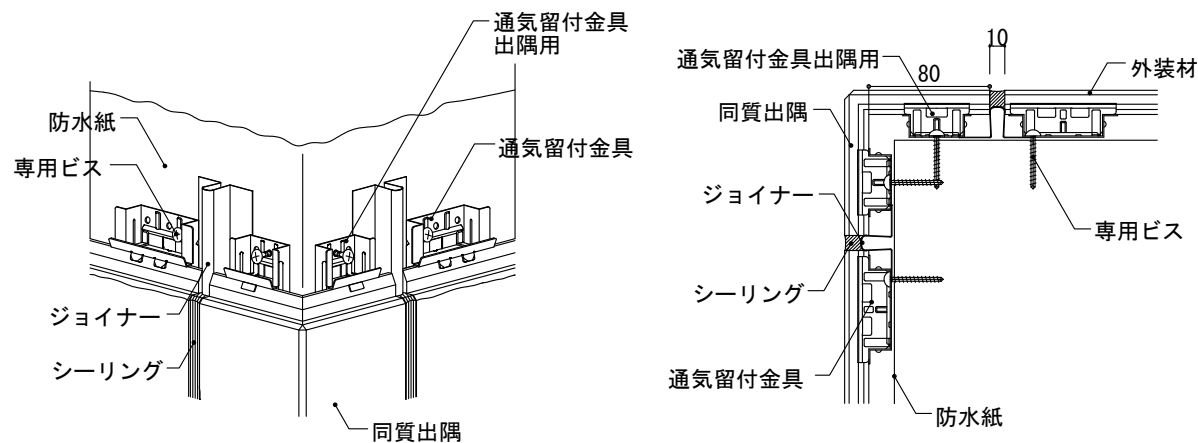
サイディング貼り 基本構成図・下地組図（参考）

- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 通気留付金具を留め付ける柱・間柱は、455mmの間隔となるように確認・調整します。
- 入隅部は金具類の留付下地として、必ず追加下地を設けます。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、500mm以下の間隔で留め付けます。
- 通気留付金具は専用ビスで留め付けます。



出隅部

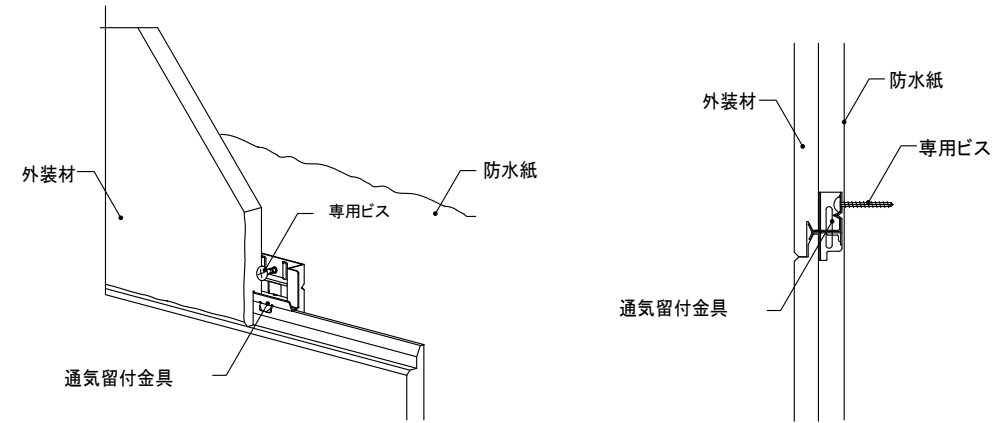
- 同質出隅は、通気留付金具EX出隅用で留め付けます。
- 実際に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス（ステンレスビスφ4.1mm×35mm）で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー20を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

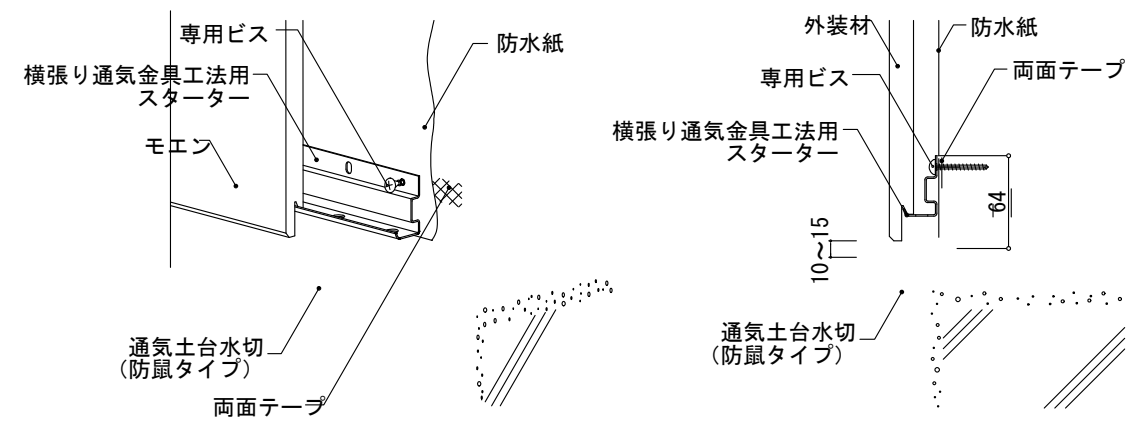
上下接合部

- 実際に通気留付金具を確実に納め、専用ビス（ステンレスビスφ4.1mm×35mm）で留め付けます。

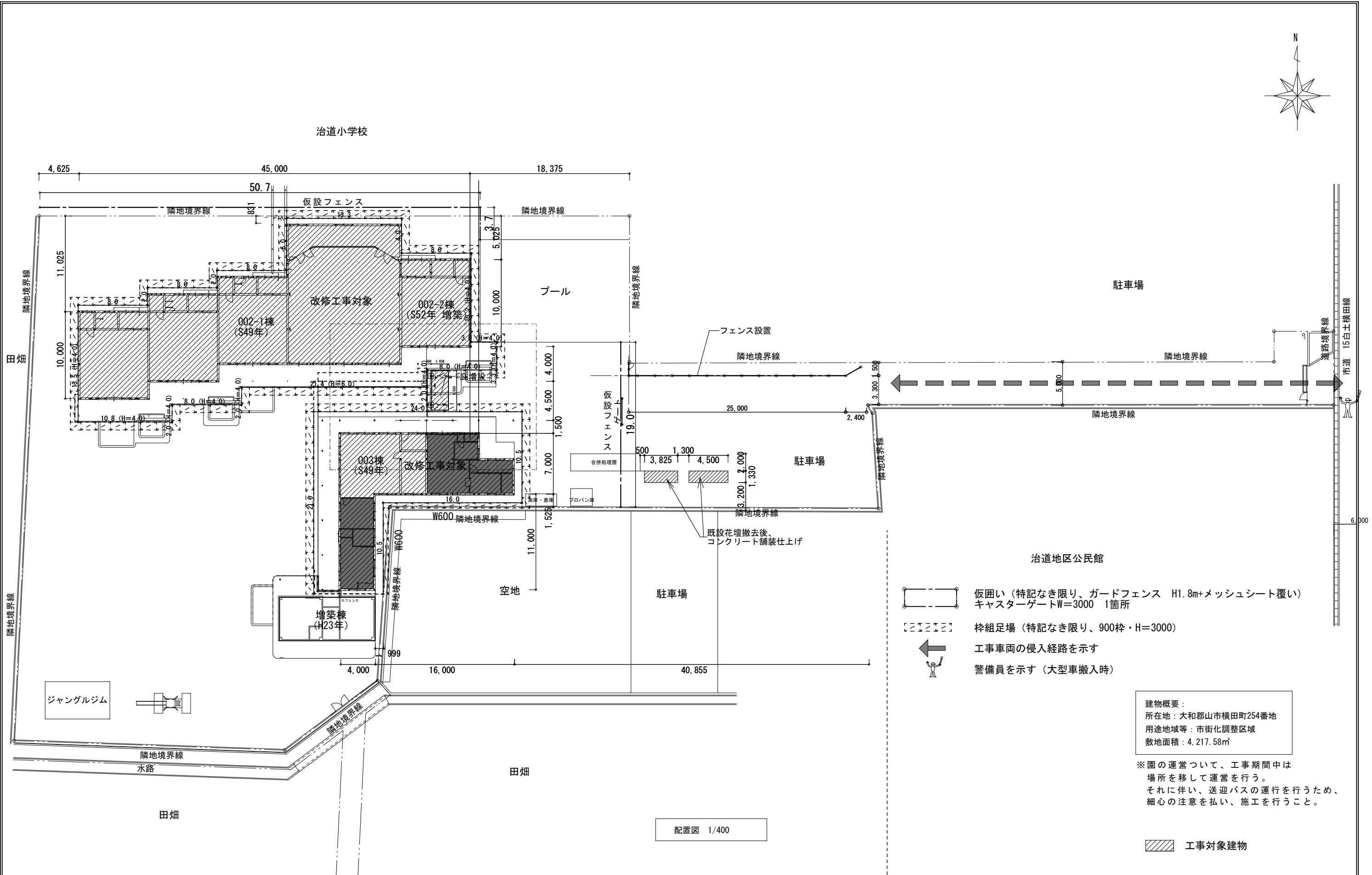
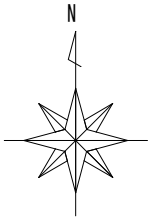


土台部

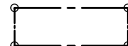
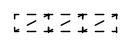


- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔で外装材用釘などを用いて水平に取り付けます。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビス（ステンレスビスφ4.1mm×35mm）を用い、土台に500mm以下の間隔で留め付けます。釘打ちは厳禁です。
- 外装材下端と通気土台水切の間は、10~15mmの隙間を設けます。



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-55
	図面名称 [改修]共通 詳細図 (外装サイディング)			縮尺 1:50, 1:5 A3	




配置図 1/400

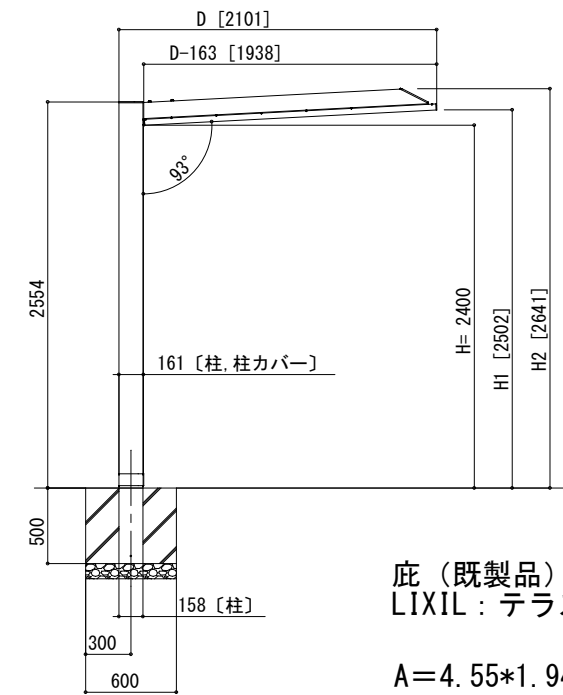
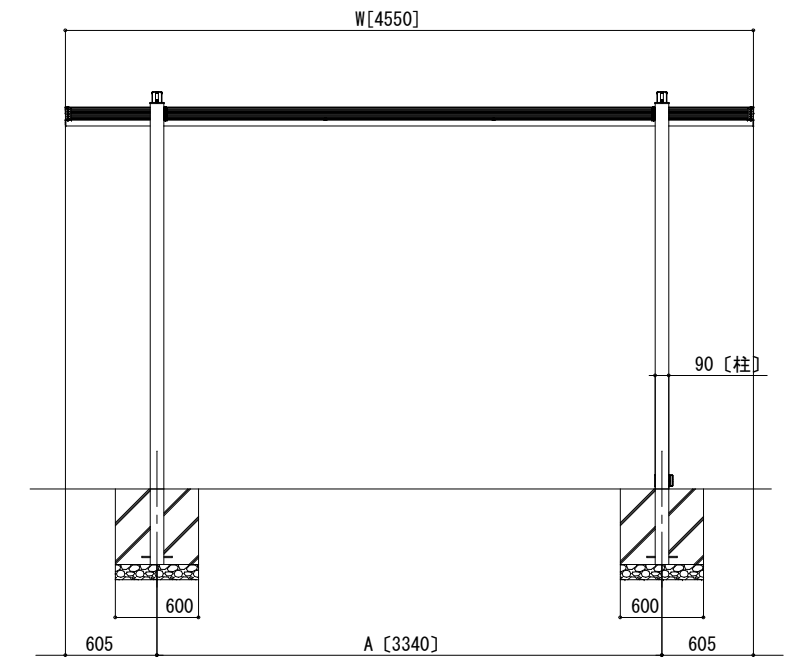
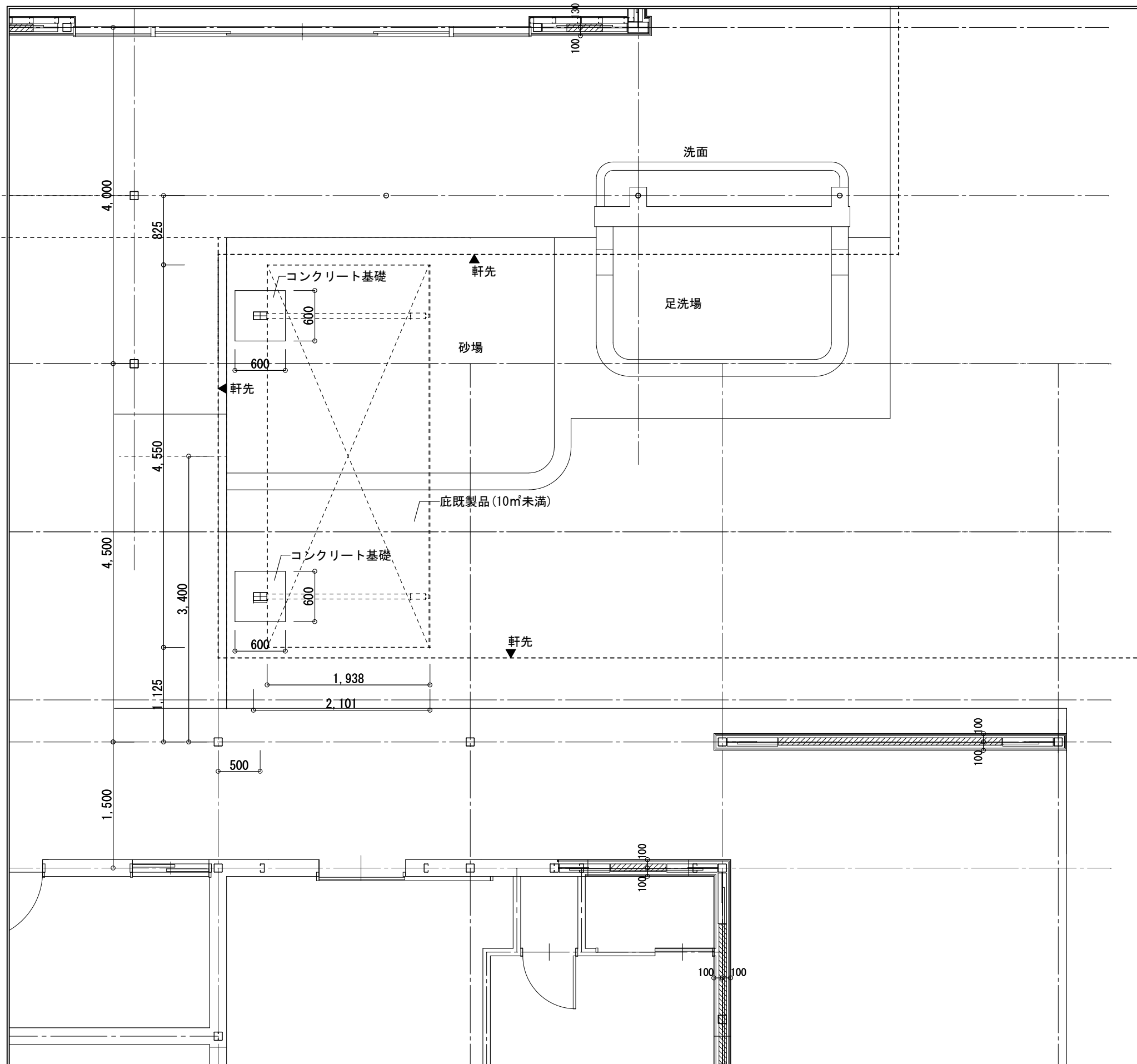
-  仮囲い (特記なき限り、ガードフェンス H1.8m+メッシュシート覆い) キャスターゲートW=3000 1箇所
-  枠組足場 (特記なき限り、900枠・H=3000)
-  工事車両の侵入経路を示す
-  警備員を示す (大型車搬入時)

建物概要：
 所在地：大和郡山市横田町254番地
 用途地域等：市街化調整区域
 敷地面積：4,217.58㎡

※ 図の運営について、工事期間中は場所を移して運営を行う。それに伴い、送迎バスの運行を行うため、細心の注意を払い、施工を行うこと。

 工事対象建物

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-56
			図面名称 [改修]共通 仮設計画図 (配置図)	縮尺 1:400 A3	

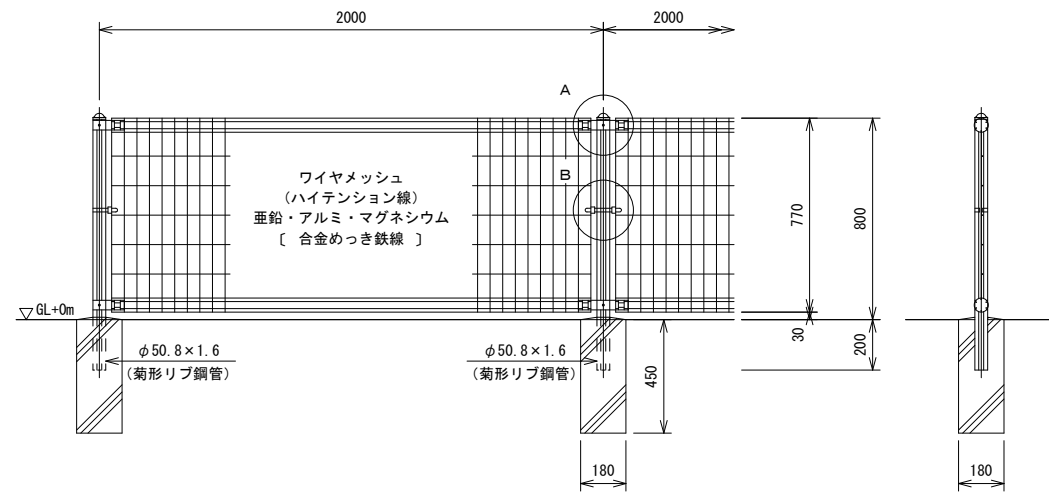


底 (既製品) 参考図
LIXIL : テラスSC同等品

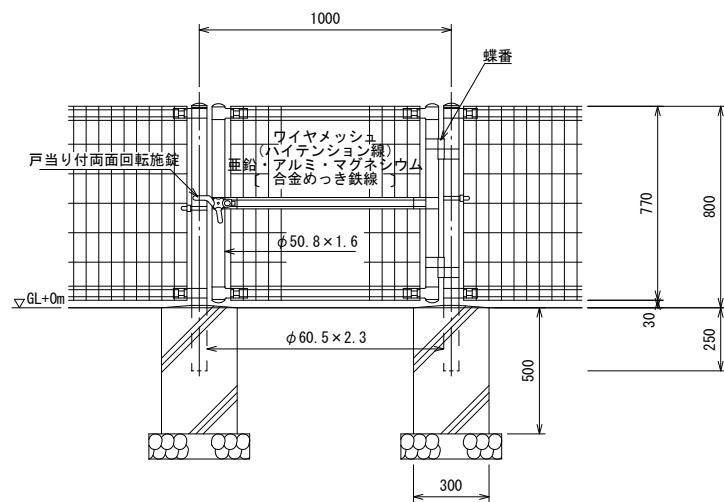
$A = 4.55 \times 1.94 = 8.82 \text{ m}^2$

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024.2	図面番号 A-57
			図面名称 [改修] 共通 外構・玄関底増設図	縮尺 1 : 50 A3	

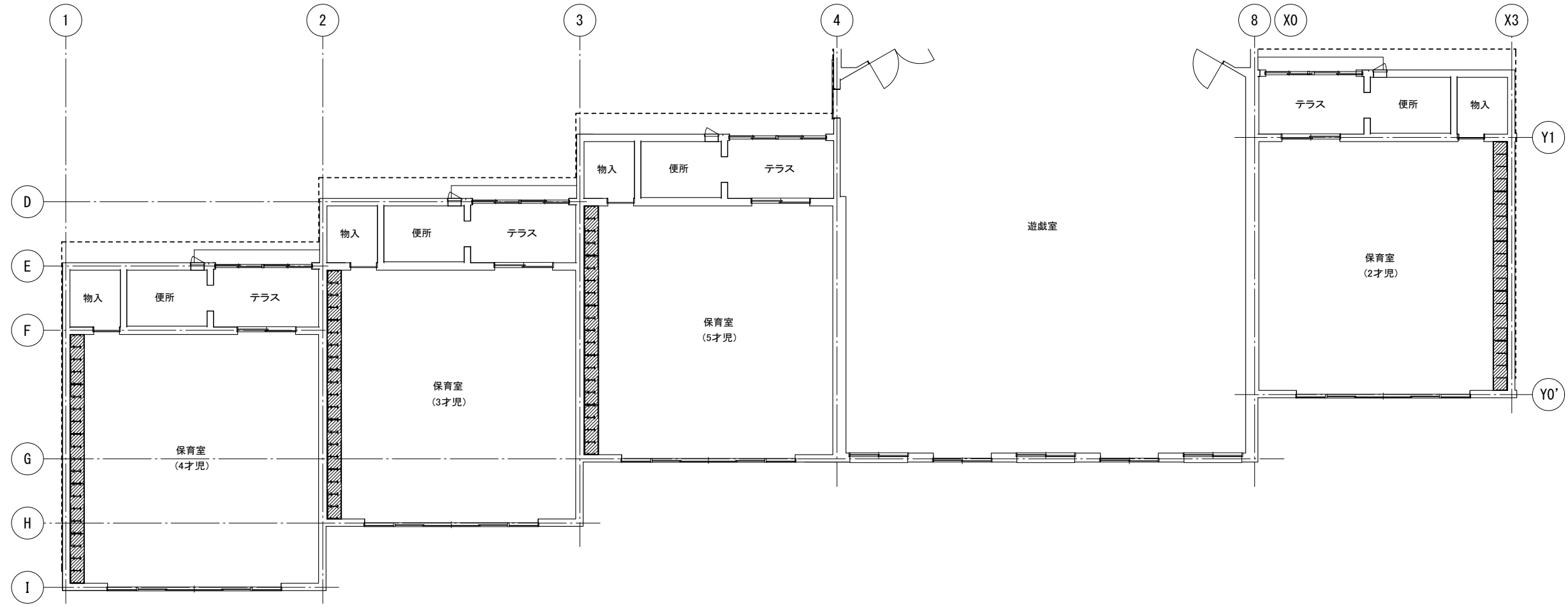
フェンス (H800) 参考図 S=1:20



片開き門扉 (参考図)
H800-50×W1000 S=1:15



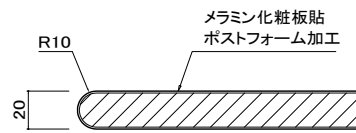
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-58
			図面名称 [改修] 共通 外構詳細図	縮尺 1:30 A3	



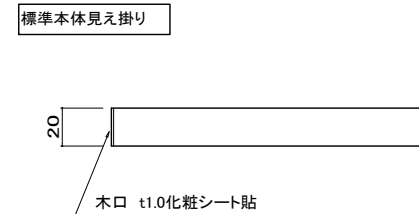
家具標準仕様 『特記無き場合は下記の仕様とする』

地球環境問題(リサイクル、温暖化等)に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。	
樹脂コート化粧パーティクルボード (ECOボードプラス)	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品(メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可) 「JIS A 5908」適合品の国内生産品とする。 表面材:天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
樹脂コート化粧MDF (NEOボードプラス)	JIS-F☆☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする。 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材:天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
ポリエステル化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。F☆☆☆☆適合品
塗料	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。F☆☆☆☆適合品
本体	主材:樹脂コート化粧パーティクルボードt20 (ECOボードプラス) 背板、地板取外し部:樹脂コート化粧MDF (NEOボードプラス)t4mm
木口	本体見掛け:非塩ビ化粧樹脂シートt1.0貼
天板	高圧メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工 ※ポストフォーム天板に使用するメラミンの厚さはt0.8以上とする。
台輪	ポリエステル化粧合板貼 下地:ランバーコア合板t15(四方組) ※家具側板を床に接地させる前巾木のみは不可とする。
共通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

天板 詳細図 1:4



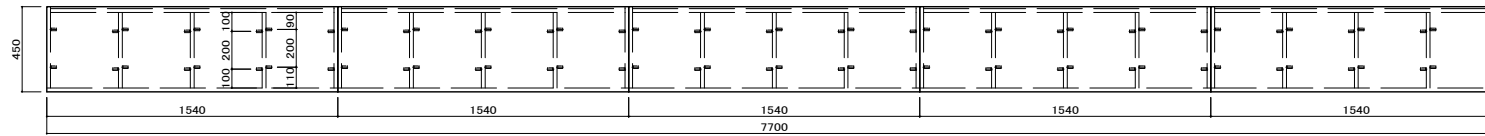
本体、棚板 木口仕上 詳細図 1:4



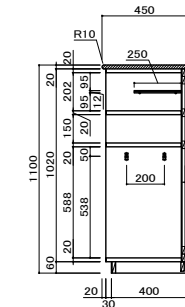
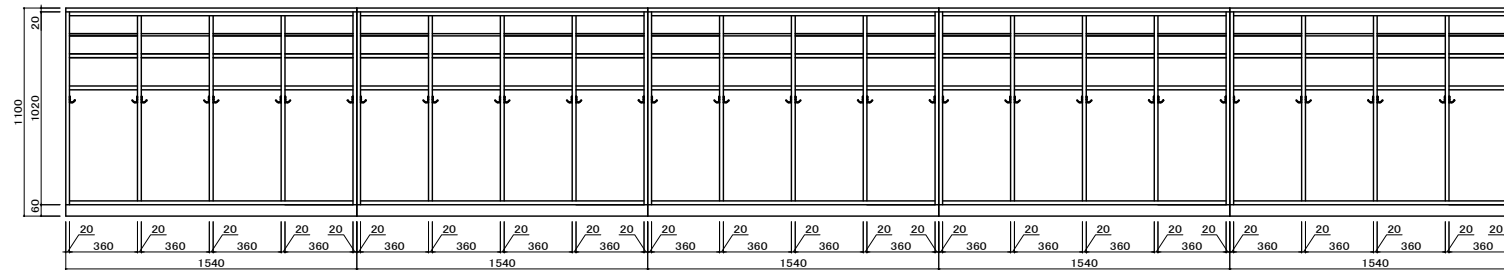
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 A-59
			図面名称 [改修] 共通 家具詳細図 (1)	縮尺 1:150・4 A3	

室名	数量
保育室(4歳児)	1ヶ所
保育室(3歳児)	1ヶ所
保育室(5歳児)	1ヶ所
合計	3ヶ所

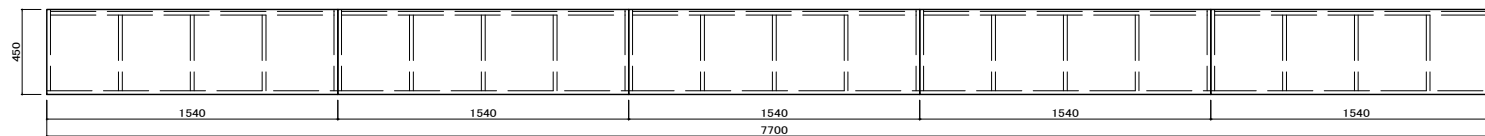
園児用ロッカー		
参考仕様		
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工	
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口・樹脂シートt1.0mm貼	
背板	樹脂コート化粧MDF貼	
棚板	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口・樹脂シートt1.0mm貼	
中棚	樹脂コート化粧MDF貼t12.0mm 棚受ダボφ9mm	
台輪	ポリ合板貼	
附属品		
フック	J型フック(A-52小 アンバー色)	80



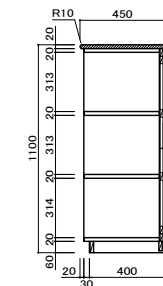
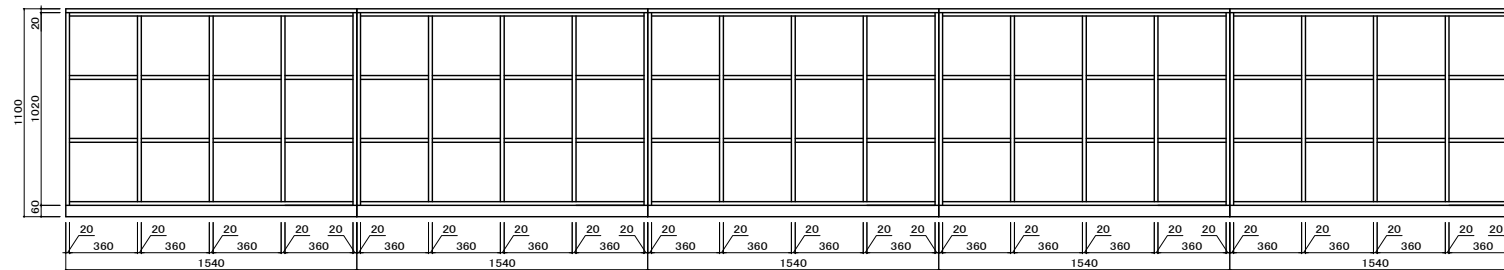
20列(1台4列×5台)



園児用ロッカー		
参考仕様		
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工	
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口・樹脂シートt1.0mm貼	
背板	樹脂コート化粧MDF貼	
棚板	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口・樹脂シートt1.0mm貼	
台輪	ポリ合板貼	



60マス(4列3段×5台)

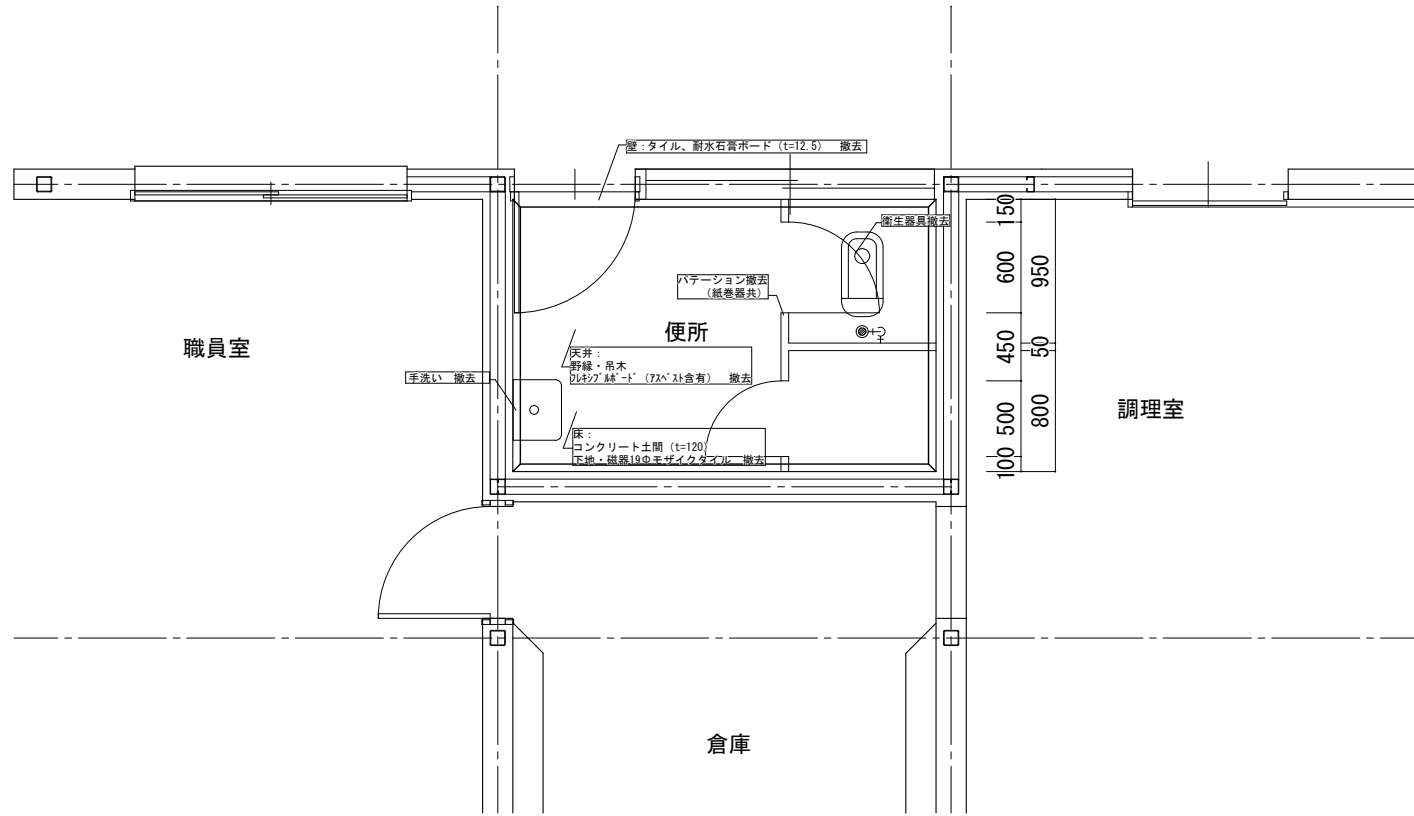


	株式会社都市・計画・設計研究所	検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
				治道認定こども園耐震改修工事	2024.2	
	一級建築士 第277813号 渡邊寿之			図面名称	縮尺	A-60
				[改修] 共通 家具詳細図 (2)	1:40 A3	

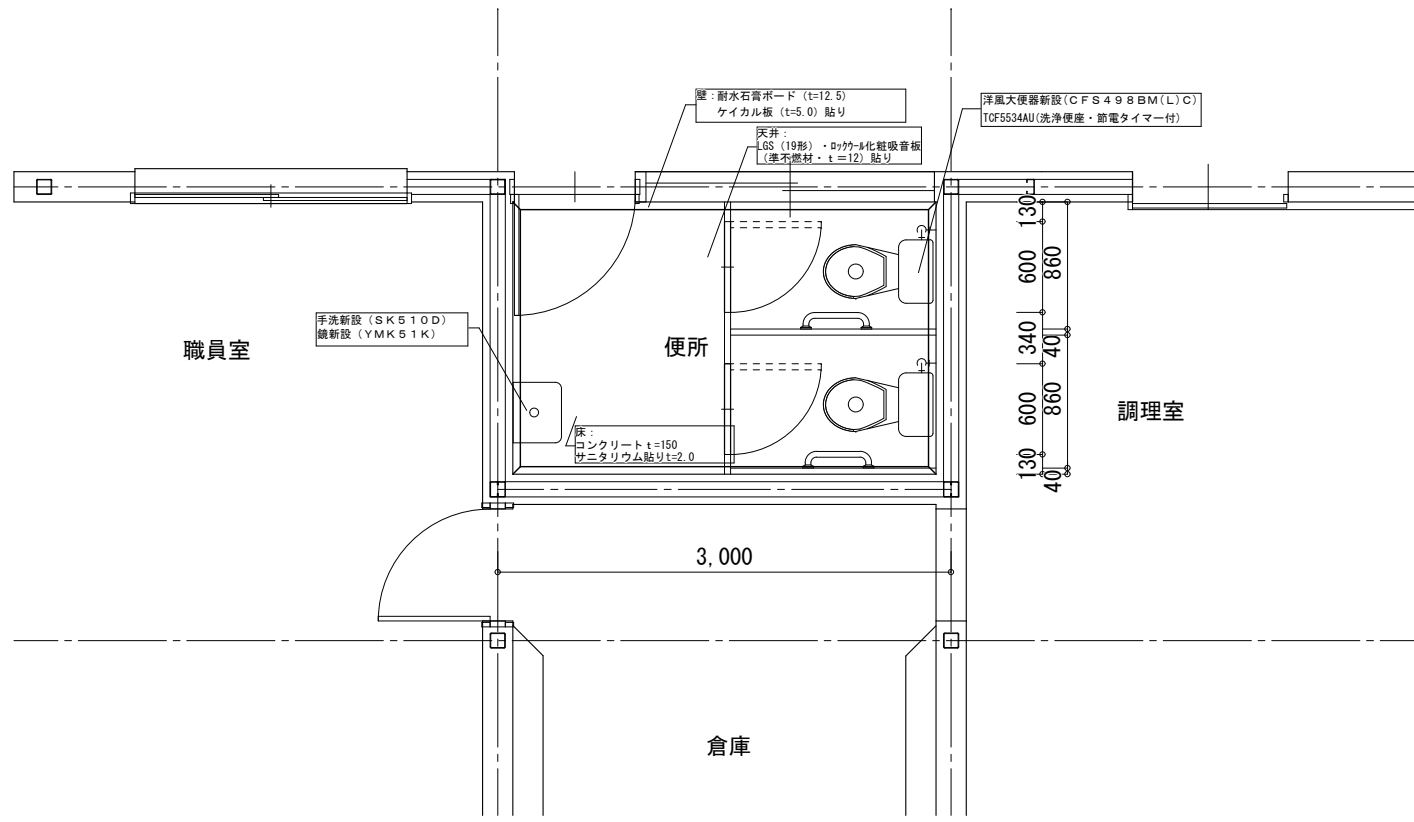
改修内容

- 【 便所（職員） 】
- ・床 :
 既存：コンクリート (t=120) ・モルタル下地
 磁器19Φモザイクタイル 撤去
 改修：コンクリート (t=150) の上、
 サニタリウム貼t=2.0 新設
- ・壁 :
 既存：スタッド@450・ラス
 耐水石膏ボード (t=12.5) 撤去
 改修：LGS (65形) ・耐水石膏ボード (t=12.5)
 の上、ケイカル板 (t=5.0) 新設
- ・天井 :
 既存：野淵・吊金物
 フレキシブルボード (78Φスト含有) 撤去
 改修：LGS (19形) の上、ロックル化粒吸音板
 (準不燃材・t=12) 貼り 新設
- ・衛生器具 :
 既存：大便器 (1) ・小便器 (1)
 掃除用流し・パーティション 撤去
 改修：大便器 (2) ・手すり (2) ・紙巻器 (2)
 パーティション 新設

便所（職員）撤去平面詳細図 1/50



便所（職員）改修平面詳細図 1/50



株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図
 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
 図面名称 [撤去・改修]003棟 便所（職員）平面詳細図

設計年月日 2024. 2
 縮尺 1 : 50 A3
 図面番号 A-61

既存建物耐震改修工事仕様書(1) 2023年度版

§1 一般事項

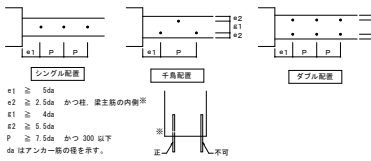
- 1-1 適用範囲
1-2 測定方法
1-3 使用材料
1-4 施工順序
1-5 耐火検証
1-6 補修
1-7 打設箇所の処理
1-8 コンクリート打設の注意事項
1-9 参考図書
1-10 その他

§2 使用材料

- 2-1 コンクリート
2-2 無収縮モルタル
2-3 鉄筋
2-4 スパイラル筋
2-5 糸引アンカー

Table with columns: 鉄筋系アンカー規格, L1 (20), L (8d), ビッチ, ※設計用引張強度 kN/本. Rows include D13, D16, D19, D22.

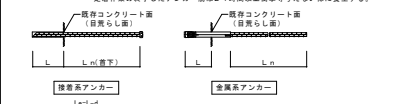
Table with columns: 金属系アンカー規格, 呼び径, L1 (30d), L (5d), ビッチ, ※設計用引張強度 kN/本. Rows include M13, M16, M19, M22.



アンカー引張試験
アンカーの固着力の検証は、全数を打替検査する。また糸引アンカー協会(JCAA)の試験方法により1日に施工されたものを各層毎にロットとしてこの中から末道以上引張試験を行う。

Table with columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, ダイア, 大梁, プレス, 小梁, 他. Lists various steel reinforcement materials like S5400, S800A, etc.

2-7 炭素繊維補強
炭素繊維補強の工法は国土交通省告示、又は日本建築工法の認定工法、日本建築学会技術の注冊詳細を交付した工法とする。



3-1 標準仕様
3-2 改修箇所
3-3 現場作業要領

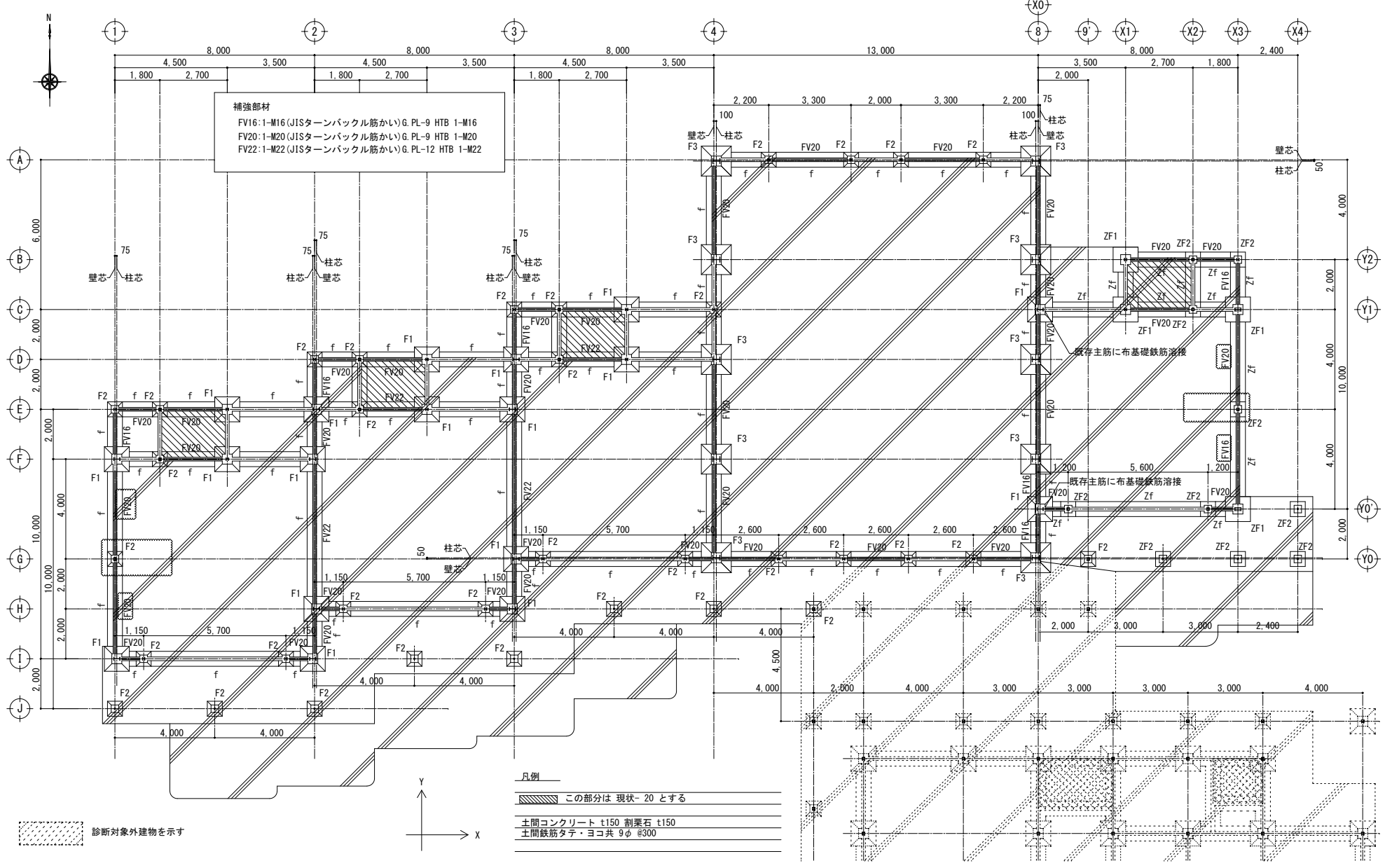
5.3 鉄骨造補強

- 1) 架構全体の改修
1-1 軸組構造の改修
1-2 水平構面の改修
2) 軸組構造の改修
2-1 柱の耐力増大
2-2 梁の耐力増大
2-3 トラス梁の耐力増大
2-4 筋かいの耐力増大
3) 柱脚の改修
3-1 鋼板置きによる補強
3-2 RC柱等による補強
3-3 RC柱とS梁の接合部補強
4) 柱頭の改修
4-1 RC柱頭部のS柱・大梁接合部の補強

- 1) 前掲箇
2) 高力ボルト設置
高力ボルトは高力六角ボルトまたはトルシア高力ボルトとする。
高力ボルトの規格
トルシア高力ボルト
溶融亜鉛メッキ高力ボルト
3) 溶接検査
溶接方法は縦接アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
完全溶込溶接の場合はエンドラプを使用し、すみ肉溶接の場合は目し溶接を行う。
溶接の高力ボルト接合が使用される場合は高力ボルト接合を先行する。
4) 溶接部の検査
高力ボルトの検査はJASS 6 6項による。
溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験とする。
すみ肉溶接および部分溶込溶接は全数目視検査とする。

Table with columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, ダイア, 大梁, プレス, 小梁, 他. Lists various steel reinforcement materials like S5400, S800A, etc.

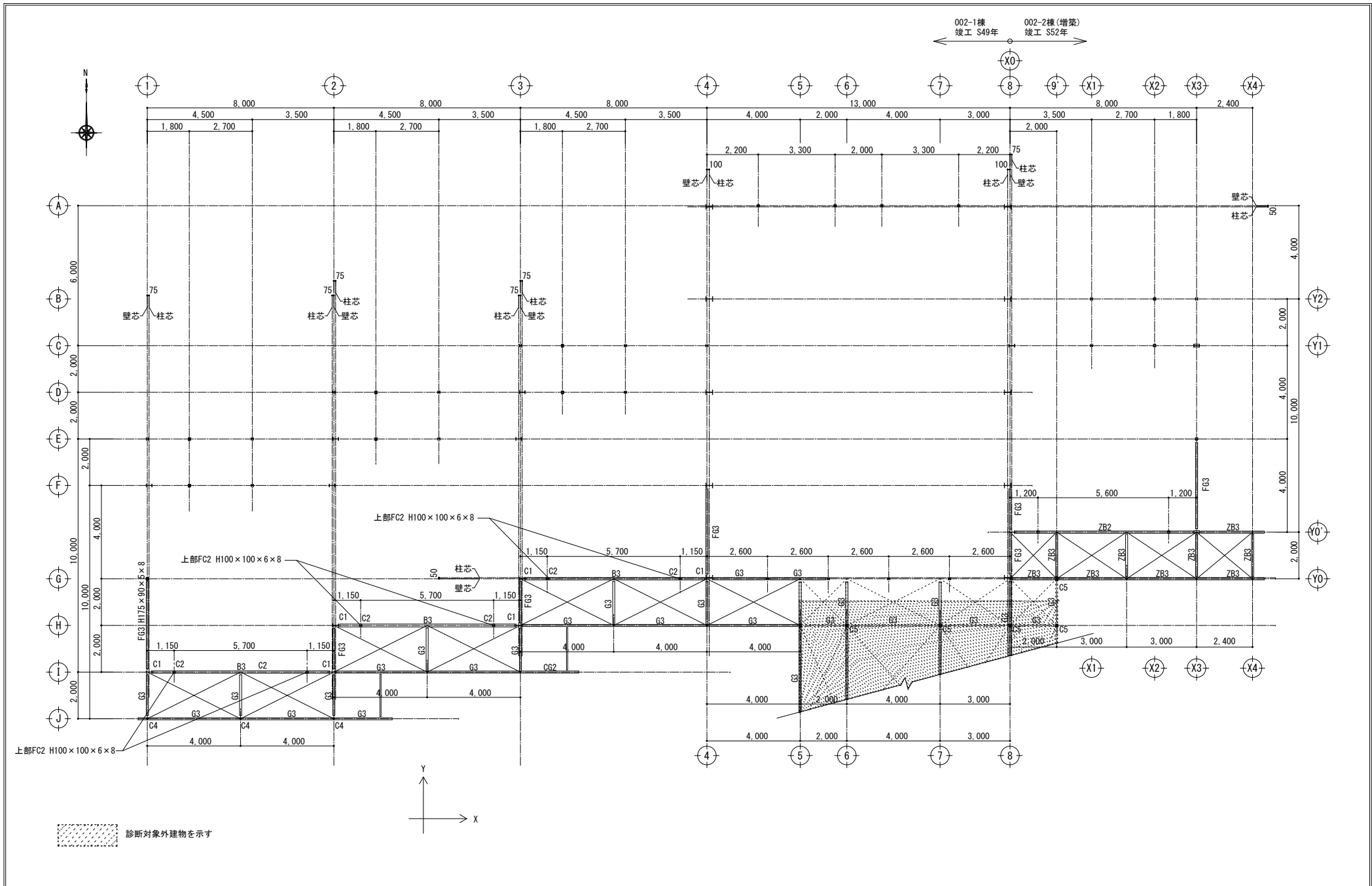
002-1棟 竣工 S49年
002-2棟(増築) 竣工 S52年



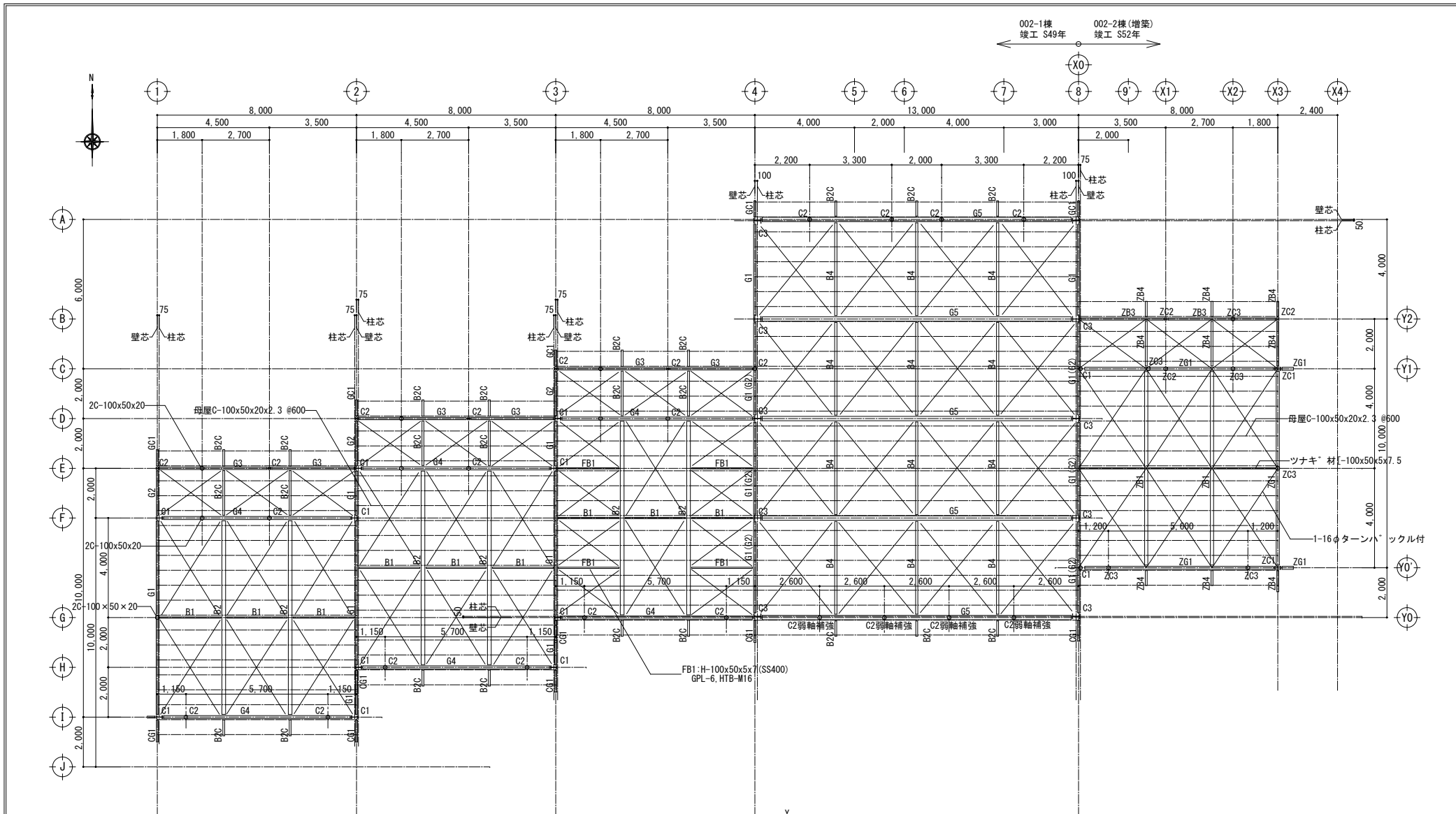
株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 002棟 基礎伏図

設計年月日 2024.2
縮尺 1/150
図面番号 S-002

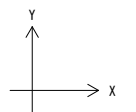


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 003
			図面名称 002棟 小屋組R1伏図	縮尺 1/150	

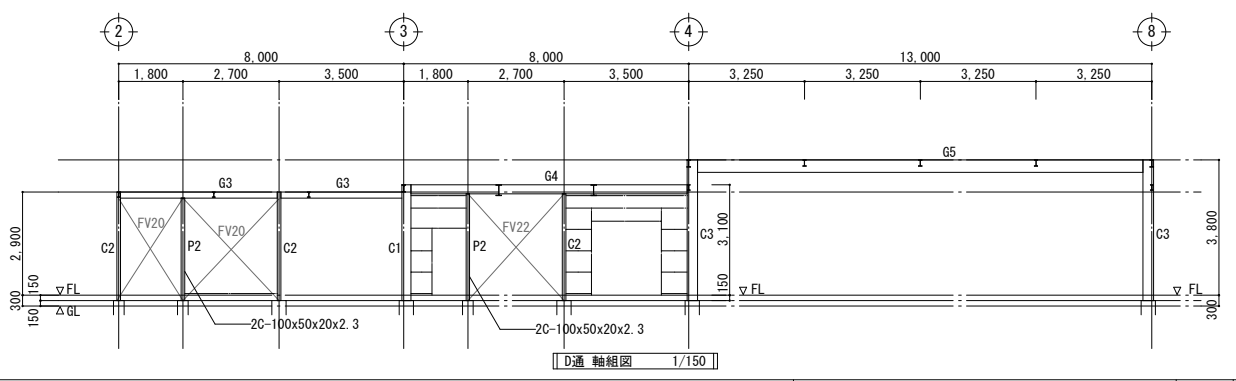
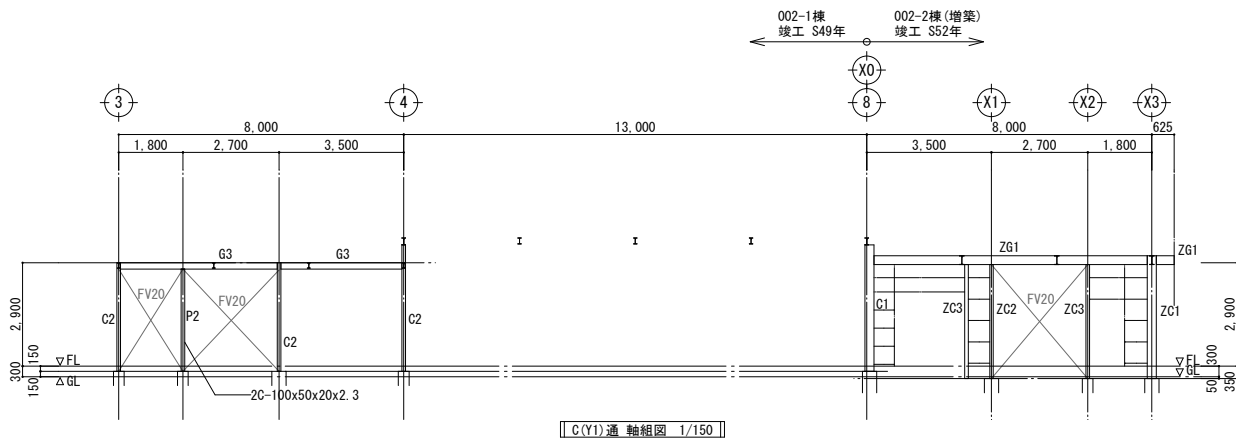
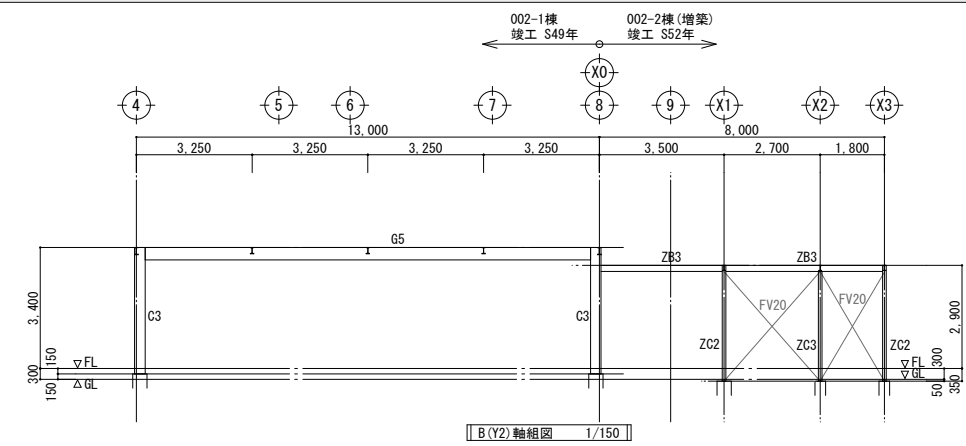
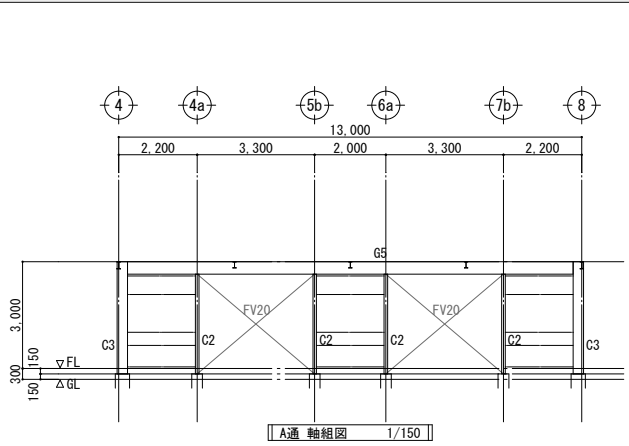


凡例
 ()は全て下梁を示す

補強部材
 × 屋根面ブレース 1-M16 (JISターンバックル筋かい)
 G. PL-9 HTB 1-M16

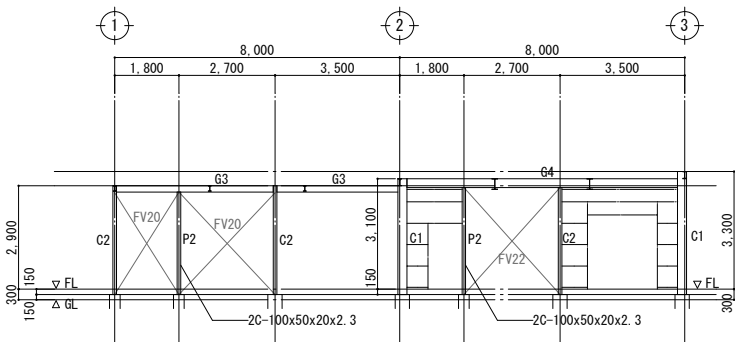


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査 作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 004
	図面名称 002棟 小屋組R2伏図	縮尺 1/150		

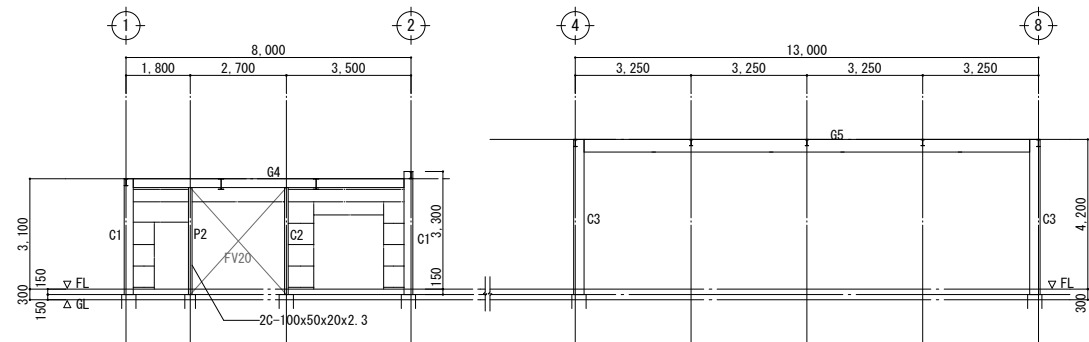


補強部材 軸組図共通
 FV16: 1-M16 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20: 1-M20 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22: 1-M22 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 005
	図面名称 002棟 軸組図(1)			縮尺 1/150	

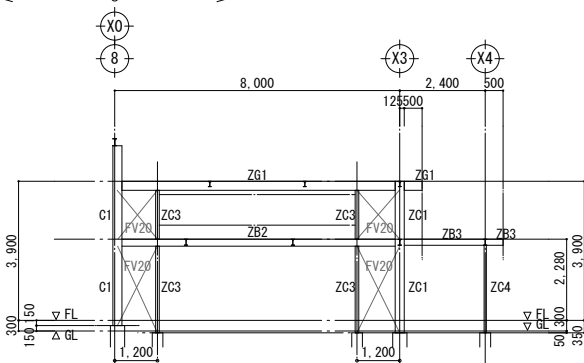


E通 軸組図 1/150

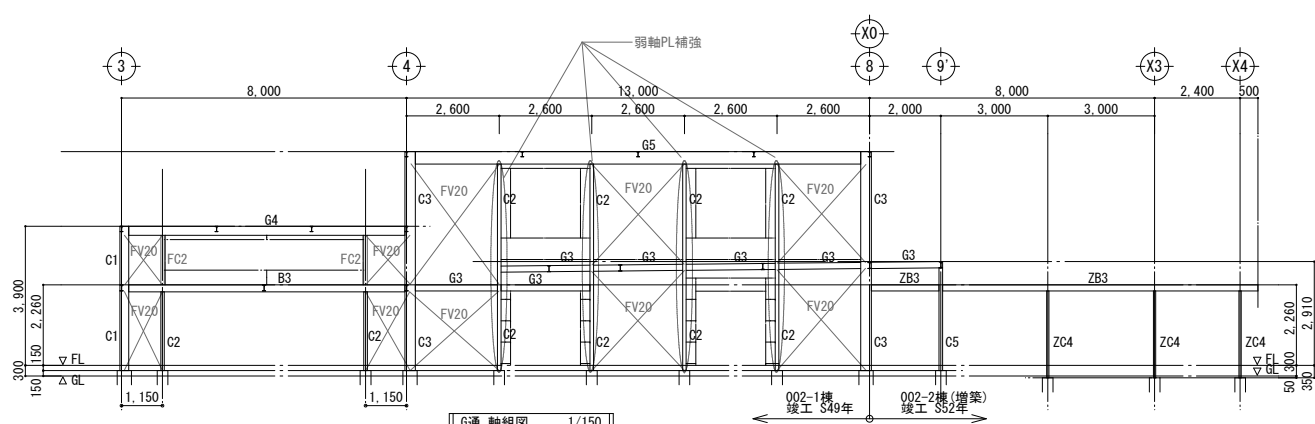


F通 軸組図 1/150

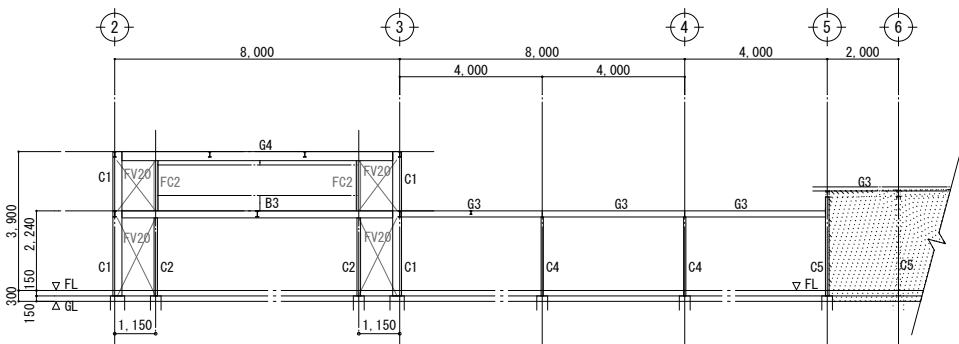
002-1棟 竣工 S49年
002-2棟(増築) 竣工 S52年



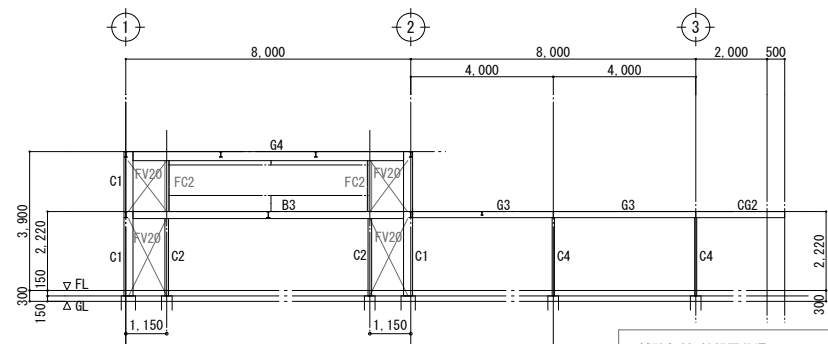
Y0'通 軸組図 1/150



G通 軸組図 1/150



H通 軸組図 1/150



I通 軸組図 1/150

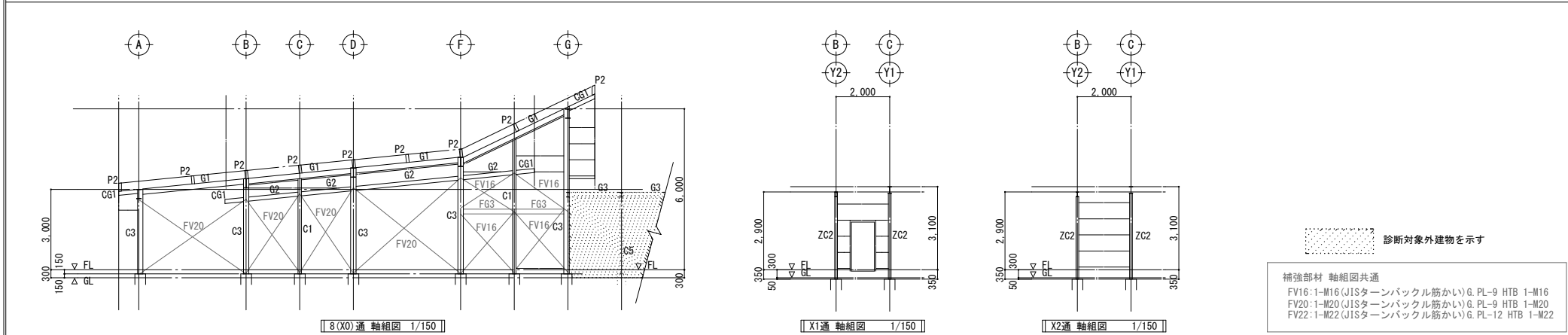
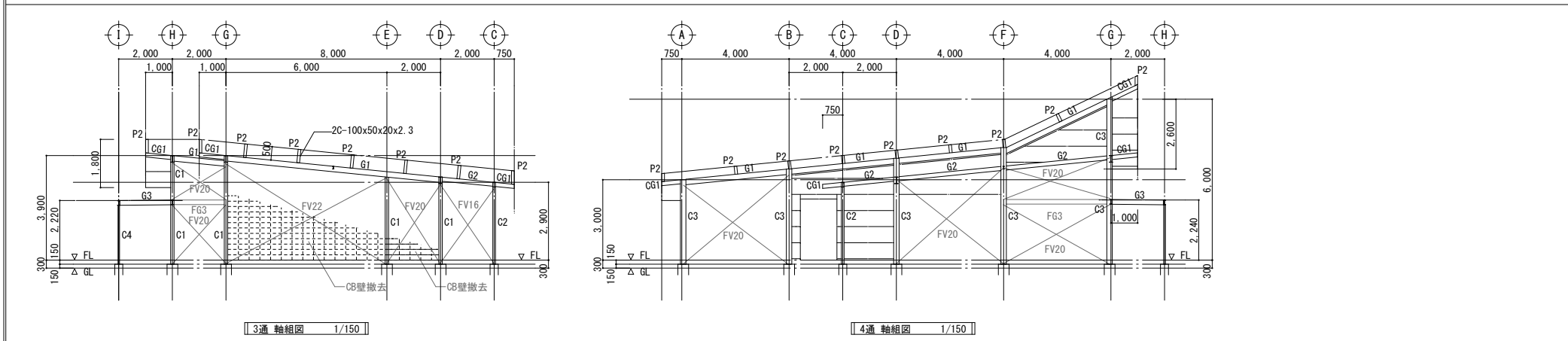
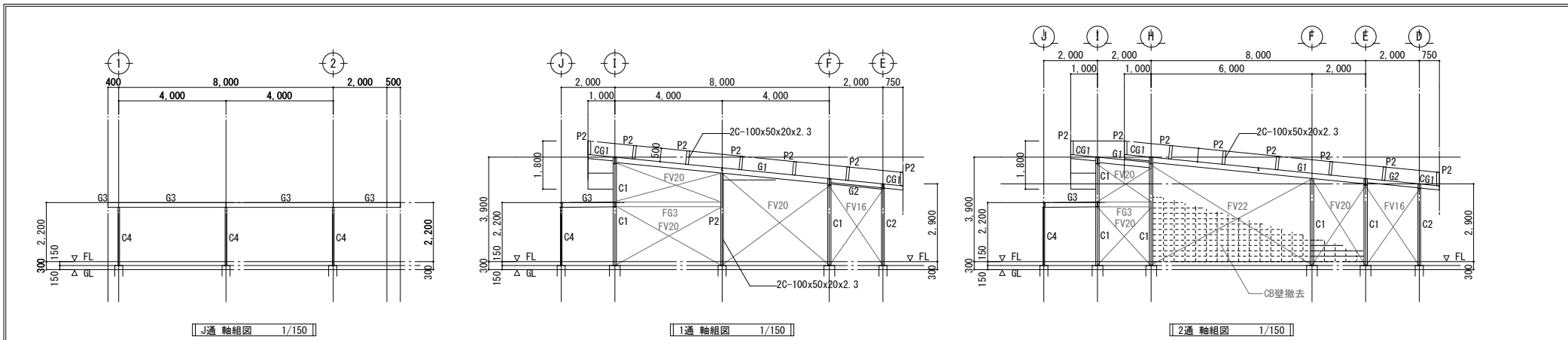
補強部材 軸組図共通
 FV16: 1-M16 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20: 1-M20 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22: 1-M22 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
 図面名称 002棟 軸組図(2)

設計年月日 2024. 2
 縮尺 1/150

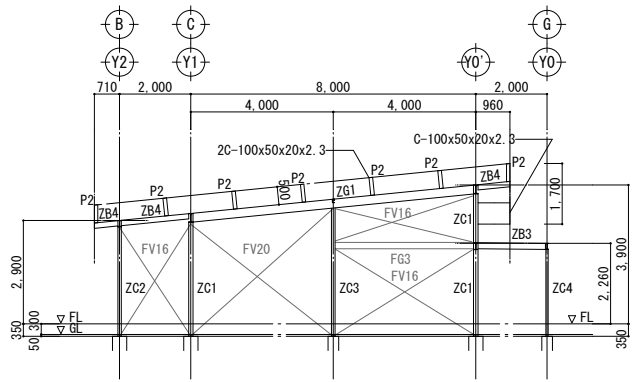
図面番号 S - 006



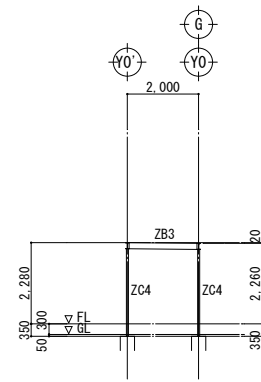
補強部材 軸組図共通
 FV16:1-M16(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22(JISターナックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

[点線パターン] 診断対象外建物を示す

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 007
	図面名称 002棟 軸組図(3)			縮尺 1/150	



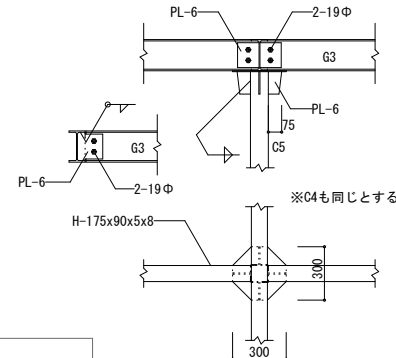
X3通 軸組図 1/150



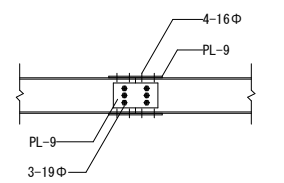
X4通 軸組図 1/150

※特記無き大梁の仕口は全て共通

仕口詳細図 1/30

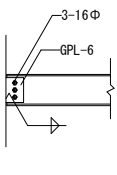


化粧仕口詳細図 1/30

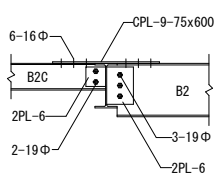


G1 G3 B3 B4 継手詳細図 1/30

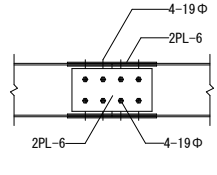
補強部材 軸組図共通
 FV16:1-M16 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22 (JIS ターンバックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22



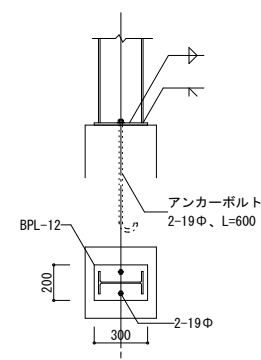
G3 仕口詳細図 1/30



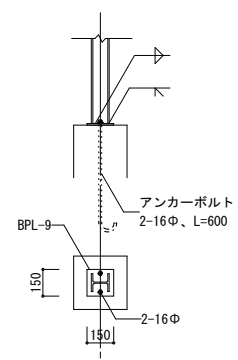
B2C B2 継手詳細図 1/30



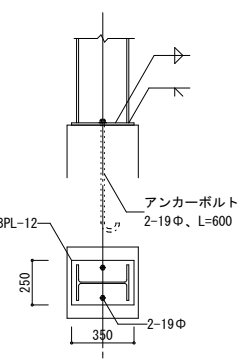
B2 G4 G5 継手詳細図 1/30



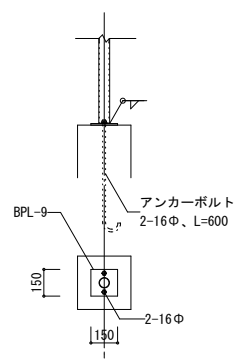
C1 柱脚詳細図 1/30



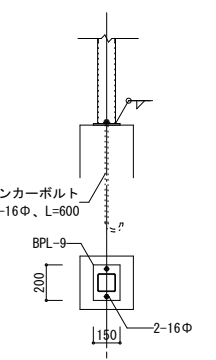
C2 柱脚詳細図 1/30



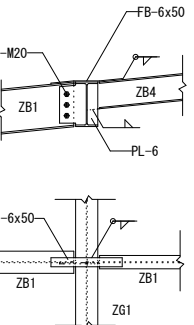
C3 柱脚詳細図 1/30



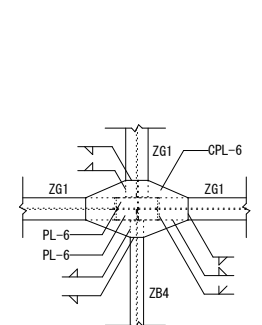
C4 柱脚詳細図 1/30



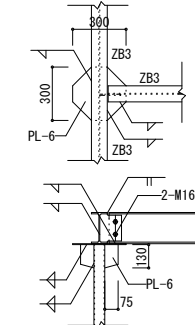
C5 柱脚詳細図 1/30



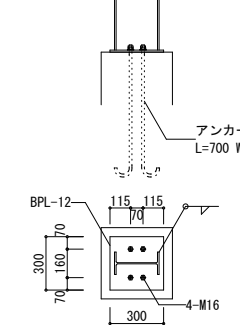
ZB1 ZB2 継手詳細図 1/30



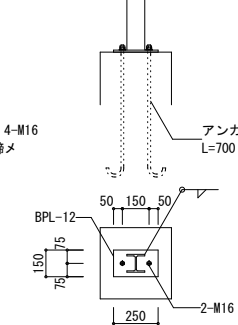
ZG1 ZB4 仕口詳細図 1/30



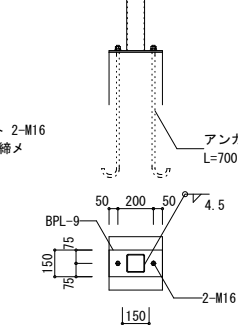
ZC4 ZB3 仕口詳細図 1/30



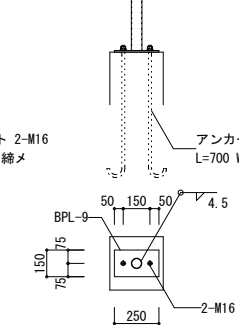
ZC1 柱脚詳細図 1/30



ZC2 柱脚詳細図 1/30



ZC3 柱脚詳細図 1/30



ZC4 柱脚詳細図 1/30

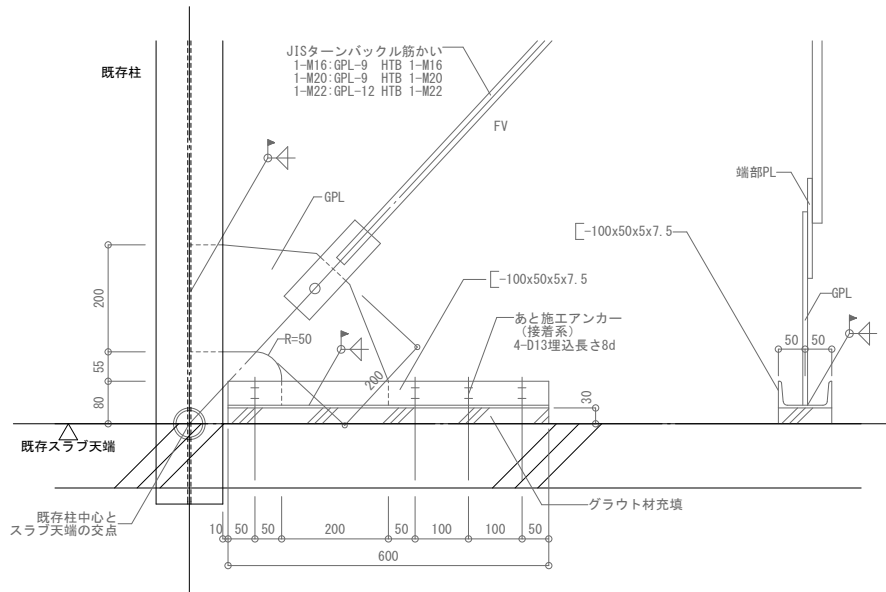
株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
 図面名称 002棟 軸組図(4)、仕口柱脚詳細図

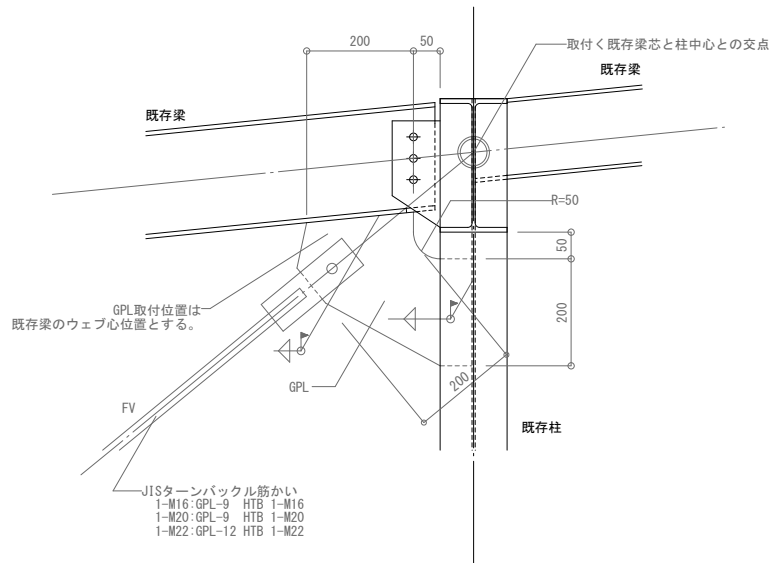
設計年月日 2024.2
 縮尺 1/150, 1/30

図面番号 S-008

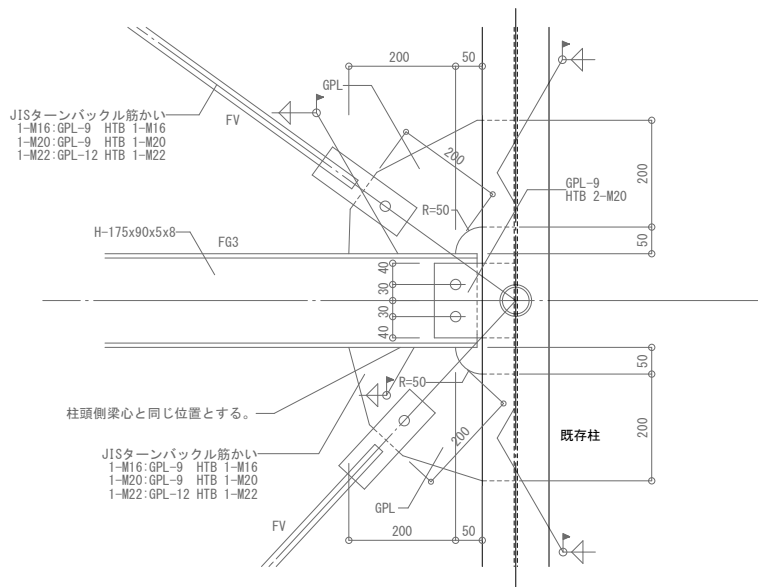
弱軸方向柱脚部取付け詳細図 1/10



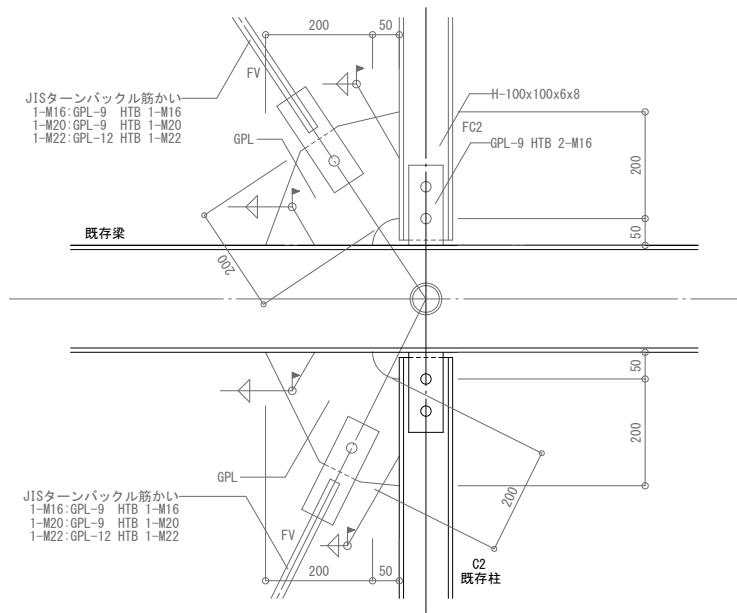
弱軸方向柱頭部取付け詳細図 1/10



柱中間部の新設梁取付け詳細図 1/10



新設間柱取付け詳細図 1/10



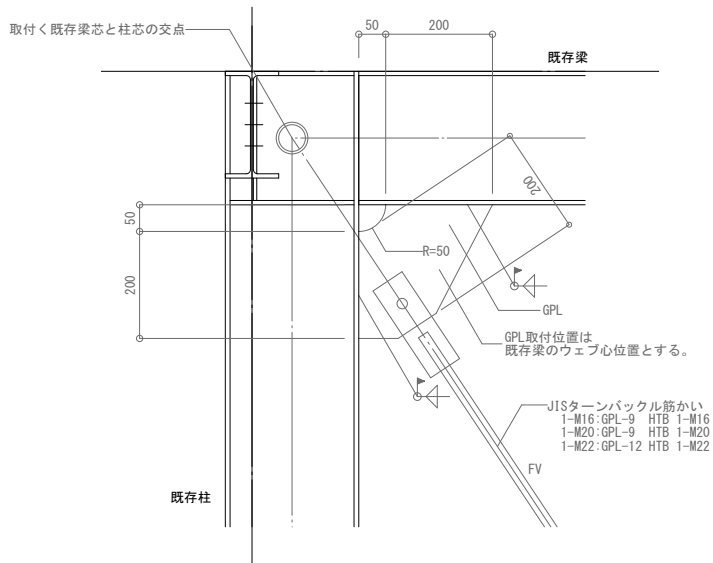
株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事
		図面名称 002棟 補強部材取付け要領詳細図(1)

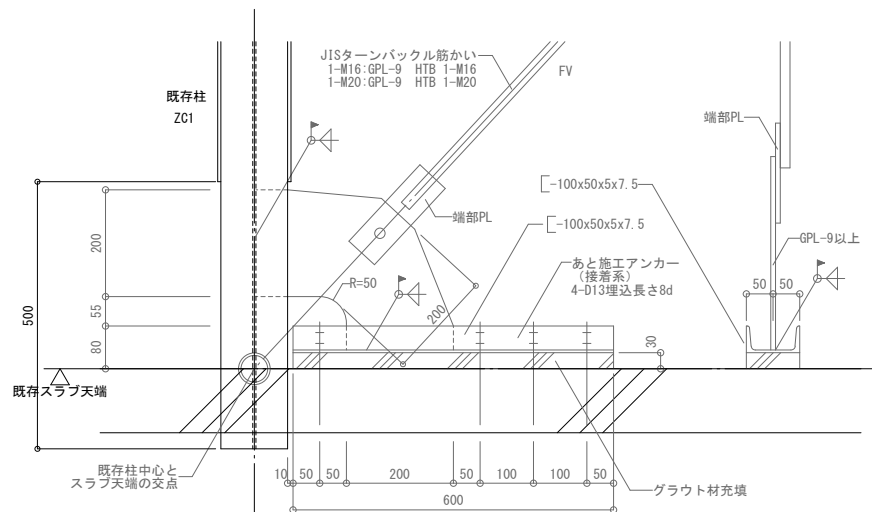
設計年月日 2024. 2
縮尺 1/10

図面番号 S - 009

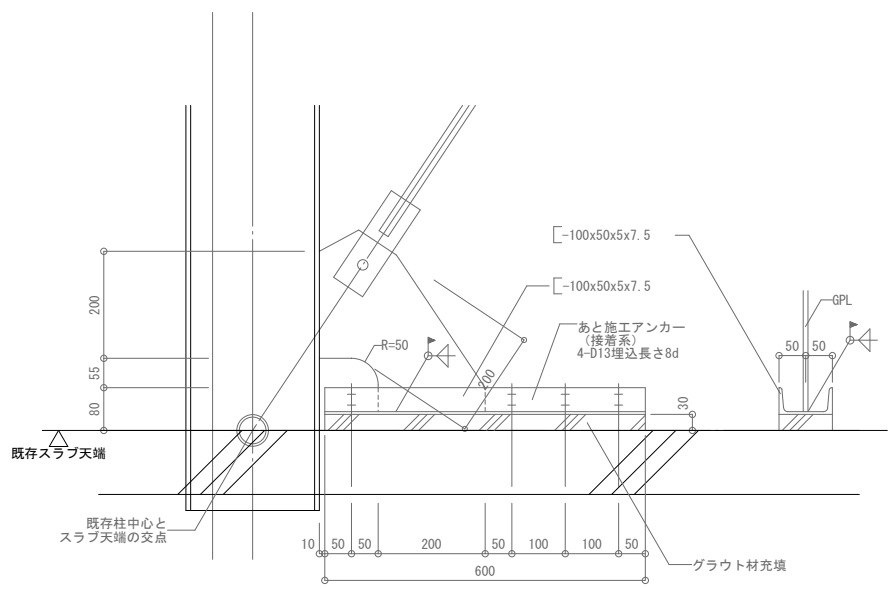
強軸方向柱頭部取付け詳細図 1/10



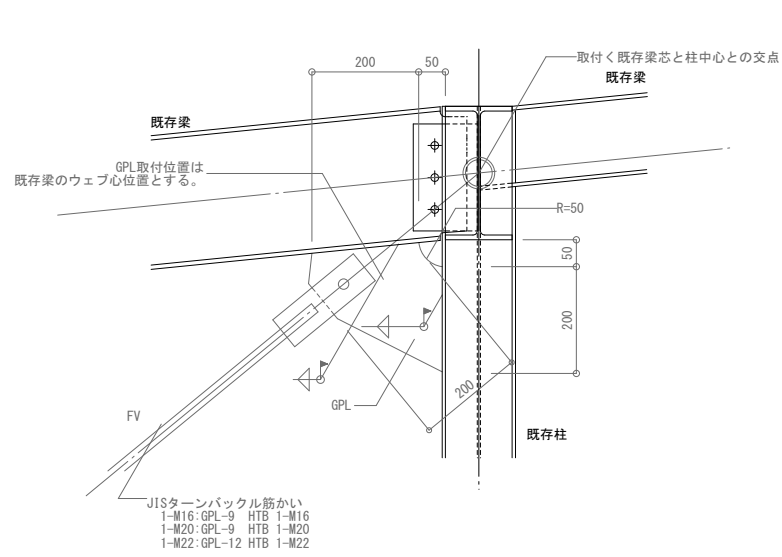
ZC1弱軸方向柱脚部取付け詳細図 1/10



強軸方向柱脚部取付け詳細図 1/10



ZC1弱軸方向柱頭部取付け詳細図 1/10



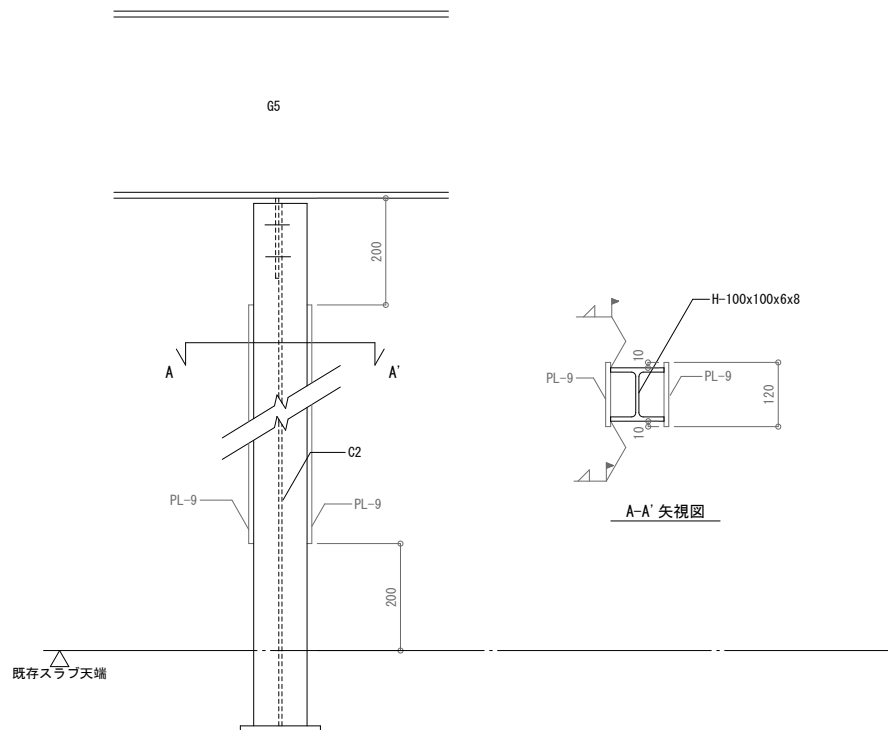
株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 002棟 補強部材取付け要領詳細図(2)

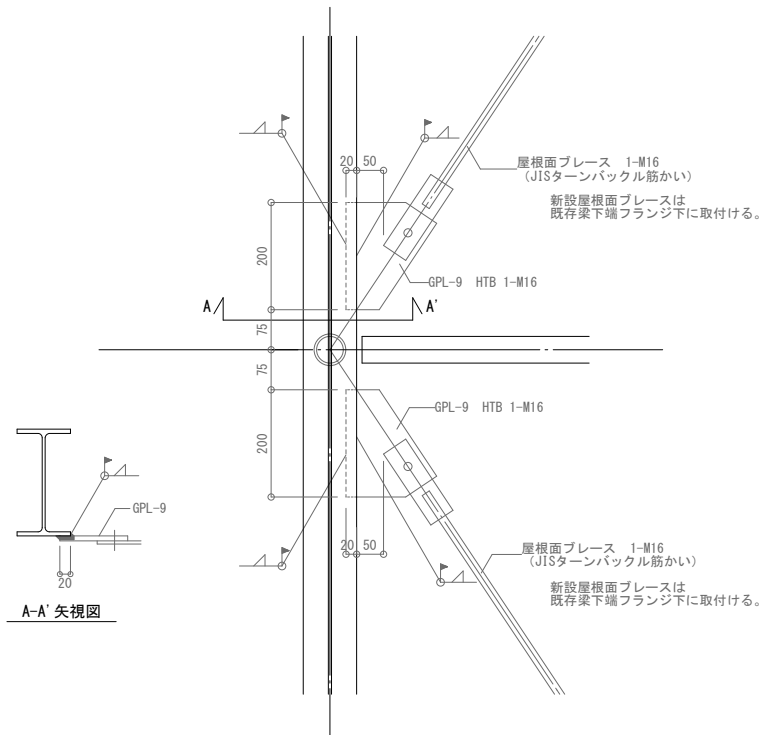
設計年月日 2024. 2
縮尺 1/10

図面番号 S - 010

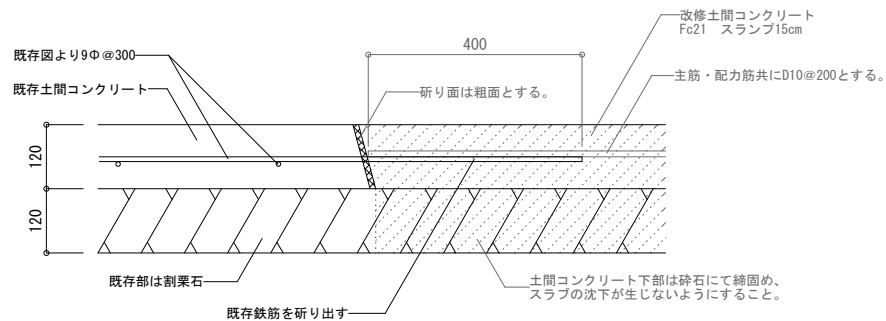
G通りのC2柱弱軸補強詳細図 1/10



屋根面ブレース取付け詳細図 1/10



土間コンクリート改修要領 1/10

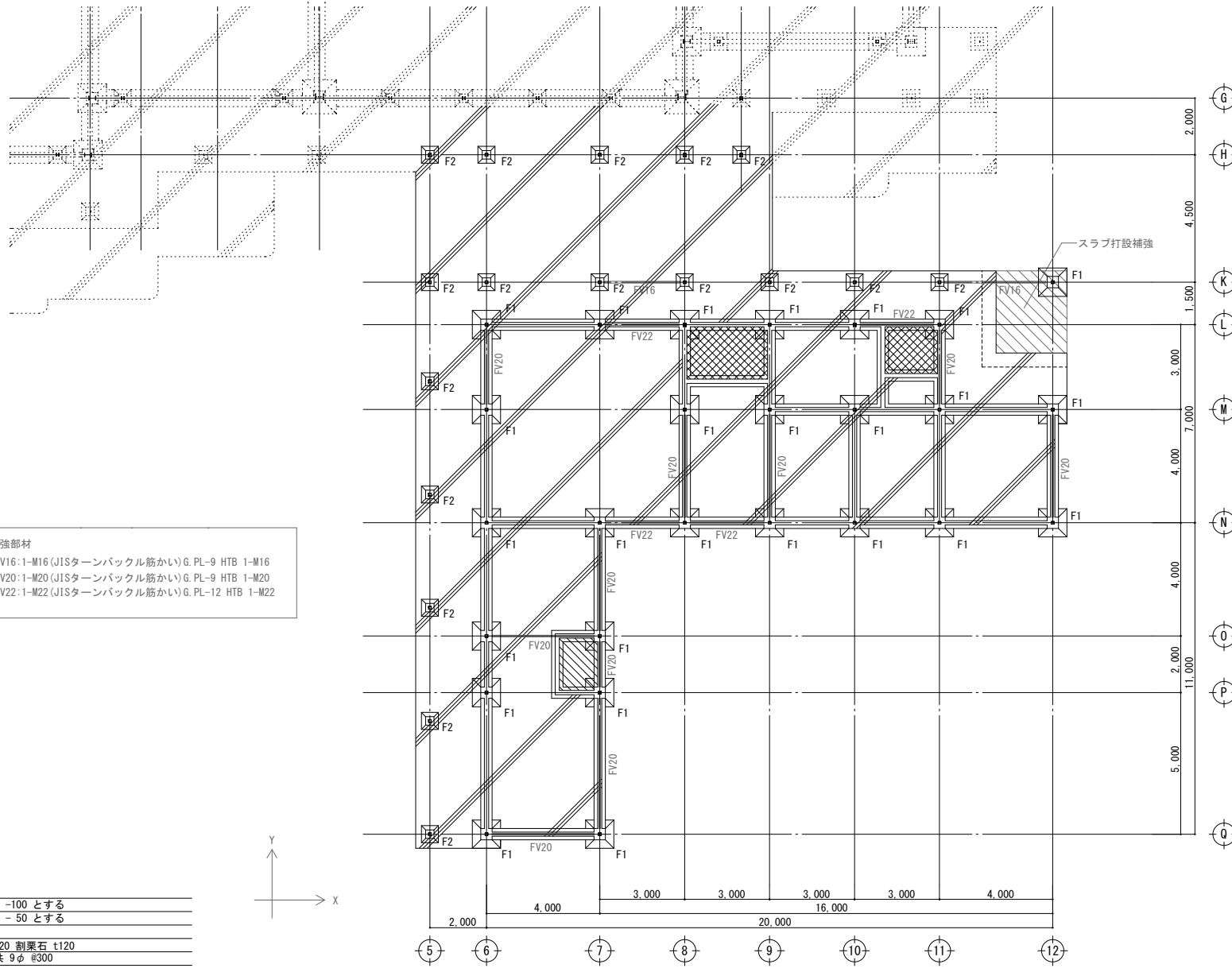


株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事
		図面名称 002棟 補強部材取付け要領詳細図(3)

設計年月日 2024. 2
縮尺 1/10

図面番号 S - 011

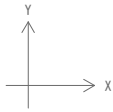


補強部材
 FV16:1-M16 (JISターンバクル筋かい) G.PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20 (JISターンバクル筋かい) G.PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22 (JISターンバクル筋かい) G.PL-12 HTB 1-M22

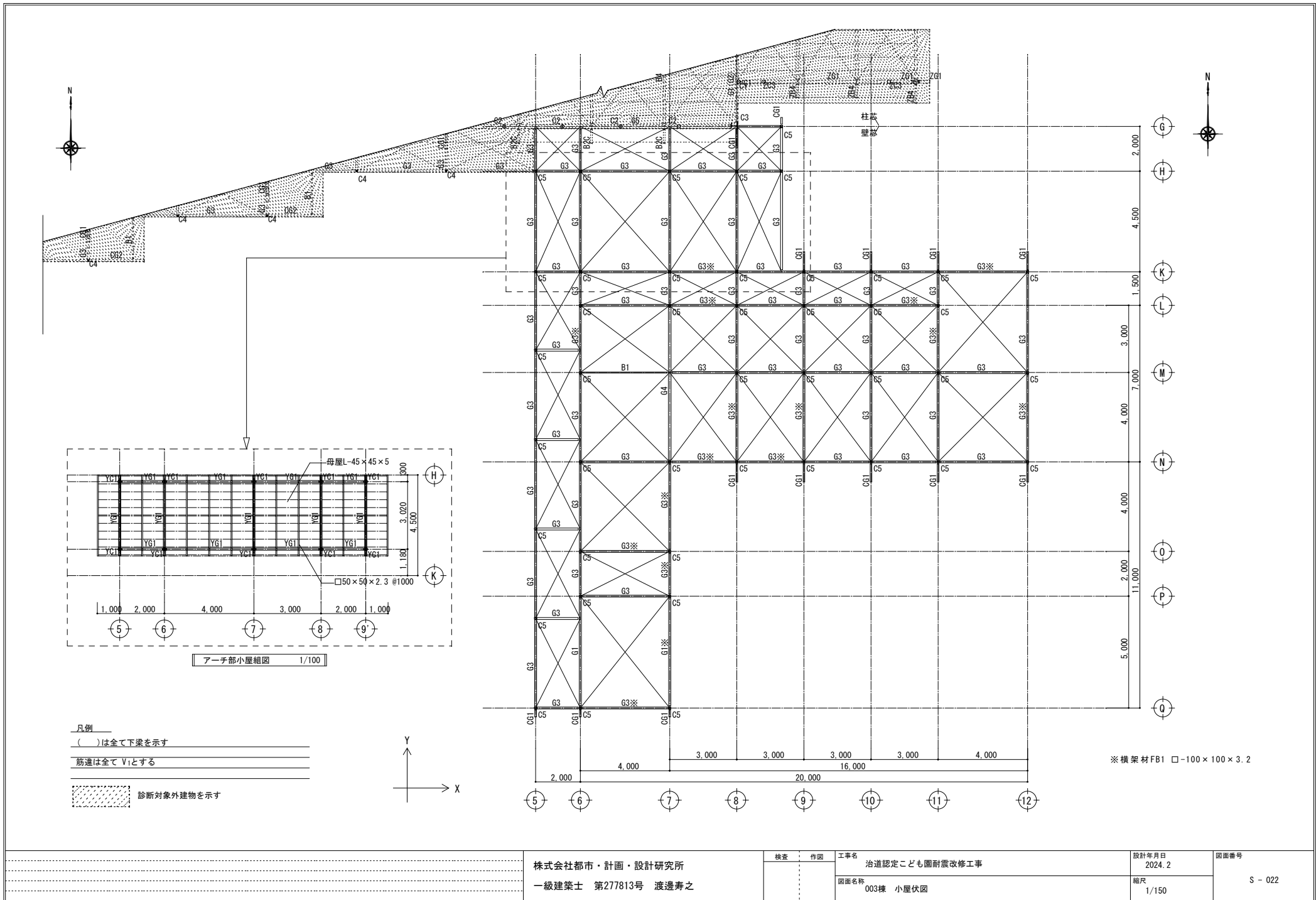
凡例

この部分は -100 とする
 この部分は -50 とする

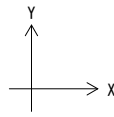
 土間コンクリート t120 割栗石 t120
 土間鉄筋タテ・ヨコ共 9φ @300



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査 作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事 図面名称 003棟 基礎伏図	設計年月日 2024. 2 縮尺 1/150	図面番号 S - 021



- 凡例
- ()は全て下梁を示す
 - 筋連は全てVとする
 - 診断対象外建物を示す



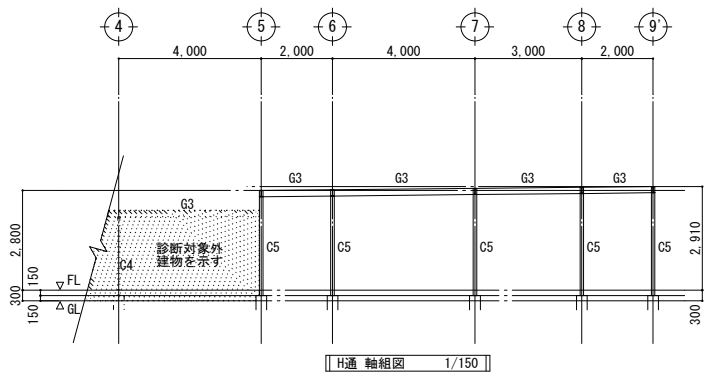
※ 横架材FB1 □-100×100×3.2

株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

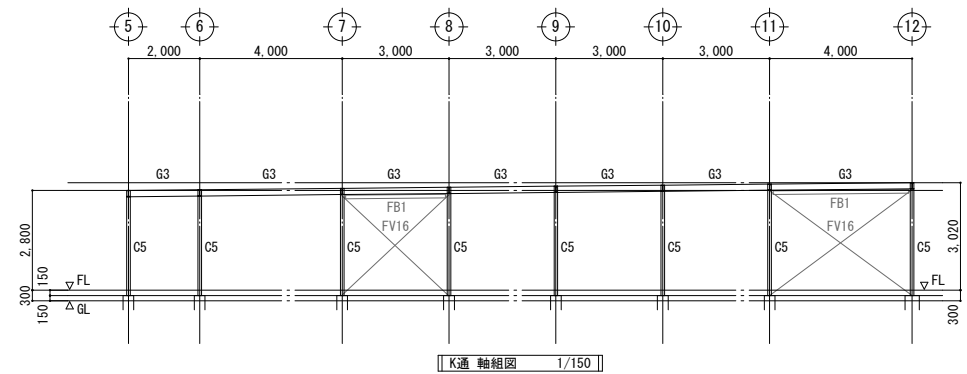
検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 003棟 小屋伏図

設計年月日 2024.2
縮尺 1/150

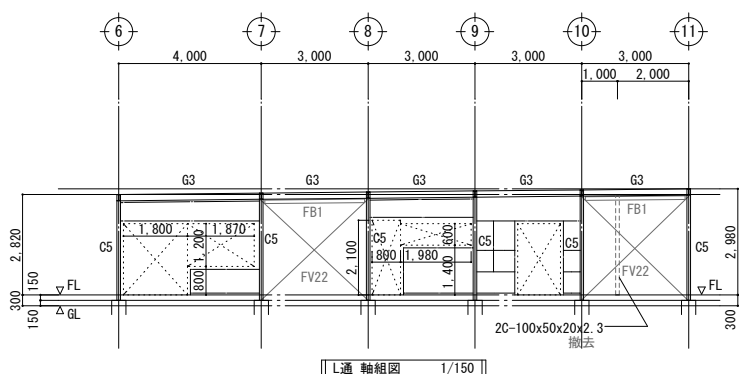
図面番号 S-022



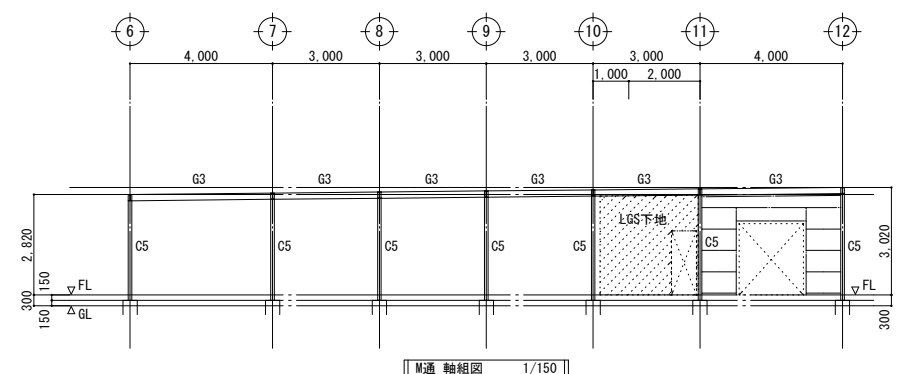
H通 軸組図 1/150



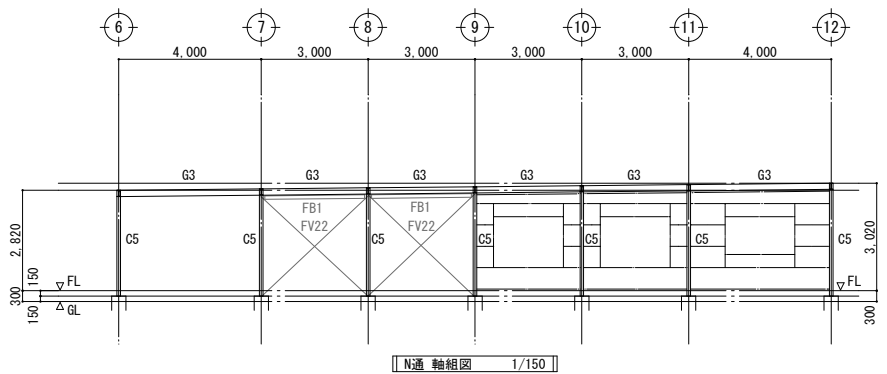
K通 軸組図 1/150



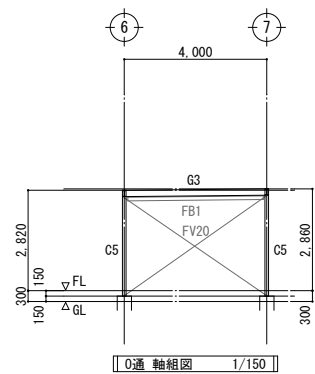
L通 軸組図 1/150



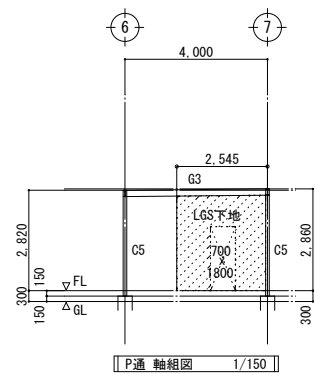
M通 軸組図 1/150



N通 軸組図 1/150



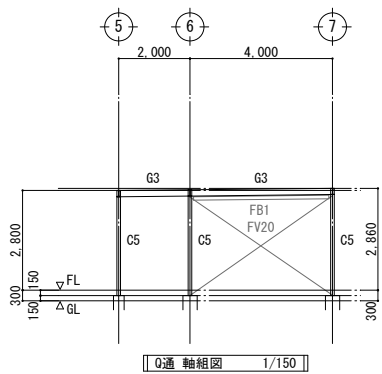
O通 軸組図 1/150



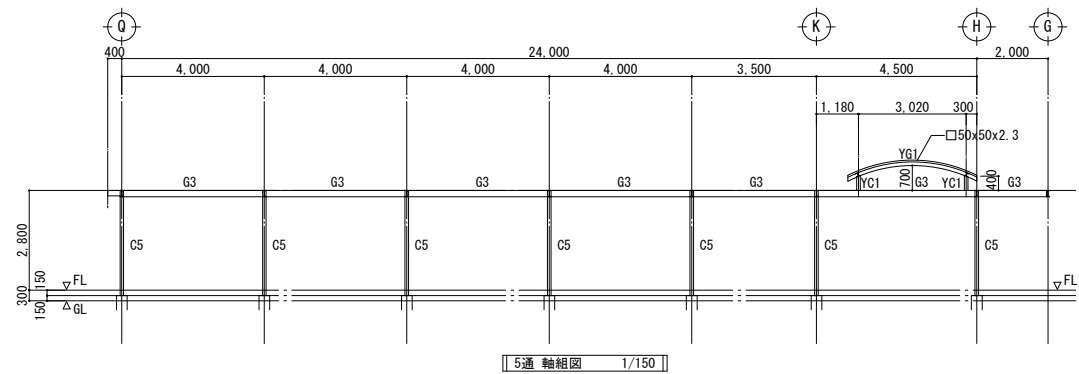
P通 軸組図 1/150

補強部材 軸組図共通
 FV16:1-M16(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22(JISターナックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

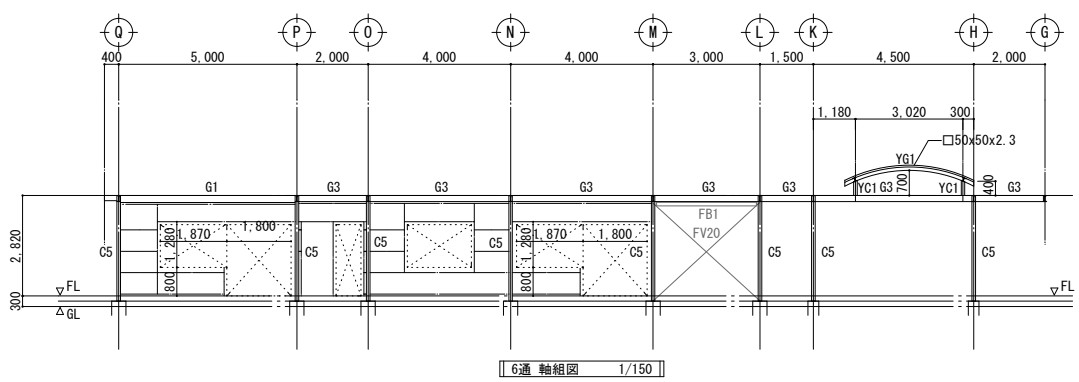
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 023
	図面名称 003棟 軸組図(1)			縮尺 1/150	



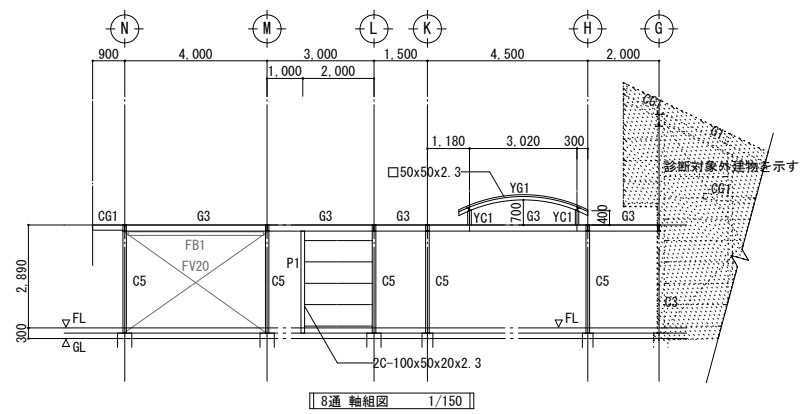
0通 軸組図 1/150



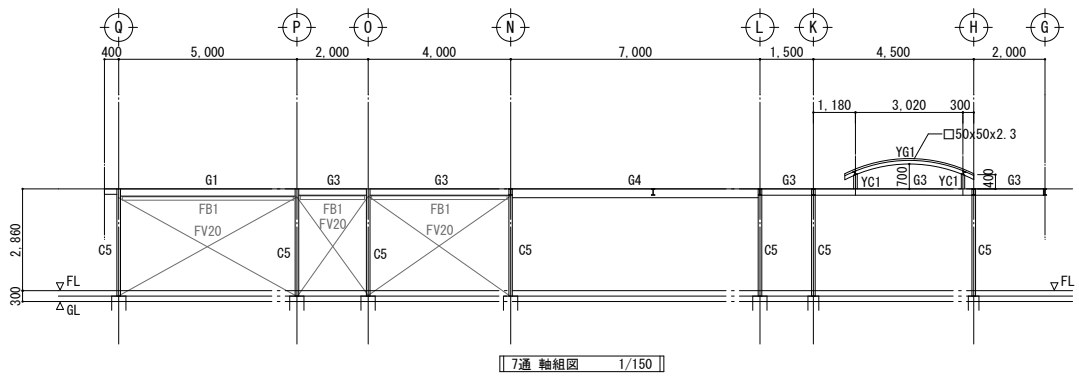
5通 軸組図 1/150



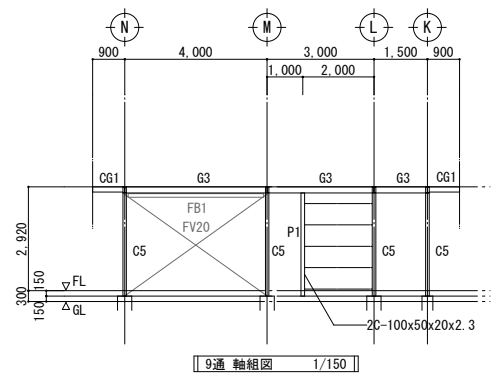
6通 軸組図 1/150



8通 軸組図 1/150



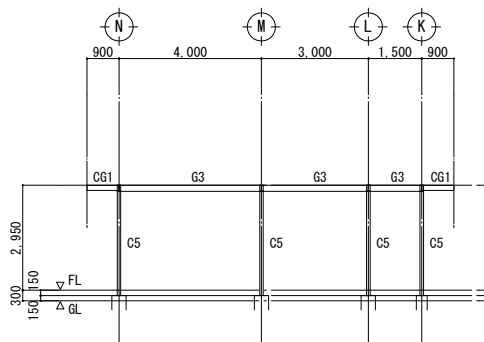
7通 軸組図 1/150



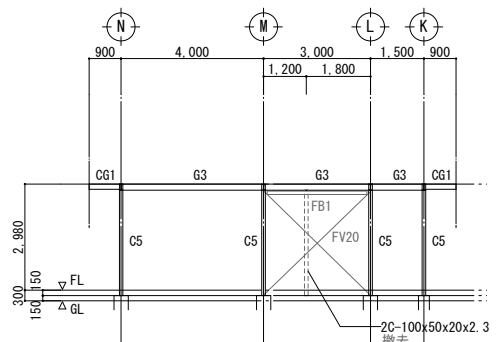
9通 軸組図 1/150

補強部材 軸組図共通
 FV16:1-M16(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20(JISターナックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22(JISターナックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

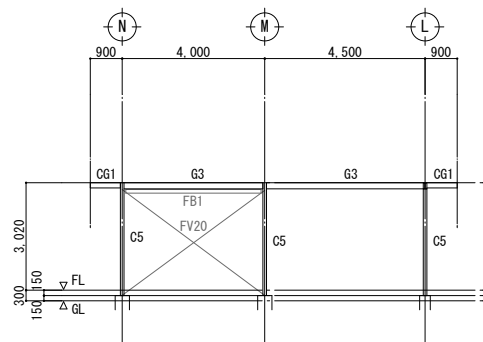
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査 作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 024
	図面名称 003棟 軸組図(2)		縮尺 1/150	



10通 軸組図 1/150

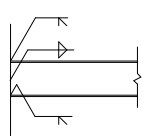


11通 軸組図 1/150



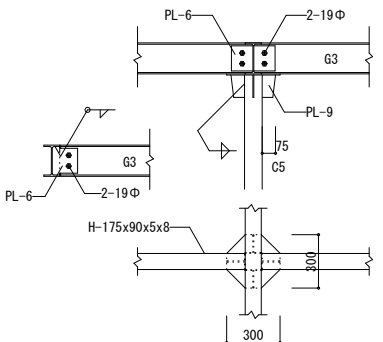
12通 軸組図 1/150

補強部材 軸組図共通
 FV16:1-M16 (JISターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M16
 FV20:1-M20 (JISターンバックル筋かい) G. PL-9 HTB 1-M20
 FV22:1-M22 (JISターンバックル筋かい) G. PL-12 HTB 1-M22

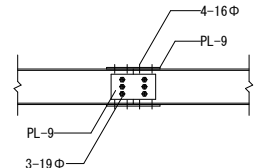


※特記無き大梁の仕口は全て共通

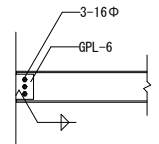
仕口詳細図 1/30



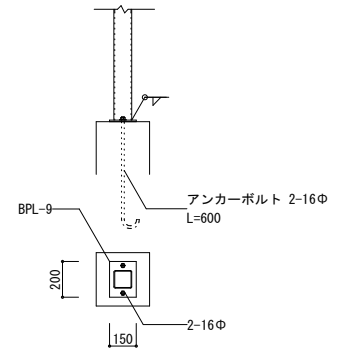
化粧仕口詳細図 1/30



G1 G3 B3 B4 継手詳細図 1/30

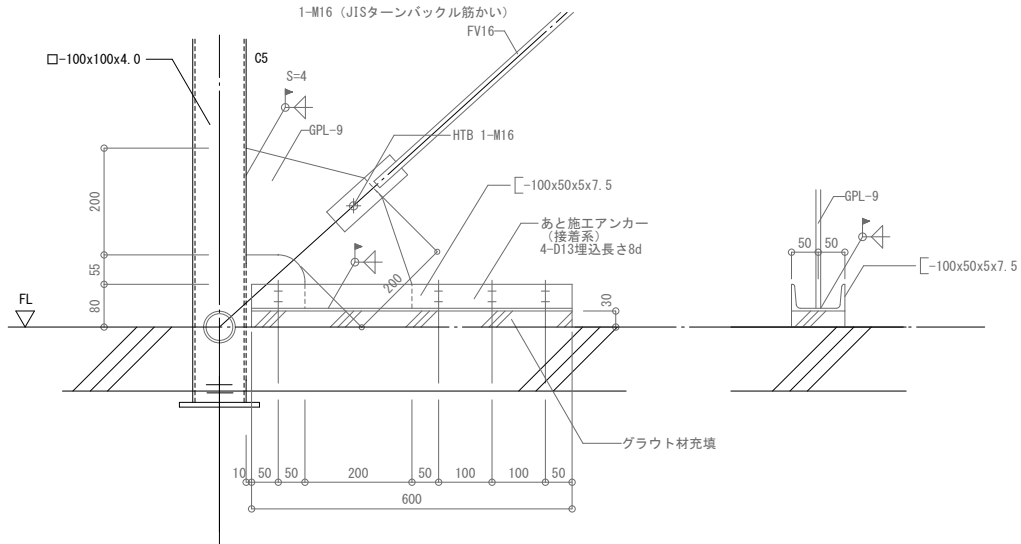


G3 仕口詳細図 1/30

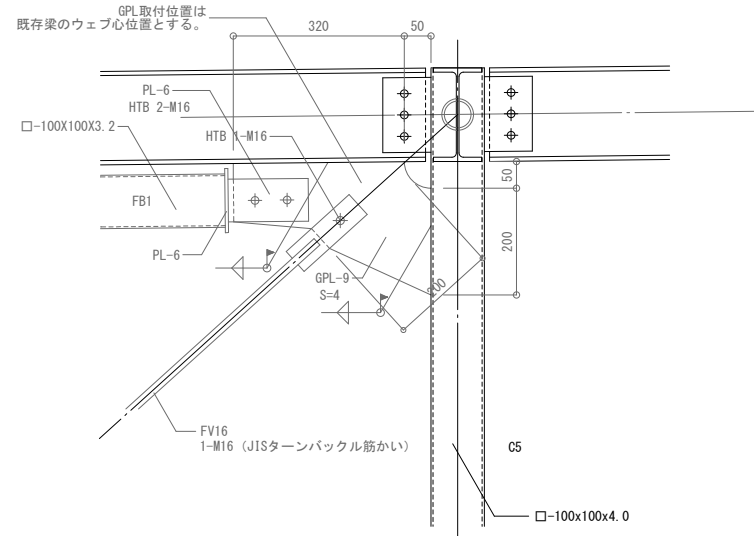


C5 柱脚詳細図 1/30

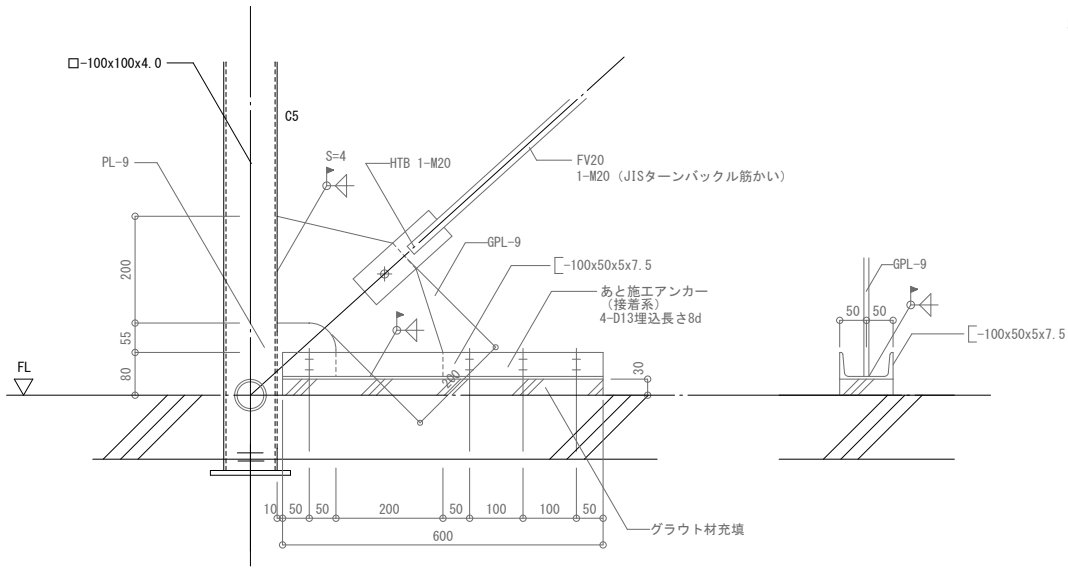
株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日 2024. 2	図面番号 S - 025
	図面名称 003棟 軸組図 (3)、仕口柱脚詳細図			縮尺 1/150, 1/30	



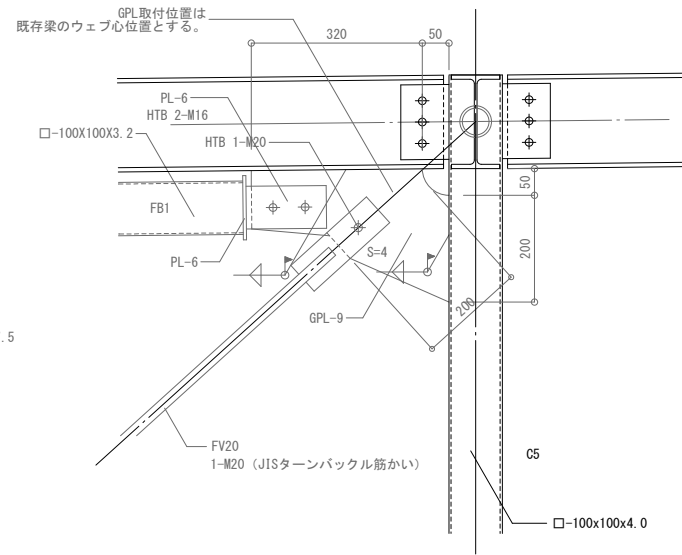
ブレース取付き詳細図 (柱脚部)



ブレース取付き詳細図 (柱頭部)



ブレース取付き詳細図 (柱脚部)



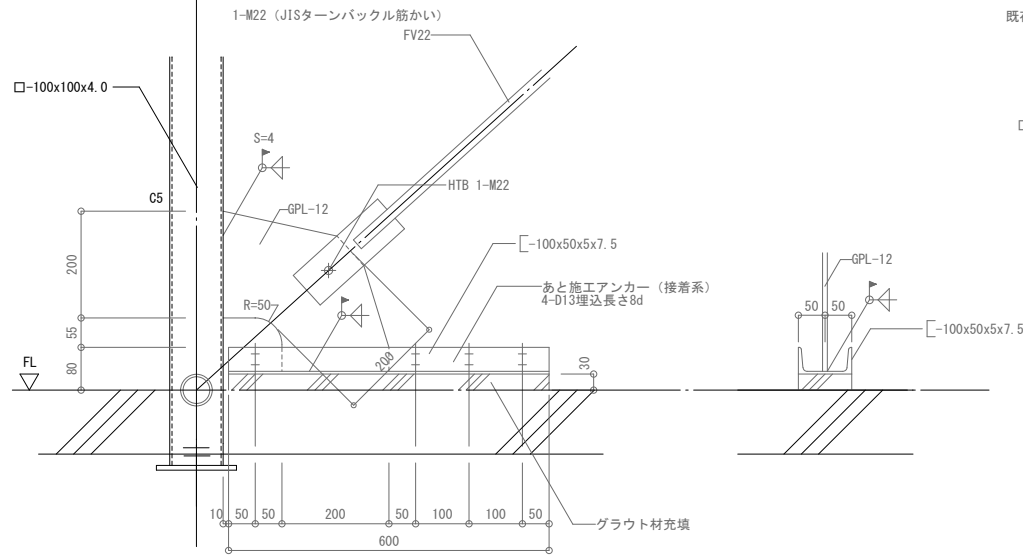
ブレース取付き詳細図 (柱頭部)

株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

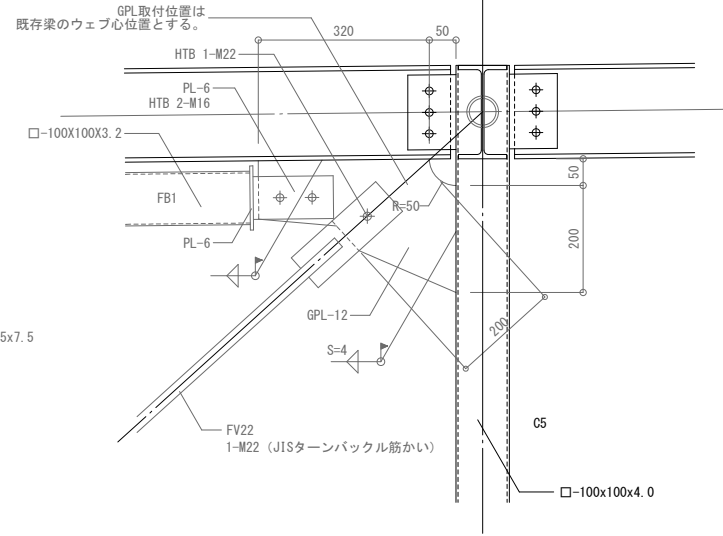
検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事
		図面名称 003棟 ブレース補強図(1)

設計年月日 2024. 2
縮尺 1/10

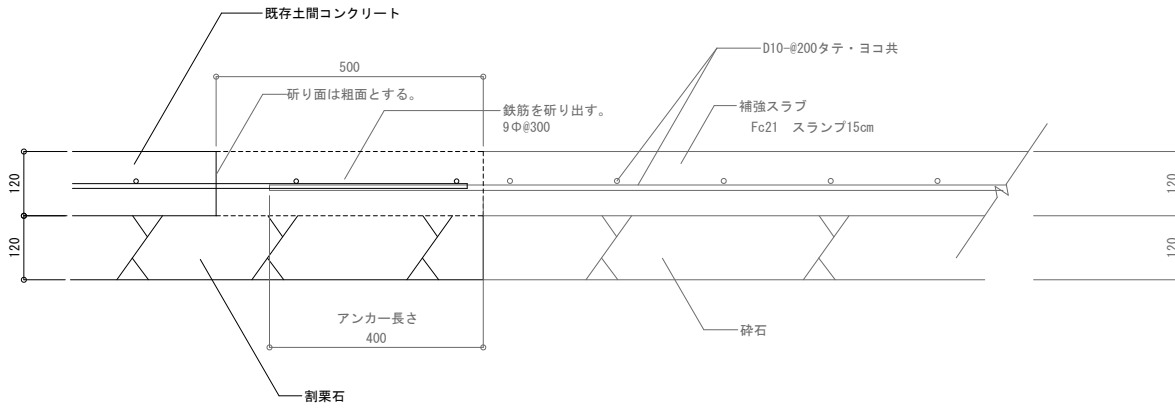
図面番号 S - 026



ブレース取付き詳細図 (柱脚部)



ブレース取付き詳細図 (柱頭部)

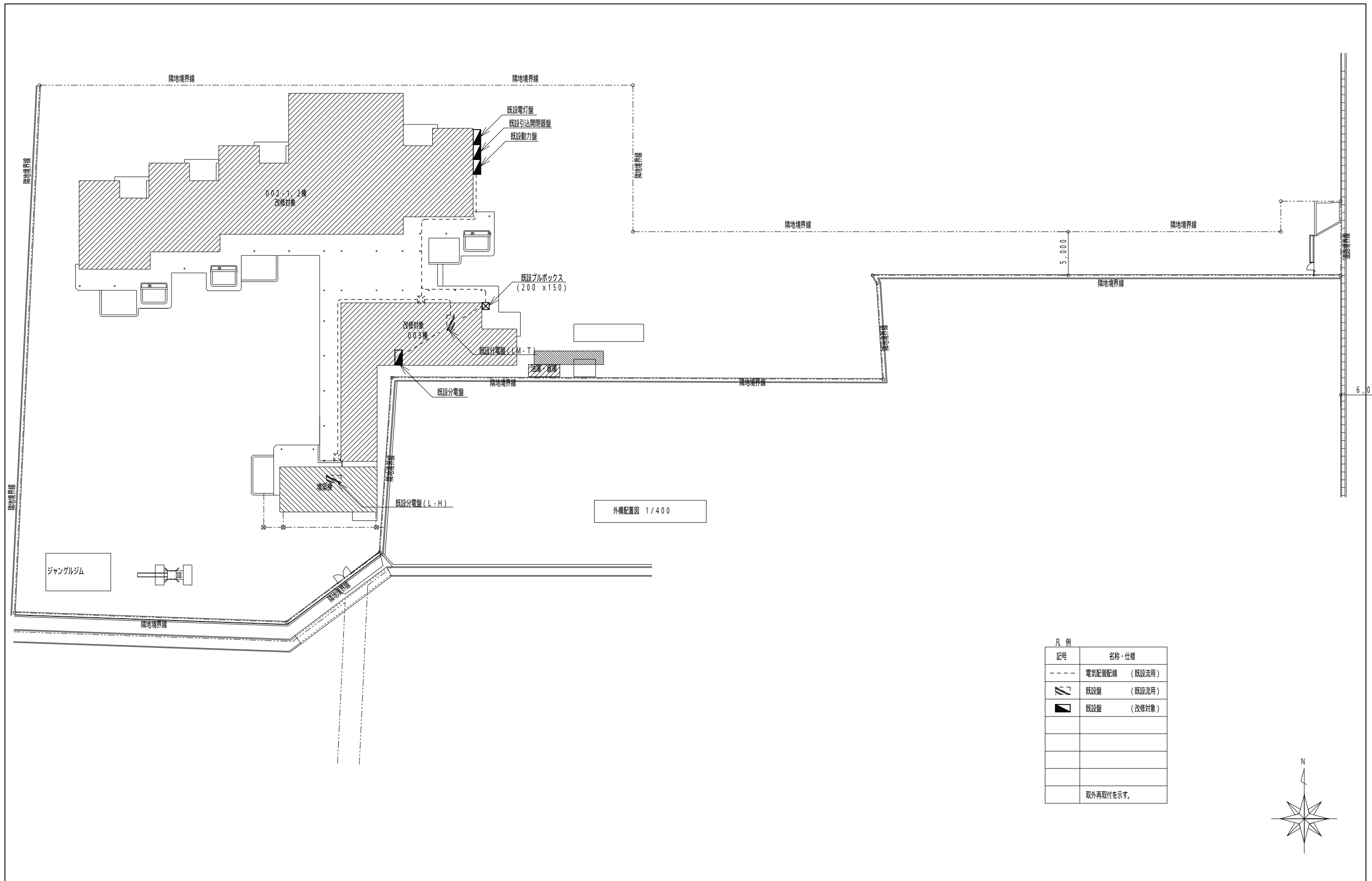


株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

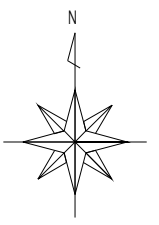
検査	作図	工事名
		治道認定こども園耐震改修工事
		図面名称
		003棟 ブレース補強図(2)

設計年月日
2024. 2
縮尺
1/10

図面番号
S - 027



凡例	記号	名称・仕様
	---	電気配管配線 (既設流用)
	▨	既設盤 (既設流用)
	■	既設盤 (改修対象)
		取外再取付を示す。



既設引込開閉器盤

番号	分枝回路番号	電圧	極数	分枝開閉器 (AF/AT)	E L B	負荷名称	RM	MC	ロック	WH	備考
0	主幹	200/100	3	100/75		1 引込					
1	主幹	200	3	---	---	3 引込					

既設電灯盤

番号	分枝回路番号	電圧	極数	分枝開閉器 (AF/AT)	E L B	負荷名称	RM	MC	ロック	WH	備考
1	1	200/100	3	100/75		LM-T、L-H盤へ					

既設動力盤

番号	分枝回路番号	電圧	極数	分枝開閉器 (AF/AT)	E L B	負荷名称	RM	MC	ロック	WH	備考
0	主幹	200	3	100/100		引込開閉器盤より					
2	1	200	3	100/75		遊戯室AC					
3	2	200	3	100/75		遊戯室AC					
4	3	200	3	100/75		遊戯室AC					
5	4	200	3	30/30		保育室AC					
6	5	200	3	30/30		保育室AC					
7	6	200	3	30/30		保育室AC					
8	7	200	3	30/30		保育室AC					

既設分電盤回路図 (参考図)

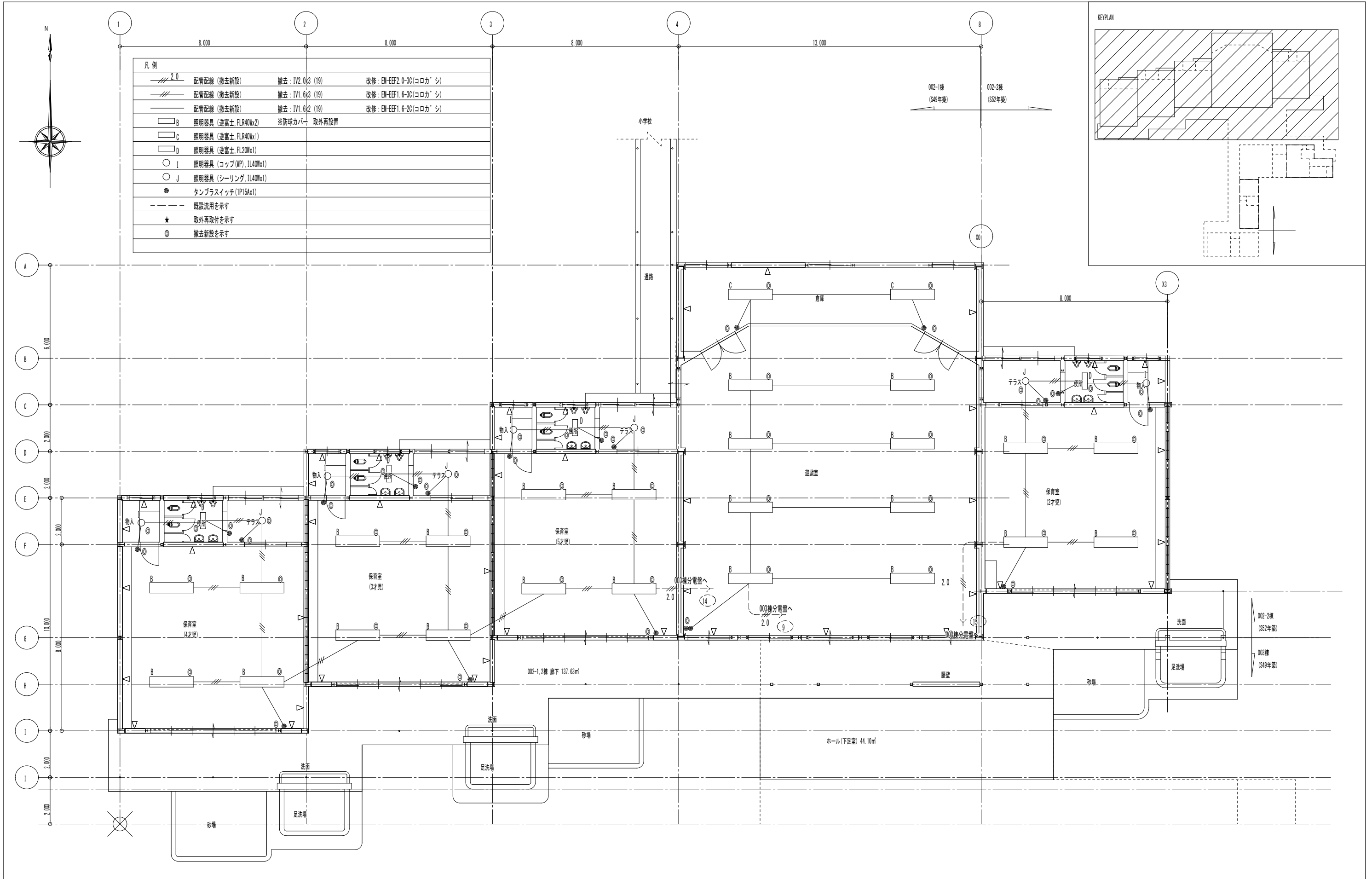
番号	分枝回路番号	電圧	極数	分枝開閉器 (AF/AT)	E L B	負荷名称	備考
1	主幹	200/100	3	100/100		-----	
2	1	200	2	50/20		100V, AC	
3	2	200	2	50/20		プールモーター用 (既設プール用)	
4	3	100	1	50/20		予備	
5	4	100	1	50/20		遊戯室コンセント 002-1, 2棟	
6	5	100	1	50/20		倉庫 コンセント	
7	6	100	1	50/20		保育室コンセント 002-1, 2棟	
8	7	100	1	50/20		事務室コンセント、警備保安盤	
9	8	100	1	50/20		予備	
10	9	100	1	50/20		遊戯室電灯 002-1, 2棟	
11	10	100	1	50/20		門灯、水銀灯	
12	11	100	1	50/20		保育室(東)コンセント 002-1, 2棟	
13	12	100	1	50/20		倉庫 エアコン	
14	13	100	1	50/20		倉庫 コンセント	
15	14	100	1	50/20		保育室電灯 002-1, 2棟	
16	15	100	1	50/20		保育室(東)電灯 002-1, 2棟	
17	16	100	1	50/20		事務室電灯	
18	17	100	1	50/20		廊下電灯	
19	18	100	1	50/20		自火報受信機	
【上部増設盤】							
1	主幹	200/100	3	50/50		-----	
2	1	100	2	50/20		防災アンプ	
3	2	100	2	50/20		自動火災報知機	
4	3	100	1	50/20		粉末消火栓表示灯	
5	4	100	1	50/20		倉庫エアコン	
6	5	100	1	50/20		火災自動通報機	
7	6	200	2	50/20		応接室エアコン 200V	
8	7	100	1	50/20		警備保安盤	
9	8	100	1	50/20		事務室北側コンセント	

照明器具姿図 (撤去)

B	照明器具 (逆富士, FLR40Wx2)	J	照明器具 (シーリング, IL40Wx1)	イ	照明器具 (逆富士, FHF32Wx2)
C	照明器具 (逆富士, FLR40Wx1)			ロ	照明器具 (逆富士, FHF16Wx1)
D	照明器具 (逆富士, FL20Wx1)				
I	照明器具 (コップ(WP), IL40Wx1)				

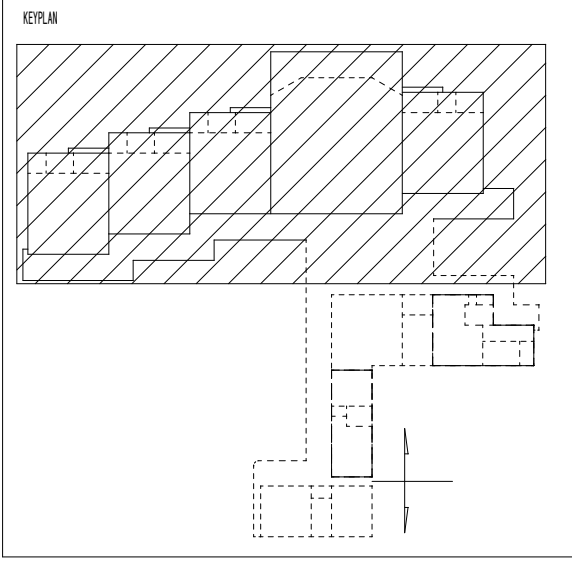
照明器具姿図 (改修)

B	照明器具 (逆富士, FLR40Wx2)	J	照明器具 (シーリング, IL40Wx1)	イ	照明器具 (逆富士, FHF32Wx2)
		LED電球共 			
公共器具型番: LSS10-4-65		電球色 (2700K) 器具光束4511m、消費電力4.4W、電圧100V セード: アクリル (乳白)		公共器具型番: LSS10-4-65	
C	照明器具 (逆富士, FLR40Wx1)			ロ	照明器具 (逆富士, FHF16Wx1)
公共器具型番: LSS10-4-37				公共器具型番: LSS9MP/RP-2-07	
D	照明器具 (逆富士, FL20Wx1)				
公共器具型番: LSS9MP/RP-2-07					
I	照明器具 (コップ(WP), IL40Wx1)				
LED電球共 					
電球色 (2700K) 器具光束4511m、消費電力4.4W、電圧100V セード: アクリル (乳白)					



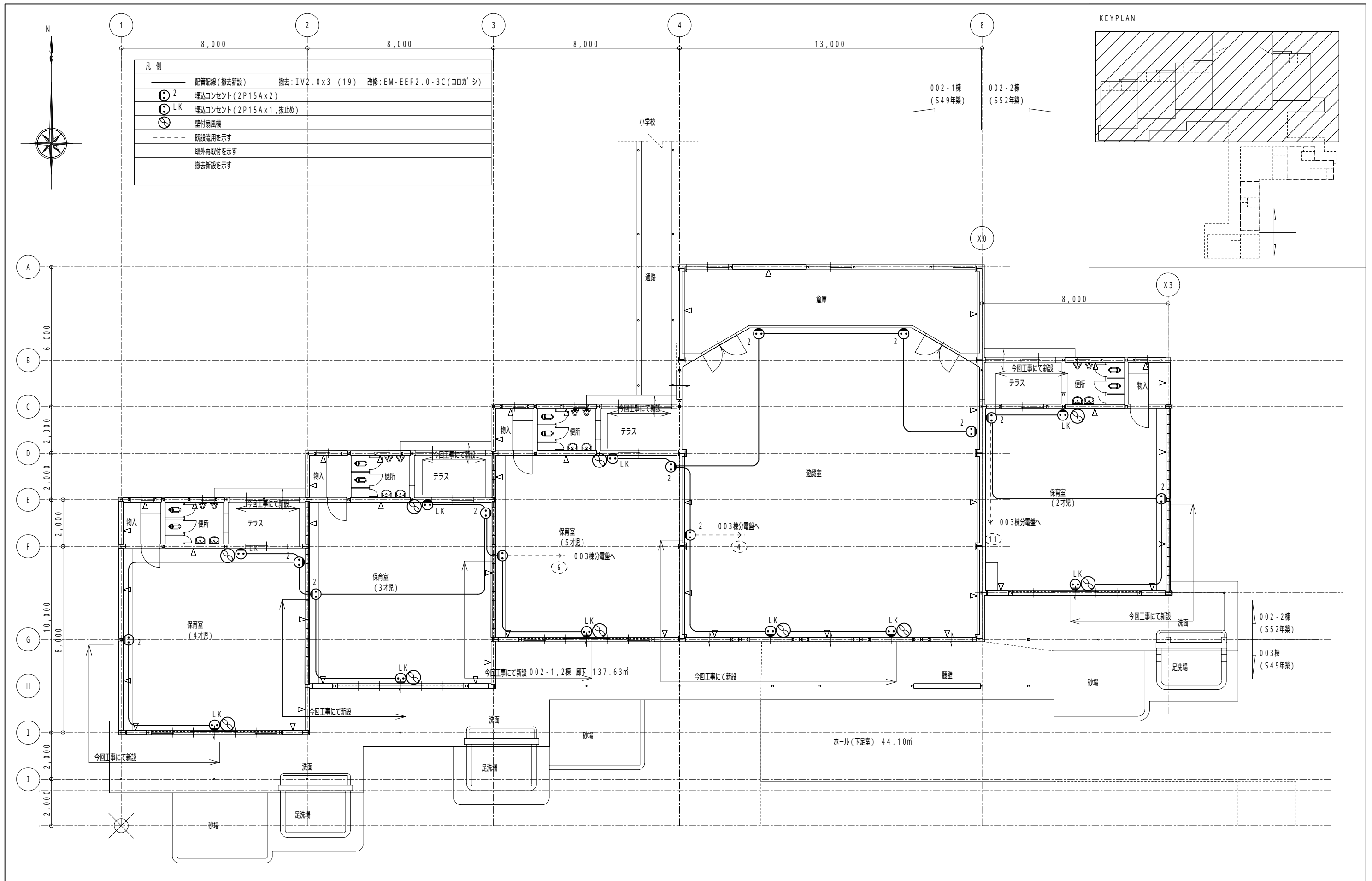
凡例

	配管配線 (撤去新設)	撤去: IV2.0x3 (19)	改修: EM-EFF2.0-30(コロカ'シ)
	配管配線 (撤去新設)	撤去: IV1.6x3 (19)	改修: EM-EFF1.6-30(コロカ'シ)
	配管配線 (撤去新設)	撤去: IV1.6x2 (19)	改修: EM-EFF1.6-20(コロカ'シ)
	照明器具 (逆富士, FLR40Wx2)	※防球カバー 取外再設置	
	照明器具 (逆富士, FLR40Wx1)		
	照明器具 (逆富士, FL20Wx1)		
	照明器具 (コップ(NP), 1L40Wx1)		
	照明器具 (シーリング, 1L40Wx1)		
	タンプスイッチ (IP15Ax1)		
	既設流用を示す		
	取外再取付を示す		
	撤去新設を示す		

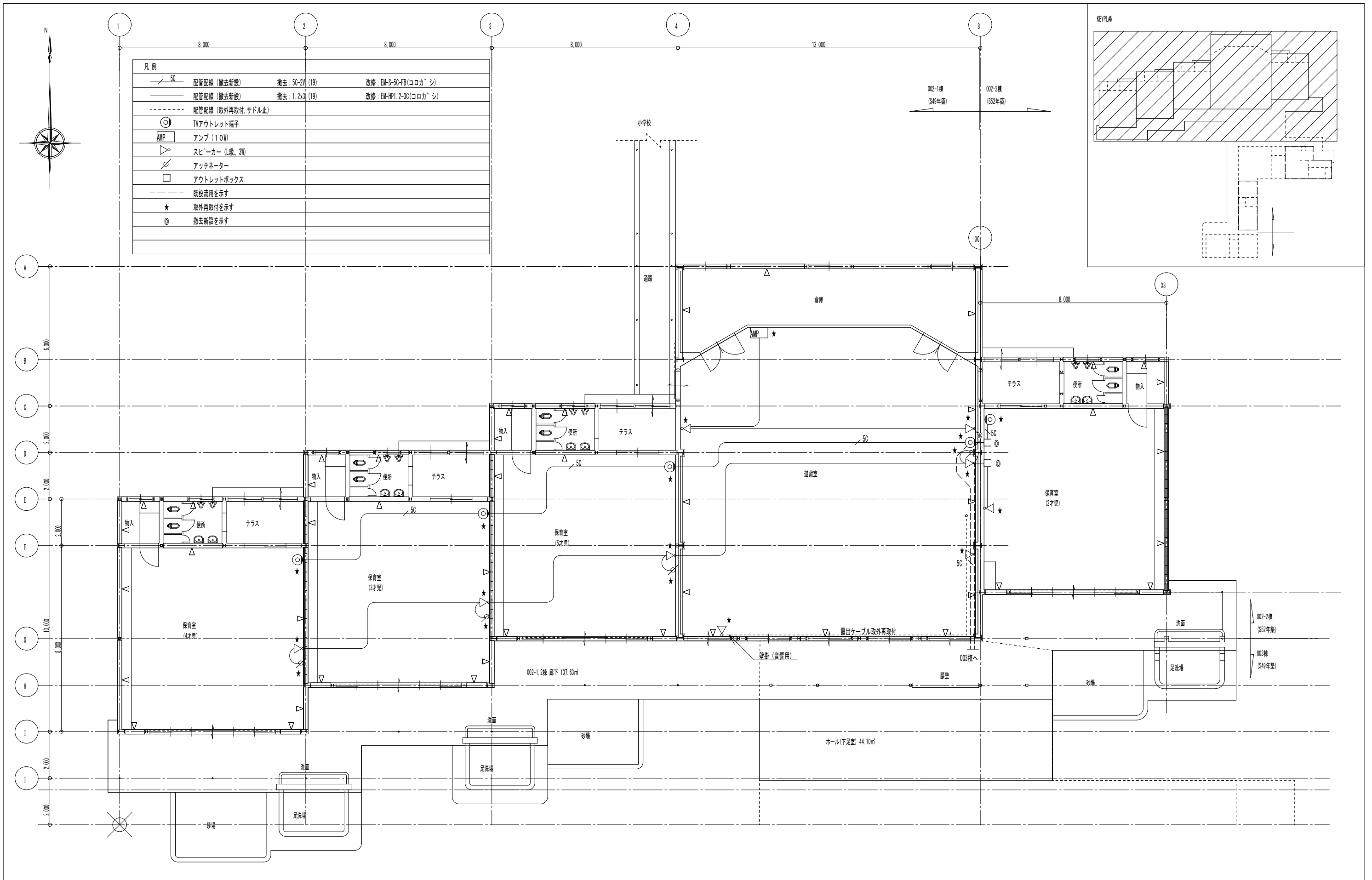


株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

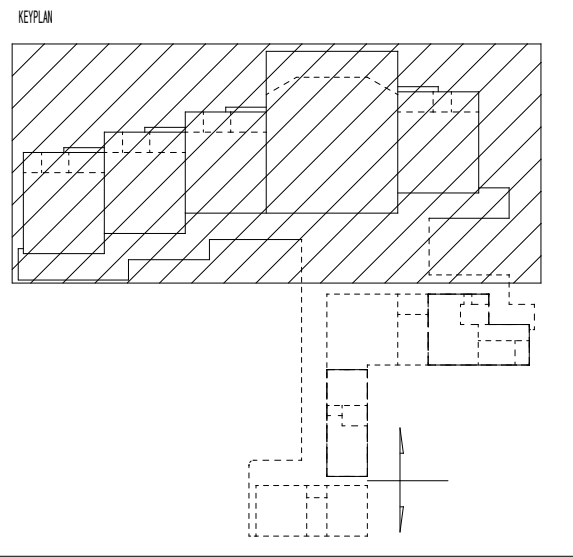
検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号 E-06
		図面名称 002-1, 2楼 平面図 (撤去改修) (電灯設備)	縮尺 1/100 (A3)	



株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号 E-07
			図面名称 002-1, 2棟 平面図(撤去改修) (差込設備)	縮尺 1/100(A3)	

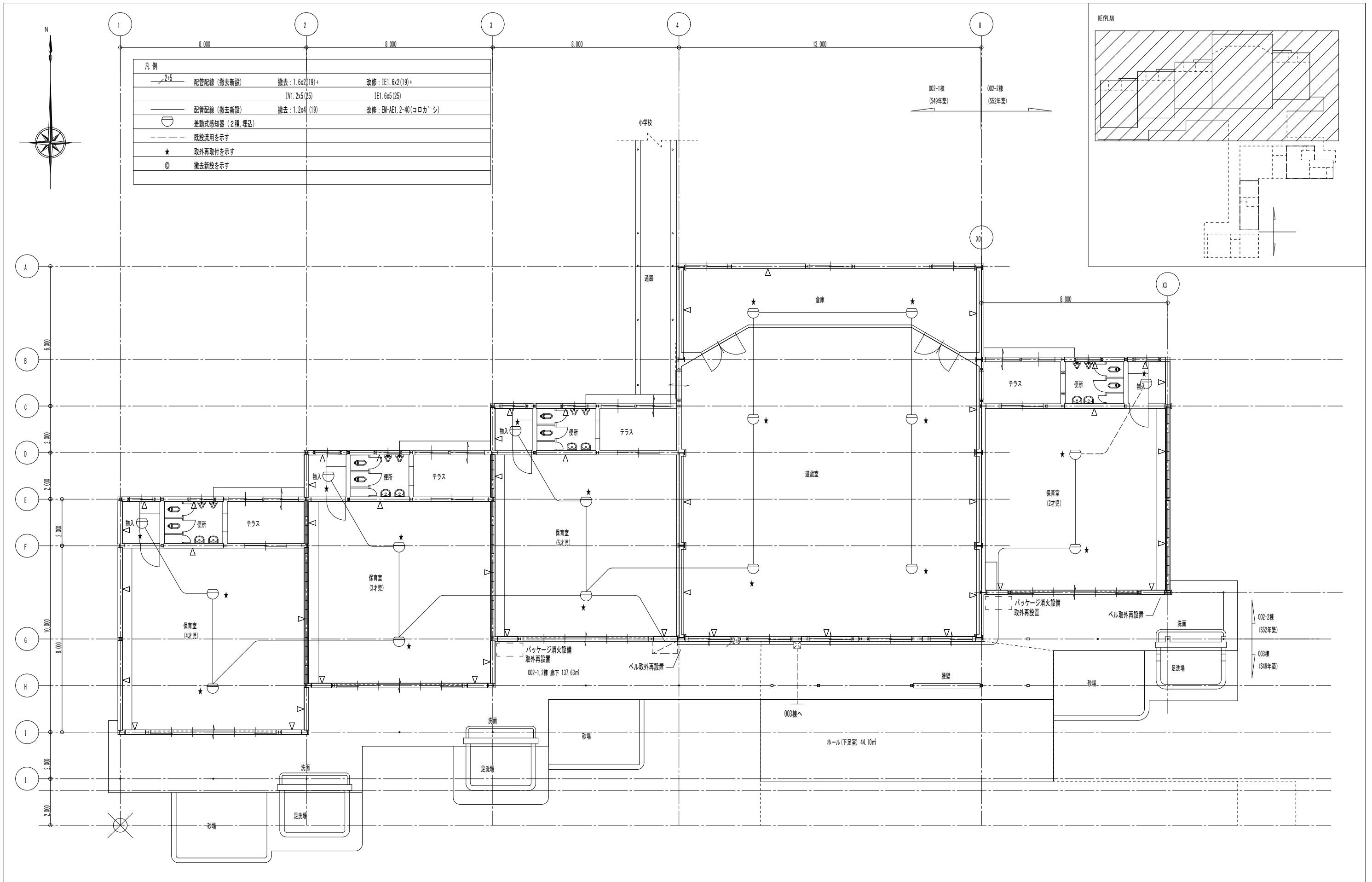


凡例		
— 5C	配管配線 (撤去新設)	撤去: 5C-2V (19) 改修: EM-S-5C-FB(コロカ'シ)
—	配管配線 (撤去新設)	撤去: 1.2x3 (19) 改修: EM-HP1.2-3C(コロカ'シ)
- - - -	配管配線 (取外再取付, サドル止)	
⊙	TVアウトレット端子	
AMP	アンプ (10W)	
△	スピーカー (L級, 3W)	
◇	アッテネーター	
□	アウトレットボックス	
- - - -	既設流用を示す	
★	取外再取付を示す	
⊙	撤去新設を示す	



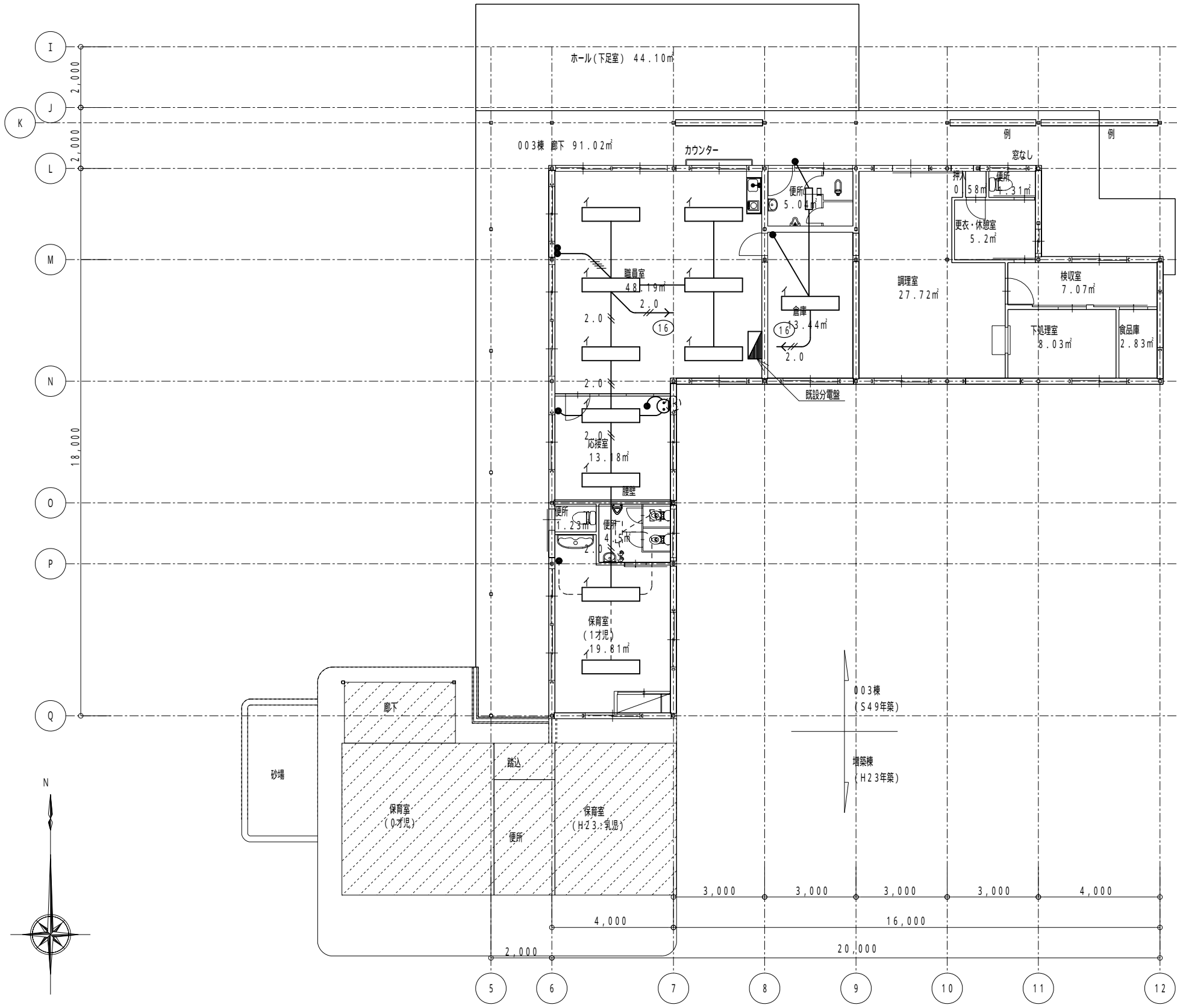
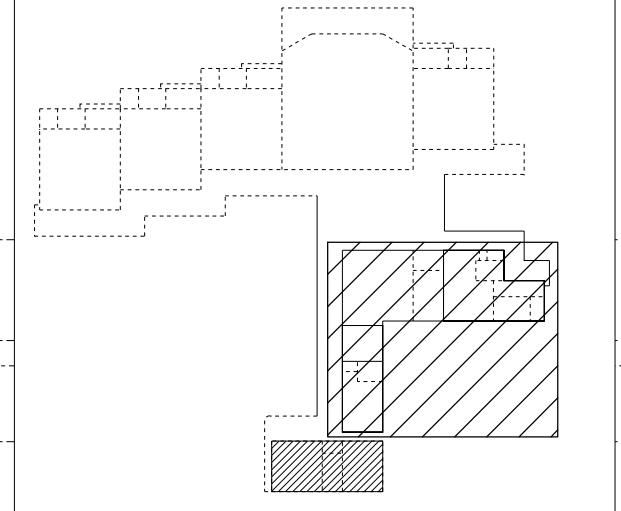
株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号
		図面名称 002-1, 2棟 平面図 (撤去改修) (弱電設備)	縮尺 1/100 (A3)	E-08

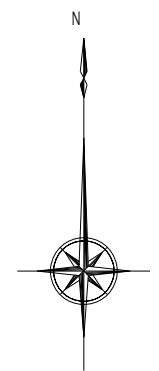


株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号
			図面名称 002-1,2棟 平面図 (撤去改修) (自火報設備)	縮尺 1/100 (A3)	E-09

KEYPLAN



凡例		
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-EEF2.0-2C (コロガシ)
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-EEF1.6-2C x2 (コロガシ)
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-EEF1.6-2C (コロガシ)
	照明器具 (逆富士, FHF32Wx2)	
	照明器具 (逆富士, FHF16Wx1)	
	タンブラスイッチ (1P15Ax1)	
	タンブラスイッチ (1P15Ax2)	
	埋込コンセント (2P15Ax1, 抜止)	
	既設流用を示す	
	取外再取付を示す	
	撤去新設を示す	

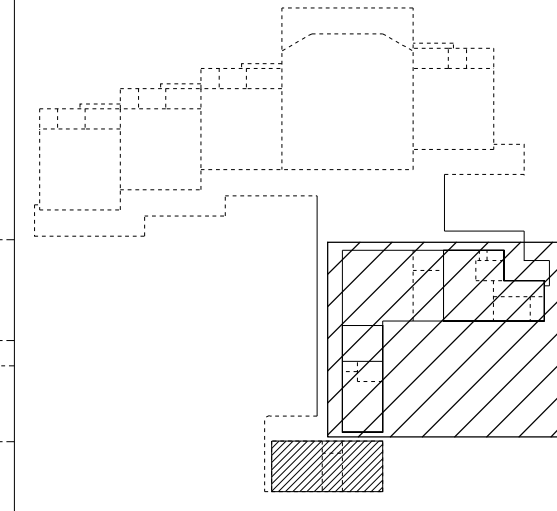


株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

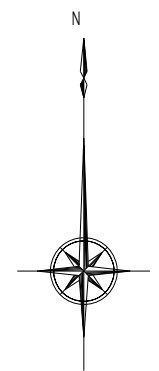
工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 003棟 平面図 (撤去改修)
(電灯設備)

設計年月日
縮尺 1/100 (A3)
図面番号 E-10

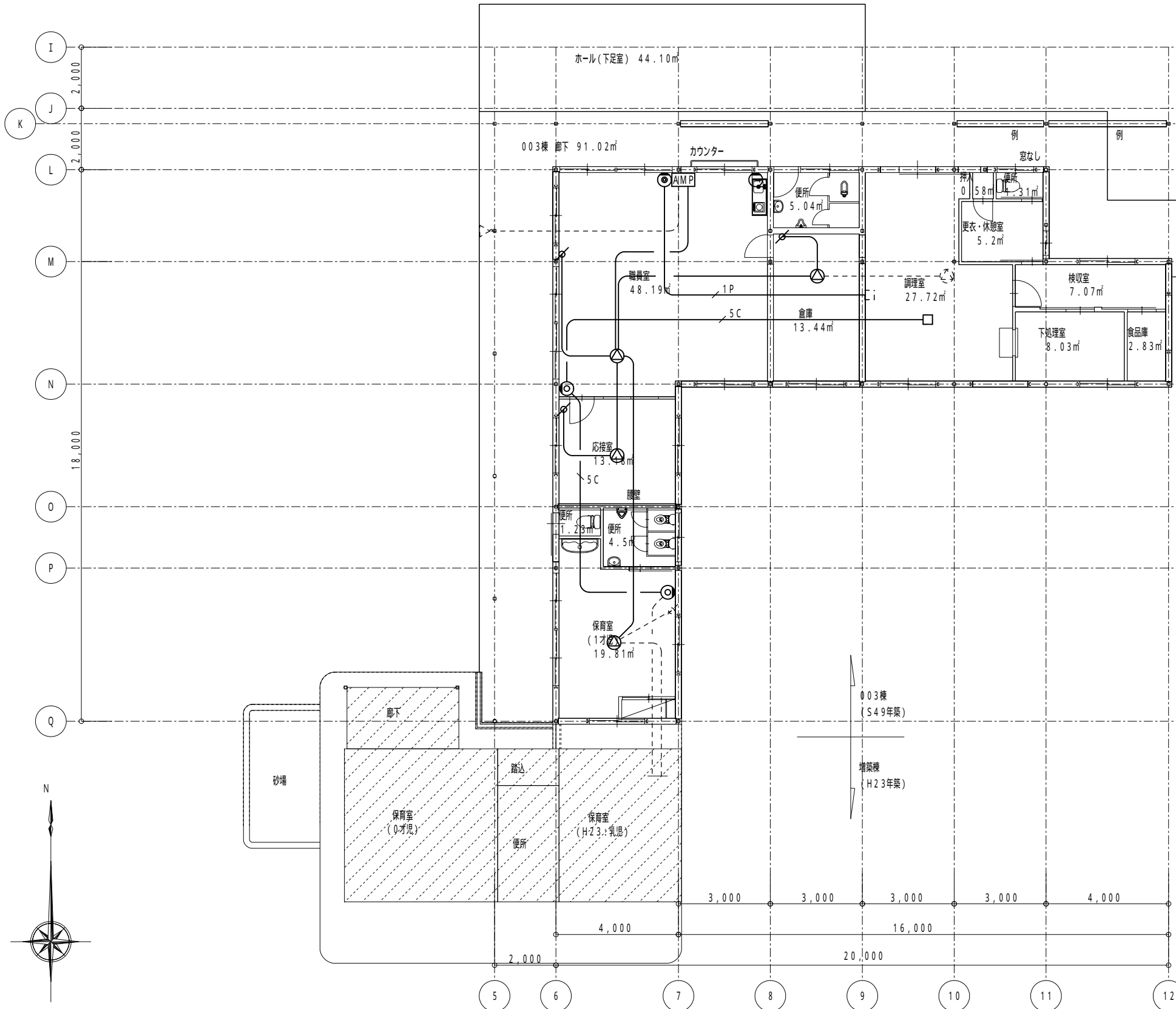
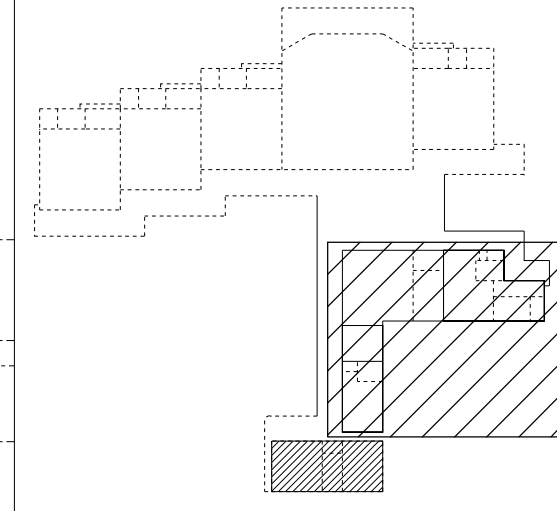
KEYPLAN



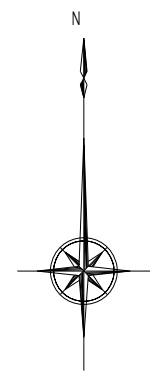
凡例	
	配管配線(撤去新設) 撤去改修: EM-EEF2.0-3C(コロカ'シ)
	埋込コンセント(2P15Ax2)
	埋込コンセント(2P15A Ex2)
	既設流用を示す
	取外再取付を示す
	撤去新設を示す



KEYPLAN



凡例			
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-S-5C-FB (コロガシ)	(テレビ共闘)
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-PVC0.5-1P (コロガシ)	(構内交換)
	配管配線 (撤去新設)	撤去改修: EM-HP1.2-3C (コロガシ)	(拡声)
	TVアウトレット端子		
	電話アウトレット端子		
	インターホン		
	アンプ (30W)		
	スピーカー (L級, 3W)		
	アッテネーター		
	アウトレットボックス		
	既設流用を示す		
	取外再取付を示す		
	撤去新設を示す		



株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

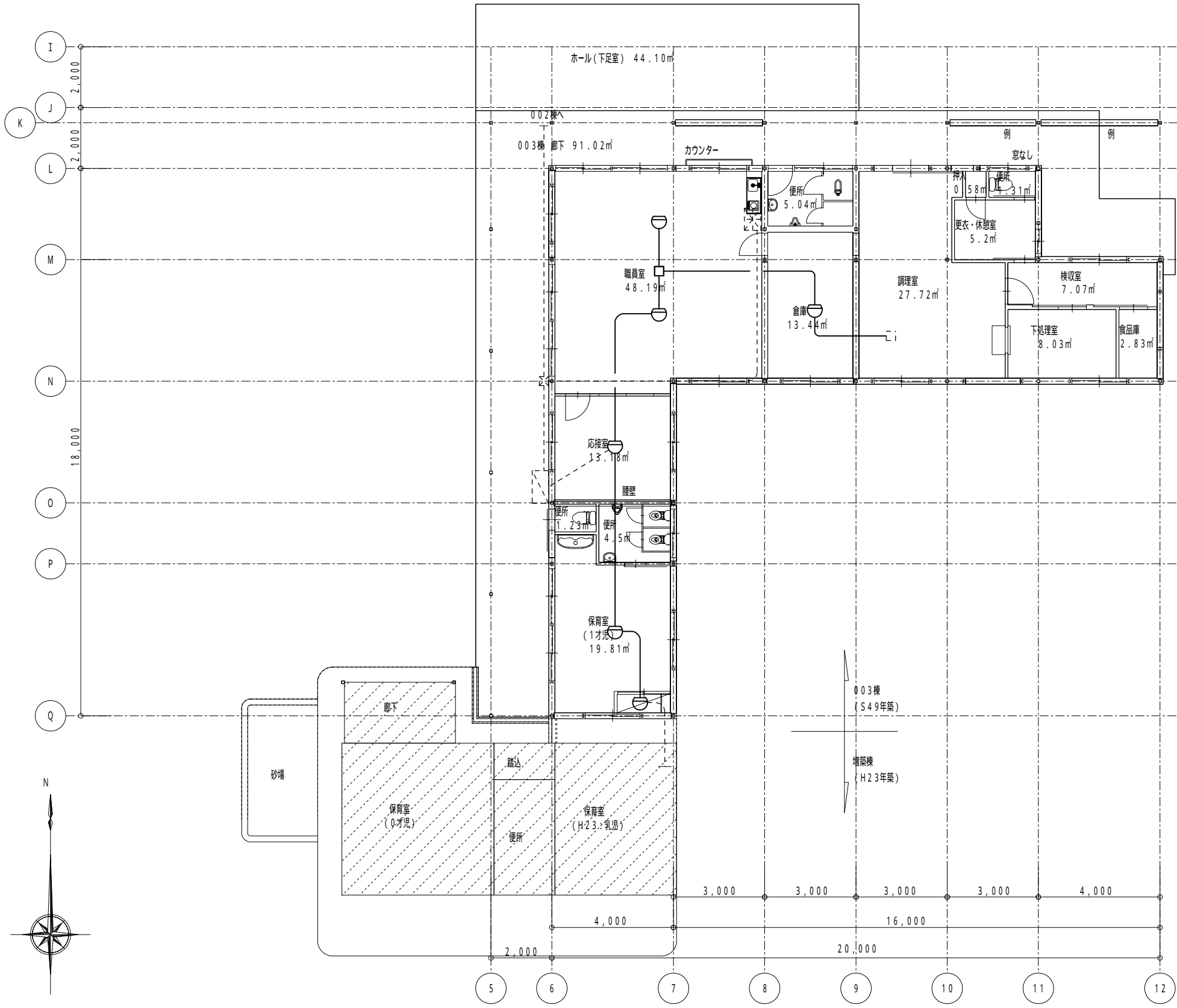
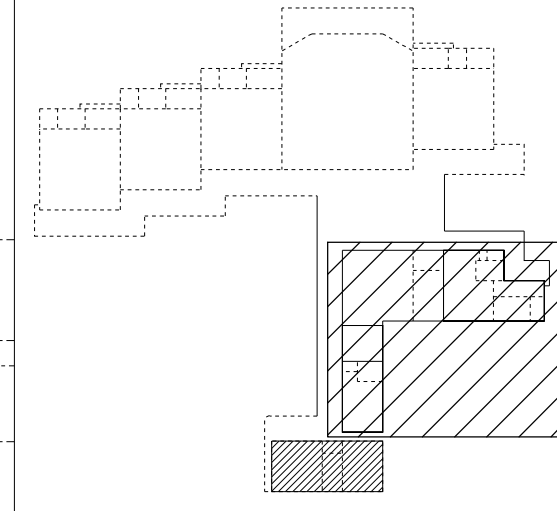
検査 作図

工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 003棟 平面図 (撤去改修)
(弱電設備)

設計年月日
縮尺 1/100 (A3)

図面番号 E-12

KEYPLAN



凡例	
— (solid line)	配管配線 (撤去新設) 撤去改修: EM-AE1.2-4C (コロガシ)
⊖ (circle with minus)	差動式感知器 (2種, 埋込)
□ (square)	アウトレットボックス
- - - (dashed line)	既設流用を示す
— (dotted line)	取外再取付を示す
— (dash-dot line)	撤去新設を示す

株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図

工事名 治道認定こども園耐震改修工事
図面名称 003棟 平面図 (撤去改修)
(自火報設備)

設計年月日
縮尺 1/100 (A3)

図面番号 E-13

一般用弁の耐圧	図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。 水道直結配管に使用する弁は、JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁とする。 その他配管に使用する弁は、JIS又はJV 0.49MPa(5K)弁 JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁																								
鋼管用伸縮管継手	ベローズ形 スリーブ形 (2.2.2.7)																								
耐火二層管伸縮継手	取付箇所は図示による(図面番号) (2.2.5.16) (2.2.3.16)																								
異種管の接合及絶縁継手	異種管の接合要領 (2.2.5.18) (2.2.3.18) 標準図(施工3) 図示(図面番号) 機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(鋼とステンレス、鋼と鋼)は、絶縁継手を使用し、設置箇所及び絶縁継手の仕様は図示による。(図面番号) (2.2.2.12) (2.2.4.1)																								
量水器	直読式 遠隔式 (2.2.2.16)																								
緊急遮断弁装置	駆動方式 電気式 機械式 (2.2.2.22)																								
水栓柱	本体 合成樹脂製 アルミニウム合金製 ステンレス製 人造石とぎ出し製 (2.2.2.23) 寸法 約70mm×約70mm×約1,300mmH																								
不凍水栓柱の寸法	全長約1,500mm (2.2.2.24)																								
スリーブ	(1) 外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ つば付鋼管 (2) 地中部分で水密を要しない部分のスリーブ ビニル管(VU) (3) 柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径200mm以下の部分 紙製板枠 (4) 上記以外の鋼管製スリーブ 白管 (2.2.2.27) (2.2.6.1)																								
瞬間流量計	固定形 個 着脱可能形(測定用タッピン) 個、本体 個 (2.2.3.4)																								
建物導入配管	不同沈下の恐れがない 不同沈下の恐れがある 標準図(施工4)のフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。ただし、排水及び通気管を除く。 (2.2.4.1)																								
空調機用トラップの形式	図示による。(図面番号) (2.2.4.2)																								
ファンコイルの流量弁	流量調整弁(図面番号) 定流量弁(図面番号) (2.2.4.2)																								
管の接合	ビニル管 (接着接合 ゴム輪接合) (2.2.5.11) (2.2.3.11) ポリエチレン管 (電気融着接合 メカニカル接合) (2.2.5.12) (2.2.3.12) 建物導入部において異種管との接続がある 接続部の点検枠の構造 (TC-1 TC-2) 架橋ポリエチレン管 (電気融着接合 メカニカル接合) (2.2.5.13) (2.2.3.13) ポリブデン管 (熱融着接合 電気融着接合 メカニカル接合) (2.2.5.14) (2.2.3.14) 耐火二層管 (接着接合 ゴム輪接合) (2.2.5.16) (2.2.3.16) (伸縮継手の設置箇所は図示による(図面番号))																								
溶接部の非破壊検査	実施しない (2.2.5.17) (2.2.3.17) 実施する (放射線透過検査 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 判定基準 () 採取率は下記による。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">溶接部の種類</th> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">蒸気配管</th> <th rowspan="2">冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管</th> </tr> <tr> <th>検査の種類</th> <th>使用圧力</th> <th>1.0MPa未満</th> <th>1.0MPa未満</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">突合せ溶接部</td> <td rowspan="2">放射線透過検査(RT)</td> <td rowspan="2">浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)</td> <td rowspan="2">()</td> <td>5%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>すみ肉溶接部</td> <td>浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </table> 工場溶接部については適用された採取率の1/5としてもよい。	溶接部の種類	種別	蒸気配管		冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管	検査の種類	使用圧力	1.0MPa未満	1.0MPa未満	突合せ溶接部	放射線透過検査(RT)	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	()	5%	10%	5%	()	()	()	すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	()	()	()
溶接部の種類	種別			蒸気配管			冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管																		
		検査の種類	使用圧力	1.0MPa未満	1.0MPa未満																				
突合せ溶接部	放射線透過検査(RT)	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	()	5%	10%	5%																			
				()	()	()																			
すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	()	()	()																					
配管・ダクトの吊り及び支持	(1) 土間埋設配管の吊りはビレット内(材質はステンレス鋼製)に準じる。 (2) 鋼管、鉄線管及びステンレス鋼管の配管呼び径40以下、ポリエチレン管、ポリブデン管及び鋼管の呼び径20以下の管の形鋼振止め支持は、不要(支持間隔は図示による。(図面番号)) (3) 吊り及び支持は、標準図(施工13-17)による。																								
地中埋設管の埋戻土	コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の種類で管の周囲を埋戻した後、振刷土の良質土で埋戻す。 (2.2.7.1) (2.2.5.1)																								
管の埋設深さ	(1) 一般敷地 300mm (2.2.7.2) (2.2.5.2) (2) 構内車両通路 600mm																								
地中埋設標及び埋設表示用テープ	(1) 給水管 地中埋設標 (要 不要) 埋設表示テープ (要 不要) (2) 消火管 地中埋設標 (要 不要) 埋設表示テープ (要 不要) (3) ガス管 地中埋設標 (要 不要) 埋設表示テープ (要 不要) (4) 油 管 地中埋設標 (要 不要) 埋設表示テープ (要 不要) (5) 地中埋設標の設置箇所は図示による。(図面番号) (6) 埋設給水本管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置は図示による。(図面番号) (7) 埋設表示テープの土被りは150mm程度とする。 (2.2.7.1) (6.2.2.3) (2.2.5.1) (6.2.2.3)																								
防火区画貫通部の処理	標準図(施工1)による。 (2.2.8.1) (2.2.6.1)																								
保温	(1) 保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.5による。ロックウール保温材、グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、どれを使用してもよい。ただし、給水管、排水管で、床下、暗渠内(ピット内を含む)、屋外露出及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)は、ポリスチレンフォーム保温材とする。(図面番号) (2) 共同溝の保温種別は、図示による。(図面番号) (3) 配管の保温外装は、次による。 【空気調和設備】(断熱材被覆鋼管を含む) 屋内: 隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) 不要 要 露出部 合成樹脂カバー1 合成樹脂カバー2 保温化紙ケース(塩化ビニル樹脂)																								

屋外:	ステンレス鋼板 溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 カラー亜鉛鉄板 保温化紙ケース (塩化ビニル樹脂) アルミ合金 保温化紙ケースの下部カバー 要 不要
【給排水衛生設備】	屋内: 隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) 不要 要 露出部 合成樹脂カバー1 合成樹脂カバー2 保温化紙ケース(塩化ビニル樹脂)
屋外:	ステンレス鋼板 溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 カラー亜鉛鉄板 保温化紙ケース (塩化ビニル樹脂) アルミ合金 保温化紙ケースの下部カバー 要 不要
(4) 鋼板製タンクの保温は	行わない 行う(蓋の部分は行わない)
(5) 次のダクト等に保温を行う。	換気用ダクト 外気取入れ用ダクト 排気用ダクト 空調している建物内の通りダクト 屋内外露出排煙ダクト 内貼りしたダクト及びチャンパー 断熱材付フレキシブルダクト及びたわみ継手 屋外露出の煙道及び煙突 (6) 次の管、弁、フランジ等に保温を行う。 加熱器入り蒸気配管及び温水管 蒸気通り管 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等 冷凍機の冷却水管 ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント 各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管(冷水、冷温水タンクの第1バルブまでを除く) エア抜弁以降の配管及び排泥弁以降の配管等 油管 衛生器具の付属品と見なされる器具及び配管(流し下部の床排水管を含む) 給水用配管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント 給水及び排水の地中又はコンクリート埋設配管 給湯管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等 保温付被覆鋼管 排水管で、暗渠内配管(ピット内を含む)、最下階の床下配管、屋外露出配管及び耐火二層管 通気管(排水管の分岐点より100mm以下の部分を除く) 消火管 厨房機器及びガス湯沸器廻りの給水、排水及び給湯管 (7) 寒冷地等での保温厚は、図示による。(図面番号) (8) 高圧(0.1MPa以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温厚は、図示による。(図面番号) (9) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 (10) エア抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。 (11) 保温を施す空調用タンクの蓋の保温 要 不要 (12) 全熱交換形換気扇の給気ダクトの保温 要 不要 (13) 消火用充水タンクの保温 要 不要 (2.2.3.1.4) (2.2.3.1.5) (2.2.3.1.6)
塗装	(1) 塗料を屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 F (2) 表2.3.10によらない場合は、図示による(図面番号) (3) 鋼合べイント塗りの塗料 JIS K 5516(合成樹脂鋼合べイント)の1種 アルミニウムべイント塗りの塗料 JIS K 5492(アルミニウムべイント)の1種 (4) 下記の全金属線管は、塗装を行う。 屋外配管(屋上を除く) 配線室以外の屋外露出配管 () (5) 下記の保温を施さない溶融亜鉛めっき(亜鉛付着量300g/m以上)を施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 隠蔽部 倉庫 機械室 屋上 () (2.2.2.2)
工事用仮設物	構内につくることが できる できない
足場・さん機類	別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。 本工事で設ける場合は、標準仕様書第2編第4章第1節4.1.1又は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2.1.1によるほか 足場の設置においては「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基準第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場、特組足場を用いる場合の設置場所については図示による。(2.4.1.1) (2.2.2.2) 内部足場 A種、B種、C種、D種 E種(単管足場) F種(くさび式緊結足場) G種(特組足場) 外部足場 A種(特組足場) B種(くさび式緊結足場) C種(単管足場) D種、E種 F種(高所作業車)
監督職員事務所(総合会議室を含む)	設ける(規模 10m、程度 20m、程度 30m、程度 65m、程度 100m、程度) 仕上げる程度 (2.4.1.1) (2.2.2.3)
部 位	仕 様
床	合板張り又はビニルシート張り
内壁・天井	合板張り又は石膏ボード張り+塗装
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り+塗装

監督員事務所の備品	監督員事務所の備品等の種類及び数量は以下の表による (2.4.1.1)																																								
	<table border="1"> <tr> <th>備品の種類</th> <th>机・椅子</th> <th>書棚</th> <th>黒板又はホワイトボード</th> <th>掛時計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>ゴム長靴</th> <th>雨がっぱ</th> <th>安全帯</th> <th>ヘルメット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> <th>冷暖房機器</th> <th>加入電話機</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>人用</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>湯沸器</th> <th>掃除具</th> <th>パソコン</th> <th>周辺機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> その他事務所として通常必要な備品を備えること。(2.4.1.1)	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板又はホワイトボード	掛時計	数量	組	台	個	個	備品の種類	ゴム長靴	雨がっぱ	安全帯	ヘルメット	数量	足	着	個	個	備品の種類	懐中電灯	衣類ロッカー	冷暖房機器	加入電話機	数量	個	人用	台	台	備品の種類	湯沸器	掃除具	パソコン	周辺機器	数量	台	個	台	台
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板又はホワイトボード	掛時計																																					
数量	組	台	個	個																																					
備品の種類	ゴム長靴	雨がっぱ	安全帯	ヘルメット																																					
数量	足	着	個	個																																					
備品の種類	懐中電灯	衣類ロッカー	冷暖房機器	加入電話機																																					
数量	個	人用	台	台																																					
備品の種類	湯沸器	掃除具	パソコン	周辺機器																																					
数量	台	個	台	台																																					
土工事	地中埋設管を除き、埋め戻し及び盛土は、根切り土の中の良質土を使用し、十分な締め固めを行う。 山砂の類を使用し、十分な締め固めを行い、水締めを行う。 残土処分 公的な受入施設又は県マネジメント部が建設発生土の受入施設として登録している民間受入施設に搬出 構内指示の場所に敷きならし (2.4.2.1) (2.7.1.1)																																								
コンクリート工事	図面に明記なきコンクリート設計基準強度及びスランプは、下記による。(2.4.4.1) (2.7.3.1) 設計基準強度 18N/mm以上 スランプ 18cm以下 少量(1m以内)の場合は、配合計画書により強度試験を省略することが出来る。																																								
鋼材工事	鋼製架台、又はご等の機器付属金物及び配管、ダクトの支持金物の屋外部分は、ステンレス鋼製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき(2種35 2種50)とする。 ただし、ピット内等多湿箇所の吊り及び支持金物はステンレス鋼製(SUS304)とする。(2.4.4.2) (2.7.5.2)																																								
耐震施工	設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人建築研究所監修)2014年版」による。なお設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平震度、機器の重量を乗じたものとする。 また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。 設計用標準水平震度 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="3">特定の施設</th> <th colspan="3">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要</th> <th>水槽類</th> <th>一般</th> <th>重要</th> <th>水槽類</th> <th>一般</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>2.0</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.5</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>1.5</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>1.0</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </table> 注()内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。 重要機器(水槽類)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 消火設備 水槽類 上層階の定義は、次による。 6階建以下の場合には最上階、7-9階建の場合には上層2階、(3.2.1.1) (5.1.2.1) 10-12階建の場合には上層3階、13階建以上の場合には上層4階 (3.2.1.1) (5.1.2.1) 建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)により、配管に形鋼振れ止め支持を行う場合はS A種とする。	設置場所	特定の施設			一般の施設			重要	水槽類	一般	重要	水槽類	一般	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	2.0	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.5	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.5	1.0(1.5)	1.0(1.5)	1.0	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	1.5	0.6(1.0)	0.6(1.0)	1.0	0.4(0.6)						
設置場所	特定の施設			一般の施設																																					
	重要	水槽類	一般	重要	水槽類	一般																																			
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	2.0	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.5	1.0(1.5)																																			
中間階	1.5(1.5)	1.5	1.0(1.5)	1.0(1.5)	1.0	0.6(1.0)																																			
1階及び地下階	1.0(1.0)	1.5	0.6(1.0)	0.6(1.0)	1.0	0.4(0.6)																																			
はつり	既存のコンクリート床、壁等配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。なお、復旧はモルタル又はロックウールを充てんする(建築基準法に適合させること)。 また、石綿含有仕上げ塗材がある箇所の配管貫通部等については、関係法令の作業基準に従い、除去する石綿含有仕上げ塗材を薬液等により湿潤し、手ばつりにより除去する。																																								
容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は表示された数値以下とする。																																								
防火区画	平面階 図示(図面番号)																																								
掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図等を描いた掲示板を設ける。																																								
マンホール、蓋類	用途名入りとする。 県名入りとする。																																								
取替機器	機器を取り替えた場合、取替日、受注者、施工者名及び能力を記した銘板を取付ける。																																								
天井点検口	天井点検口の裏側に用途名称を付す。																																								
機器の据付	仕様書等に記載のないものに関しては、メーカー据付要領を参照として、施工計画書に盛りこむこと。																																								
方式	<table border="1"> <tr> <th>方式</th> <th>新設</th> <th>改修</th> <th>既設</th> </tr> <tr> <td>全空気方式</td> <td>(中央 各階ユニット)</td> <td>(中央 各階ユニット)</td> <td>全空気方式 (中央 各階ユニット)</td> </tr> <tr> <td>ファンコイル・ダクト併用方式</td> <td>個別方式</td> <td>個別方式</td> <td>ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式</td> </tr> </table>	方式	新設	改修	既設	全空気方式	(中央 各階ユニット)	(中央 各階ユニット)	全空気方式 (中央 各階ユニット)	ファンコイル・ダクト併用方式	個別方式	個別方式	ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式																												
方式	新設	改修	既設																																						
全空気方式	(中央 各階ユニット)	(中央 各階ユニット)	全空気方式 (中央 各階ユニット)																																						
ファンコイル・ダクト併用方式	個別方式	個別方式	ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式																																						
主要空調機器	ボイラー 温風暖房機 温水発生機 遠心冷凍機 スクリュー冷凍機 吸収冷凍機 冷却塔 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット 直置き吸収冷温水機 小型吸収冷温水機ユニット コージェネレーション装置 氷蓄熱ユニット ユニット形空調機 コンパクト形空調機 パッケージ形空調機 ○ ガスエンジンパッケージ形空調機 ファンコイルユニット 空気清浄装置 全熱交換器 放熱器																																								
設計時の温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">時期</th> <th colspan="2">場 所</th> <th colspan="4">屋 内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th colspan="2">一般事務室</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">冬 期</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	時期	場 所		屋 内 (調整目標値)				温度 (DB)	湿度 (RH)	一般事務室		温度 (DB)	湿度 (RH)	冬 期	%	%	%	%	%	%	夏 期	%	%	%	%															
時期	場 所		屋 内 (調整目標値)																																						
	温度 (DB)	湿度 (RH)	一般事務室		温度 (DB)	湿度 (RH)																																			
冬 期	%	%	%	%	%	%																																			
							夏 期	%	%	%	%																														

株式会社都市・計画・設計研究所	検査	作図	工事名	治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号
一級建築士 第277813号 渡邊寿之			図面名称	特記仕様書 - 2 (機械設備)	縮尺	M - 0 2
					----- (A3)	

ダクトの種別	※ 低圧ダクト ○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト	Q112/Q113
ダクトの工法	○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ○ フレキシブルダクト ○ コーナポルト工法 (○ 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法) (長辺の長さが1500mm以下の部分) 屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。	Q110 ~ Q115 Q110 ~ Q115
チャンパー等	製作及び取付は、標準仕様書第3編2.2.2「アングルフランジ工法ダクト」の当該事項による。 消音内貼 ※ 要 (標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.4による。) ○ 不要	Q114/Q115/Q116/Q117/Q118
吹出口及び吸込口ボックスの材料	※ 亜鉛鉄板製 ○ グラスウール製 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによらない場合は監督職員との協議による。	Q114
風量測定口の取付位置	図示による。(図面番号)	Q116
配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 冷温水管・膨張管・エアー抜管・膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ○ 耐熱性ライニング鋼管 (SSP-HVA, SSP-H-FVA, SSP-H-FA) ○ ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) ○ 架橋ポリエチレン管 ○ ポリブデン管 (2) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SSP-VA, SSP-FVA) ○ ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SSP-PA, SSP-FPA) ○ ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) (3) 蒸気給水管 ※ 配管用炭素鋼管(黒管) ○ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 黒管Sch40) (4) 蒸気還管 ※ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 黒管Sch40) ○ 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) (5) 高温水管 ※ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 黒管) ○ Sch40 ○ Sch80 (6) 油管 ※ 配管用炭素鋼管(黒管)(トランプ内共) (7) 空調用給水管 ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SSP-VA, SSP-FVA) ○ ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SSP-PA, SSP-FPA) ○ 水道用硬質塩化ビニル管 (HVP) (8) 空調用排水管 ○ 硬質塩化ビニル管 (VP) ○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D-HA) ● 結露防止層付硬質塩化ビニル管 (屋内) (9) 冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ○ 鋼管 ○ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 黒管Sch40)	Q110
定風量ユニット 変風量ユニット	○ メカニカルタイプ ○ 風速センサータイプ	Q115/Q116/Q117
地下オイルタンク	(1) 本体 ※ 地下オイルタンク 記号 T0- ○ 鋼製強化プラスチック製二重設タンク 記号 T0SF- (2) 蓋 ※ 円筒形 ○ 円筒形 ○ 円筒形 (3) タンク室 ○ 設けない(コック形) (4) コンクリート工事 ※ 本工事 ○ 別途建築工事 (5) コンクリート躯体工事 ※ 本工事 ○ 別途建築工事 (6) 内部充填砂 ※ 本工事 ○ 別途建築工事 (7) タンク外面防護処理 ※ 施工しない ○ 施工する (○ アスファルト被覆 ○ エポキシ樹脂被覆 ○) (8) 基礎杭 ※ 不要 ○ 要 (9) 遮断油量指示計 ※ 設ける ○ 設けない	Q110
バーナーの制御方式	○ オン・オフ制御 ○ ハイ・ロー制御 ○ 比例制御 ○ ()	Q110/Q112
鋼板製煙道	図面に明記なき鋼板製煙道の厚さ ※ 3.2mm ○ 4.5mm 煤煙濃度計取付座及び煤塵量測定口(80φ以上)の箇所は図示による。	Q110 Q114
ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける(電源制御盤より取り出し配管配線は本工事に含む。) ※ 送風機付き ○ 送風機なし	Q114
給水軟化装置	(1) 運転方式 ※ 自動式 ○ 手動式 (2) イオン交換樹脂筒 ※ 1筒式 ○ (3) 処理用水硬度測定器 ※ 設ける ○ 設けない	Q116
無圧式温水発生器の本体内部防錆処理	ステンレスを除く鋼製の場合の内部防錆処理は ○ 溶融亜鉛めっき2種 S5 ○ 溶融アルミニウムめっき2種 ○ 熱媒水に腐食抑制剤を添加する方法	Q110
チリリングユニット	○ 圧縮機インバーター制御(図面番号) ○ モジュール型の適用(図面番号) ○ 水素熱用に使用する場合の適用(図面番号) ○ 始動方式(図面番号) ○ スクリュー冷凍機	Q110 ~ Q114

● 冷媒	図示による。(図面番号)	Q110 ~ Q117
● 成績係数	※ 図示による。(図面番号) ● グリーン購入法で定める数値以上とする。	Q110 ~ Q117
○ スクリュー冷凍機	熱回収型の適用は図示による。(図面番号)	Q114
○ 吸気冷凍機	排熱熱交換器の適用は図示による。(図面番号) 排熱投入型再生器の適用は図示による。(図面番号) 運転状態における燃料削減率は図示による。(図面番号)	Q116
○ 小型吸気冷凍機ユニット	冷却塔、ポンプの補機類の組み込みの有無等図示による。(図面番号)	Q117
○ コージエネレーション装置	仕様、システム等は図示による。(図面番号)	Q140 ~ Q146
○ 水蓄熱ユニット	冷媒は図示による。(図面番号) 水生成装置 ○ スタティック形 (○ 内蔵式 ○ 外蔵式 ○ カプセル式) ○ ダイナミック形 タンク本体の材質は図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号)	Q150 ~ Q151
● 空気調和機	○ ユニット形空気調和機 加湿器、許容騒音レベル、吐出口風速等図示による。(図面番号) ○ コンパクト形空気調和機 加湿器、エアフィルター、制御盤等図示による。(図面番号) ○ ファンコイルユニット サブドレンパンの適用は図示による。(図面番号) ○ カセット形ファンコイルユニット 図示による。(図面番号) ● パッケージ形空気調和機 加熱器、加湿器、エアフィルター、冷媒等図示による。(図面番号) ○ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 加湿器、冷媒、成績係数等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号)	Q170 ~ Q176 Q170 ~ Q176 Q210
○ 空気清浄装置	フィルターの形式等図示による。(図面番号)	Q180 ~ Q189
○ 回転形全熱交換器	回転数制御装置は図示による。(図面番号)	Q190 ~ Q194
○ 全熱交換ユニット	運転表示灯及び操作スイッチ等は図示による。(図面番号)	Q190 ~ Q194
○ 放熱器及び放熱器付属品	ファンコンベクターの吹出口、吸込口、エアフィルター等図示による。(図面番号) コンベクター、パネルラジエーターの寸法、放熱能力等図示による。(図面番号)	Q190 ~ Q191
○ 送風機	電動機の仕様等は図示による。(図面番号) 水抜き穴 (※設けない ○ 設ける) 基礎等は図示による。(図面番号)	Q191 ~ Q194 Q210
○ ポンプ類	本体及びベアースの材質、構成、形式、フット弁の口径、電動機等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号)	Q192 ~ Q196 Q210
○ 還水タンク	本体材質 ○ SUS304 ○ SUS316 ○ SUS444 配管接続は図示による。(図面番号)	Q192
○ 膨張タンク	○ 開放形膨張タンク (○ 鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 (SUS304)) ○ 密閉形鋼製膨張タンク (溶接栓 ○ あり ○ なし)	Q199 Q196
○ ヘッダー	還水管接続口 ○ 設ける ○ 設けない 排水管接続口 ○ 設ける ○ 設けない	Q198
● ダクトの種別	※ 低圧ダクト ○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト	Q220
● ダクトの工法	○ アングルフランジ工法 ● スパイラルダクト ○ フレキシブルダクト ○ コーナポルト工法(長辺の長さが1500mm以下の部分) (○ 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法)	Q210 ~ Q214
○ 厨房用排気ダクトの板厚	厨房用排気ダクトの板厚は下記による。 ダクトの長辺(mm) 適用表示厚さ(mm) 450 以下 () 450 を超え、750 以下 () 750 を超え、1500 以下 () 1500 を超え、2200 以下 ()	Q220
○ 送風機	電動機直動式の場合の種数等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号)	Q191 ~ Q194 Q210
○ 吹出口及び吸込口ボックスの材料	※ 亜鉛鉄板製 ○ グラスウール製	Q114
○ 排気フード	(1) 排気フードの補強、支持金具、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ ステンレス鋼板(補強材) ○ 亜鉛鉄板 (2) フード囲いにダンパー類の点検口を ○ 設ける ○ 設けない (3) フードの内側周囲にはといを設け、といには呼び径10~20の黄銅製コック、プラグ又はステンレス製コックを ○ 設ける ○ 設けない	Q114
○ グリス除去装置	○ グリスエクストラクター ○ グリスフィルター	Q114
○ 防煙ダンパー 防火防煙ダンパー ピストンダンパー	防煙ダンパー・防火防煙ダンパーの復機方式 ※ 遠隔復帰式(電気式(定格入力0.6A以下)) ○ 手動復帰式 ピストンダンパーの復機方式 ※ 遠隔復帰式 ○ 手動復帰式	Q158 ~ Q159
○ ドレン抜き	厨房、浴室等の多湿箇所の排気ダクトに設ける。(図面番号)	Q220
○ 排煙対象部分	○ 廊下 ○ 事務所 ○ 図示による。(図面番号) ○ 最大面積 m ²	
○ ダクトの種別	○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト	Q220/Q221/Q222
○ ダクトの工法	※ アングルフランジ工法 ○	Q210/Q220/Q221/Q222
○ ダクトの材料	※ 亜鉛鉄板製 ○ 普通鋼板製	Q114/Q220/Q221

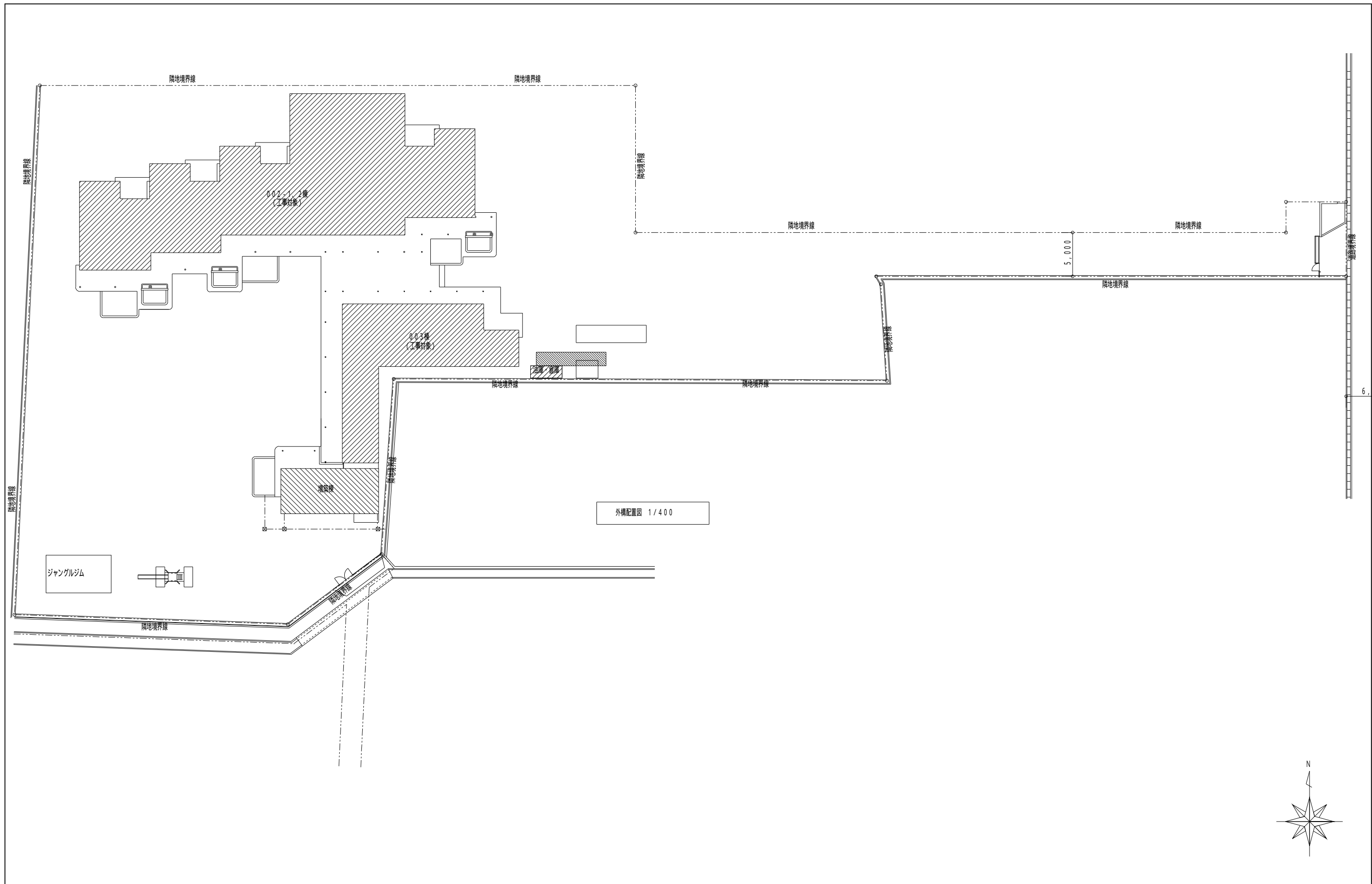
○ 排煙口及びダンパー	(1) 形状 ○ スリットフェイス形 ○ ハネル形 ○ ダンパー形 (2) 排煙口の動作 ○ 手動 (○ 機械式 ○ 電気式) ○ 煙感知器連動 (3) ダンパー本体及び操作箱との選り配線は本工事とし、それ以降の制御配管、配線は別途工事(電気設備工事)とする。	Q220/Q221
○ 排煙機	形式 ※ 遠心送風機 ○ 斜流送風機 ○ 軸流送風機 基礎等は図示による。(図面番号)	Q114 Q210
○ 自動制御設備一般	システム構成、仕様及び機能は図示による。(図面番号)	Q114
○ 自動制御機器	デジタル式調節部の中央監視制御装置との通信機能は図示による。(図面番号) 操作部電動弁の開閉状態を遠方表示するための電気接点は図示による。(図面番号)	Q120 Q120
○ 中央監視制御装置一般	システム構成、仕様及び機能は図示による。(図面番号)	Q141
○ 中央監視盤	システム構成、仕様及び外形形状は図示による。(図面番号)	Q142
○ 周辺装置	印字装置の方式は図示による。(図面番号) 集合表示装置は図示による。(図面番号)	Q143
○ 端末装置	種類及び機能は図示による。(図面番号)	Q144
○ 電気計装用機材	電線及びケーブルの規格、通信信号線の規格及び使用区分、線径及び本数は図示による。電線管及び付属品等の規格は図示による。(図面番号)	Q151
○ 小便器用節水装置	○ 小便器一体型 ○ 小便器分離型	Q112
● 温水洗浄式便座	加熱方式 ● 貯湯式 ○ 瞬間式 暖管機能 ● あり ○ なし 温水乾燥機能 (○ あり ● なし) リモコン ● あり ○ なし	Q112
○ 大便器ユニット	大便器の種類及び給水装置の組合せ、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様、配管は図示による。(図面番号)	Q113
○ 小便器ユニット	小便器の種類及び節水装置の組合せ、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示による。(図面番号)	Q113
○ 洗面器ユニット	洗面器の種類及び給湯管の要否、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示による。(図面番号)	Q113
○ 壁掛型汚物流しユニット	汚物流しの種類、シャワー付水栓、給湯方式、配管材料は図示による。(図面番号)	Q113
○ 浴室ユニット	JIS A 5532(浴槽)、プラスチック浴槽ふた、照明の種類、給水・給湯管の要否、管材・壁・床・天井・付属品の仕様は図示による。(図面番号)	Q114
○ 複合浴室ユニット	JIS A 5532(浴槽)、JIS A 5207(衛生陶器)、照明の種類、給水・給湯管の要否、管材・壁・床・天井・付属品の仕様は図示による。(図面番号)	Q115
○ 大便器用洗浄弁	操作方式 ○ 手動式(※レバー式) ○ ○ 電気開閉式(○ センサー式 ○ タッチスイッチ式)	Q118
○ 化粧棚	陶器製又は金属製の縁付きとし、大きさは図示による。(図面番号)	Q119
○ 水石入れ	○ 手洗器一体型 ○ 手洗器分離型 ○ 自動供給式 ○	Q1110
○ 自動水栓	電源供給方式 (○ AC 電源式 ○ 乾電池式 ○ 発電式) 手動スイッチ (○ あり ○ なし)	Q117
○ 大便器耐火カバー	※ 設ける(ピット内は除く) ○ 設けない	
○ 多目的トイレの器具配置	紙巻器、便器洗浄ボタン、呼出ボタンの配置はJIS S 0026による。	
● 給水方式	● 水道直結方式 ○ 高圧タンク方式 ○ 増圧ポンプ方式(水道用直結加圧形ポンプユニット) ○ ポンプ直送方式(小型給水ポンプユニット)	
● 配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SSP-VA, SSP-FVA) ○ ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SSP-PA, SSP-FPA) ○ ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) ● 水道用硬質塩化ビニル管 (HVP) ○ 架橋ポリエチレン管 ○ ポリブデン管 (2) 地中配管 ○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管(内外面ライニング) (SSP-VO, SSP-FVO) (○ 屋内 ○ 屋外) ○ ポリエチレン粉末ライニング鋼管(内外面ライニング) (SSP-PO, SSP-FPO) (○ 屋内 ○ 屋外) ● 水道用硬質塩化ビニル管 (HVP) (○ 屋内 ○ 屋外) ○ 水道配水用ポリエチレン管 (※屋外) ○	Q210
○ ポンプ類	○ 排水用ポンプ 共通ベースの材質、フット弁の呼び径等図示による。(図面番号) ○ 小型給水ポンプユニット 運転方式、制御方式、24時間強制ローテーション機能、フット弁の呼び径等図示による。(図面番号) ○ 深井戸用水中モーターポンプ 排水管の材質、水中ケーブル及び電極の長さ等図示による。(図面番号)	Q110/Q112 Q113

給水設備	加入金等	不要 要 (本工事 別途工事) 名称:	
	○タンク	○FRP製パネルタンク (複合板形 単板形) (5.1.4.1) ステンレス鋼板製パネルタンク (外部保温 あり なし) 鋼板製一体形タンク タンク本体給水栓用配管接続口 ○ 設ける 設けない	
	排水方式	汚水と雑排水 屋内 分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 屋外 分流式 合流式 ポンプ排水 あり (汚水 雑排水 雨水 湧水 浄化槽二次側) なし	
	放流先	(1) 汚水 直放流下水管 浄化槽 (2) 雑排水 直放流下水管 浄化槽 別途樹 (工事)	
	配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 汚水・雑排水管 水道用硬質塩化ビニル管 (VP) (屋内 屋外) 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル (RF - VP) (屋内 屋外) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D - VA) (屋内 屋外) 耐火二層管 (国土交通大臣認定品) (屋内 屋外) (2) 通気管 水道用硬質塩化ビニル管 (VP) 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 (RF - VP) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D - VA) 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 耐火二層管 (国土交通大臣認定品) (3) 流し等の床に露出部分の配管は、硬質塩化ビニル管 (VP) でもよい。 (保温不要)	
	汚水、雑排水及び汚物水中モーターポンプ	汚物用の場合の電動機の極数は図示による。 (図面番号) 水中ケーブルの長さは図示による。 (図面番号) ケーシング、羽根車等の材質、着脱装置等は図示による。 (図面番号)	
	○グリース阻集器	ステンレス鋼板製 (SUS304) 板厚 3mm以上 強化フラスチック製 (FRP) 板厚 3mm以上 (5.1.7.8)	
	○満水試験機	要 (取付箇所は図示による。 (図面番号)) 不要	
	負担金	不要 要 (本工事 別途工事) 名称:	
	給湯方式	○中央式 局所式	
	配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) 耐熱性ライニング鋼管 (SGP - HVA, SGP - H - FVA, SGP - H - FCA) ポリブデン管 ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) 架橋ポリエチレン管	
	○ガス湯沸器	貯湯式 ○ 瞬間式 (図面番号) (5.1.3.6)	
	○潜熱回収型給湯器	給湯効率 (90%以上 %以上) (図面番号) (5.1.3.7)	
	貯湯式電気温水器	週間タイマーの有無等図示による。 (図面番号) (5.1.3.8)	
	ヒートポンプ給湯機	タンク容量等図示による。 (図面番号) (5.1.3.9)	
	排気筒	排気筒を外気に開放する場合の頂部形状は図示による。 (図面番号) (5.1.3.10)	
	貯湯タンク	材質、電気防食の方式等図示による。 (図面番号) (5.1.4.3)	
	○消火設備の種類	○ 屋内消火栓 連結送水管 屋外消火栓 スプリンクラー 泡消火 粉末消火 不活性ガス消火 連結散水 フード等用簡易自動消火 泡消火 ハロゲン化物消火 (5.1.5.2) (5.1.5.11)	
	○配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370白管) (Sch40 Sch80) ステンレス鋼管 (一般配管用 配管用) (継手) (2) 地中配管 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP - VS) (屋内 屋外) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370VS 白管 Sch40) (屋内 屋外)	
	○消火ポンプユニット	フード弁の呼び径等図示による。 (図面番号) (5.1.2.8)	
	連結送水管	送水口の型式及び放水口の径、材質は図示による。 (図面番号) (5.1.5.3)	
	屋外消火栓	屋外消火栓箱 鋼板製 (1.6mm以上) ステンレス鋼板製 (1.5mm以上) (5.1.5.4) 消火栓開弁の材質 地上式 (鋼鉄製 (要部青銅製) ステンレス鋼物製) 組込式 (青銅製又はステンレス鋼物製)	
	スプリンクラー	閉鎖型スプリンクラーヘッド (湿式 乾式 予作動式) (5.1.5.5)	
	泡消火	消火薬剤 (水性親泡消火薬剤 合成界面活性剤泡消火薬剤) (5.1.5.8) 感知用ヘッドの形状は図示による。 (図面番号)	
	連結散水	散水ヘッドの形状は図示による。 (図面番号) (5.1.5.10)	
	機器の固定	燃焼機器、加熱調理機器、高さが1.0mを超える機器及び図示による機器には、床又は壁にアンカーボルトで固定できるように補強及び固定金具を備える。 (図面番号) (5.1.6.1)	
	流し	化粧板の有無、流しトラップの材質等図示による。 (図面番号) (5.1.6.4)	
	作業台 (調理台、脇台、盛付台等)	すのこ、引出し、戸棚等の有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.4)	
	カステープルレンジ	甲板の厚さ、材質及びすのこの有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.5)	
	電気テーブルレンジ	すのこの有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.5)	
	揚物器・炊飯器・焼物器・煮炊釜	加熱方式は、図示による (図面番号) (5.1.6.5)	

ガス	ガスの種類	都市ガス 発熱量 MJ / Nm ³ ガス事業者名: 配管材料、施工要領は、ガス事業者が定めるものに準じる。 液化石油ガス (5.0kg 2.0kg)
	配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (5.1.7.1) (5.1.7.1) (1) 一般配管 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 圧力配管用炭素鋼鋼管 (2) 地中配管 ガス用ポリエチレン管 (屋内 屋外) 合成樹脂被覆鋼管 (屋内 屋外)
	ガス漏れ警報器	別途工事 () 本工事 (外部出力端子 なし あり) (5.2.1.3)
	防食処理	地中埋設管に電気防食を施す場合は図示による。 (図面番号) (5.2.2.5)
	液化石油ガス用鋼管の溶接接合	溶接部の非破壊検査 実施しない (5.3.2.2) 実施する (放射線透過検査 浸透探傷検査又は粉体探傷検査)
	地中埋設管の接合方法	PE管工法 SGM工法 ネジ工法 抜取率 %
	ビッド内施工方法	合成樹脂被覆鋼管による
	負担金	不要 要 (本工事 別途工事) 名称:
	事前調査	既設井分布調査 要 不要 (7.1.2.1) 法的規制調査 要 不要 地表探査 要 不要 周辺環境調査 (騒音・振動測定) 要 不要 代表井による熱交換効率の把握 要 不要 熱応答試験方法 図示による。 (図面番号)
	形式	ユニット形 現場施工形
浄化槽	処理種別	小規模合併処理 合併処理
	汚泥引抜き清掃消毒	別途工事 本工事
	現場施工型	送風機室 (本工事 別途工事) (8.1.1.2) (8.2.2.2) 防護さく (本工事 別途工事) コンクリート躯体工事 (土工事を含む) (本工事 別途工事) 換気用送風機 遠心送風機 軸流及び斜流送風機 壁掛式有圧換気扇 (フード付) 天井有圧換気扇 制御盤 漏電、過負荷、満水警報等の一括故障警報赤無電圧接点及び端子を設ける。 消泡装置 (ノズル式 消泡剤式) 消毒装置 (図形塩素剤消毒装置 次亜塩素酸ソーダ消毒装置) マンホール 標準図 (機材 1) によるマンホールふた (水封式) (錠又は回転ロック付) 管材及び弁類は図示による。 (図面番号) 土留め等は図示による。 (図面番号)
	ユニット型	基礎等の厚さ等図示による。 (図面番号) (8.1.4.1)
	運転操作盤	運転操作盤 一台の機器につき一面を設ける (10.2.2.4) 号機選択スイッチ (設ける 設けない)
	耐震措置	設計用水平震度は、設計用標準水平震度地域係数を乗じて求める。 (10.2.2.7) 地域係数 ()
	配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (7.1.7.1) 水道用硬質塩化ビニル管 (HIVP) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP - VA SGP - VD) フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP - FVA SGP - FVD) 水配管用亜鉛めっき鋼管
	配管の保温	図面に明記なき保温仕様は、下記による。 (2.3.1.5) 不要 要 (保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.5の給水管の当該事項による。)
	撤去工事	(1) 引き渡しを要する配管、ダクト等の保温材は分離する。 (2) ダクト及び配管等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 (3) 撤去後の補修は、原則として現状復旧とする。
	一級事項	石綿作業主任者 適用する (9.1.2) 特別管理産業廃棄物 適用する (9.1.2) 物理責任者
環境	○ 施工計画調査	特別管理産業廃棄物等の調査は次による (適用範囲) 使用状況調査 (製造所名、製造年、型式、種類、数量等) 処分条件調査 (収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設等) 調査結果報告書の提出 (5.1.3)
	分析調査	微量PCBの測定を行う (対象機器) ()
	特別管理産業廃棄物の処分等	特別管理産業廃棄物 (5.4.1)
改修工事	種 類	処分方法
	炭石綿等	アスベスト含有建材の除去等による
	PCBを含む機器類	保管 (保管場所) ()
	PCB含有シーリング	保管 (保管場所) ()
	廃油	中間処理施設再生処理 焼却処分
	廃酸 / 廃アルカリ	製造業者又は専門業者 (回収委託) - 再生処理

特別管理産業廃棄物の処分等	特別管理産業廃棄物の処分等	特殊な建設副産物の回収及び処分 (5.5.1)
		種 類 処分方法
		フロン 登録回収業者 (回収委託) - 破壊 再利用
		ハロン 設備設置業者 (回収委託) - 再利用 保管
		イオン化式感知器 製造業者又は販売業者 (回収委託)
		六フッ化硫黄 (SF6) 製造業者又はガス回収業者 (回収委託)
		ガス - 破壊 再資源化 再利用
		特定化学物質 回収 処分
	特別管理産業廃棄物リスト	別図による。 (図面番号)
	アスベスト含有建材の調査	調査 (アスベスト含有建材の有無) は監督職員、工事監理者、受注者立会のもと行う。 目視及び設計図書等による製造年等の確認 (9.1.1)
アスベスト含有建材の分析調査	分析方法 JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による。 「建材中の石綿含有率の分析方法」(平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号)による。 分析結果報告書を提出する (9.1.1)	
アスベスト含有保温材等の除去及び処分	除去方法 (9.1.1) (9.1.4) 手ばらし 破壊して除去 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 湿潤化 固化 保管場所 () 除去したアスベスト含有保温材等の処分 埋立処分 (管理型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)	
アスベスト含有成形板等の除去及び処分	除去するアスベスト含有成形板の飛散防止措置 (9.1.1) (9.1.5) 湿潤化 除去工法 手ばらし けい酸カルシウム板第一種においては、作業場の隔離養生を行う。 保管場所 () 除去したアスベスト含有成形板等の処分 (石綿含有せつこうボードを除く) 埋立処分 中間処理	
処分場	石膏ボード、化粧石膏ボード、エルボ保温材、煙道断熱材は管理型処分場、岩綿吸音板、珪酸カルシウム板は安定型処分場に廃棄すること	
手続き等	所轄の労働基準監督署及び奈良県環境・環境総合センター (奈良市内においては、奈良市保健・環境検査課) に必要な書類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること。	
除去後の仕上げ	仕上げ表による	
アスベスト含有材リスト	() () () ()	
(設備機材)	・ボイラー (鋼製簡易ボイラー、鋼製ボイラー、鋼製小型ボイラー、鋼製ボイラー) ・温水発生機 (真空式温水発生機 (鋼製・鋼鉄製)、無圧式温水発生機 (鋼製・鋼鉄製)) ・冷凍機 (チリングユニット (水冷式、空冷式、空気熱源ヒートポンプ)、吸収冷凍機、吸収冷凍機ユニット、遠心冷凍機) ・冷却塔 (冷却塔) ・空調機 (ユニット形空調機、ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット、パッケージ形空調機、コンバクト形空調機、ガスエンジン・ヒートポンプ式空調機) ・空気清浄装置 (エアフィルター (パネル形、折込形)、自動巻取りエアフィルター、電気集塵器) ・全熱交換器 (全熱交換器 (回転形、静止形)、全熱交換ユニット) ・送風機類 (遠心送風機 (多翼形送風機)、斜流送風機、軸流送風機、消音ボックス付送風機) ・ポンプ類 (横形遠心ポンプ (小形渦巻、小形多段遠心、再吸込渦巻)、水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用)、立形遠心ポンプ) ・ダクト付属品 (吹出口・吹出口、風量ユニット (定風量・変風量)) ・自動制御 (自動制御システム) ・衛生器具ユニット (衛生器具ユニット) ・タンク (FRP製パネルタンク、密閉形隔膜式膨張タンク (空調用・給湯用)、ステンレス鋼板製パネルタンク (溶接組立形)、ステンレス鋼板製パネルタンク (ボルト組立形)) ・消火装置 (スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム (窒素、IGF55、IGF541)、泡消火システム) ・厨房機器 (厨房システム) ・鋼鉄製ふた (マンホールふた、弁掛ふた)	

設備機材等指定表	機 材	製造者名	製造者名	製造者名



	株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号 M-05
				図面名称 配置図 (機械設備)	縮尺 1/400(A3)	

衛生器具リスト(撤去)

中央小学校

名称	型番(参考)又は仕様	計	上段:棟、中段:階、下段:室名							
			002-2	002-1	002-1	002-1	003	003		
			便所・2才	便所・3才	便所・4才	便所・5才	便所	便所・職員		
洋風大便器	撤去	幼児用, FT共	8	2	2	2	2			
紙巻器	撤去		8	2	2	2	2			
小便器	撤去	床置, FV共	8	2	2	2	2			
流し	撤去	水栓共	4	1	1	1	1			
洋風大便器	取外再取付	FT共	2					2		
洗面器	取外再取付		1					1		
和風大便器	撤去		1						1	
洗面器	撤去		1						1	

衛生器具リスト(改修)

名称	給排水 (上段:給水、下段:排水)	仕様	器具型番 (上段:TOTO、下段:LIXIL)	付属品 (上段:TOTO、下段:LIXIL)	計	上段:棟、中段:階、下段:室名						備考
						002-2	002-1	002-1	002-1	003		
						便所・2才	便所・3才	便所・4才	便所・5才	便所・職員		
幼児用小便器	壁 壁	フラッシュバルブ(手動), フランジ, バックハンガー	U310 U-401R	T601P, T64CP, T9R UF-3J, UF-13AMP, UF-114E	8	2	2	2	2			
幼児用大便器(1-2歳)	壁 床	平付タンク(手動), タンク用金具, 普通便座, スパッド	CS310B C-P141SM	S300BK, TS310SGR, TC31R, T82OR32 DT-520XECH32, CF-70K, CF-121L-32, CF-103BB	2	2						
幼児用大便器(3-5歳)	壁 床	平付タンク(手動), タンク用金具, 普通便座, スパッド	CS300B C-P143S	S300BK, TS310SGR, TC30, T82OR32 DT-520XECH30, CF-43CK, CF-8AMP, CF-103BC	6		2	2	2			
紙巻器	---		Y1B10P2S *****		2	2						
紙巻器	---		YH52R CF-AA23D		6		2	2	2			
流し	壁 床	水栓, トラップ共 接続は本工事	(建築工事)		(4)	(1)	(1)	(1)	(1)			
洋風大便器(職員)	壁 床	フラッシュタンク, 洗浄便座, 節電付付	CFS498BM(L)C *****	TCF5534AU						2		
洗面器	壁 床	水栓, トラップ共 接続は本工事	SK510D *****							1		

※鏡、手摺類は建築工事とする。

※()内は別途工事(建築工事)とする。

株式会社都市・計画・設計研究所		検査	作図	工事名	設計年月日	図面番号
一級建築士 第277813号 渡邊寿之				治道認定こども園耐震改修工事		M-06
				図面名称	縮尺	
				衛生器具リスト(撤去改修) (給排水設備)	---(A3)	

機器リスト(空調設備)(撤去)

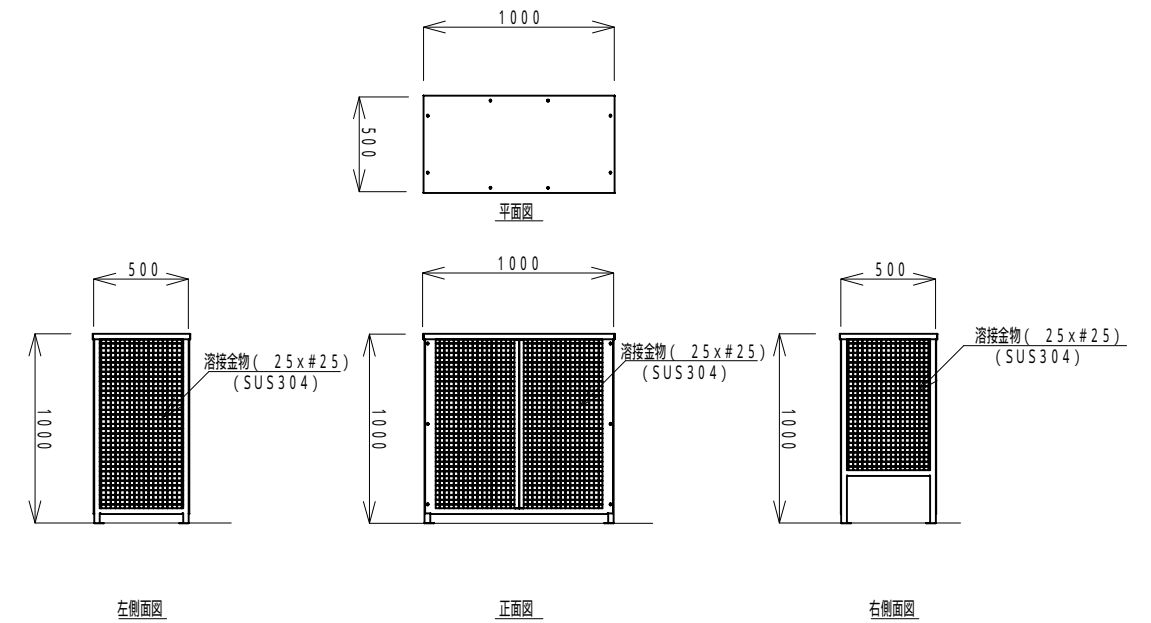
記号	名称	形式	仕様										数量	設置場所
			冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	冷媒管液 ()	冷媒管ガス ()	電源	圧縮機 (kW)	送風機 (W)	消費電力 (kW)	冷媒	冷媒量 (kg)		
ACP-1	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	7.1	8.0	9.5	15.9	3 200V	1.60	57+60	2.12	R410	3.0	4組	002棟 保育室x4
ACP-2	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	10.0	11.2	9.5	15.9	3 200V	2.10	57+60x2	3.27	R410	4.0	3組	002棟 遊戯室x3
ACP-3	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	7.1	8.0	9.5	15.9	1 200V	1.60	57+60	2.12	R410	3.0	1組	003棟 職員室
RAC-1	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	ルーム, 壁掛	5.6	6.7	6.4	9.5	1 200V	1.50	- - -	2.38	R410	- - -	1組	003棟 保育室

機器リスト(空調設備)(新設)

記号	名称	形式	仕様						台数	仕様、付属品	冷媒種	冷媒 (液) ()	冷媒 (ガス) ()	ドレン管 ()	設置場所	備考
			冷房 (kW)	暖房 (kW)	電源	圧縮機 (kW)	送風機 (W)	消費電力 (kW)								
ACP-1	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	7.1	8.0	3 200V	1.60	57+60	2.12	4	室外機フェンス, 転倒防止金具, ワイヤードリモコン共	R32	9.5	15.9	25	002棟 保育室x4	
ACP-2	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	10.0	11.2	3 200V	2.10	57+60x2	3.27	3	室外機フェンス, 転倒防止金具, ワイヤードリモコン共	R32	9.5	15.9	25	002棟 遊戯室x3	
ACP-3	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	店舗用, 壁掛, ペア	7.1	8.0	1 200V	1.60	57+60	2.12	1	転倒防止金具, ワイヤードリモコン共	R32	9.5	15.9	25	003棟 職員室	
RAC-1	電気式ヒートポンプエアコン室内外機	ルーム, 壁掛	5.6	6.7	1 200V	1.50	- - -	2.38	1	転倒防止金具, ワイヤレスリモコン共	R32	6.4	9.5	25	003棟 保育室	

注記事項

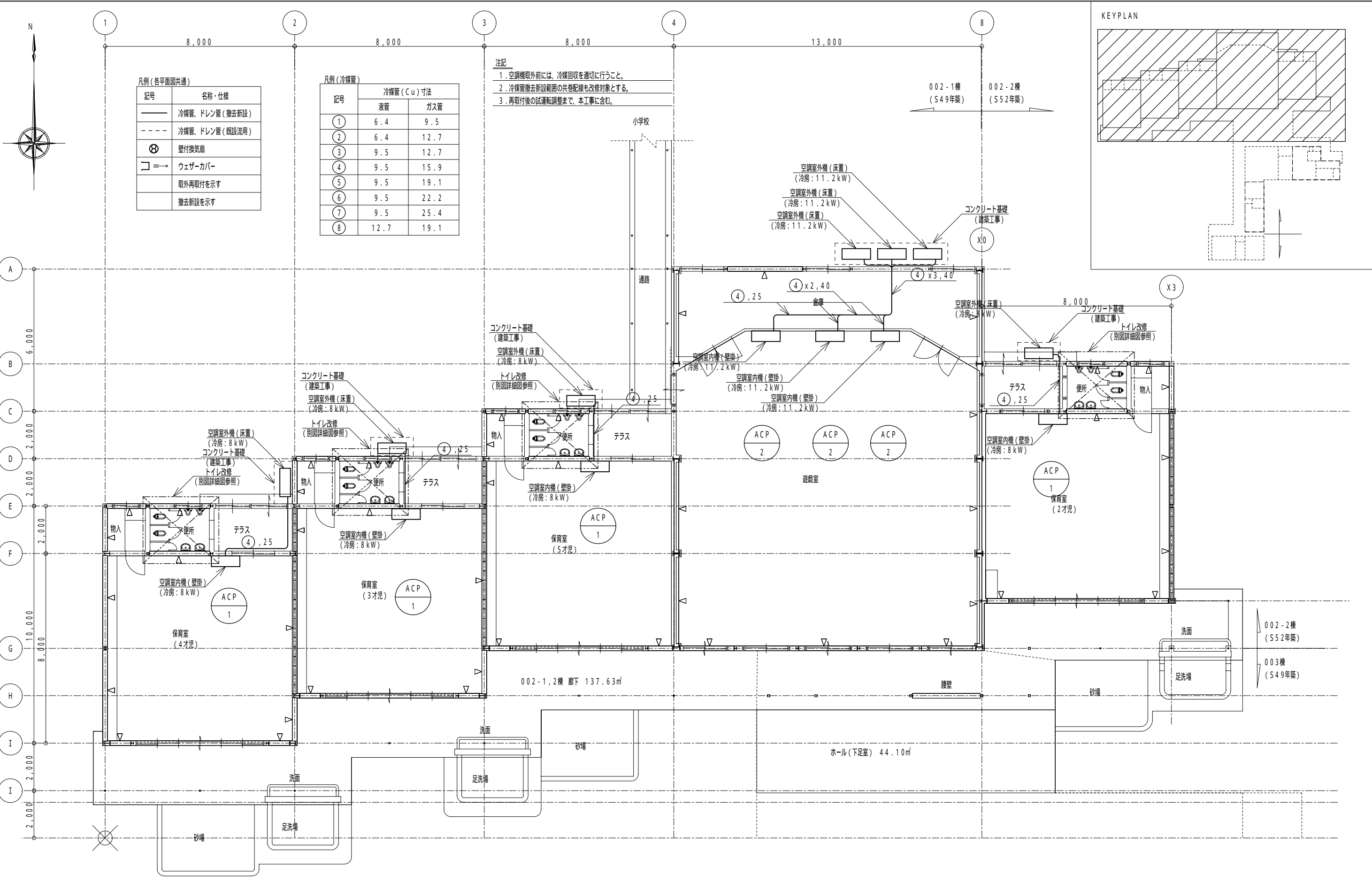
標記記載の冷暖房能力は定格能力を示す。(消費電力、圧縮機出力、送風機出力は参考とする。)
また、インバーター可変幅はメーカー仕様とする。
表中記載の冷房能力は、JIS B 8616:2015及びJRA4002:2013Rによる条件で、接続配管長が、7.5mで室内ユニット(天井カセット型4方向吹出)100%接続した場合の値とする。
表中記載の機器は、省エネルギー法2015年度基準値/グリーン購入法2016年度判断基準値適合品とする。
リモコン取付位置は監督員と協議の上、決定のこと。
室内外機の二次側配管配線及び制御配管配線は本工事とする。
室内外露出部は化粧カバー施工の事。
撤去機器仕様は、参考とする。



アンカーホルト	M16x4 (耐風速: 40.4m/s, 水平震度: 2.0G)
---------	----------------------------------

室外機防球フェンス 参考詳細図 S: 1/40

株式会社都市・計画・設計研究所 一級建築士 第277813号 渡邊寿之	検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号 M-07
			図面名称 機器リスト(撤去改修) (空調設備)	縮尺 - - - (A3)	



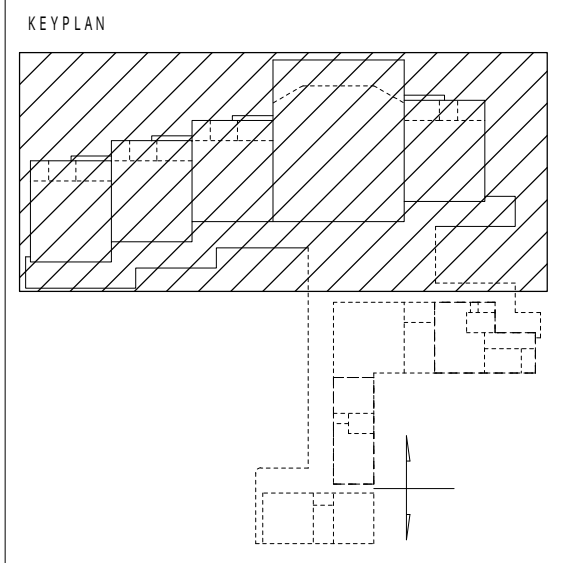
凡例 (各平面図共通)

記号	名称・仕様
—	冷媒管、ドレン管 (撤去新設)
- - -	冷媒管、ドレン管 (既設流用)
⊗	壁付換気扇
☐⇒	ウェザーカバー
	取外再取付を示す
	撤去新設を示す

凡例 (冷媒管)

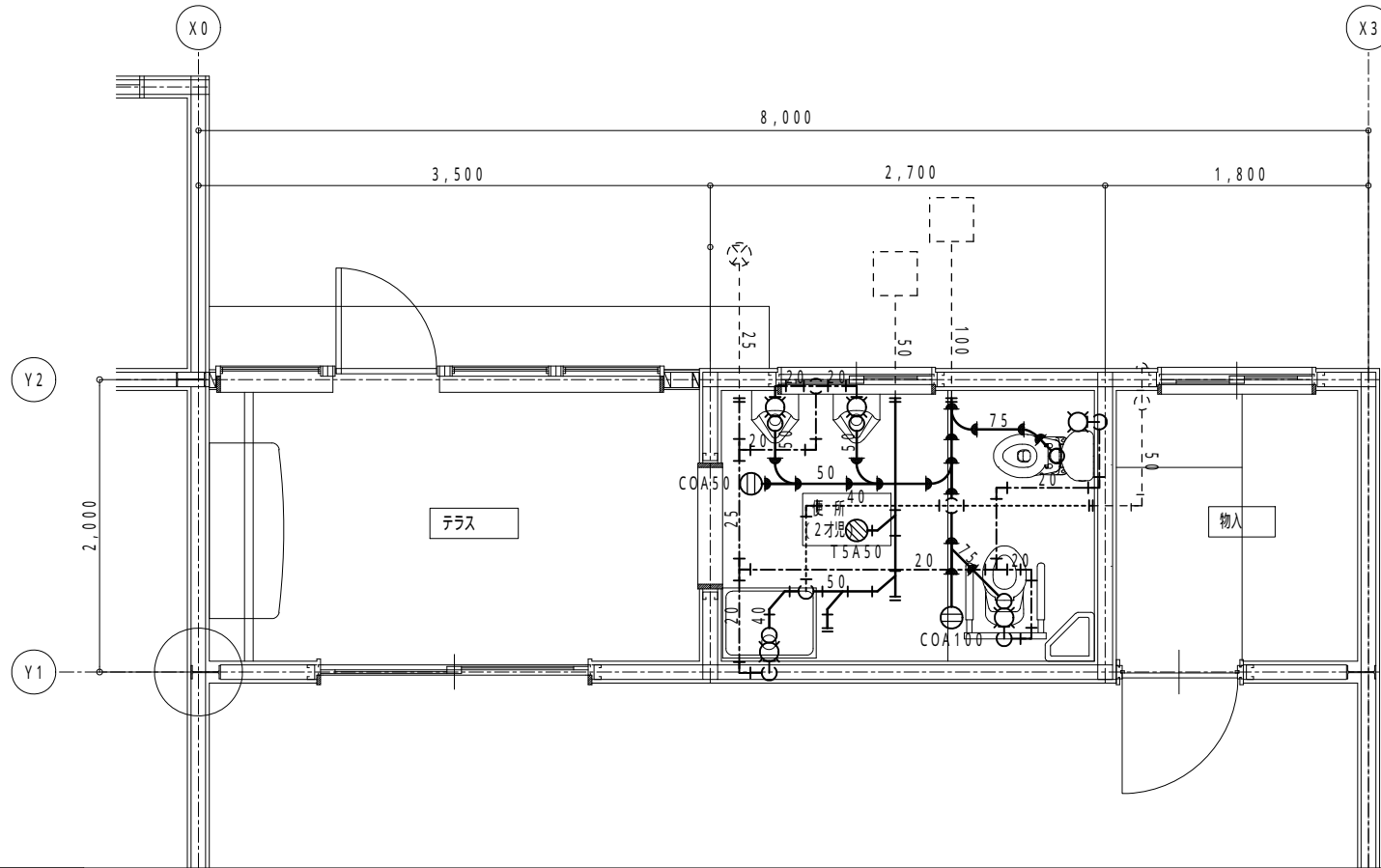
記号	冷媒管 (Cu) 寸法	
	液管	ガス管
①	6.4	9.5
②	6.4	12.7
③	9.5	12.7
④	9.5	15.9
⑤	9.5	19.1
⑥	9.5	22.2
⑦	9.5	25.4
⑧	12.7	19.1

- 注記
1. 空調機取外前には、冷媒回収を適切に行うこと。
 2. 冷媒管撤去新設範囲の共有配管も改修対象とする。
 3. 再取付後の試運転調整まで、本工事に含む。



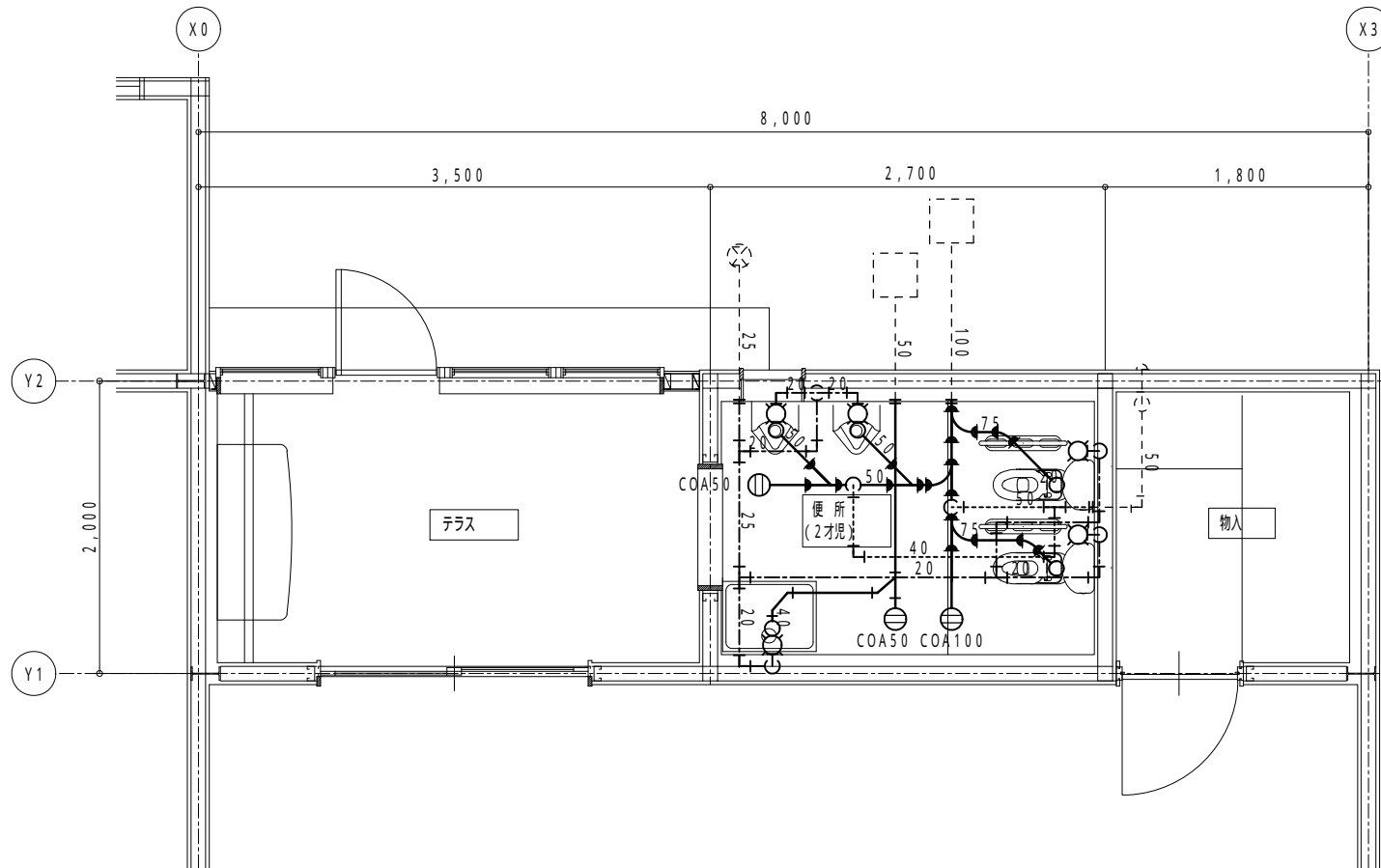
株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査	作図	工事名 治道認定こども園耐震改修工事	設計年月日	図面番号
		図面名称 002-1, 2棟 平面図 (撤去改修) (機械設備)	縮尺 1/100 (A3)	M-08



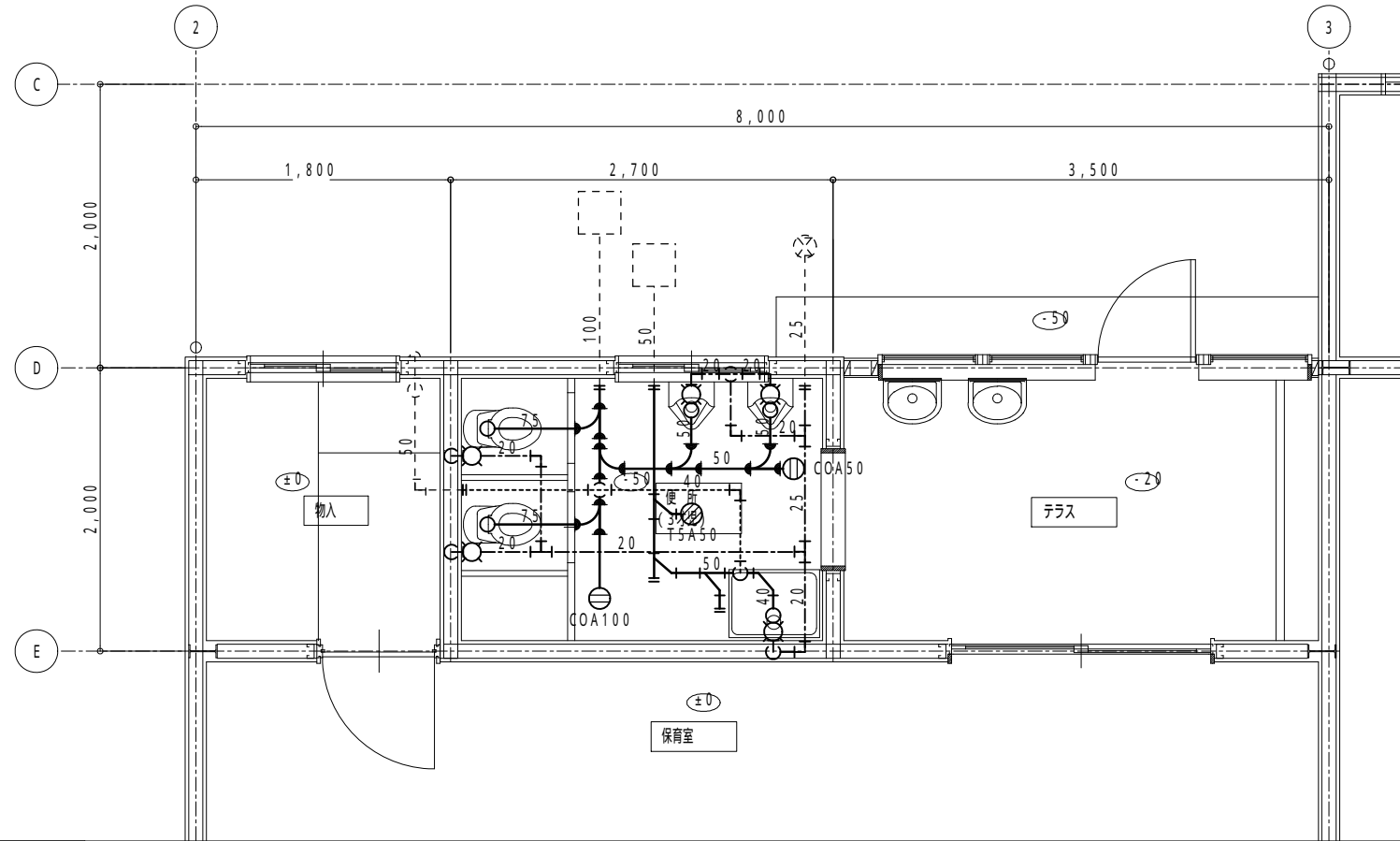
凡例(撤去図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (撤去)
→	排水管(汚水) (撤去)
+	排水管(雑排水) (撤去)
---	通気管 (撤去)
○	給水栓 (撤去)
⊕	混合水栓 (撤去)
⊗	給水栓(FV) (撤去)
⊙	床上掃除口 (撤去)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管切断



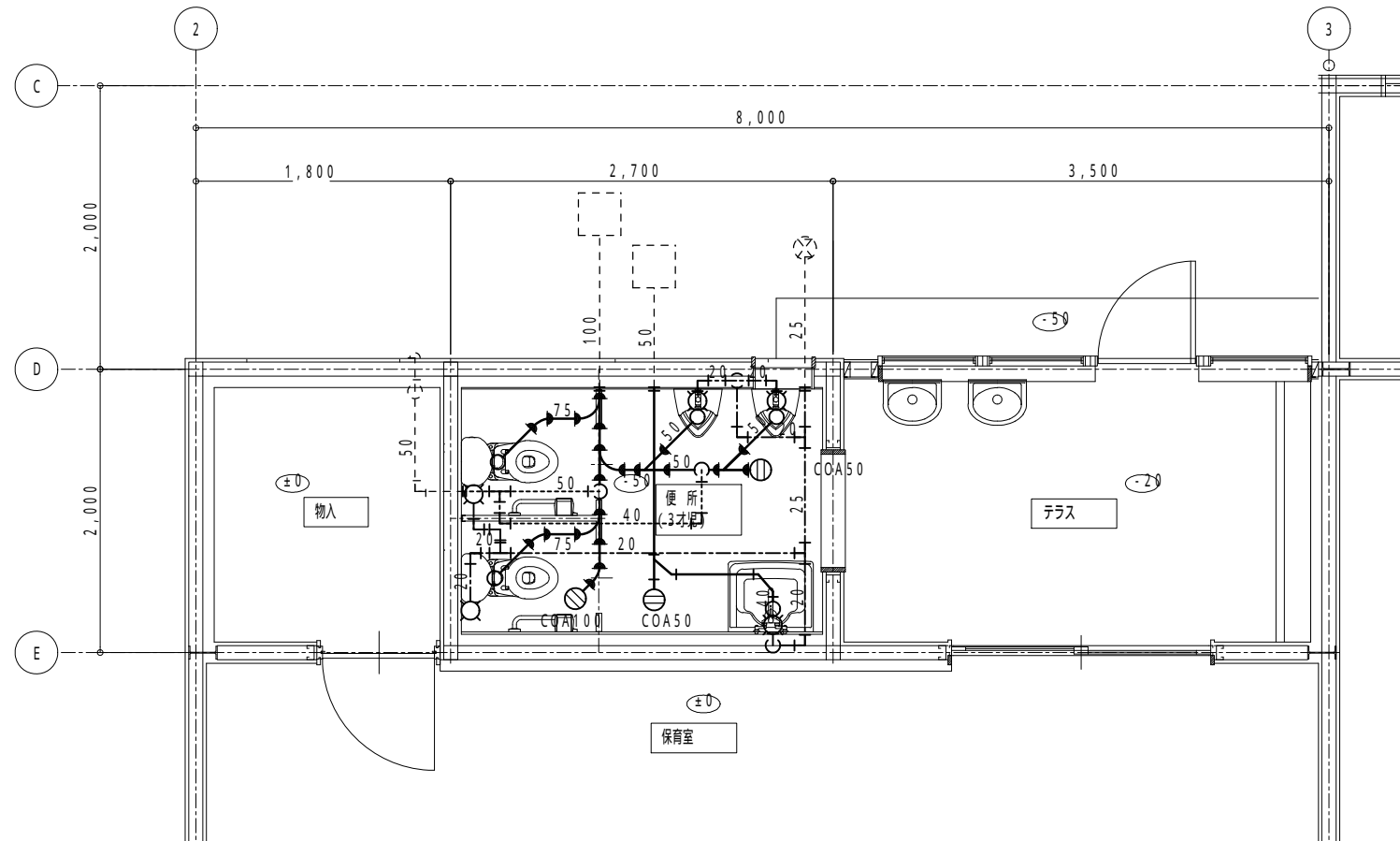
凡例(改修図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (新設)
→	排水管(汚水) (新設)
+	排水管(雑排水) (新設)
---	通気管 (新設)
○	給水栓 (新設)
⊕	混合水栓 (新設)
⊗	給水栓(FV) (新設)
⊙	床上掃除口(掃兼ドレン) (新設)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管接続



凡例(撤去図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (撤去)
←	排水管(汚水) (撤去)
+	排水管(雑排水) (撤去)
---	通気管 (撤去)
○	給水栓 (撤去)
⊕	混合水栓 (撤去)
⊗	給水栓(FV) (撤去)
⊙	床上掃除口 (撤去)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管切断



凡例(改修図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (新設)
←	排水管(汚水) (新設)
+	排水管(雑排水) (新設)
---	通気管 (新設)
○	給水栓 (新設)
⊕	混合水栓 (新設)
⊗	給水栓(FV) (新設)
⊙	床上掃除口(掃兼ドレン) (新設)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管接続

株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図

工事名 治道認定こども園耐震改修工事

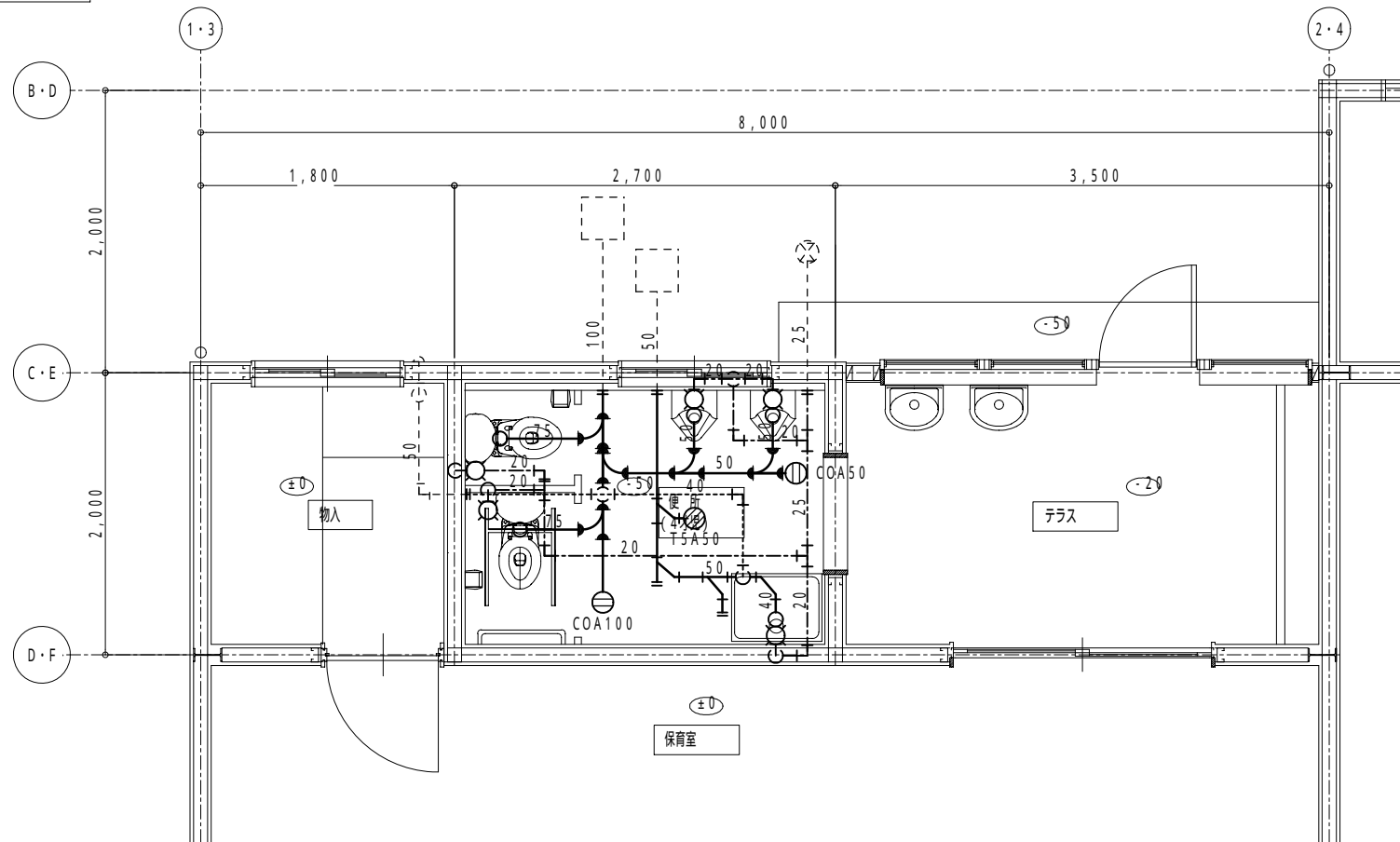
設計年月日

図面番号

図面名称 002-1, 2棟 便所平面詳細図-2(撤去改修)
(機械設備)

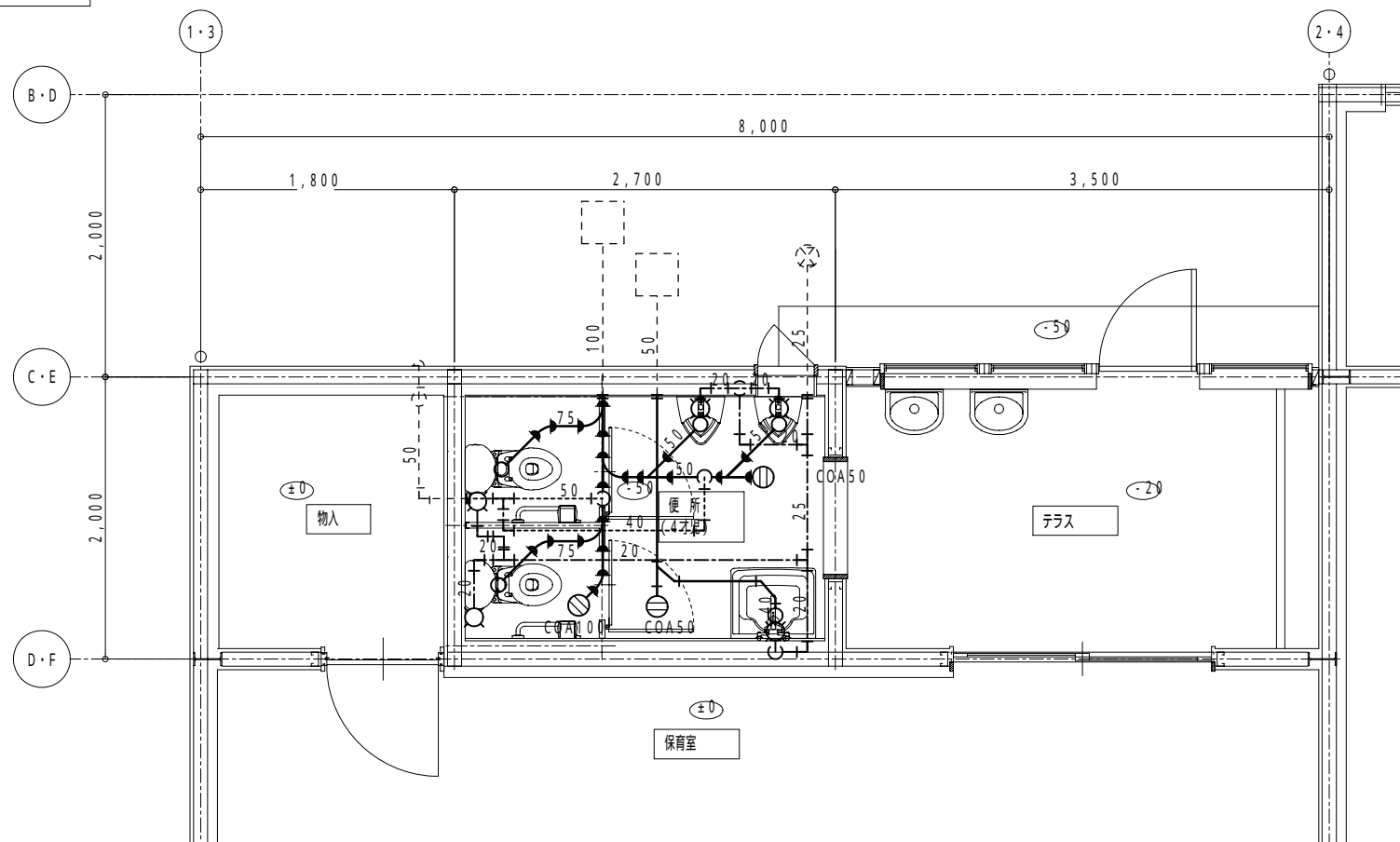
縮尺 1/50(A3)

M-10



凡例(撤去図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (撤去)
←	排水管(汚水) (撤去)
+	排水管(雑排水) (撤去)
---	通気管 (撤去)
○	給水栓 (撤去)
⊕	混合水栓 (撤去)
⊗	給水栓(FV) (撤去)
⊙	床上掃除口 (撤去)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管切断



凡例(改修図)

記号	名称・仕様
---	給水管 (新設)
←	排水管(汚水) (新設)
+	排水管(雑排水) (新設)
---	通気管 (新設)
○	給水栓 (新設)
⊕	混合水栓 (新設)
⊗	給水栓(FV) (新設)
⊙	床上掃除口(掃兼ドレン) (新設)
---	既設管 (現況流用)
-#-	配管接続

株式会社都市・計画・設計研究所
一級建築士 第277813号 渡邊寿之

検査 作図

工事名 治道認定こども園耐震改修工事

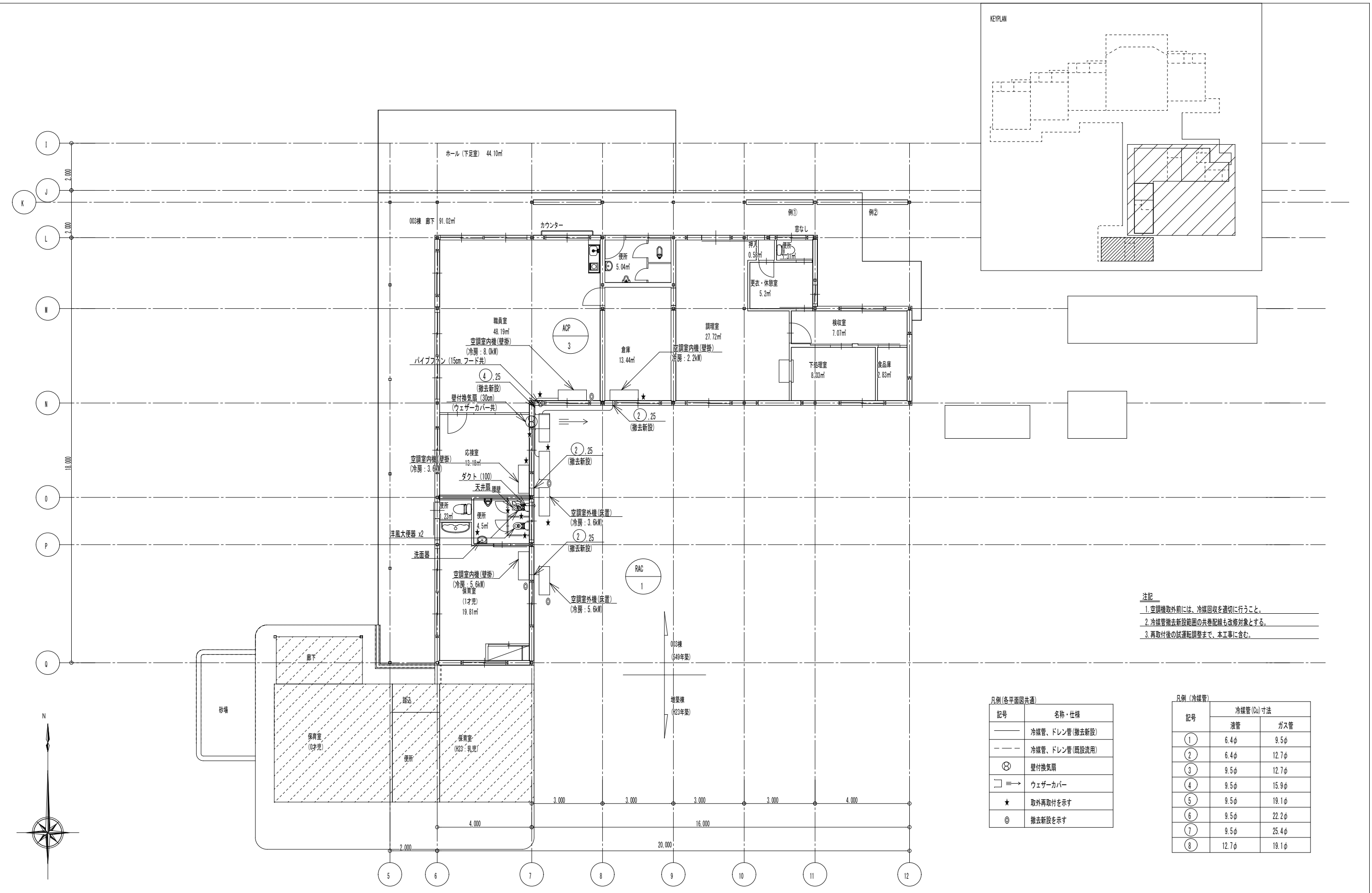
図面名称 002-1, 2棟 便所平面詳細図-3(撤去改修)
(機械設備)

設計年月日

縮尺 1/50(A3)

図面番号

M-11



- 注記**
1. 空調機取外前には、冷媒回収を適切に行うこと。
 2. 冷媒管撤去新設範囲の共巻配線も改修対象とする。
 3. 再取付後の試運転調整まで、本工事に含む。

凡例 (各平面図共通)

記号	名称・仕様
—	冷媒管、ドレン管 (撤去新設)
- - -	冷媒管、ドレン管 (既設流用)
⊗	壁付換気扇
□ ⇒	ウェザーカバー
★	取外再取付を示す
⊙	撤去新設を示す

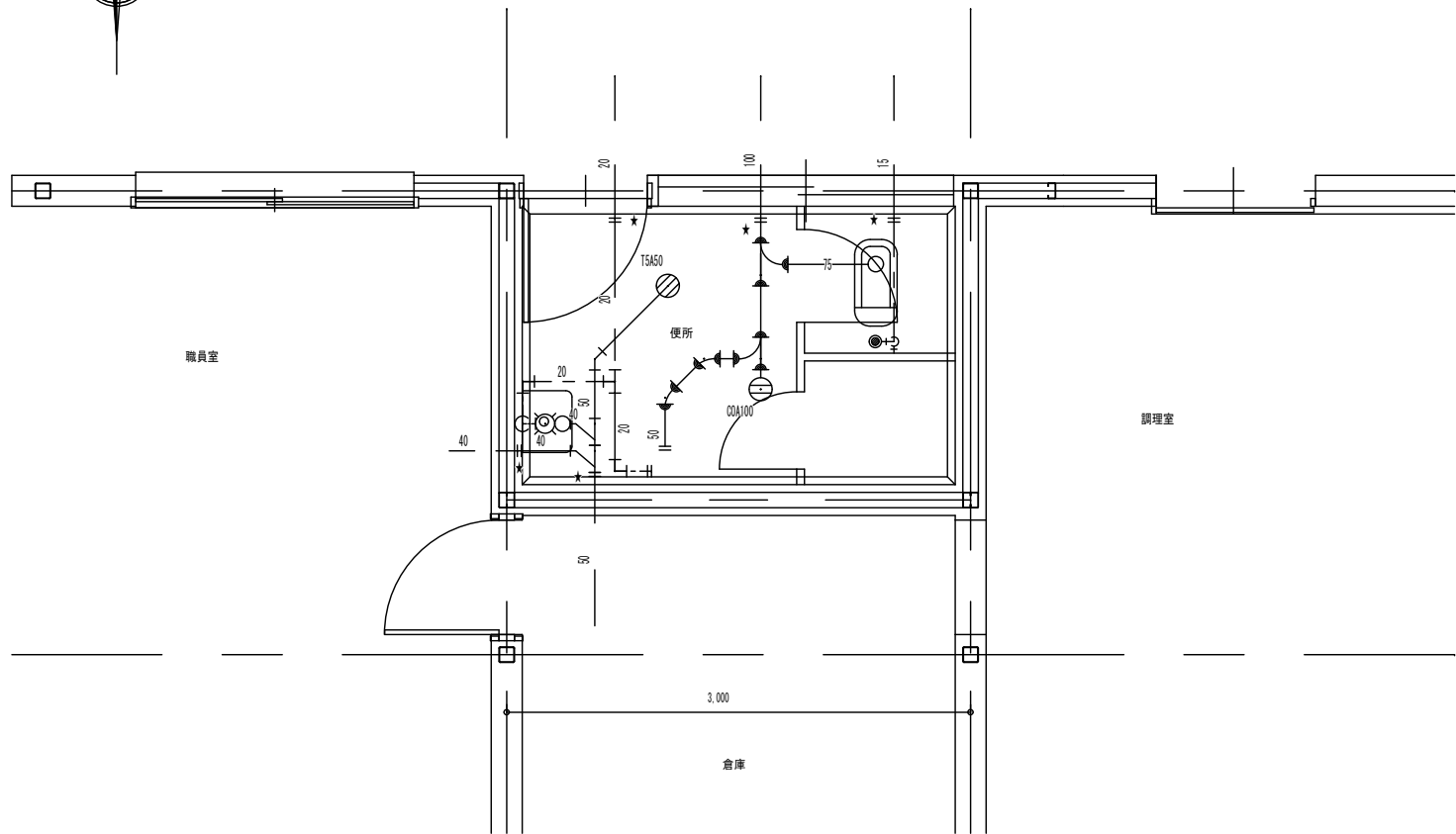
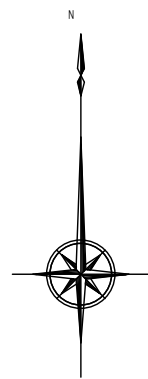
凡例 (冷媒管)

記号	冷媒管 (Dn) 寸法	
	液管	ガス管
①	6.4φ	9.5φ
②	6.4φ	12.7φ
③	9.5φ	12.7φ
④	9.5φ	15.9φ
⑤	9.5φ	19.1φ
⑥	9.5φ	22.2φ
⑦	9.5φ	25.4φ
⑧	12.7φ	19.1φ

株式会社都市・計画・設計研究所
 一級建築士 第277813号 渡邊寿之

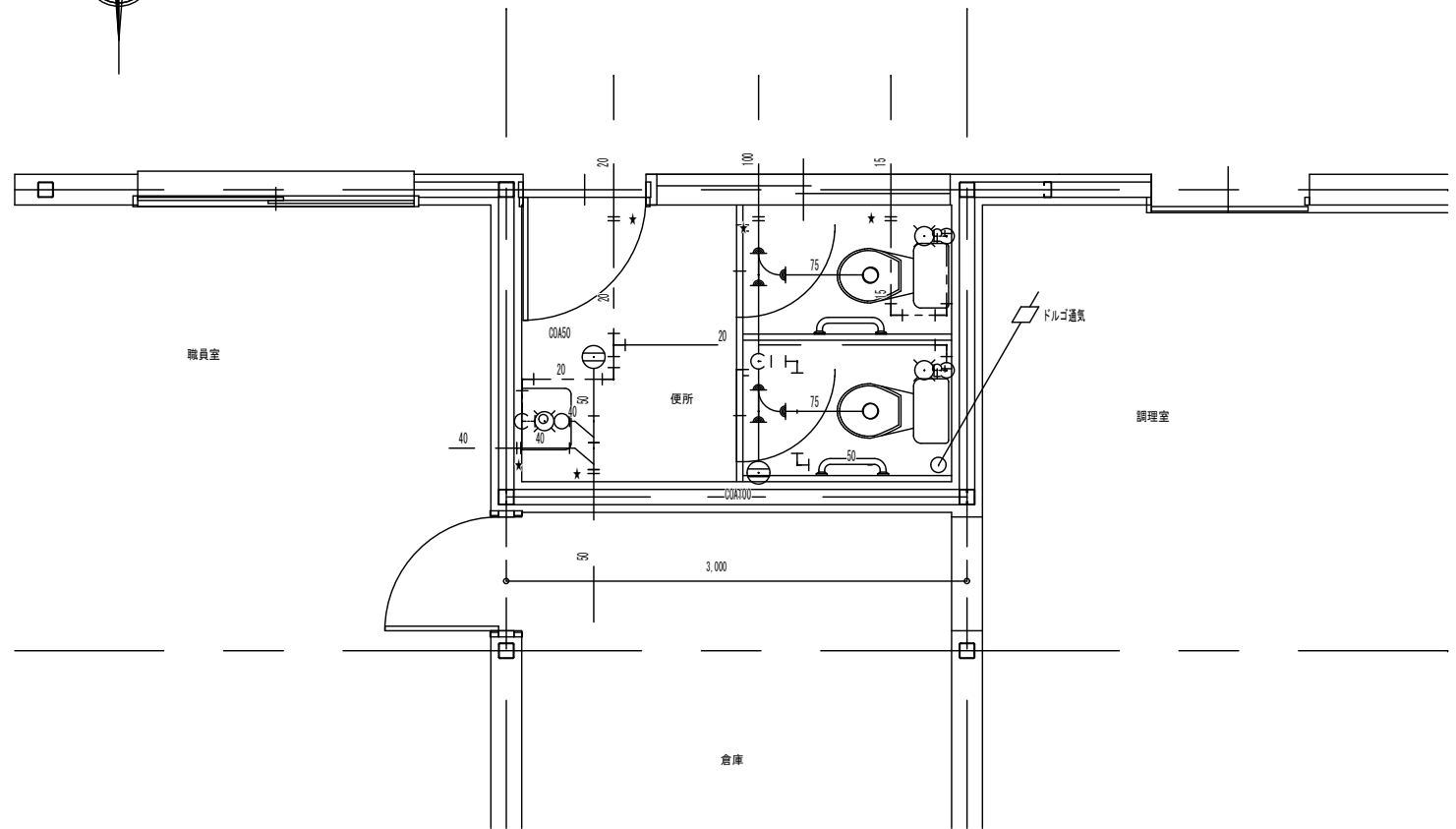
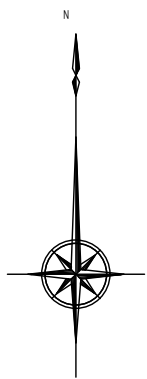
検査 作図 工事名 治道認定こども園耐震改修工事
 図面名称 003棟 平面図 (撤去改修) (機械設備)

設計年月日 図面番号
 縮尺 1/100 (A3) M-12



凡例（撤去図）

記号	名称・仕様
---	給水管 (撤去)
←	排水管 (汚水) (撤去)
→	排水管 (雑排水) (撤去)
---	通気管 (撤去)
○	給水栓 (撤去)
⊗	混合水栓 (撤去)
⊙	給水栓 (FV) (撤去)
⊕	床上掃除口 (撤去)
---	既設管 (現況流用)
※	配管切筋



凡例（改修図）

記号	名称・仕様
---	給水管 (新設)
←	排水管 (汚水) (新設)
→	排水管 (雑排水) (新設)
---	通気管 (新設)
○	給水栓 (新設)
⊗	混合水栓 (新設)
⊙	給水栓 (FV) (新設)
⊕	床上掃除口 (掃除ドレン) (新設)
---	既設管 (現況流用)
※	配管接続

